


世論調査結果報告書
令和3年9月調査

都民生活に関する世論調査

令和4年1月

 東京都生活文化局

ま え が き

「都民生活に関する世論調査」は、都民の日常生活に関わる意識や、都政に何を望んでいるかなどを調査し、今後の都政運営に役立てることを目的として実施しています。

経年調査の項目（「暮らし」「住んでいる地域」「東京」「都政への要望」）では、過去の調査結果をもとに意識の変化を把握しています。

今回は、東京への愛着と誇りを加えて調査しました。

この世論調査が、行政担当者のみならず、広く都民の方々や、都民の生活意識に関心のある方々のお役に立てれば幸いです。

最後に、この世論調査にご協力いただいた多くの皆様に深く感謝申し上げます。

※ 「都民生活に関する世論調査」は、昭和43年から毎年実施してきた「都市生活に関する世論調査」と、昭和47年から毎年実施してきた「都民要望に関する世論調査」を平成10年に統合したものです。

令和4年1月

東京都生活文化局広報広聴部

目 次

※印は過去の調査結果を掲載する質問項目

調査実施の概要	①～⑤
調査結果の詳細	1
1 暮らし	3
※1-1 暮らしむきの変化	3
※1-2 暮らしの余裕	9
※1-3 生活程度	14
※1-4 これからの暮らしむき	18
※1-5 今後切りつめていくもの	23
※1-6 生活満足度	26
※1-7 満足の理由	30
※1-8 不満の理由	33
※1-9 今後の生活の不安	36
※1-10 税金への関心度とその内容	40
2 住んでいる地域	46
※2-1 地域の住みよさ	46
※2-2 地域定住意向	50
3 東 京	60
3-1 東京への愛着	60
3-2 東京への誇り	63
※3-3 東京の住みよさ	66
※3-4 東京定住意向	72
3-5 東京をよりよくするために関わっていききたいか	85
3-6 関わっていききたいこと（希望）	88
3-7 いま関わっていること（現実）	90
4 都政への要望	92
※4-1 これからの都政の進め方	92
※4-2 新型コロナウイルス感染症対策	95
※4-3 都政への要望	99
4-4 具体的な要望施策	103
調査票及び単純集計結果	109
付属資料	131

調査実施の概要

1 調査目的

都民の日常生活に関わる意識や、東京に対する意識を捉えるとともに、都政に対する都民の意識や意見・要望を把握し、今後の都政運営の参考とする。

2 調査項目

- (1) 暮らし
- (2) 住んでいる地域
- (3) 東京
- (4) 都政への要望

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：4,000標本〔令和元年までは3,000標本〕
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用）
〔令和元年までは個別訪問面接聴取法〕
- (5) 調査期間：令和3年9月10日～10月3日
- (6) 調査実施機関：株式会社エントリーサポート

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率）：1,849標本（46.2%）〔うち郵送1,287標本、インターネット562標本〕
- (2) 未完了標本数（率）：2,151標本（53.8%）

未完了標本内訳

	無効回収	転居	拒否	高齢・病気等	死亡	宛先不明	未回収
2,151標本	118	1	2	7	1	93	1,929
比率(%)	5.5	0.0	0.1	0.3	0.0	4.3	89.7

(3) 性・年齢別回収結果

	男性			女性			無回答 回収数	合計		
	標本数	回収数	回収率(%)	標本数	回収数	回収率(%)		標本数	回収数	回収率(%)
18・19歳	29	12	41.4	33	13	39.4	-	62	25	40.3
20代	306	76	24.8	279	78	28.0	-	585	154	26.3
30代	323	122	37.8	324	164	50.6	-	647	286	44.2
40代	329	113	34.3	316	173	54.7	-	645	286	44.3
50代	350	152	43.4	318	170	53.5	-	668	322	48.2
60代	265	141	53.2	239	153	64.0	-	504	294	58.3
70歳以上	413	214	51.8	476	254	53.4	2	889	470	52.9
無回答		-			1		11		12	
合計	2,015	830	41.2	1,985	1,006	50.7	13	4,000	1,849	46.2

(注) 平成28年より、選挙年齢の引下げに伴い、18・19歳を調査対象者に加えた。

5 標本構成 (n=1,849)

上段：実数
下段：(%)

(1) 性別

男	女	無回答	計
830	1,006	13	1,849
44.9	54.4	0.7	100.0

(2) 年齢

	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢無回答	計
男	12	76	122	113	152	141	214	-	830
	0.6	4.1	6.6	6.1	8.2	7.6	11.6	-	44.9
女	13	78	164	173	170	153	254	1	1,006
	0.7	4.2	8.9	9.4	9.2	8.3	13.7	0.1	54.4
性別無回答	-	-	-	-	-	-	2	*11	13
	-	-	-	-	-	-	0.1	0.6	0.7
計	25	154	286	286	322	294	470	12	1,849
	1.4	8.3	15.5	15.5	17.4	15.9	25.4	0.6	100.0

*性・年齢とも無回答

(3) 職業 ※ 年齢別職業分布はP④参照

自営・家族従業 (計)			勤め (計)								無職			無回答	計
自営業主	家族従業 (業手伝い)	家族従業 (家主)	経営・管理職	専門・技術職	事務職	労務・技能職	サービス職	販売・その他	無回答	主婦・主夫	無職の学生	その他の無職			
178	146	32	1,006	116	269	259	126	199	3	34	384	58	189	34	1,849
9.6	7.9	1.7	54.4	6.3	14.5	14.0	6.8	10.8	0.2	1.8	20.8	3.1	10.2	1.8	100.0

(4) 雇用形態 (勤めのみ n=1,006)

正社員、正規職員				派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど				無回答	計
男	女	無回答		男	女	無回答			
609	372	237	-	319	93	226	-	78	1,006
60.5	37.0	23.6	-	31.7	9.2	22.5	-	7.8	100.0

(5) 住居形態

持家 (計)	持家以外 (計)		民間の借家 (二戸建)	民間の借家 (賃貸マンション・アパートなど集合住宅)	都市機構 (旧公団)・公社・公営の賃貸住宅・アパート	社宅・公務員住宅など給与住宅	住み込み・寮・寄宿舎など	その他	無回答	計	
	持家 (二戸建)	持家 (分譲マンションなど集合住宅)									
1,196	896	300	628	43	396	103	53	9	24	25	1,849
64.7	48.5	16.2	34.0	2.3	21.4	5.6	2.9	0.5	1.3	1.4	100.0

(6) 未・既婚

未婚 (計)	既婚			既婚 (計)	配偶者あり		離別・死別		無回答	無回答	計
	男	女	無回答		男	女	男	女			
466	236	229	1	1,361	502	571	82	199	7	22	1,849
25.2	12.8	12.4	0.1	73.6	27.1	30.9	4.4	10.8	0.4	1.2	100.0

(7) 共働き状況（既婚・有配偶のみ：性別無回答を含む n=1,076）

共働きをしている（計）				共働きをしていない（計）				無回答	計
男	女	無回答		男	女	無回答			
567	256	310	1	503	241	260	2	6	1,076
52.7	23.8	28.8	0.1	46.7	22.4	24.2	0.2	0.6	100.0

(8) 世帯構成

単身 (本人のみ)	夫婦のみ (1世代世帯)	親と子 (2世代世帯)	親と子と孫 (3世代世帯)	その他の世帯	無回答	計
361	456	811	105	86	30	1,849
19.5	24.7	43.9	5.7	4.7	1.6	100.0

(9) 居住地域生まれか否か

居住地域 生まれ	居住地域 以外生まれ	無回答	計
480	1,351	18	1,849
26.0	73.1	1.0	100.0

(10) 東京生まれか否か

東京生まれ	東京以外 からきた	無回答	計
862	960	27	1,849
46.6	51.9	1.5	100.0

(11) 地域居住年数

1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～30年 未満	30年以上	無回答	計
58	118	128	181	188	152	273	729	22	1,849
3.1	6.4	6.9	9.8	10.2	8.2	14.8	39.4	1.2	100.0

(12) 東京居住年数

1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～30年 未満	30年以上	無回答	計
22	52	59	101	134	108	224	1,132	17	1,849
1.2	2.8	3.2	5.5	7.2	5.8	12.1	61.2	0.9	100.0

(13) 世帯年収

200万円 未満	200～ 300万円 未満	300～ 400万円 未満	400～ 500万円 未満	500～ 700万円 未満	700～ 900万円 未満	900～ 1,100 万円 未満	1,100～ 1,300 万円 未満	1,300～ 1,500 万円 未満	1,500～ 2,000 万円 未満	2,000 万円 以上	わから ない	無回答	計
200	218	212	170	243	193	166	81	53	70	42	176	25	1,849
10.8	11.8	11.5	9.2	13.1	10.4	9.0	4.4	2.9	3.8	2.3	9.5	1.4	100.0

(14) インターネットの利用

利用している (計)	よく利用 している	ときどき 利用している	利用して いない			無回答	計
			(計)	あまり利用 していない	利用して いない		
1,411	1,144	267	409	92	317	29	1,849
76.3	61.9	14.4	22.1	5.0	17.1	1.6	100.0

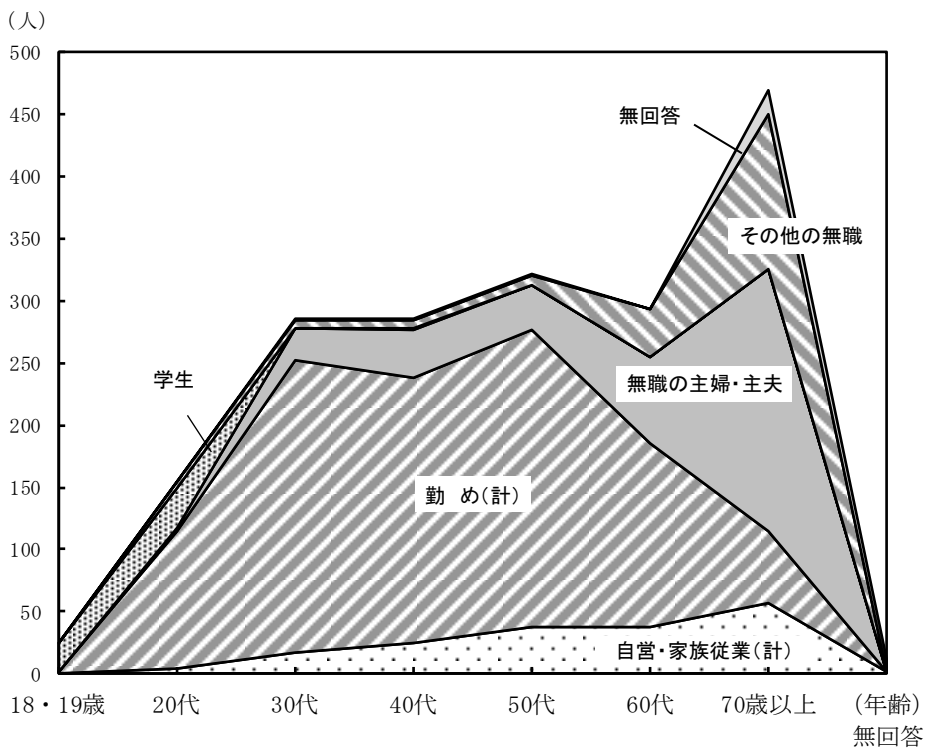
(15) SNSの利用

利用している (計)	よく利用 している	ときどき 利用している	利用して いない			無回答	計
			(計)	あまり利用 していない	利用して いない		
1,206	857	349	612	143	469	31	1,849
65.2	46.3	18.9	33.1	7.7	25.4	1.7	100.0

(16) 居住エリア ※各エリアの範囲はP⑤参照

区部 (計)	区部			市町村部 (計)	多摩				計
	センター ・コア	区部東部 ・北部	区部西部 ・南部		多摩東部	多摩 中央部北	多摩 中央部南	多摩西部 ・島しょ	
1,236	312	370	554	613	234	85	255	39	1,849
66.8	16.9	20.0	30.0	33.2	12.7	4.6	13.8	2.1	100.0

※ 年齢別職業分布



	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	計
自営・家族従業(計)	-	4	17	24	37	38	57	1	178
勤め(計)	1	111	235	214	240	147	58	-	1,006
無職の主婦・主夫	-	2	26	39	36	70	210	1	384
学生	24	33	-	1	-	-	-	-	58
その他の無職	-	4	7	7	8	38	125	-	189
無回答	-	0	1	1	1	1	20	10	34
計	25	154	286	286	322	294	470	12	1,849

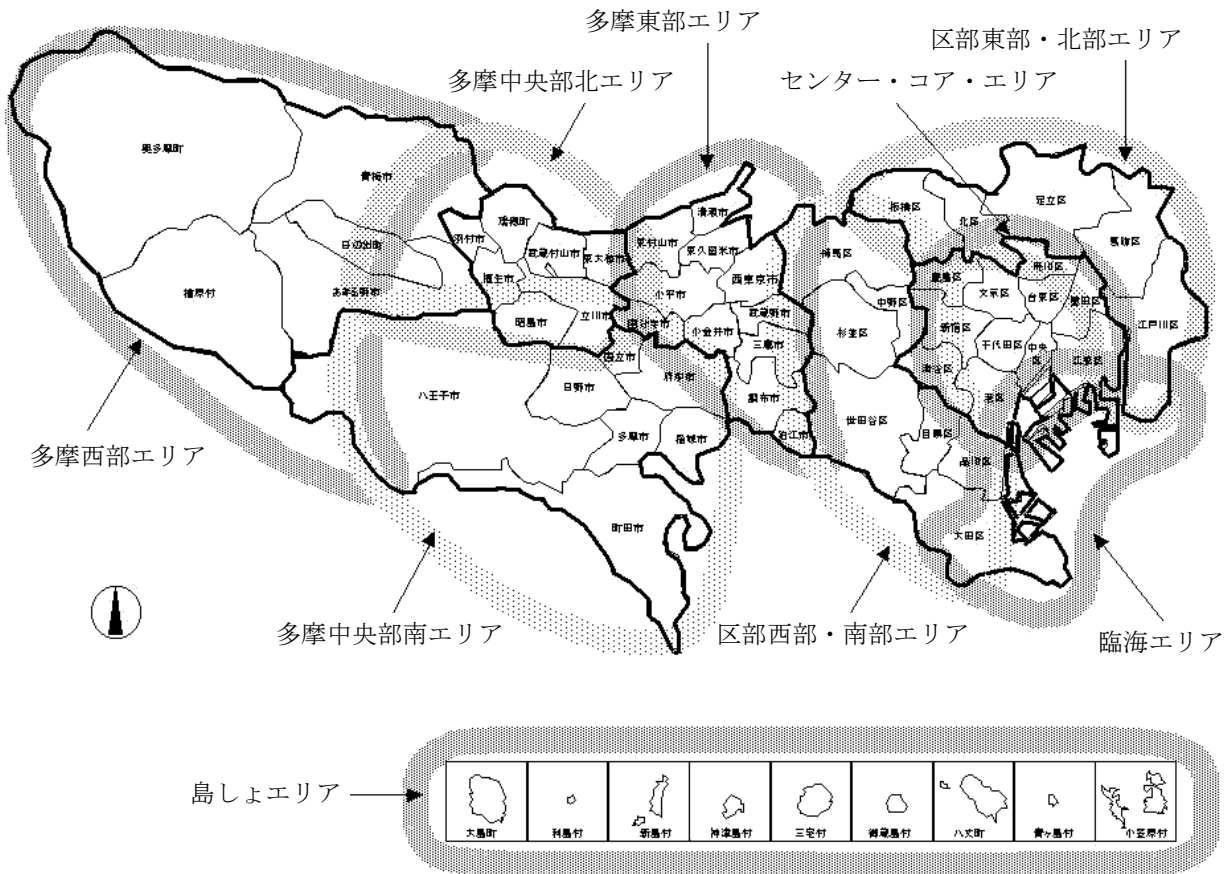
※ 層 (エリア)

[区 部]

- センター・コア・エリア ----- 千代田・中央・港・新宿・文京・台東・墨田・江東・渋谷・豊島・荒川区
- 区部東部・北部エリア ----- 北・板橋・足立・葛飾・江戸川区
- 区部西部・南部エリア ----- 品川・目黒・大田・世田谷・中野・杉並・練馬区

[市町村部]

- 多摩東部エリア ----- 武蔵野・三鷹・調布・小金井・小平・東村山・国分寺・狛江・清瀬・東久留米・西東京市
- 多摩中央部北エリア ----- 立川・昭島・福生・東大和・武蔵村山・羽村市、瑞穂町
- 多摩中央部南エリア ----- 八王子・府中・町田・日野・国立・多摩・稲城市
- 多摩西部・島しょエリア ----- 青梅・あきる野市、日の出町、檜原村、奥多摩・大島町、利島・新島・神津島・三宅・御蔵島村、八丈町、青ヶ島・小笠原村



(注) 上記、世論調査における7つのエリアは、東京構想2000の9つのエリアを基に、従前の世論調査との継続性を考慮して、行政区域単位に便宜上、区分した。

調査結果の詳細

【報告書を読む際の注意】

注1) 用語・符号等

- n ——— Number of case の略
質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。
- M. A. ——— Multiple Answers の略
回答者に2つ以上の回答を認める質問
- M. T. ——— Multiple Total の略
M. A. の場合に、回答の合計を回答者数 (n) で割った比率で、通常100%を超える。
- 図中「0」 } ——— 皆無の結果を示す。
表中「-」 }
- 図中「0.0」 } ——— 0.05%未満の結果を示す。
表中「0.0」 }

注2) 結果数値 (%) ——— 数値は、各実数を基に比率表示し、小数第2位を四捨五入している。
したがって、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
また、結果の説明においては、小数第1位を四捨五入している。

注3) 調査結果には、統計上多少誤差 (標本誤差) が生じることがある。なお、層化二段無作為抽出法による標本誤差は次の式で算出される。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

Nは母集団数 (人)、nは回答者数 (人)、Pは回答率 (%) を表す。

注4) 調査結果の標本誤差の範囲は、以下の標本誤差早見表のとおりとなる。 (信頼度 : 95%)

回答の比率 (P) 基数 (n)	10%又は 90%	20%又は 80%	30%又は 70%	40%又は 60%	50%
1,849	±2.0%	±2.6%	±3.0%	±3.2%	±3.3%
1,500	±2.2%	±2.9%	±3.3%	±3.6%	±3.7%
1,000	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
500	±3.8%	±5.1%	±5.8%	±6.2%	±6.3%
300	±4.9%	±6.5%	±7.5%	±8.0%	±8.2%
100	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

注5) 調査結果の分析においては、全体平均と比べ、統計的に有意差のあるものを中心にふれている。
なお、誤差を考慮し、nが50未満のものについてはふれていない場合が多い。

注6) 一部の図表では、対比を明確にするために選択肢の順序を入れ替えている。

注7) 性・年齢・職業などの属性又は他の質問項目とのクロス分析において、無回答を除いているため、各項目のnの合計が全体のnに一致しないことがある。

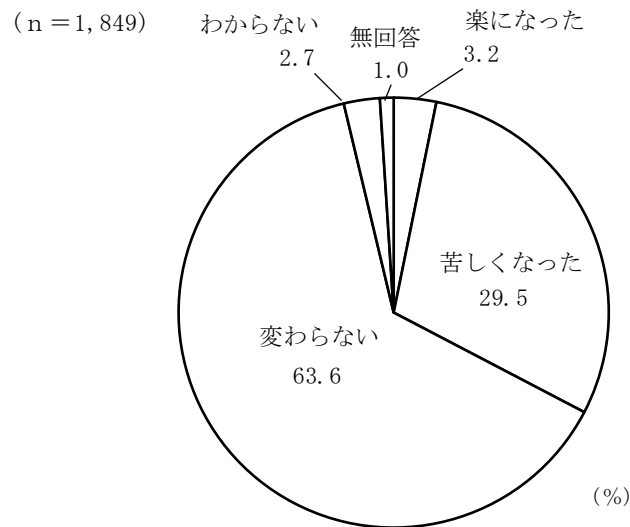
1 暮らし

※1-1 暮らしむきの変化

図1-1-1

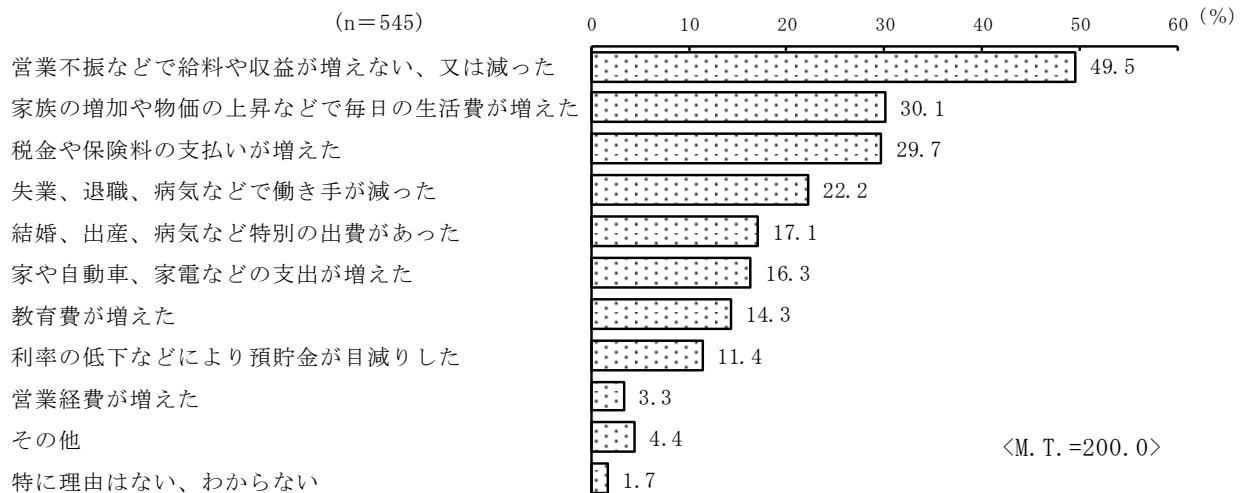
(全員の方に)

問1 さっそくですが、お宅さまの暮らしは、昨年の今ごろとくらべて楽になりましたか、苦しくなりましたか、それとも、変わりませんか。(〇は1つ)



(問1で「2 苦しくなった」と答えた方に)

問1-1 暮らしが苦しくなったのはなぜでしょうか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) (M. A.)



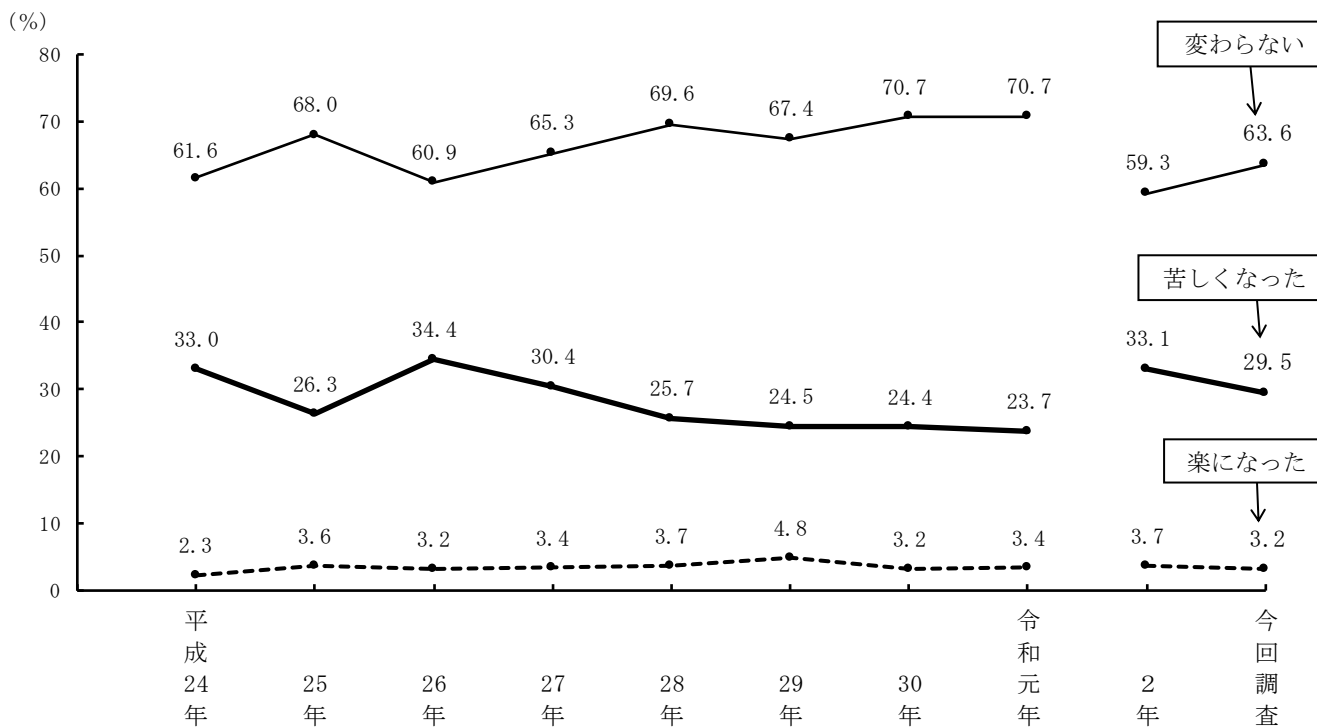
暮らしは、昨年の今ごろと比べて楽になったか、苦しくなったかを聞いたところ、「楽になった」3%、「苦しくなった」30%、「変わらない」64%となっている。

暮らしむきが「苦しくなった」と答えた人(545人)にその理由を聞いたところ、「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」50%と最も多く、次いで「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」「税金や保険料の支払いが増えた」が30%、「失業、退職、病気などで働き手が減った」22%などの順となっている。(図1-1-1)

暮らしむきの変化を過去の調査結果と比較すると、「苦しくなった」は昨年よりも4ポイント減少し、「変わらない」は4ポイント増加している。(図1-1-2)

なお、暮らしむきの変化の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料(P133 図1)に掲載している。

図1-1-2 暮らしむきの変化－過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「変わらない」は男性50代で5割半ばとなっている。(図1-1-3)

図1-1-3 暮らしむきの変化－性・年齢別

		楽になった	苦しくなった	変わらない	わからない	無回答 (%)
全	体 (1,849)	3.2	29.5	63.6	2.7	1.0
<性・年齢別>						
男	性 (計) (830)	3.7	30.4	61.7	2.9	1.3
	18・19歳 (12)	8.3	25.0	41.7	25.0	0
	20代 (76)	3.9	31.6	60.5	3.9	0
	30代 (122)	7.4	27.9	61.5	2.5	0.8
	40代 (113)	3.5	28.3	64.6	3.5	0
	50代 (152)	5.9	36.2	55.9	1.3	0.7
	60代 (141)	1.4	30.5	63.8	2.8	1.4
	70歳以上 (214)	1.4	28.5	64.5	2.3	3.3
女	性 (計) (1,006)	2.8	28.9	65.0	2.6	0.7
	18・19歳 (13)	7.7	15.4	53.8	23.1	0
	20代 (78)	6.4	17.9	67.9	7.7	0
	30代 (164)	6.1	29.9	62.8	0	1.2
	40代 (173)	2.3	30.6	65.3	1.7	0
	50代 (170)	2.4	32.4	64.1	1.2	0
	60代 (153)	2.0	33.3	62.7	2.0	0
	70歳以上 (254)	0.4	26.4	67.7	3.5	2.0

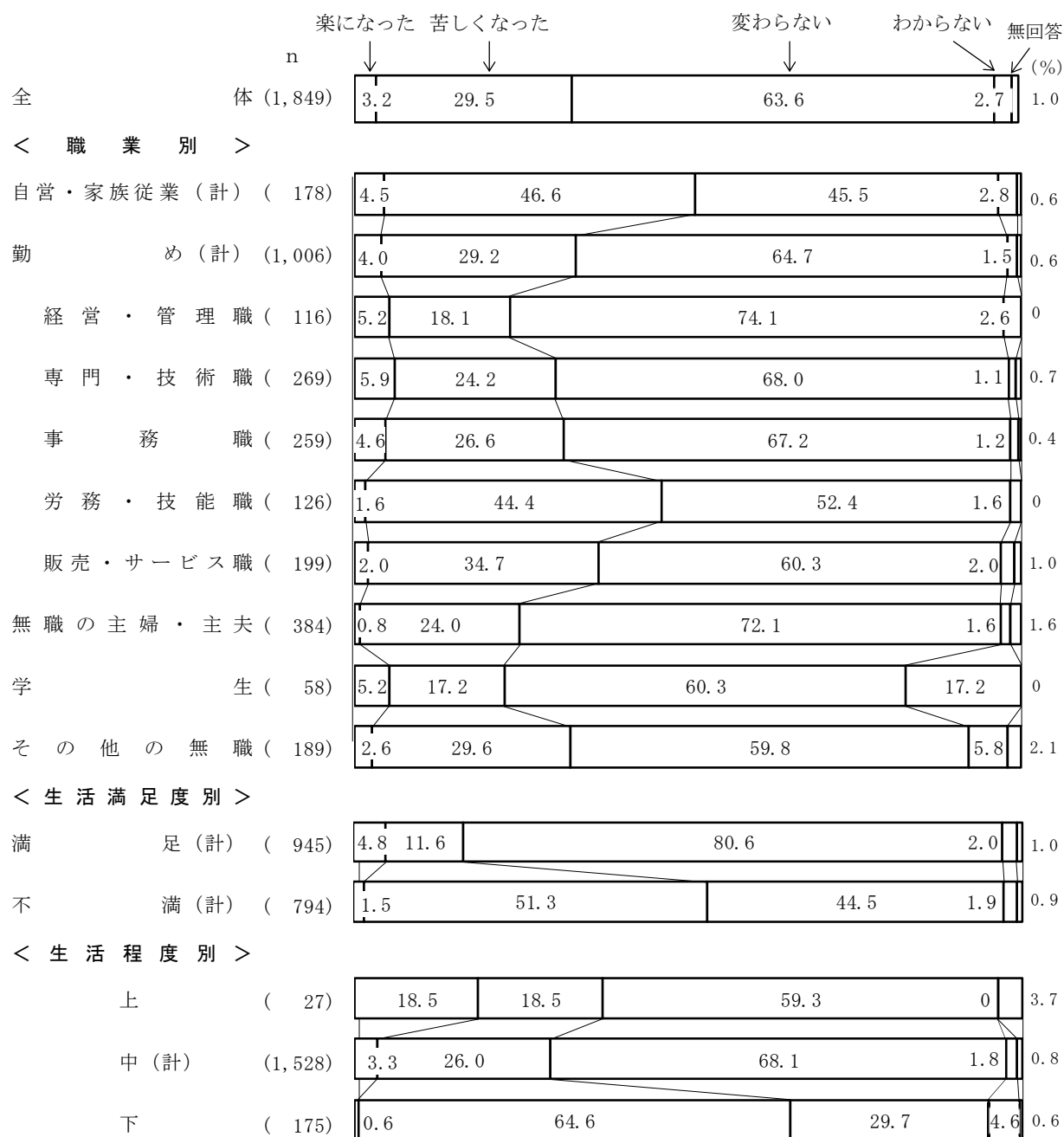
(注) 性・年齢の無回答者を除く (以下同様)。

職業別にみると、「苦しくなった」は自営・家族従業（計）で5割近くと多くなっている。

生活満足度（問5 P26）との関係でみると、「苦しくなった」は『不満（計）』で5割を超えて多く、一方、「変わらない」は『満足（計）』で8割を超えて多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、「苦しくなった」は“下”で6割半ばと多くなっている。一方、「変わらない」は『中（計）』で7割近くと多くなっている。（図1-1-4）

図1-1-4 暮らしむきの変化－職業別、生活満足度別、生活程度別



（注）職業別等の各区分で無回答者を除く（以下同様）。

暮らしむきが苦しくなった理由を過去の調査結果と比較すると、昨年よりも「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」は6ポイント減少している。一方、「家や自動車、家電などの支出が増えた」は5ポイント増加している。(表1-1-1)

表1-1-1 暮らしむきが苦しくなった理由－過去の調査結果

	n	営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った	家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた	税金や保険料の支払いが増えた	失業、退職、病気などで働き手が減った	結婚、出産、病気など特別の支出があった	家や自動車、家電などの支出が増えた	教育費が増えた	利率の低下などにより預貯金が目減りした	営業経費が増えた	その他	特に理由はない、わからない	無回答
今回調査	545	49.5	30.1	29.7	22.2	17.1	16.3	14.3	11.4	3.3	4.4	1.7	-
令和2年	752	55.6	27.1	28.3	19.5	14.9	10.9	12.5	10.8	2.9	5.6	1.5	0.1
元 年	438	37.7	28.3	32.9	18.9	14.2	16.2	19.9	11.2	3.7	7.3	2.1	-
平成30年	453	35.1	26.7	37.5	19.0	16.6	13.7	19.2	10.6	4.4	11.9	2.4	-
29年	444	33.1	30.4	34.0	20.0	16.9	14.0	24.1	13.1	3.8	14.0	1.4	-
28年	463	37.8	33.0	33.9	18.4	13.6	12.3	17.9	12.7	3.7	7.8	1.9	-
27年	578	36.3	40.3	39.6	19.2	16.1	12.5	16.3	10.2	4.2	8.8	1.2	-
26年	637	36.6	44.1	45.1	14.8	14.3	15.4	16.8	12.2	5.0	9.1	1.7	-
25年	529	42.2	23.3	32.9	20.4	14.7	12.1	19.8	11.2	3.6	10.6	2.3	-
24年	661	49.8	21.3	34.8	20.1	11.8	10.0	17.7	14.4	3.2	10.3	1.7	-

(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

年齢別にみると、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」は30代で5割近くと多くなっている。また「教育費が増えた」は40代で3割を超えて多くなっている。

職業別にみると、「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」は自営・家族従業（計）で8割半ばと多くなっている。「失業、退職、病気などで働き手が減った」はその他の無職で4割半ばと多くなっている。（表1-1-2）

表1-1-2 暮らしむきが苦しくなった理由一年齢別、職業別

		(%)												
		n	営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った	家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた	税金や保険料の支払いが増えた	失業、退職、病気などで働き手が減った	結婚、出産、病気など特別の支出があつた	家や自動車、家電などの支出が増えた	教育費が増えた	利率の低下などにより預貯金が目減りした	営業経費が増えた	その他	特に理由はない、わからない	
全	体	545	49.5	30.1	29.7	22.2	17.1	16.3	14.3	11.4	3.3	4.4	1.7	
< 年 齢 別 >														
18	・ 19 歳	5	80.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	20.0	
20	代	38	60.5	13.2	31.6	13.2	10.5	7.9	13.2	15.8	-	5.3	5.3	
30	代	83	44.6	48.2	25.3	25.3	24.1	21.7	10.8	3.6	2.4	3.6	-	
40	代	85	57.6	30.6	32.9	15.3	15.3	20.0	32.9	11.8	7.1	5.9	3.5	
50	代	110	60.0	30.9	26.4	18.2	12.7	20.9	29.1	10.0	3.6	2.7	-	
60	代	94	42.6	28.7	28.7	28.7	13.8	13.8	3.2	5.3	3.2	5.3	-	
70	歳 以 上	128	39.8	23.4	33.6	25.8	21.9	10.9	-	20.3	2.3	4.7	1.6	
< 職 業 別 >														
自営・家族従業（計）		83	85.5	20.5	24.1	7.2	3.6	12.0	7.2	14.5	14.5	2.4	-	
勤 め（計）		294	57.5	32.3	28.6	17.3	16.3	19.0	18.0	9.2	1.7	4.8	1.4	
経 営 ・ 管 理 職		21	52.4	28.6	28.6	-	28.6	9.5	33.3	14.3	4.8	9.5	-	
専 門 ・ 技 術 職		65	53.8	29.2	30.8	15.4	18.5	24.6	26.2	10.8	-	6.2	1.5	
事 務 職		69	40.6	42.0	33.3	21.7	14.5	26.1	21.7	7.2	1.4	7.2	1.4	
労 務 ・ 技 能 職		56	71.4	26.8	26.8	17.9	14.3	14.3	10.7	5.4	-	1.8	1.8	
販 売 ・ サ ー ビ ス 職		69	69.6	31.9	24.6	20.3	11.6	15.9	8.7	11.6	2.9	1.4	1.4	
無 職 の 主 婦 ・ 主 夫		92	15.2	37.0	38.0	38.0	29.3	17.4	13.0	13.0	1.1	4.3	-	
学 生		10	60.0	20.0	10.0	10.0	-	10.0	40.0	-	-	10.0	10.0	
そ の 他 の 無 職		56	12.5	26.8	28.6	44.6	21.4	8.9	1.8	14.3	-	5.4	5.4	

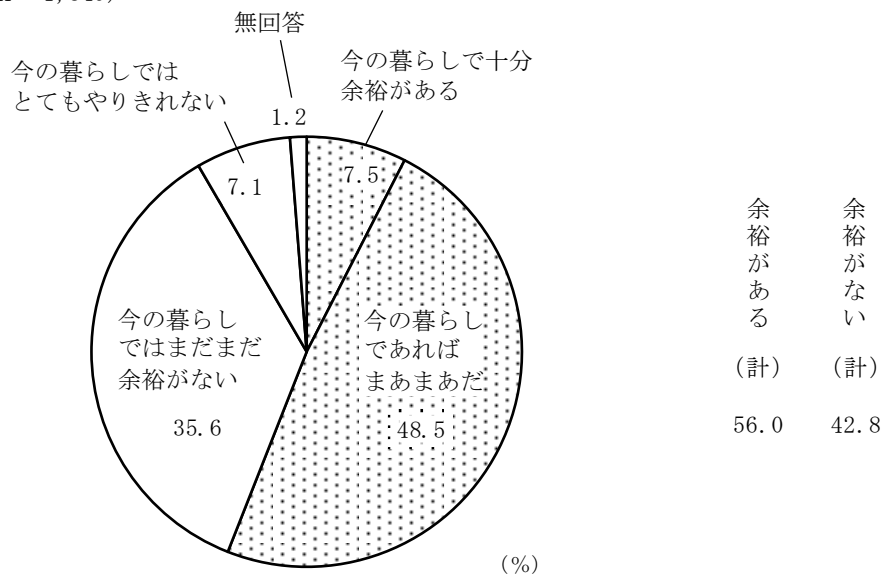
※1-2 暮らしの余裕

図1-2-1

(全員の方に)

問2 お宅さまの暮らしは、次のうちどれに当たりますか。あなたの感じ方に一番近いものを1つだけお選びください。(○は1つ)

(n = 1,849)



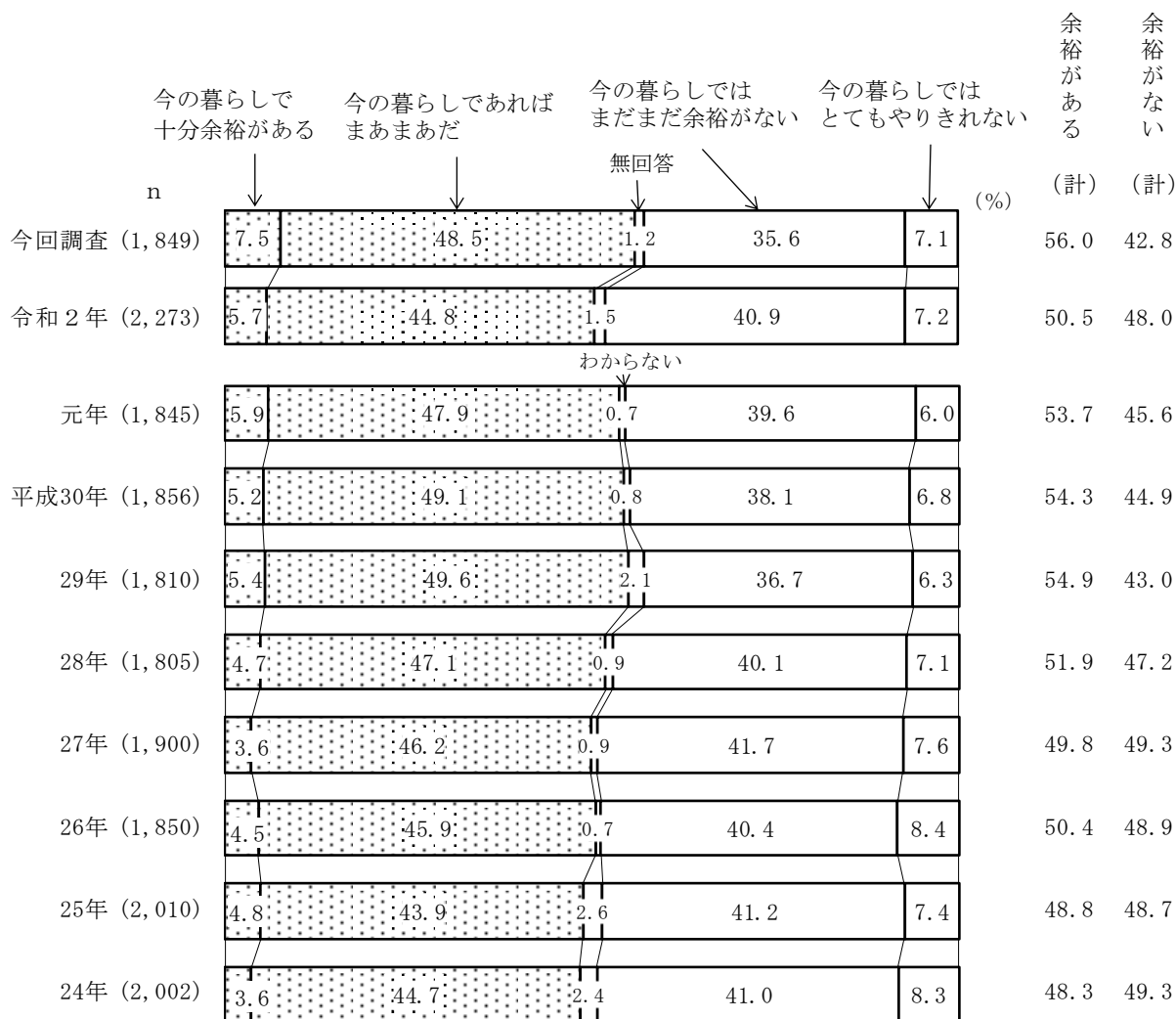
(注) 『余裕がある (計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計
 『余裕がない (計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

暮らしの余裕について聞いたところ、『余裕がある (計)』は56%、『余裕がない (計)』は43%となっている。(図1-2-1)

暮らしの余裕を過去の調査結果と比較すると、『余裕がある(計)』は昨年よりも6ポイント増加し、『余裕がない(計)』は昨年よりも5ポイント減少している。(図1-2-2)

なお、暮らしの余裕の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料(P135 表1)に掲載している。

図1-2-2 暮らしの余裕—過去の調査結果



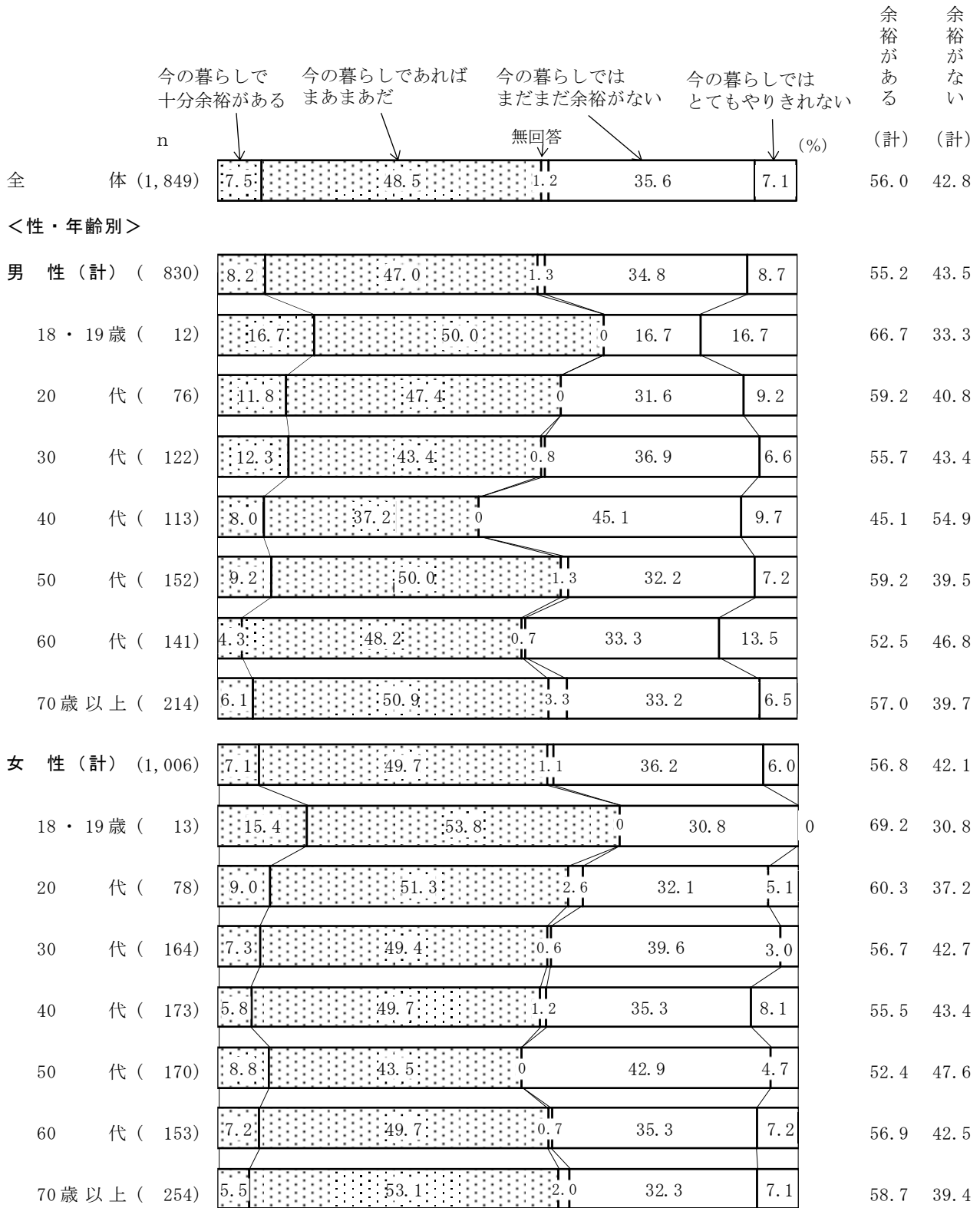
(注1) 『余裕がある(計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない(計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、『余裕がない（計）』は男性40代で5割半ばと多くなっている。（図1-2-3）

図1-2-3 暮らしの余裕－性・年齢別

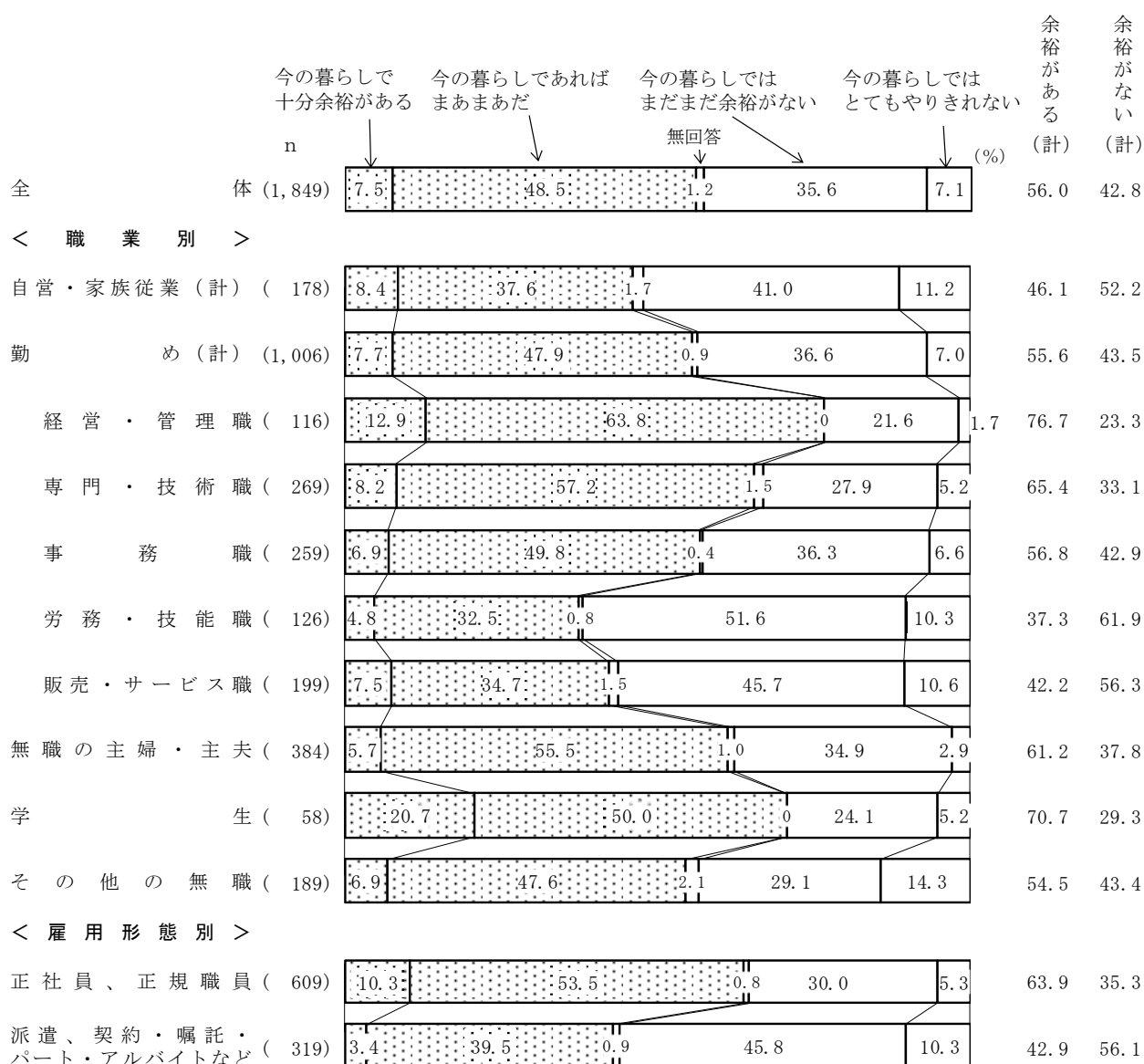


(注) 『余裕がある (計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまだ」の合計
『余裕がない (計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

職業別にみると、『余裕がある（計）』は、経営・管理職で8割近くと多くなっている。一方、『余裕がない（計）』は労務・技能職で6割を超えて多くなっている。

雇用形態別にみると、『余裕がない（計）』は「派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど」で5割半ばと多くなっている。（図1-2-4）

図1-2-4 暮らしの余裕－職業別、雇用形態別



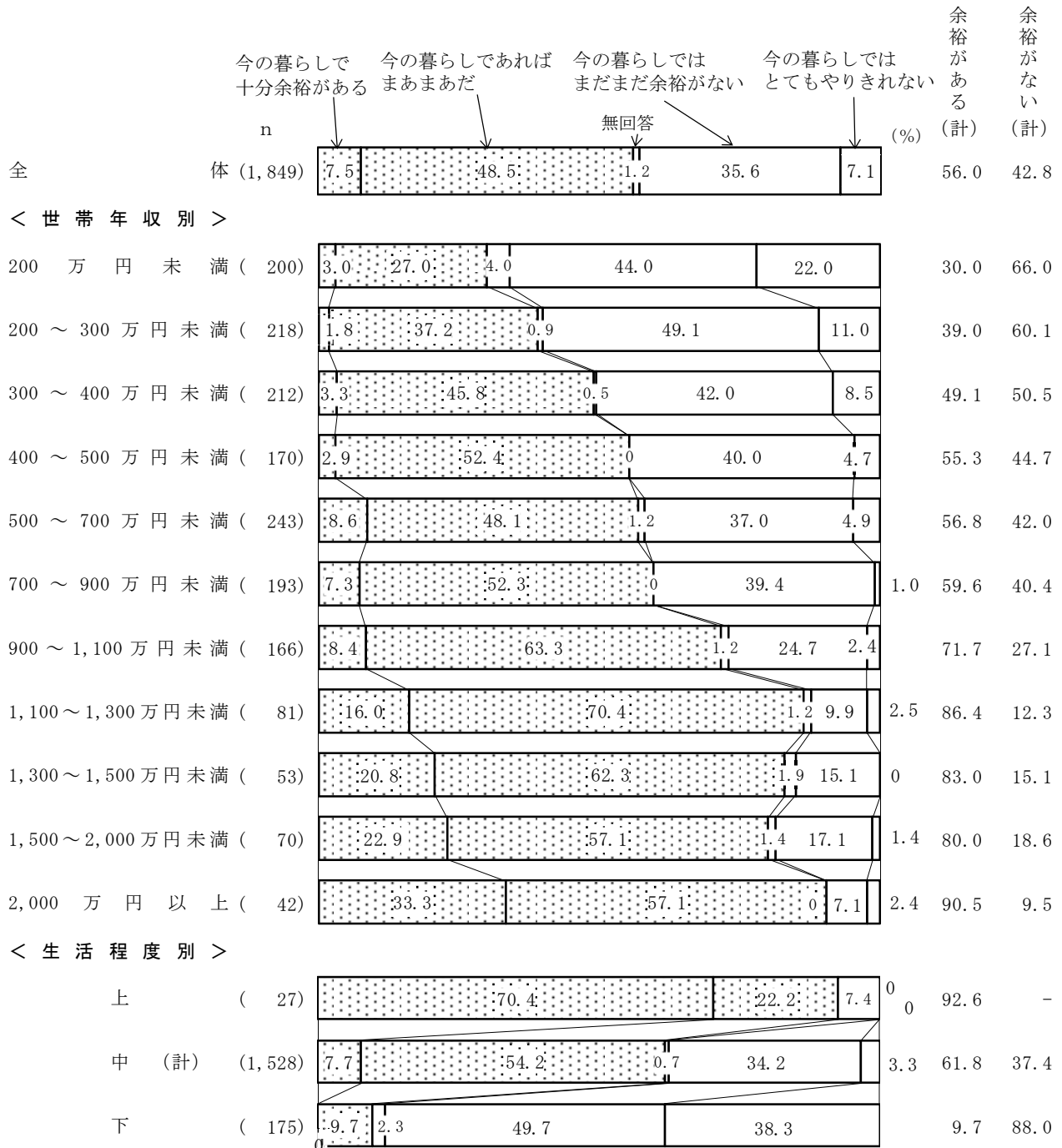
（注）『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

世帯年収別にみると、『余裕がある（計）』はおおむね世帯年収が多くなるほど割合が高くなる傾向にあり、年収1,100万円以上の世帯でいずれも8割から9割と多くなっている。一方、『余裕がない（計）』は年収200万円未満の世帯で6割半ば、年収200万円以上400万円未満の世帯でいずれも5割から6割と多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、“下”と答えた人では『余裕がない（計）』が9割近くと多くなっている。（図1-2-5）

図1-2-5 暮らしの余裕—世帯年収別、生活程度別



（注）『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

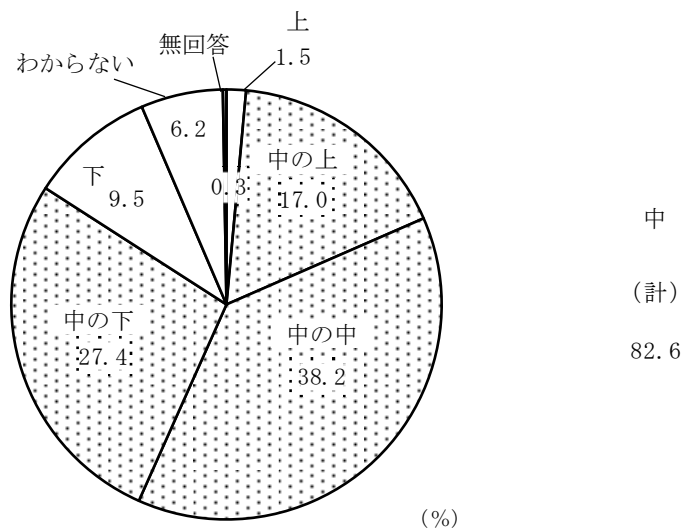
※1-3 生活程度

図1-3-1

(全員の方に)

問3 お宅さまの生活程度は、世間一般からみて、次のうちどれに入りますか。(○は1つ)

(n = 1,849)



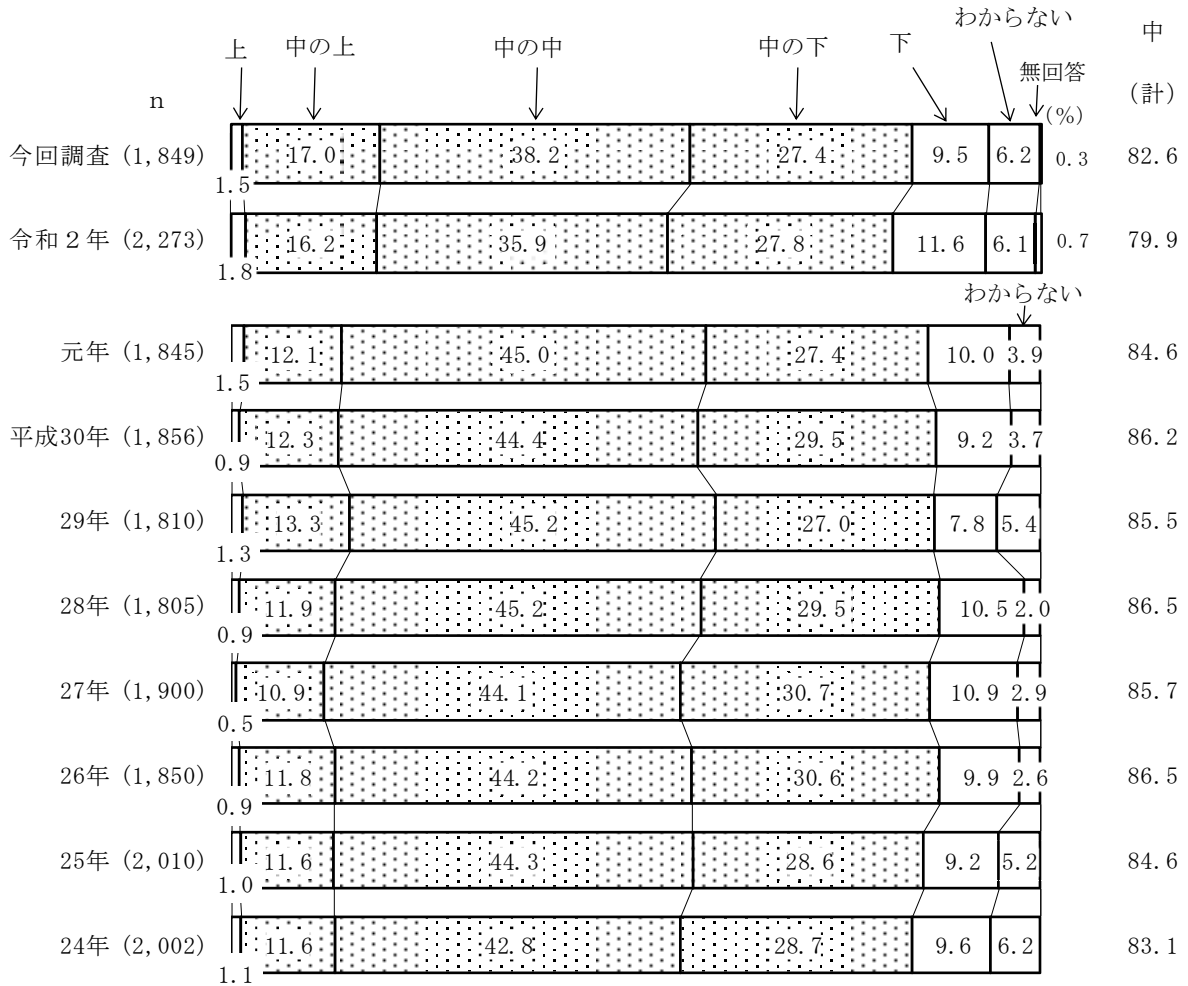
(注) 『中 (計)』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

5段階に分けた生活程度がどれにあたると思うか聞いたところ、「上」2%、「中の上」17%、「中の中」38%、「中の下」27%、「下」10%となっている。「中の上」「中の中」「中の下」を合わせた『中 (計)』は83%となっている。(図1-3-1)

生活程度を過去の調査結果と比較すると、『中（計）』は昨年より3ポイント増加している。

(図1-3-2)

図1-3-2 生活程度－過去の調査結果

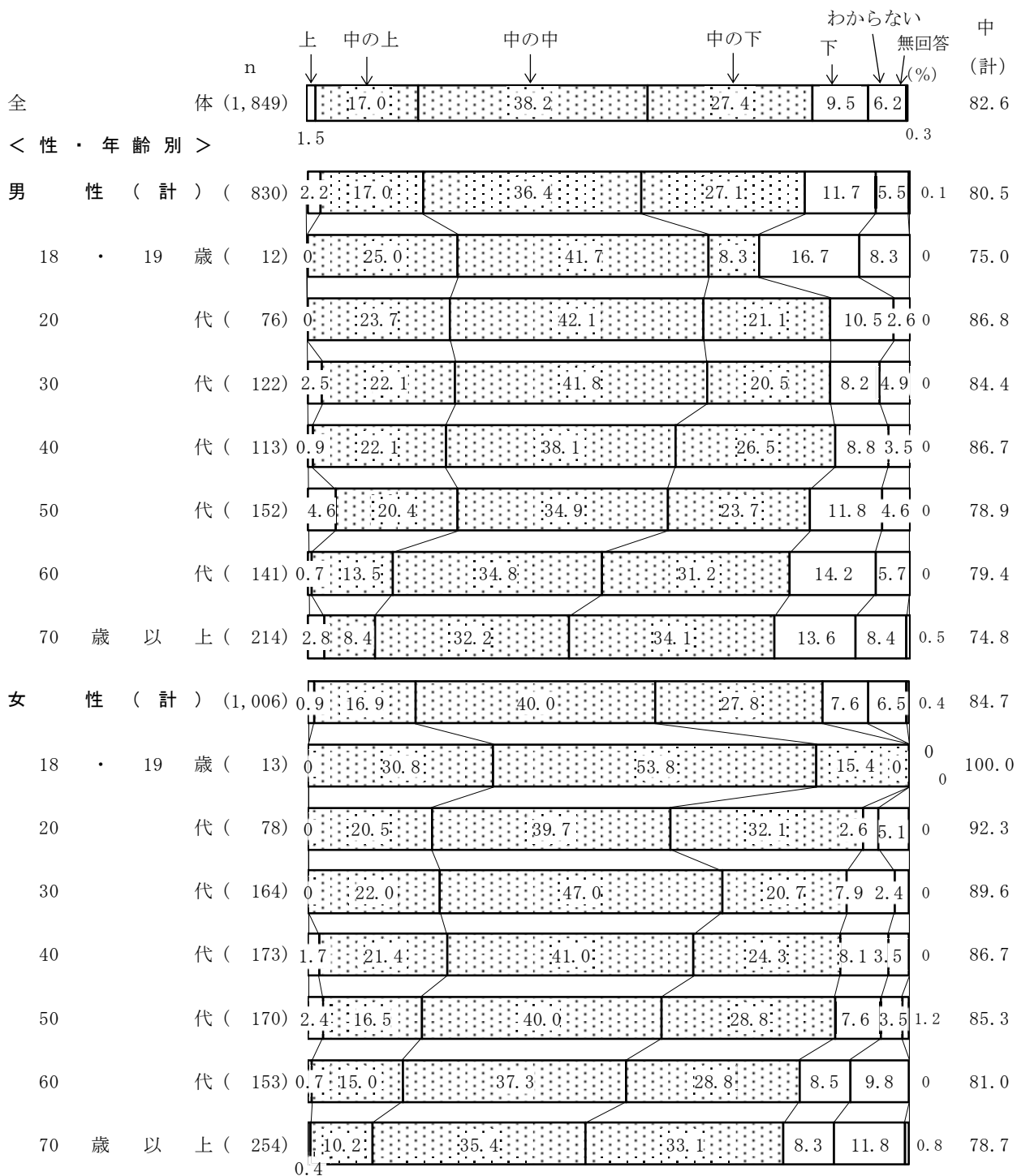


(注1) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、『中（計）』は女性20代、30代で約9割以上と多くなっている。（図1-3-3）

図1-3-3 生活程度—性・年齢別

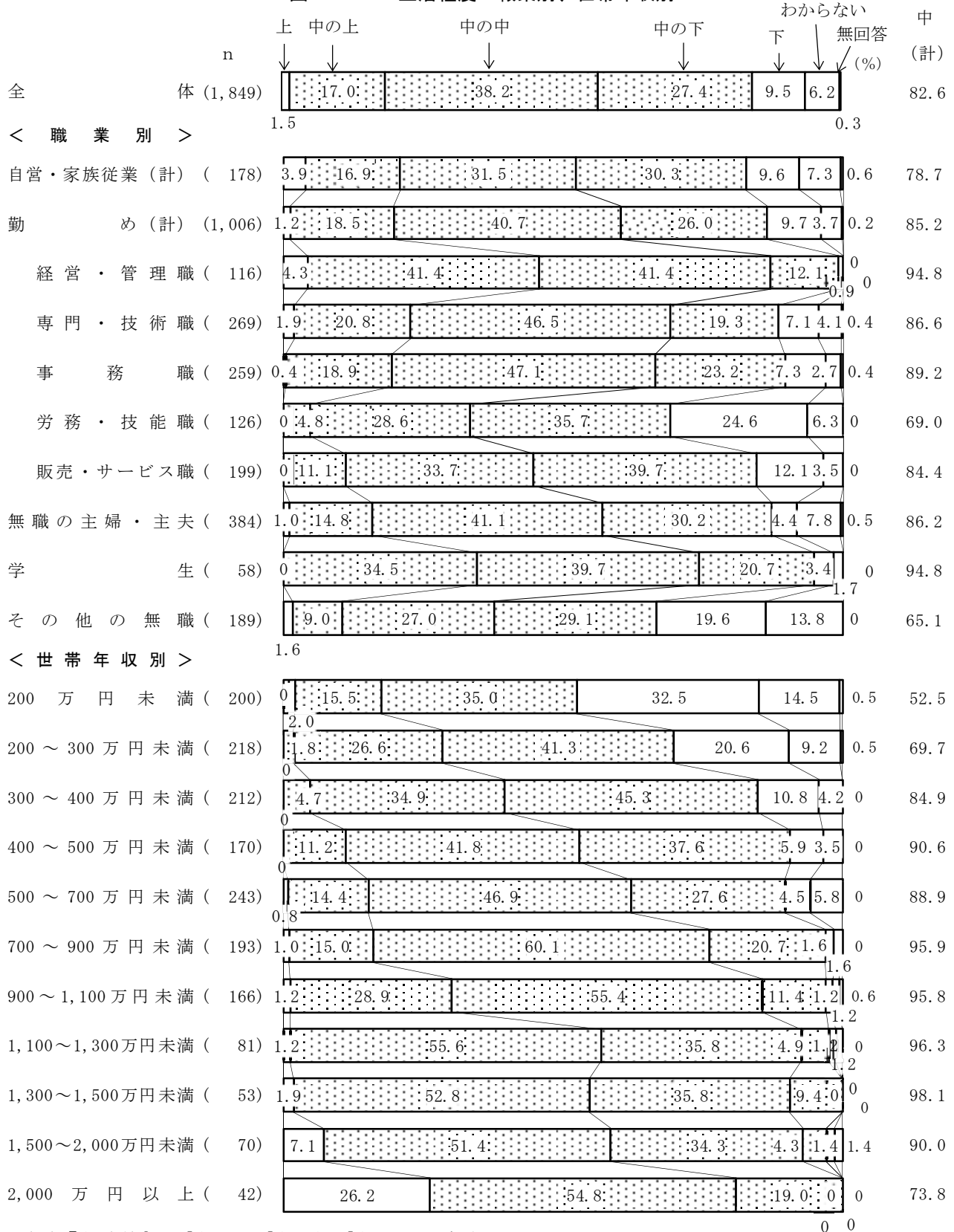


（注）『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

職業別にみると、『中（計）』は経営・管理職と学生で9割半ばと多くなっている。一方、「下」は労務・技能職で2割半ばとなっている。

世帯年収別にみると、「上」は年収2,000万円以上で2割半ばとなっている。『中（計）』は年収700万円以上1,500万円未満の世帯で9割半ばを超えて多くなっている。一方、「下」は年収200万円未満の世帯で3割を超えて多くなっている。（図1-3-4）

図1-3-4 生活程度—職業別、世帯年収別



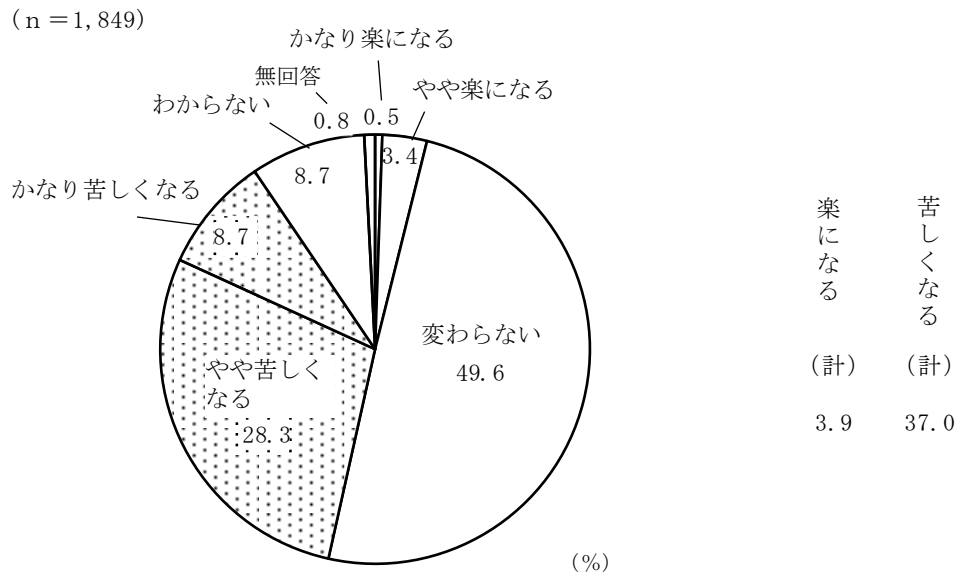
(注) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

※1-4 これからの暮らしむき

図1-4-1

(全員の方に)

問4 あなたの暮らしむきは、これから1年間楽になると思いますか、苦しくなると思いますか。それとも変わらないと思いますか。(○は1つ)



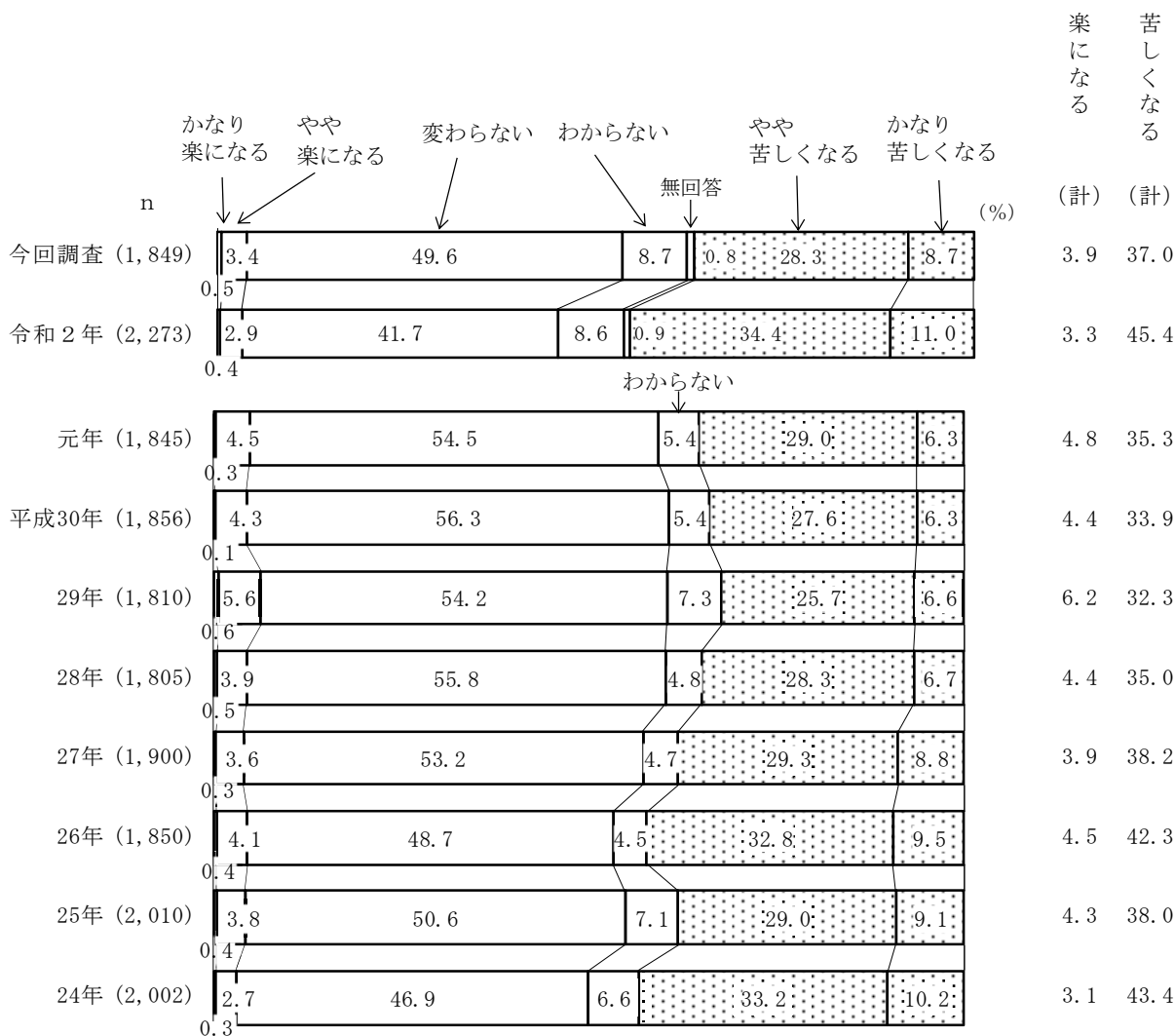
(注) 『楽になる (計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
 『苦しくなる (計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

これから1年間の暮らしむきを聞いたところ、『楽になる (計)』は4%、『苦しくなる (計)』は37%となっており、「変わらない」が50%となっている。(図1-4-1)

これからの暮らしむきを過去の調査結果と比較すると、『苦しくなる（計）』は昨年よりも8ポイント減少している。一方、「変わらない」は8ポイント増加している。（図1-4-2）

なお、これからの暮らしむきの平成元年からの調査結果を巻末の付属資料（P135 表2）に掲載している。

図1-4-2 これからの暮らしむき－過去の調査結果



(注1) 『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計

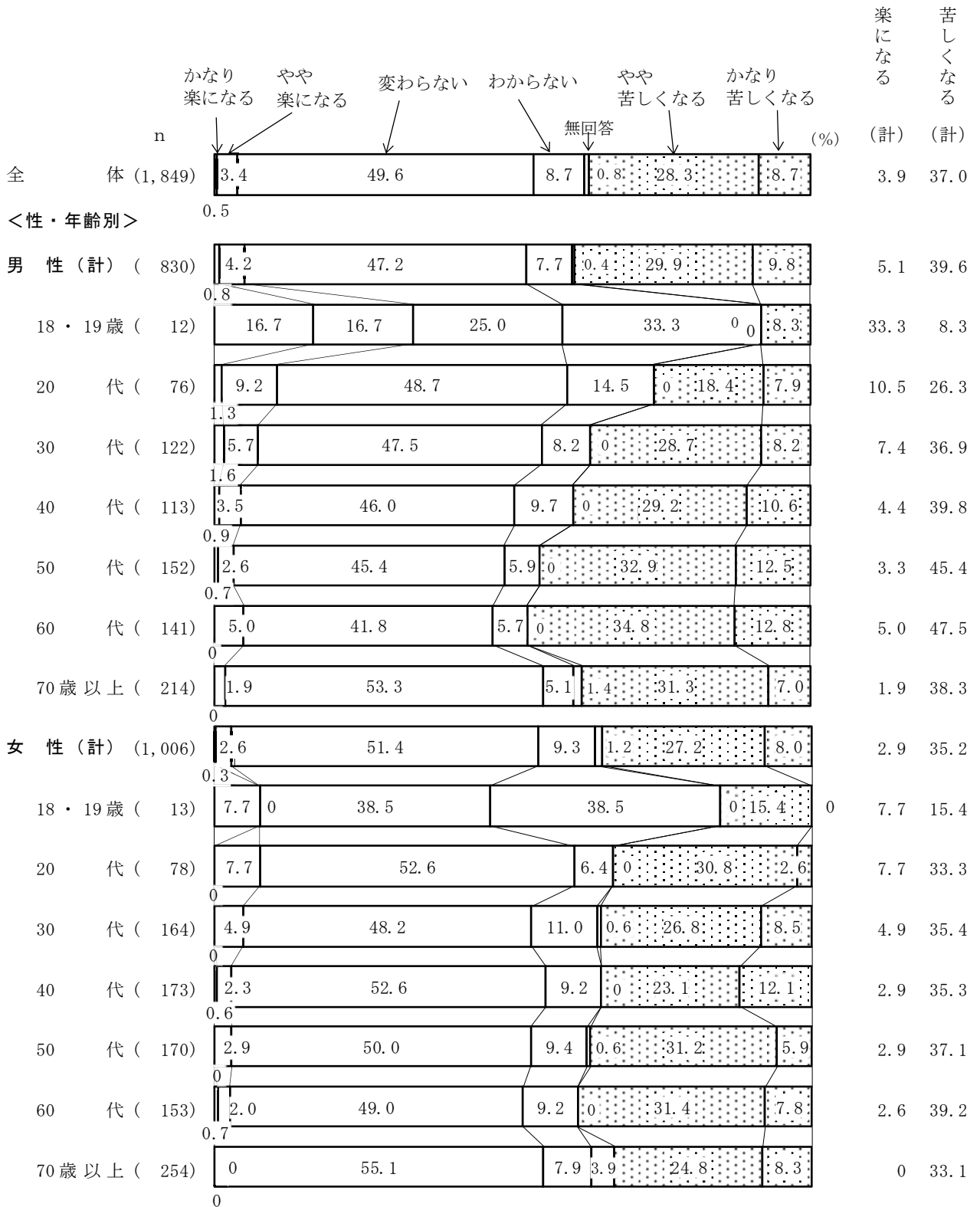
『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、『苦しくなる（計）』は男性50代、60代で4割半ばを超えて多くなっている。

(図1-4-3)

図1-4-3 これからの暮らしむき—性・年齢別

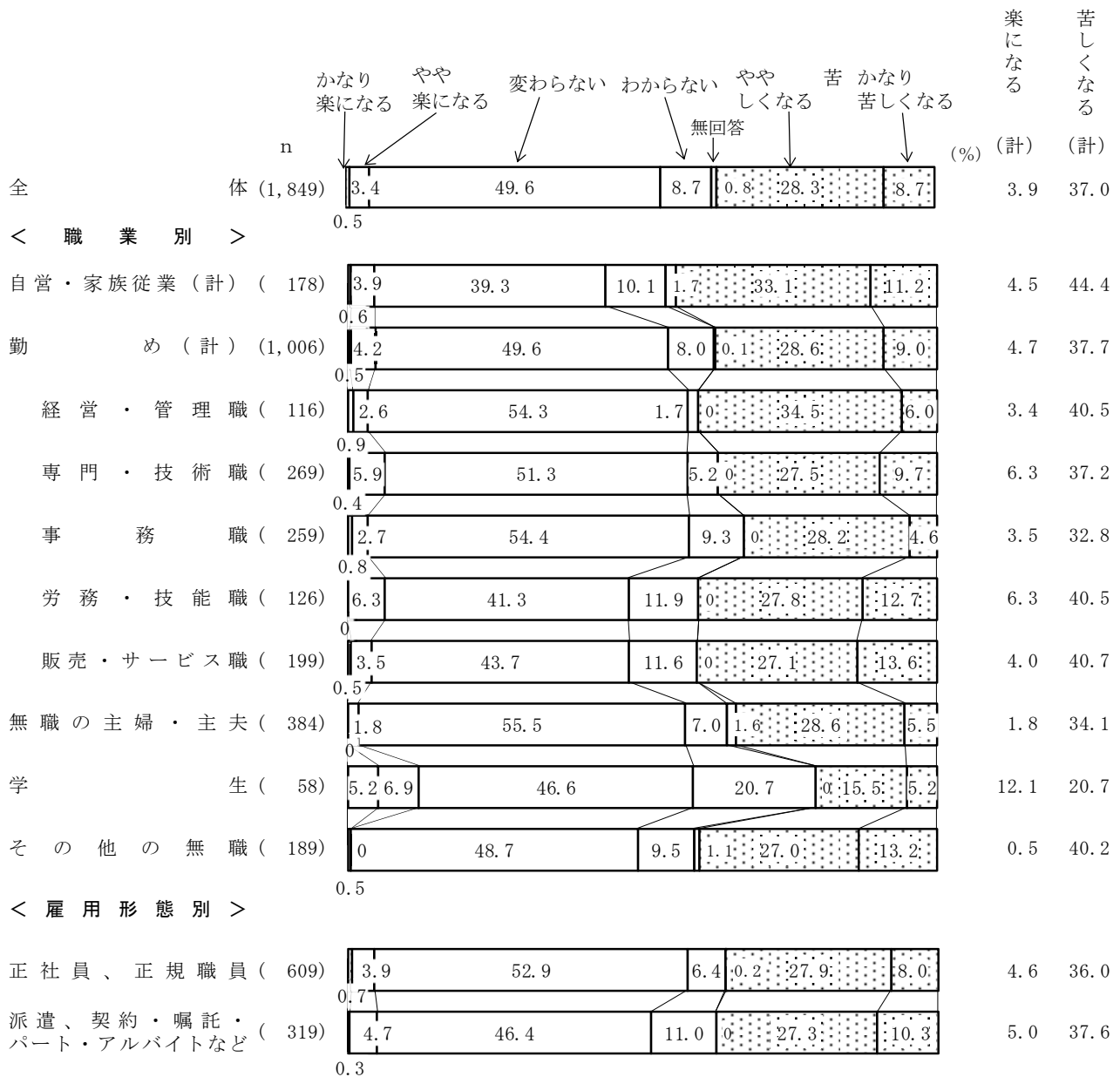


(注) 『楽になる (計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
『苦しくなる (計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

職業別にみると、『苦しくなる(計)』は自営・家族従業(計)で4割半ばと多くなっている。一方、『楽になる(計)』は学生で1割を超えている。

雇用形態別にみると、「変わらない」は正社員、正規職員で5割を超えて、派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなどよりも7ポイント高くなっている。(図1-4-4)

図1-4-4 これからの暮らしむき－職業別、雇用形態別

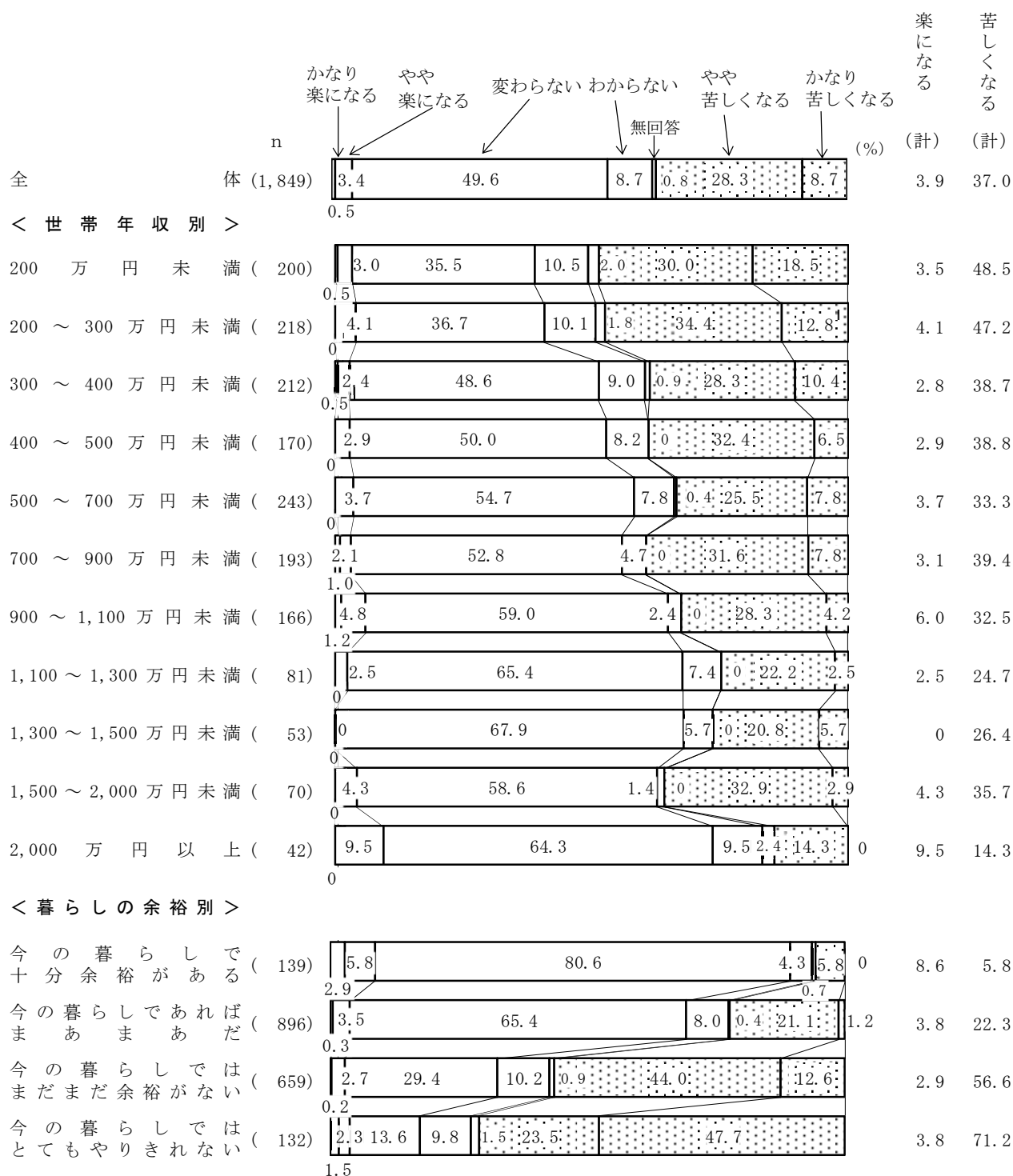


(注) 『楽になる(計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
『苦しくなる(計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

世帯年収別にみると、『苦しくなる（計）』は年収200万円未満で5割近くと多くなっている。

暮らしの余裕（問2 P9）との関係でみると、『苦しくなる（計）』は余裕の度合いが低くなるほど割合が高くなる傾向にあり、“今の暮らしではとてもやりきれない”と答えた人では7割を超え、“今の暮らしではまだまだ余裕がない”と答えた人では6割近くと多くなっている。（図1-4-5）

図1-4-5 これからの暮らしむき—世帯年収別、暮らしの余裕別



(注) 『楽になる (計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
『苦しくなる (計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

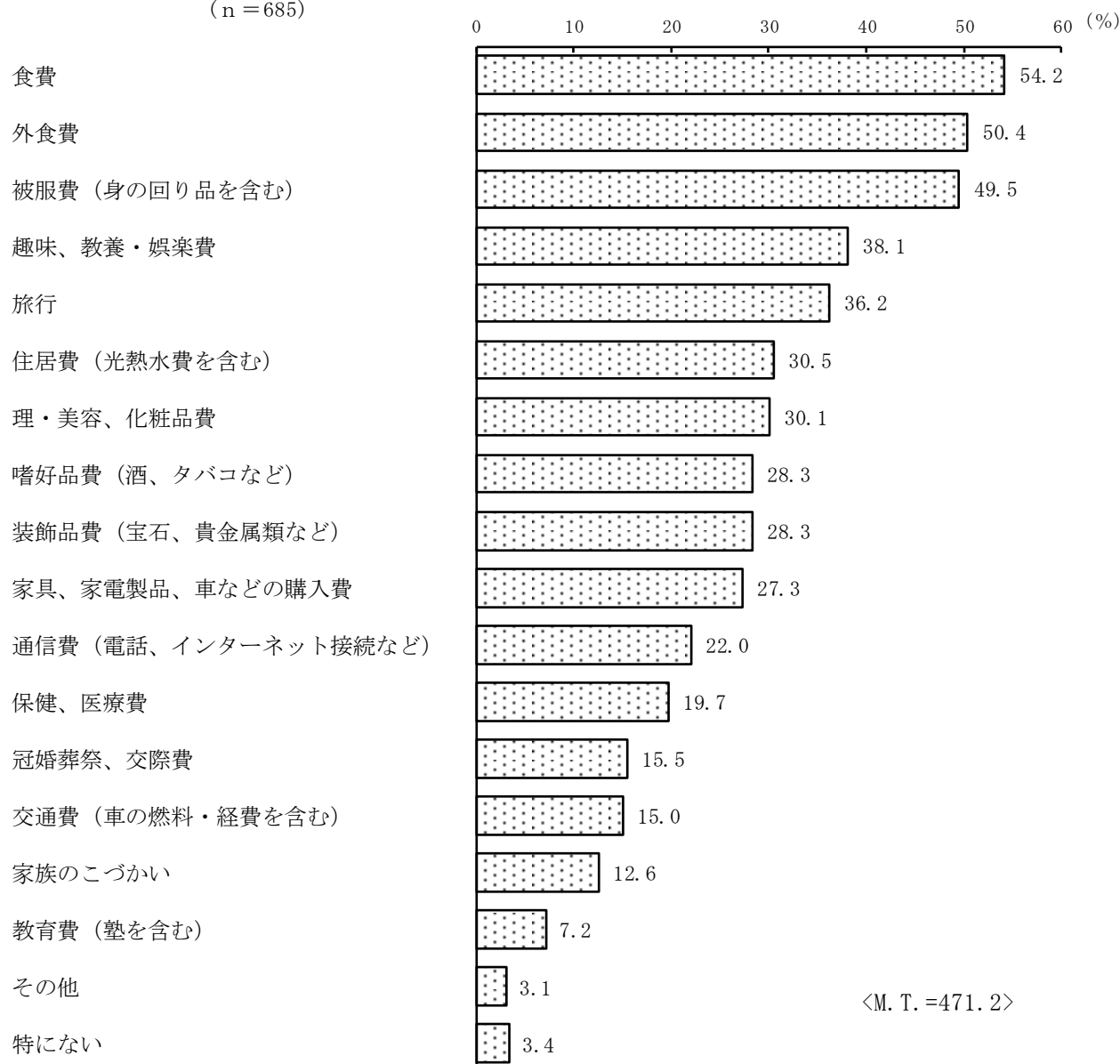
※1-5 今後切りつめていくもの

図1-5-1

(問4で「4 やや苦しくなる」「5 かなり苦しくなる」と答えた方に)

問4-1 では、今後、切りつめていこうと思うものがありますか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)

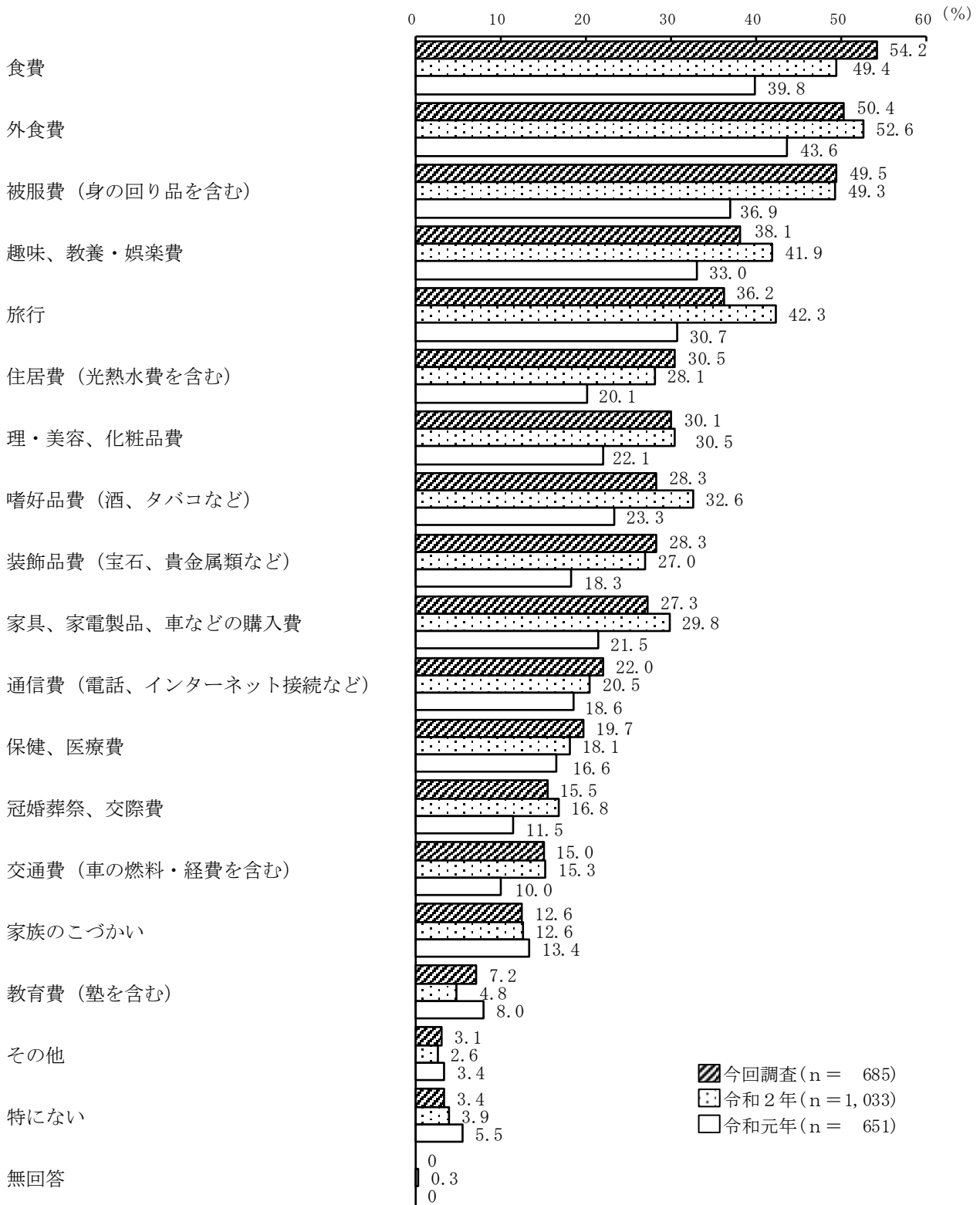
(n = 685)



これから1年間の暮らしむきが苦しくなると答えた人(685人)に、今後切りつめていこうと思うものを聞いたところ、「食費」が54%で最も多く、次いで「外食費」「被服費(身の回り品を含む)」50%、「趣味、教養・娯楽費」38%、「旅行」36%などの順となっている。(図1-5-1)

今後切りつめていくものを過去の調査結果と比較すると、「食費」は昨年よりも5ポイント増加している。一方、「旅行」は6ポイント減少している。(図1-5-2)

図1-5-2 今後切りつめていくもの—過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法 (インターネット回答併用) で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、女性は男性よりも「理・美容、化粧品費」が24ポイント高く、特に女性30代、40代で5割を超えて多くなっている。また、「装飾品費（宝石、貴金属類など）」も女性は男性より20ポイント高くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、「食費」は“下”と答えた人で7割近くと多くなっている。また、「被服費（身の回り品を含む）」も“下”と答えた人で6割を超えて多くなっている。（表1-5-1）

表1-5-1 今後切りつめていくもの一性・年齢別、生活程度別

(%)

		食費	外食費	被服費（身の回り品を含む）	趣味、教養・娯楽費	旅行	住居費（光熱水費を含む）	理・美容、化粧品費	嗜好品費（酒、タバコなど）	装飾品費（宝石、貴金属類など）	家具、家電製品、車などの購入費	通信費（電話、インターネット接続など）	保健、医療費	冠婚葬祭、交際費	交通費（車の燃料・経費を含む）	家族のこづかい	教育費（塾を含む）	その他	特にない
全 体	685	54.2	50.4	49.5	38.1	36.2	30.5	30.1	28.3	28.3	27.3	22.0	19.7	15.5	15.0	12.6	7.2	3.1	3.4
<性・年齢別>																			
男 性（計）	329	51.1	49.2	41.3	40.1	37.1	32.5	17.6	32.5	18.2	23.1	23.7	19.1	12.2	17.9	13.7	7.9	2.4	4.0
18・19歳	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
20代	20	45.0	60.0	30.0	30.0	35.0	20.0	20.0	45.0	20.0	25.0	20.0	5.0	5.0	25.0	5.0	5.0	10.0	5.0
30代	45	44.4	60.0	37.8	42.2	37.8	26.7	13.3	44.4	8.9	4.4	17.8	6.7	6.7	11.1	6.7	11.1	-	2.2
40代	45	57.8	57.8	35.6	57.8	40.0	24.4	22.2	40.0	15.6	20.0	28.9	6.7	6.7	15.6	17.8	13.3	-	2.2
50代	69	43.5	50.7	39.1	44.9	42.0	31.9	20.3	24.6	26.1	33.3	27.5	13.0	14.5	20.3	15.9	14.5	1.4	8.7
60代	67	58.2	44.8	49.3	35.8	32.8	43.3	11.9	28.4	20.9	23.9	28.4	22.4	11.9	17.9	11.9	-	4.5	3.0
70歳以上	82	53.7	39.0	45.1	31.7	35.4	34.1	19.5	29.3	15.9	25.6	18.3	39.0	18.3	18.3	17.1	4.9	2.4	2.4
女 性（計）	354	57.1	51.7	57.3	36.4	35.6	28.8	41.8	24.6	37.9	31.4	20.3	20.3	18.4	12.4	11.6	6.5	3.7	2.8
18・19歳	2	-	50.0	100.0	50.0	50.0	-	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-
20代	26	69.2	42.3	50.0	42.3	26.9	11.5	30.8	26.9	26.9	11.5	7.7	3.8	-	11.5	3.8	-	-	7.7
30代	58	50.0	56.9	67.2	44.8	27.6	20.7	51.7	27.6	36.2	25.9	17.2	13.8	20.7	15.5	15.5	8.6	3.4	1.7
40代	61	60.7	59.0	57.4	39.3	37.7	26.2	50.8	26.2	36.1	32.8	26.2	18.0	9.8	18.0	11.5	16.4	1.6	3.3
50代	63	44.4	47.6	57.1	39.7	34.9	33.3	36.5	27.0	44.4	38.1	23.8	11.1	15.9	12.7	14.3	7.9	4.8	4.8
60代	60	63.3	60.0	60.0	35.0	43.3	31.7	41.7	28.3	46.7	41.7	28.3	21.7	18.3	11.7	13.3	1.7	3.3	-
70歳以上	84	61.9	42.9	50.0	25.0	36.9	36.9	34.5	15.5	33.3	28.6	14.3	38.1	31.0	7.1	8.3	1.2	6.0	2.4
<生活程度別>																			
上	2	-	100.0	50.0	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
中の上	65	30.8	44.6	32.3	29.2	33.8	21.5	27.7	24.6	32.3	20.0	15.4	6.2	10.8	12.3	7.7	12.3	4.6	9.2
中の中	198	48.0	50.0	42.4	35.9	35.9	22.2	29.3	23.7	29.3	19.7	16.7	9.6	11.1	12.1	9.1	5.1	3.5	4.5
中の下	274	59.1	53.6	53.6	42.0	36.5	34.3	31.4	31.0	30.3	32.8	25.9	21.9	18.2	16.1	14.6	7.7	2.2	1.5
下	112	68.8	45.5	60.7	41.1	33.9	41.1	30.4	31.3	22.3	31.3	28.6	34.8	17.0	19.6	16.1	7.1	4.5	2.7

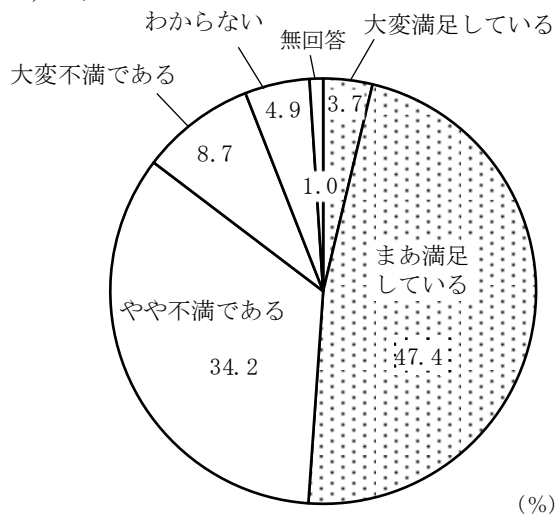
※1-6 生活満足度

図1-6-1

(全員の方に)

問5 あなたは、現在のご自分の生活に満足していますか。(○は1つ)

(n = 1,849)



満	不
足	満
(計)	(計)
51.1	42.9

(注) 『満足 (計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
 『不満 (計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

現在の生活に満足しているかどうか聞いたところ、『満足 (計)』は51%、『不満 (計)』は43%となっている。(図1-6-1)

生活満足度の過去の調査結果と比較すると、『満足(計)』は昨年よりも2ポイント増加し、『不満(計)』は2ポイント減少している。(図1-6-2)

なお、生活満足度の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料(P136 表3、P137 図4)に掲載している。

図1-6-2 生活満足度—過去の調査結果

n	%						満 足 (計)	不 満 (計)
	大変満足している	まあ満足している	わからない	無回答	やや不満である	大変不満である		
今回調査 (1,849)	3.7	47.4	4.9	1.0	34.2	8.7	51.1	42.9
令和2年 (2,273)	3.1	45.8	4.4	1.5	35.6	9.6	48.9	45.2
元年 (1,845)	4.4	48.8	6.3		33.2	7.3	53.2	40.5
平成30年 (1,856)	4.5	49.9	4.7		33.6	7.2	54.4	40.8
29年 (1,810)	4.5	49.4	5.8		33.3	7.0	54.0	40.2
28年 (1,805)	4.4	49.3	4.8		33.1	8.4	53.7	41.6
27年 (1,900)	3.0	47.8	4.1		35.9	9.1	50.8	45.1
26年 (1,850)	3.6	49.4	3.6		34.0	9.5	53.0	43.5
25年 (2,010)	4.3	49.5	4.9		32.6	8.7	53.8	41.3
24年 (2,002)	3.6	49.9	4.6		33.9	8.0	53.4	42.0

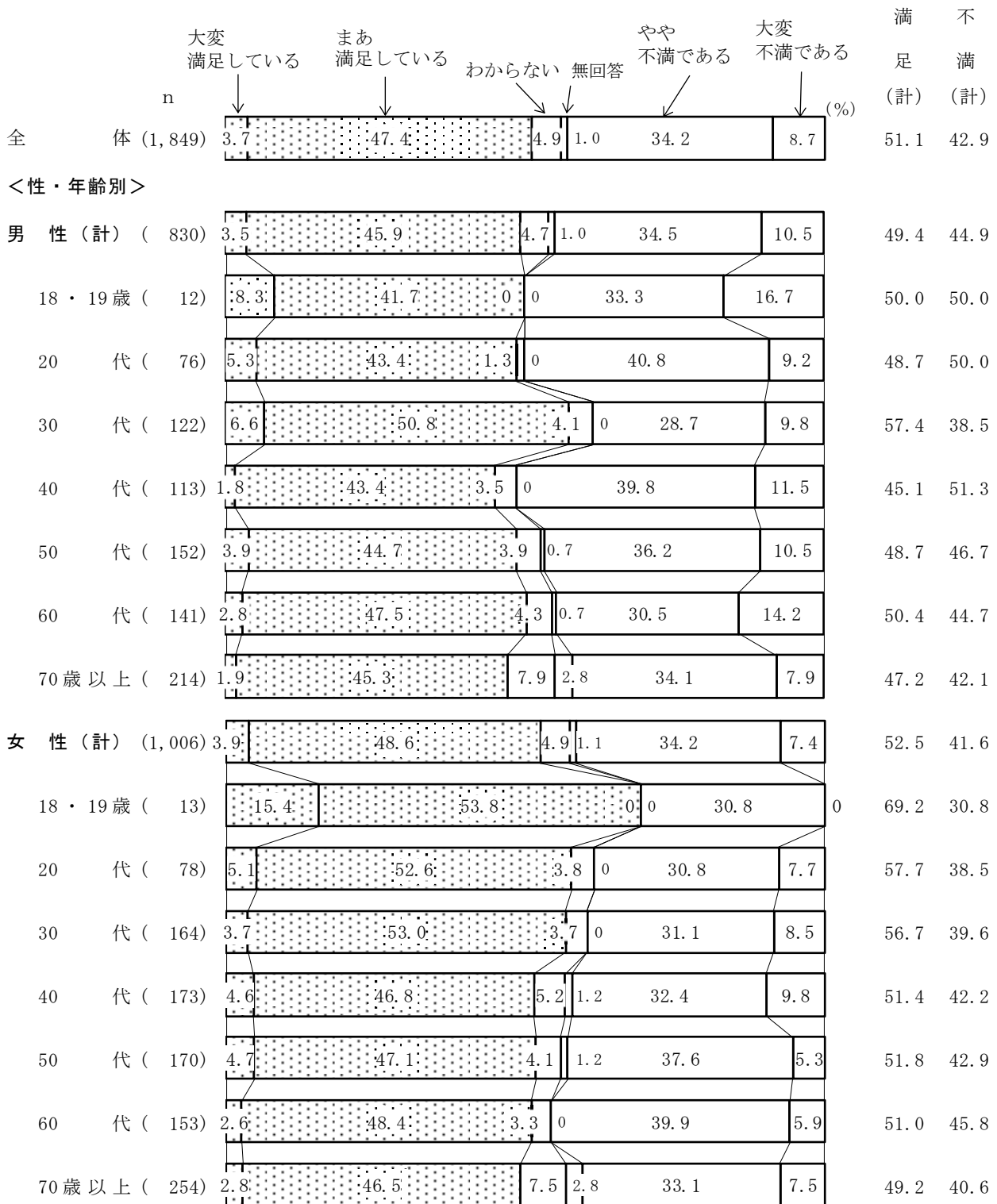
(注1) 『満足(計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計

『不満(計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、特に大きな差はみられない。(図1-6-3)

図1-6-3 生活満足度—性・年齢別



(注) 『満足 (計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計

『不満 (計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

住居形態別にみると、『満足（計）』は持家（計）で5割半ばとなっており、持家以外（計）よりも13ポイント高くなっている。一方、『不満（計）』は持家以外（計）で5割を超えて多くなっている。

世帯年収別にみると、『満足（計）』はおおむね年収が多くなるほど割合が高くなる傾向がある。一方、『不満（計）』はおおむね年収が少なくなるほど割合が高くなる傾向にあり、年収200万円未満の世帯で6割を超えて多くなっている。（図1-6-4）

図1-6-4 生活満足度－住居形態別、世帯年収別

n	生活満足度						満足（計）	不満（計）
	大変満足している	まあ満足している	わからない	無回答	やや不満である	大変不満である		
全体 (1,849)	3.7	47.4	4.9	1.0	34.2	8.7	51.1	42.9
< 住居形態別 >								
持家（計） (1,196)	3.8	51.6	4.7	1.1	31.6	7.2	55.4	38.8
持家（一戸建） (896)	4.0	51.8	5.0	1.0	31.7	6.5	55.8	38.2
持家（分譲マンションなど集合住宅） (300)	3.3	51.0	3.7	1.3	31.3	9.3	54.3	40.7
持家以外（計） (628)	3.5	39.0	5.3	0.8	39.6	11.8	42.5	51.4
民間の借家（一戸建） (43)	2.3	41.9	2.3	0	44.2	9.3	44.2	53.5
民間の借家（賃貸マンション・アパートなど集合住宅） (396)	3.5	38.9	4.3	0.5	39.4	13.4	42.4	52.8
都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅・アパート (103)	1.0	29.1	7.8	1.9	49.5	10.7	30.1	60.2
社宅・公務員住宅など給与住宅 (53)	7.5	66.0	1.9	0	17.0	7.5	73.6	24.5
住み込み・寮・寄宿舎など (9)	11.1	22.2	22.2	0	33.3	11.1	33.3	44.4
< 世帯年収別 >								
200万円未満 (200)	1.0	22.0	11.0	3.0	44.5	18.5	23.0	63.0
200～300万円未満 (218)	1.8	33.5	6.0	1.8	43.1	13.8	35.3	56.9
300～400万円未満 (212)	1.4	37.3	5.7	1.4	44.3	9.9	38.7	54.2
400～500万円未満 (170)	1.2	51.8	3.5	0.6	34.1	8.8	52.9	42.9
500～700万円未満 (243)	3.7	48.1	4.5	0.4	36.6	6.6	51.9	43.2
700～900万円未満 (193)	5.2	54.9	2.6	0	31.6	5.7	60.1	37.3
900～1,100万円未満 (166)	4.2	59.0	1.8	0.6	30.1	4.2	63.3	34.3
1,100～1,300万円未満 (81)	9.9	74.1	0	0	12.3	3.7	84.0	16.0
1,300～1,500万円未満 (53)	0	83.0	0	0	17.0	0	83.0	17.0
1,500～2,000万円未満 (70)	11.4	65.7	0	0	21.4	1.4	77.1	22.9
2,000万円以上 (42)	19.0	61.9	2.4	0	14.3	2.4	81.0	16.7

（注）『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

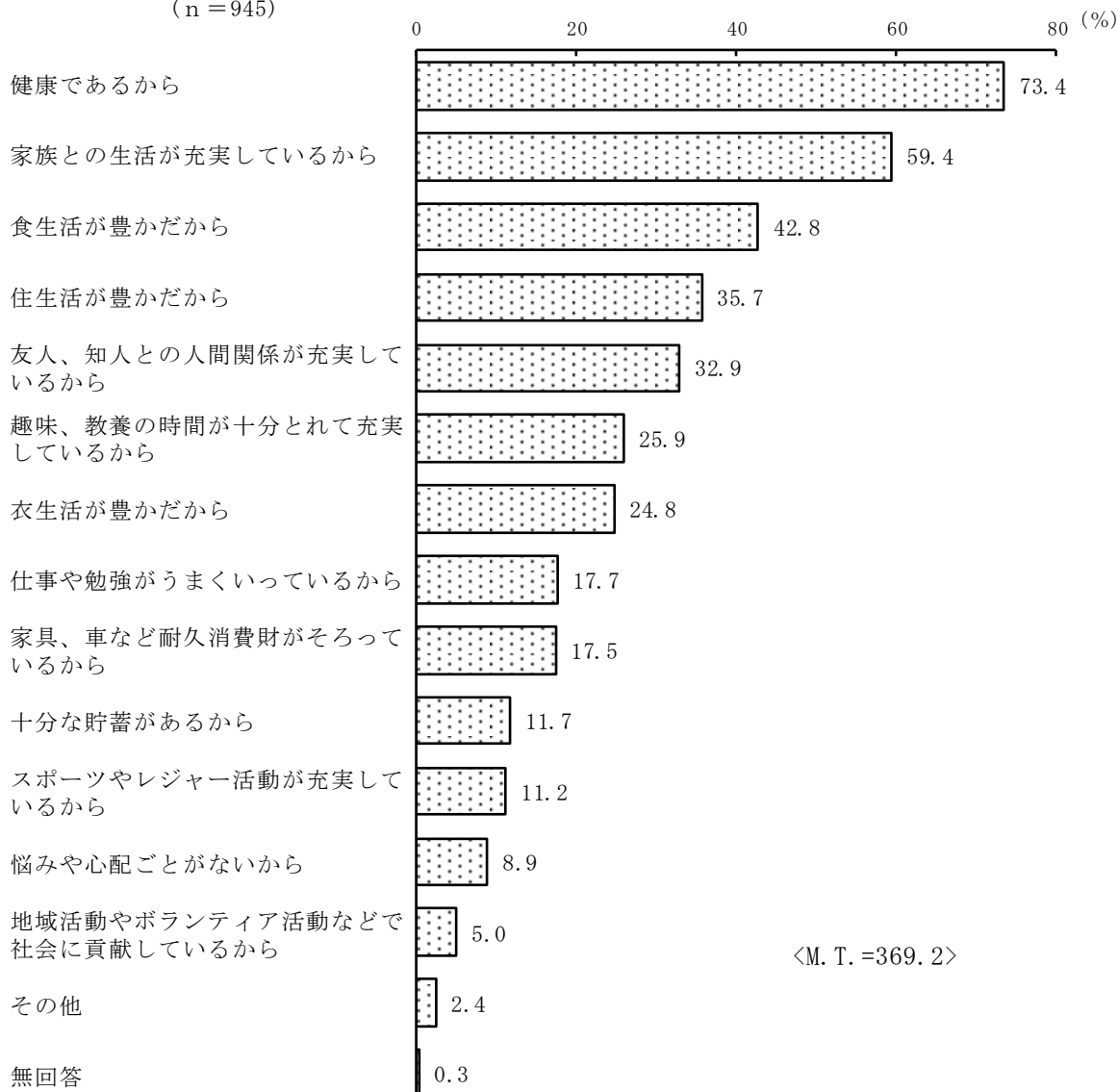
※1-7 満足の原因

図1-7-1

(問5で「1 大変満足している」「2 まあ満足している」と答えた方に)

問5-1 どのような理由で満足されていますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) (M. A.)

(n = 945)

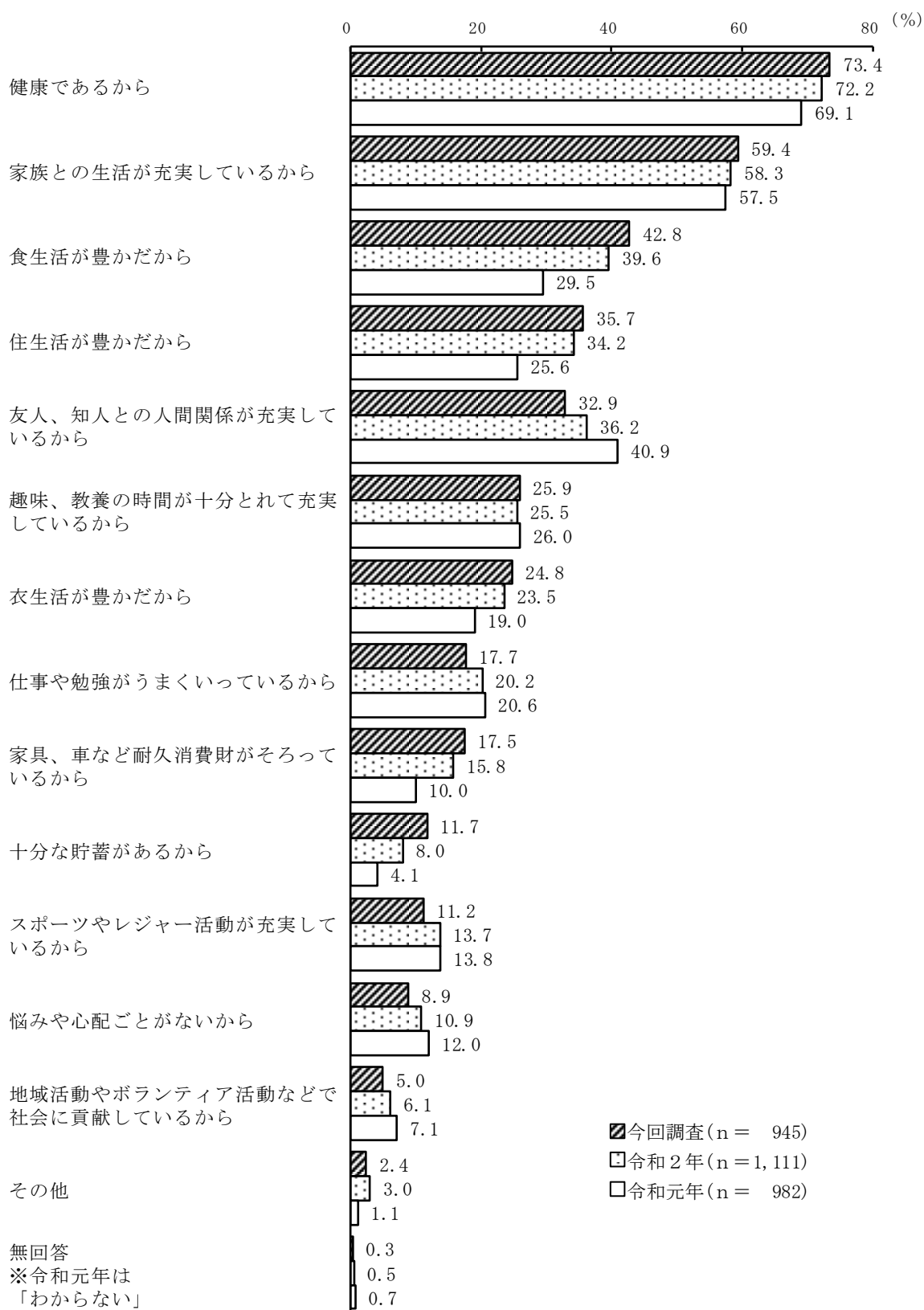


現在の生活に満足しているという人(945人)にその理由を聞いたところ、「健康であるから」が73%で最も多く、次いで「家族との生活が充実しているから」59%、「食生活が豊かだから」43%、「住生活豊かだから」36%、「友人、知人との人間関係が充実しているから」33%などの順となっている。

(図1-7-1)

満足の理由を過去の調査結果と比較すると、「食生活が豊かだから」は昨年よりも3ポイント増加している。(図1-7-2)

図1-7-2 満足の理由—過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、女性は男性よりも「友人、知人との人間関係が充実しているから」で14ポイント高くなっている。「家族との生活が充実しているから」は女性30代で7割を超え、「仕事や勉強がうまくいっているから」は男性30代、女性50代で3割を超えて多くなっている。

生活程度(問3 P14)との関係でみると、多くの項目で、生活程度が高いほど割合も高くなっている。

(表1-7-1)

表1-7-1 満足の理由－性・年齢別、生活程度別

(%)

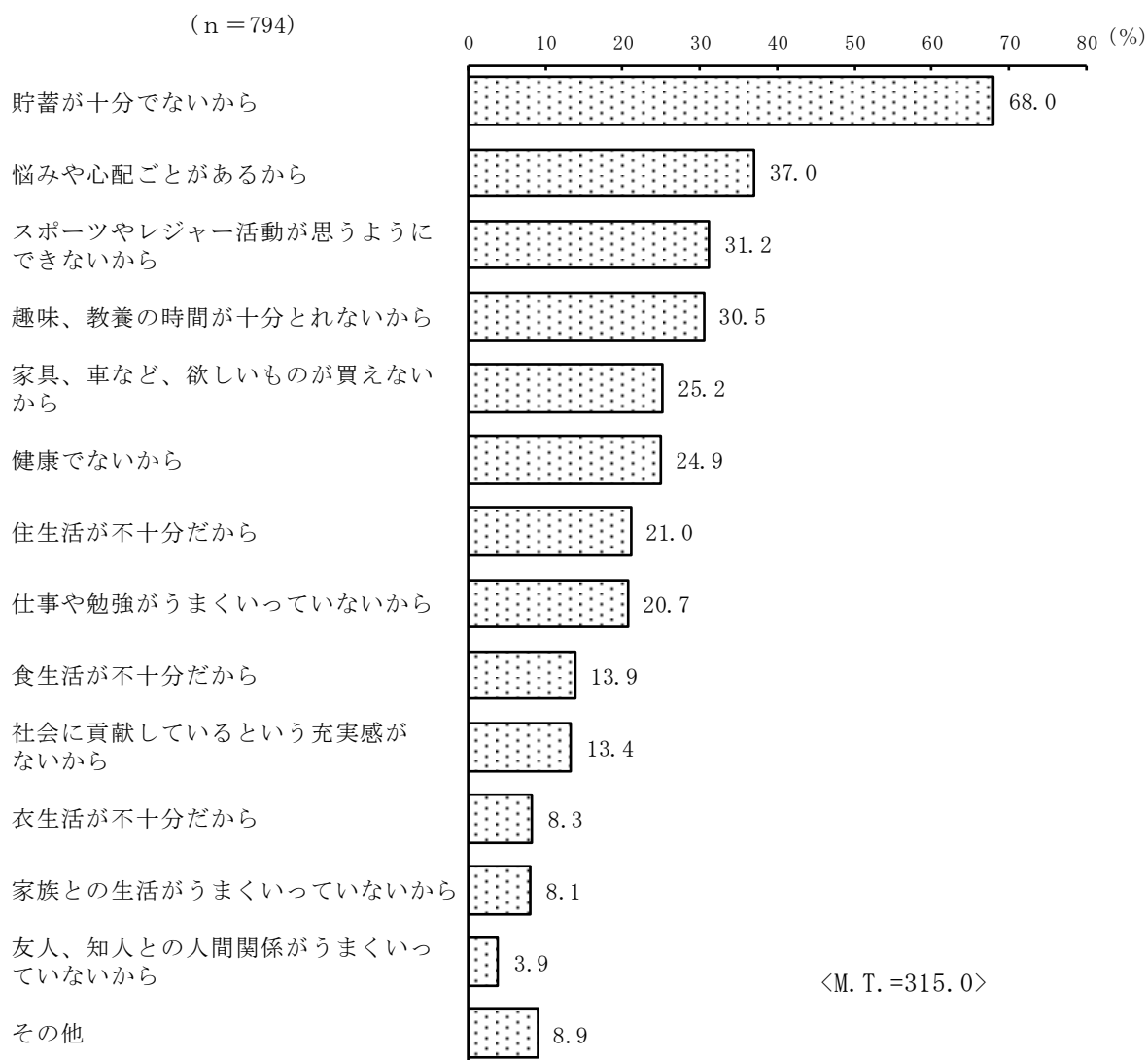
	n	健康であるから	家族との生活が充実しているから	食生活が豊かだから	住生活が豊かだから	友人、知人との人間関係が充実しているから	趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから	衣生活が豊かだから	仕事や勉強がうまくいっているから	家具、車など耐久消費財がそろっているから	十分な貯蓄があるから	スポーツやレジャー活動が充実しているから	悩みや心配ごとがないから	地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	その他	無回答
全体	945	73.4	59.4	42.8	35.7	32.9	25.9	24.8	17.7	17.5	11.7	11.2	8.9	5.0	2.4	0.3
< 性・年齢別 >																
男性(計)	410	72.7	52.9	41.5	36.1	25.1	30.2	24.6	21.5	19.0	14.6	12.0	11.0	5.4	1.2	0.2
18・19歳	6	100.0	50.0	50.0	33.3	83.3	50.0	50.0	33.3	16.7	-	-	16.7	-	-	-
20代	37	78.4	37.8	54.1	35.1	32.4	37.8	40.5	27.0	18.9	13.5	10.8	13.5	-	-	-
30代	70	78.6	57.1	52.9	47.1	22.9	30.0	32.9	32.9	18.6	18.6	12.9	11.4	-	-	-
40代	51	72.5	66.7	41.2	33.3	13.7	17.6	27.5	25.5	21.6	9.8	19.6	3.9	-	2.0	-
50代	74	56.8	45.9	39.2	32.4	21.6	27.0	23.0	20.3	17.6	12.2	8.1	8.1	6.8	1.4	-
60代	71	73.2	56.3	45.1	29.6	19.7	35.2	16.9	22.5	18.3	12.7	11.3	8.5	11.3	1.4	-
70歳以上	101	76.2	51.5	27.7	37.6	32.7	31.7	16.8	8.9	19.8	18.8	11.9	16.8	8.9	2.0	1.0
女性(計)	528	74.8	64.4	43.8	35.0	38.8	22.3	24.6	14.8	16.3	9.7	10.8	7.2	4.7	3.4	0.4
18・19歳	9	77.8	77.8	88.9	44.4	55.6	22.2	77.8	-	11.1	-	-	11.1	-	-	-
20代	45	77.8	68.9	48.9	42.2	42.2	26.7	35.6	13.3	17.8	4.4	6.7	-	2.2	-	-
30代	93	74.2	72.0	52.7	37.6	36.6	12.9	29.0	7.5	12.9	6.5	2.2	1.1	-	3.2	-
40代	89	78.7	69.7	48.3	32.6	31.5	13.5	24.7	25.8	14.6	9.0	7.9	2.2	1.1	-	-
50代	88	72.7	67.0	46.6	33.0	39.8	27.3	28.4	33.0	19.3	10.2	14.8	5.7	5.7	3.4	1.1
60代	78	67.9	60.3	34.6	34.6	41.0	26.9	17.9	12.8	15.4	11.5	12.8	10.3	12.8	9.0	-
70歳以上	125	76.8	53.6	32.8	33.6	41.6	28.0	15.2	2.4	18.4	13.6	17.6	16.8	6.4	3.2	0.8
< 生活程度別 >																
上	25	88.0	72.0	60.0	60.0	48.0	40.0	52.0	48.0	36.0	56.0	36.0	24.0	8.0	-	-
中の上	264	74.2	63.3	58.3	46.2	33.3	31.1	35.6	22.7	22.7	19.3	15.5	11.4	4.9	0.8	-
中の中	474	73.4	60.1	43.5	34.8	33.5	24.3	23.8	15.2	16.7	8.2	8.6	7.0	5.1	2.7	0.4
中の下	131	73.3	55.0	15.3	18.3	26.7	20.6	6.9	12.2	11.5	4.6	9.9	6.9	4.6	3.1	-
下	15	40.0	20.0	20.0	13.3	26.7	26.7	13.3	6.7	-	-	-	6.7	6.7	20.0	-

※1-8 不満の理由

図1-8-1

(問5で「3 やや不満である」「4 大変不満である」と答えた方に)

問5-2 どのような理由で不満であると感じていますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)



現在の生活に不満であるという人(794人)にその理由を聞いたところ、「貯蓄が十分でないから」が68%で最も多く、次いで「悩みや心配ごとがあるから」37%、「スポーツやレジャー活動が思うようにできないから」「趣味、教養の時間が十分とれないから」31%、「家具、車など、欲しいものが買えないから」「健康でないから」25%などの順となっている。(図1-8-1)

不満の理由を過去の調査結果と比較すると、昨年とは特に大きな差はみられない。(表1-8-1)

表1-8-1 不満の理由—過去の調査結果

(%)

	n	貯蓄が十分でないから	悩みや心配ごとがあるから	スポーツやレジャー活動が思うようにできないから	趣味、教養の時間が十分とれないから	家具、車など、欲しいものが買えないから	健康でないから	住生活が不十分だから	仕事や勉強がうまくいっていないから	食生活が不十分だから	社会に貢献しているという充実感がないから	衣生活が不十分だから	家族との生活がうまくいっていないから	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	その他	無回答 (※令和元年以前は「わからない」)
今回調査	794	68.0	37.0	31.2	30.5	25.2	24.9	21.0	20.7	13.9	13.4	8.3	8.1	3.9	8.9	-
令和2年	1,028	69.1	36.6	32.0	31.9	25.1	26.1	19.9	23.4	14.7	15.7	10.5	8.9	5.8	7.3	0.2
元年	747	68.0	26.0	15.4	25.8	20.9	22.9	18.1	15.7	12.4	9.5	8.6	5.4	1.9	6.8	0.9
平成30年	758	64.0	26.1	18.9	27.8	21.6	26.6	16.8	13.9	9.9	7.7	7.4	7.3	1.7	6.6	0.9
29年	728	64.0	30.1	21.0	29.7	22.5	23.2	15.4	19.9	9.6	8.4	7.8	6.2	2.5	5.1	1.4
28年	750	63.1	24.1	16.5	27.1	19.2	24.9	21.5	15.2	12.4	9.9	10.1	6.1	2.0	5.2	1.1
27年	856	65.5	24.1	17.4	28.2	19.9	23.1	17.8	14.6	13.8	10.0	7.6	5.1	2.7	5.3	1.3
26年	804	71.5	25.9	18.4	28.2	23.5	25.0	19.9	16.0	14.1	8.1	10.4	5.2	2.1	5.3	0.9
25年	830	66.9	26.1	17.5	25.8	24.5	22.0	19.5	16.9	10.6	9.3	7.3	5.1	2.3	6.4	2.4
24年	840	63.7	28.2	17.3	27.1	21.1	25.5	18.1	16.3	11.8	9.0	9.9	6.7	2.1	5.2	2.5

(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「悩みや心配ごとがあるから」は女性で4割半ばと男性より14ポイント高くなっている。「健康でないから」は男性70歳以上で5割を超えて多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、多くの項目で、生活程度が低いほど割合が高くなる傾向にある。（表1-8-2）

表1-8-2 不満の理由－性・年齢別、生活程度別

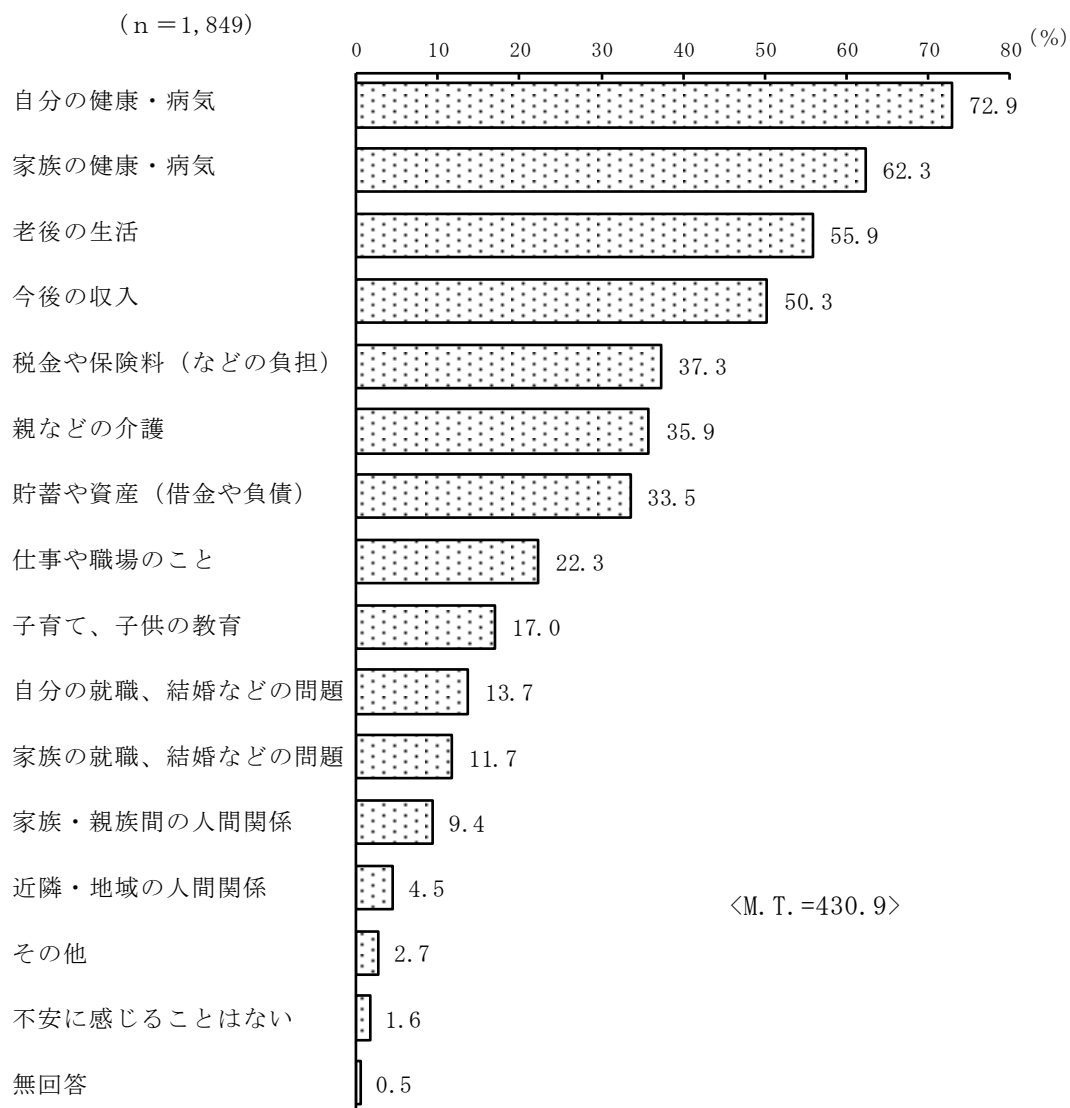
		(%)														
		n	貯蓄が十分でないから	悩みや心配ごとがあるから	スポーツやレジャー活動が思うようにできないから	趣味、教養の時間が十分とれないから	家具、車など、欲しいものが買えないから	健康でないから	住生活が不十分だから	仕事や勉強がうまくいっていないから	食生活が不十分だから	社会に貢献しているという充実感がないから	衣生活が不十分だから	家族との生活がうまくいっていないから	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	その他
全	体	794	68.0	37.0	31.2	30.5	25.2	24.9	21.0	20.7	13.9	13.4	8.3	8.1	3.9	8.9
< 性・年齢別 >																
男	性（計）	373	70.5	29.8	30.6	31.9	26.3	23.1	22.3	24.1	17.7	13.7	9.7	6.4	3.8	6.2
	18・19歳	6	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-
	20代	38	73.7	26.3	39.5	42.1	39.5	5.3	13.2	28.9	13.2	2.6	10.5	-	10.5	5.3
	30代	47	80.9	36.2	29.8	29.8	31.9	8.5	29.8	27.7	10.6	10.6	10.6	10.6	4.3	4.3
	40代	58	74.1	39.7	34.5	43.1	37.9	13.8	22.4	34.5	15.5	12.1	12.1	12.1	5.2	5.2
	50代	71	67.6	33.8	28.2	39.4	26.8	15.5	19.7	32.4	9.9	15.5	2.8	4.2	1.4	8.5
	60代	63	73.0	23.8	27.0	27.0	22.2	22.2	30.2	19.0	30.2	14.3	15.9	-	3.2	7.9
	70歳以上	90	64.4	23.3	28.9	20.0	13.3	52.2	20.0	10.0	23.3	20.0	8.9	7.8	2.2	5.6
女	性（計）	418	65.8	43.8	32.1	29.4	24.4	26.6	19.9	17.7	10.5	12.9	7.2	9.6	4.1	11.5
	18・19歳	4	50.0	50.0	25.0	25.0	75.0	-	-	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	-
	20代	30	83.3	50.0	33.3	36.7	33.3	20.0	16.7	40.0	13.3	16.7	6.7	20.0	13.3	3.3
	30代	65	66.2	41.5	27.7	40.0	30.8	15.4	20.0	23.1	7.7	10.8	6.2	12.3	3.1	12.3
	40代	73	68.5	39.7	31.5	32.9	32.9	19.2	28.8	23.3	16.4	6.8	16.4	8.2	4.1	12.3
	50代	73	69.9	46.6	32.9	37.0	32.9	13.7	23.3	21.9	2.7	12.3	2.7	12.3	4.1	9.6
	60代	70	65.7	41.4	34.3	14.3	11.4	37.1	20.0	11.4	11.4	12.9	1.4	7.1	1.4	17.1
	70歳以上	103	56.3	45.6	33.0	23.3	12.6	43.7	12.6	4.9	12.6	18.4	7.8	4.9	2.9	10.7
< 生活程度別 >																
	上	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0
	中の上	47	40.4	38.3	36.2	29.8	14.9	10.6	14.9	21.3	2.1	10.6	2.1	8.5	2.1	14.9
	中の中	205	56.1	32.7	29.8	32.2	18.0	17.1	11.7	20.0	5.4	10.2	2.0	6.8	2.9	8.8
	中の下	350	75.1	39.7	31.4	32.6	30.3	26.6	21.1	18.9	13.7	14.0	7.7	6.0	3.7	8.0
	下	144	81.9	37.5	29.9	26.4	28.5	34.0	35.4	28.5	29.2	17.4	20.1	11.1	5.6	11.1

※1-9 今後の生活の不安

図1-9-1

(全員の方に)

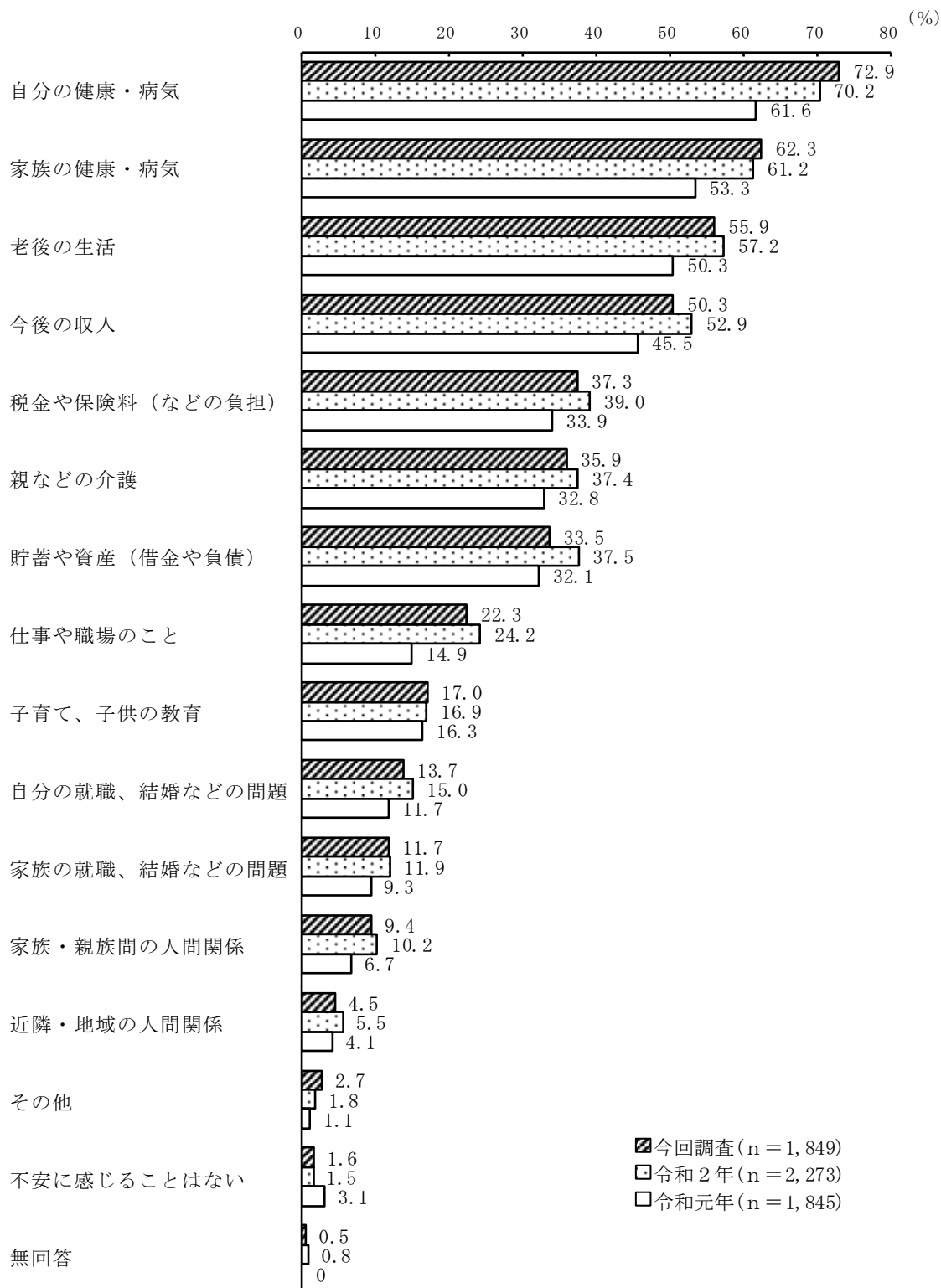
問6 あなたが、今後の生活を考えたとき、不安に感じることはありませんか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)



今後の生活で不安に感じることを聞いたところ、「自分の健康・病気」が73%で最も多く、次いで「家族の健康・病気」62%、「老後の生活」56%、「今後の収入」50%、「税金や保険料 (などの負担)」37%、「親などの介護」36%、「貯蓄や資産 (借金や負債)」34%などの順となっている。(図1-9-1)

今後の生活の不安を過去の調査結果と比較すると、「自分の健康・病気」は昨年よりも3ポイント増加している。一方、「貯蓄や資産（借金や負債）」は4ポイント減少している。（図1-9-2）

図1-9-2 今後の生活の不安－過去の調査結果



（注）令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「自分の健康・病気」は年齢が高くなるほど割合が高くなっており、男女とも60代以上で8割台と多くなっている。「老後の生活」は男性60代、女性50代で7割半ばと多くなっている。「今後の収入」は女性20代で7割を超え、「子育て、子供の教育」は女性30代で5割を超えて多くなっている。(表1-9-1)

表1-9-1 今後の生活の不安－性・年齢別

(%)

	n	自分の健康・病気	家族の健康・病気	老後の生活	今後の収入	税金や保険料(などの負担)	親などの介護	貯蓄や資産(借金や負債)	仕事や職場のこと	子育て、子供の教育	自分の就職、結婚などの問題	家族の就職、結婚などの問題	家族・親族間の人間関係	近隣・地域の人間関係	その他	不安に感じることはない	無回答
全 体	1,849	72.9	62.3	55.9	50.3	37.3	35.9	33.5	22.3	17.0	13.7	11.7	9.4	4.5	2.7	1.6	0.5
< 性・年齢別 >																	
男 性 (計)	830	70.4	58.1	53.6	51.1	40.1	31.9	35.9	23.9	15.7	13.7	10.6	8.8	3.7	2.4	1.6	0.7
18・19 歳	12	25.0	8.3	8.3	50.0	41.7	8.3	16.7	16.7	8.3	50.0	-	8.3	-	8.3	-	-
20 代	76	36.8	39.5	22.4	56.6	48.7	40.8	42.1	34.2	14.5	53.9	7.9	3.9	3.9	1.3	1.3	-
30 代	122	57.4	53.3	28.7	56.6	41.8	45.1	48.4	30.3	33.6	27.0	5.7	15.6	3.3	2.5	2.5	-
40 代	113	63.7	67.3	55.8	59.3	50.4	56.6	49.6	38.1	41.6	15.0	11.5	10.6	7.1	1.8	-	0.9
50 代	152	75.7	63.8	65.1	62.5	38.2	46.1	41.4	34.2	16.4	5.9	15.1	8.6	3.3	2.6	2.0	0.7
60 代	141	80.1	57.4	75.2	55.3	35.5	26.2	33.3	18.4	2.8	3.5	15.6	6.4	2.1	2.1	0.7	0.7
70 歳以上	214	85.5	61.7	57.9	30.8	35.0	3.3	18.2	5.6	0.5	1.4	7.9	7.5	3.7	2.8	2.3	1.4
女 性 (計)	1,006	74.9	65.9	57.9	50.1	35.3	39.5	32.0	21.4	18.3	13.8	12.7	9.9	5.1	3.0	1.6	0.3
18・19 歳	13	46.2	69.2	-	76.9	30.8	30.8	30.8	30.8	7.7	84.6	-	7.7	-	-	-	-
20 代	78	52.6	62.8	30.8	70.5	46.2	44.9	52.6	39.7	24.4	50.0	6.4	15.4	7.7	-	2.6	-
30 代	164	63.4	65.2	48.8	57.9	42.1	54.9	50.0	35.4	51.2	25.0	6.7	12.2	5.5	3.7	-	-
40 代	173	70.5	63.6	61.3	59.0	39.9	68.8	45.1	30.1	33.5	17.3	14.5	10.4	3.5	1.7	2.9	-
50 代	170	73.5	69.4	75.9	65.9	34.7	62.9	33.5	27.1	11.8	6.5	22.4	9.4	4.7	0.6	0.6	0.6
60 代	153	83.7	69.9	71.9	44.4	35.9	20.9	22.9	13.1	0.7	3.3	16.3	9.8	2.6	3.9	2.0	-
70 歳以上	254	89.0	63.8	52.4	24.4	24.8	3.9	9.8	1.6	0.4	0.8	9.4	7.1	7.1	5.5	2.0	0.8

世帯年収別にみると、「自分の健康・病気」は年収300万円未満の世帯で8割を超えて多くなっている。「親などの介護」は年収1,300～2,000万円未満の世帯で5割半ば以上と多くなっている。

生活満足度（問5 P26）との関係でみると、『不満（計）』は『満足（計）』よりも「今後の収入」が31ポイント、「貯蓄や資産（借金や負債）」が26ポイント、「税金や保険料（などの負担）」が22ポイント高くなっている。（表1-9-2）

表1-9-2 今後の生活の不安－世帯年収別、生活満足度別

		(%)															
	n	自分の健康・病気	家族の健康・病気	老後の生活	今後の収入	税金や保険料（などの負担）	親などの介護	貯蓄や資産（借金や負債）	仕事や職場のこと	子育て、子供の教育	自分の就職、結婚などの問題	家族の就職、結婚などの問題	家族・親族間の人間関係	近隣・地域の人間関係	その他	不安に感じることはない	無回答
全 体	1,849	72.9	62.3	55.9	50.3	37.3	35.9	33.5	22.3	17.0	13.7	11.7	9.4	4.5	2.7	1.6	0.5
< 世帯年収別 >																	
200万円未満	200	82.0	41.5	64.0	49.0	37.5	16.5	25.0	17.5	6.5	12.5	8.0	7.5	7.5	4.0	1.5	0.5
200～300万円未満	218	82.6	61.5	63.3	54.6	45.4	22.0	33.5	21.1	7.8	16.1	10.1	6.0	4.6	2.8	0.5	0.5
300～400万円未満	212	78.3	63.7	59.9	54.7	38.7	27.4	35.4	20.8	9.0	14.6	9.9	10.8	5.7	3.8	1.4	0.9
400～500万円未満	170	78.8	65.3	58.8	52.4	38.2	29.4	32.4	21.2	14.1	17.1	11.2	12.4	3.5	2.9	1.2	0.6
500～700万円未満	243	66.3	65.4	55.1	52.7	39.1	41.6	39.5	25.1	19.3	13.2	16.0	13.6	2.9	2.5	1.2	0.8
700～900万円未満	193	66.3	66.3	57.0	54.4	38.9	51.3	39.4	25.4	33.2	9.8	10.9	8.3	2.6	2.6	1.0	-
900～1,100万円未満	166	67.5	64.5	51.8	48.8	30.1	47.6	41.0	23.5	33.1	9.6	14.5	12.7	5.4	1.2	1.2	-
1,100～1,300万円未満	81	64.2	65.4	45.7	42.0	27.2	45.7	25.9	19.8	30.9	4.9	8.6	7.4	2.5	2.5	3.7	-
1,300～1,500万円未満	53	62.3	66.0	49.1	45.3	26.4	54.7	26.4	28.3	32.1	3.8	15.1	3.8	1.9	3.8	3.8	1.9
1,500～2,000万円未満	70	70.0	72.9	51.4	38.6	32.9	58.6	35.7	22.9	28.6	5.7	18.6	7.1	1.4	-	2.9	-
2,000万円以上	42	69.0	64.3	40.5	23.8	21.4	47.6	23.8	26.2	9.5	7.1	14.3	9.5	2.4	2.4	-	-
< 生活満足度別 >																	
大変満足している	69	59.4	71.0	24.6	23.2	21.7	36.2	14.5	15.9	13.0	11.6	7.2	7.2	4.3	4.3	8.7	-
まあ満足している	876	73.7	66.4	50.7	37.8	28.0	38.7	23.3	19.4	18.8	11.0	10.3	7.9	4.2	1.8	2.1	0.6
やや不満である	633	72.0	60.2	65.1	65.1	45.8	34.4	46.3	25.4	16.9	14.2	13.9	11.1	4.4	3.0	0.2	0.2
大変不満である	161	73.3	49.1	64.0	79.5	62.7	30.4	57.1	36.0	16.1	28.6	16.1	13.7	5.6	5.6	-	0.6
満足（計）	945	72.7	66.8	48.8	36.7	27.5	38.5	22.6	19.2	18.4	11.0	10.1	7.8	4.2	2.0	2.5	0.5
不満（計）	794	72.3	57.9	64.9	68.0	49.2	33.6	48.5	27.6	16.8	17.1	14.4	11.6	4.7	3.5	0.1	0.3

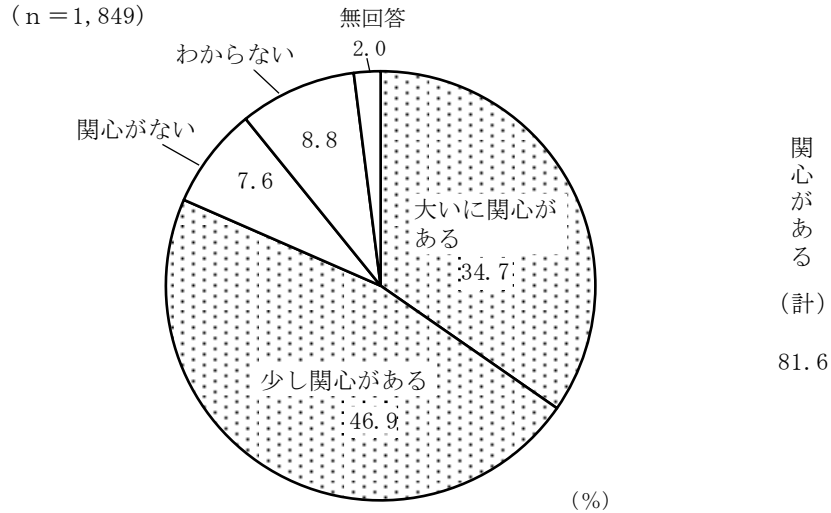
（注）『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計

『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

※1-10 税金への関心度とその内容

図1-10-1
(全員の方に)

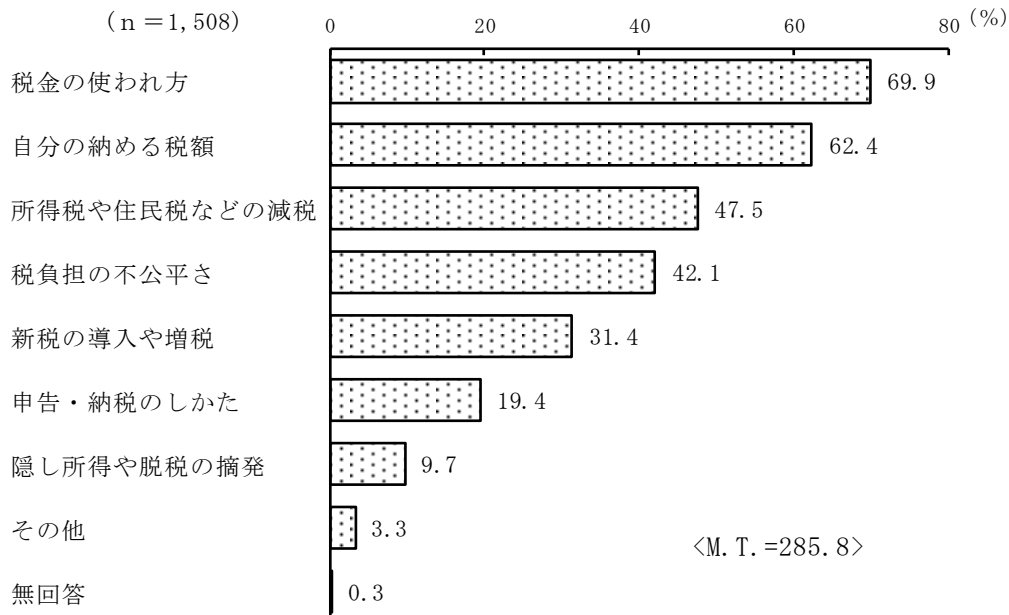
問7 あなたは、税金について関心がありますか。(○は1つ)



(注)『関心がある (計)』は「大いに興味がある」「少し興味がある」の合計

(問7で「1 大いに興味がある」「2 少し興味がある」と答えた方に)

問7-1 では、今、あなたが関心をもっているのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも) (M. A.)

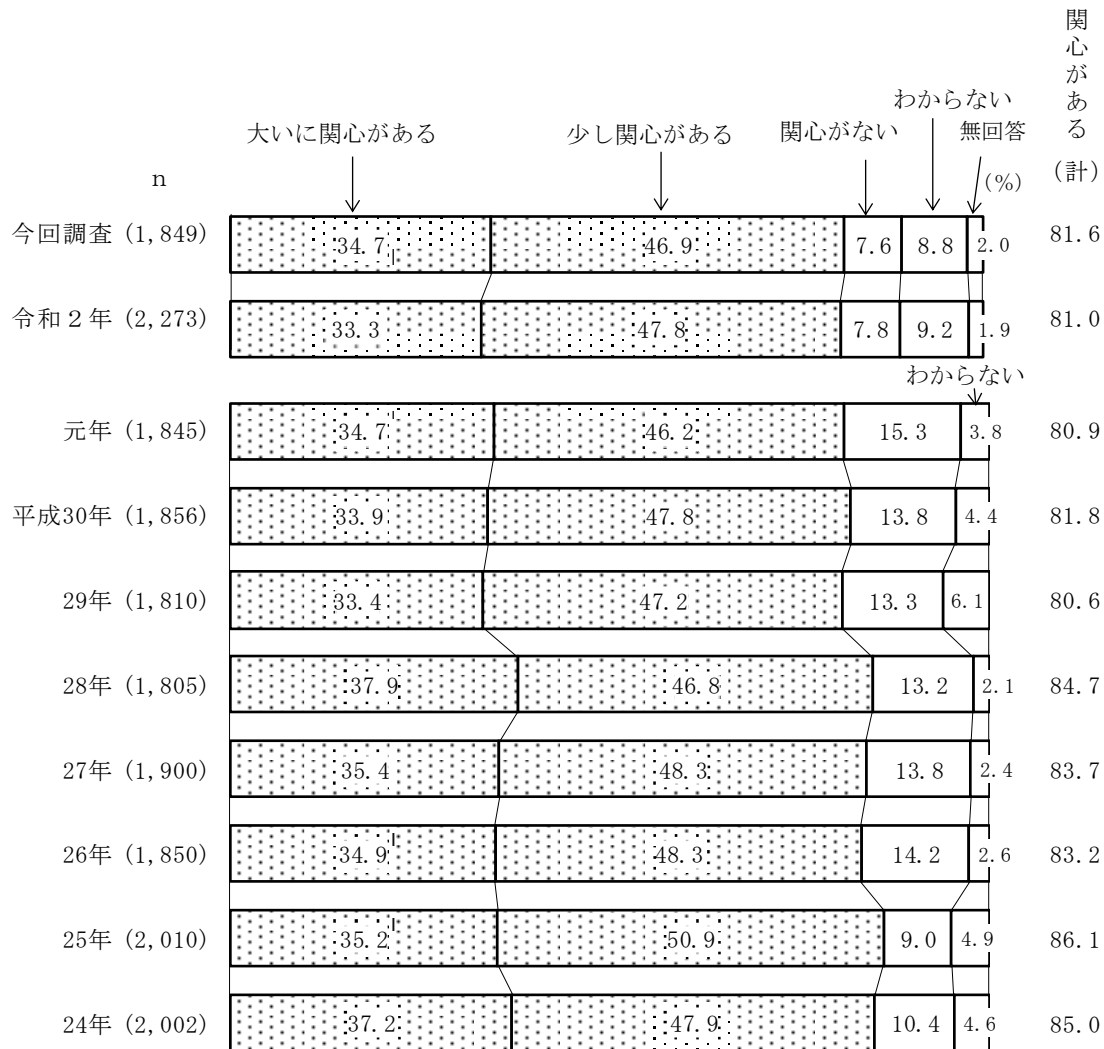


税金について関心があるかどうか聞いたところ、『関心がある (計)』は82%、「関心がない」は8%となっている。

税金に『関心がある (計)』と答えた人 (1,508人) にその内容を聞いたところ、「税金の使われ方」70%が最も多く、次いで「自分の納める税額」62%、「所得税や住民税などの減税」48%などの順となっている。(図1-10-1)

税金への関心度を過去の調査結果と比較すると、昨年と大きな差はみられない。(図1-10-2)

図1-10-2 税金への関心度—過去の調査結果



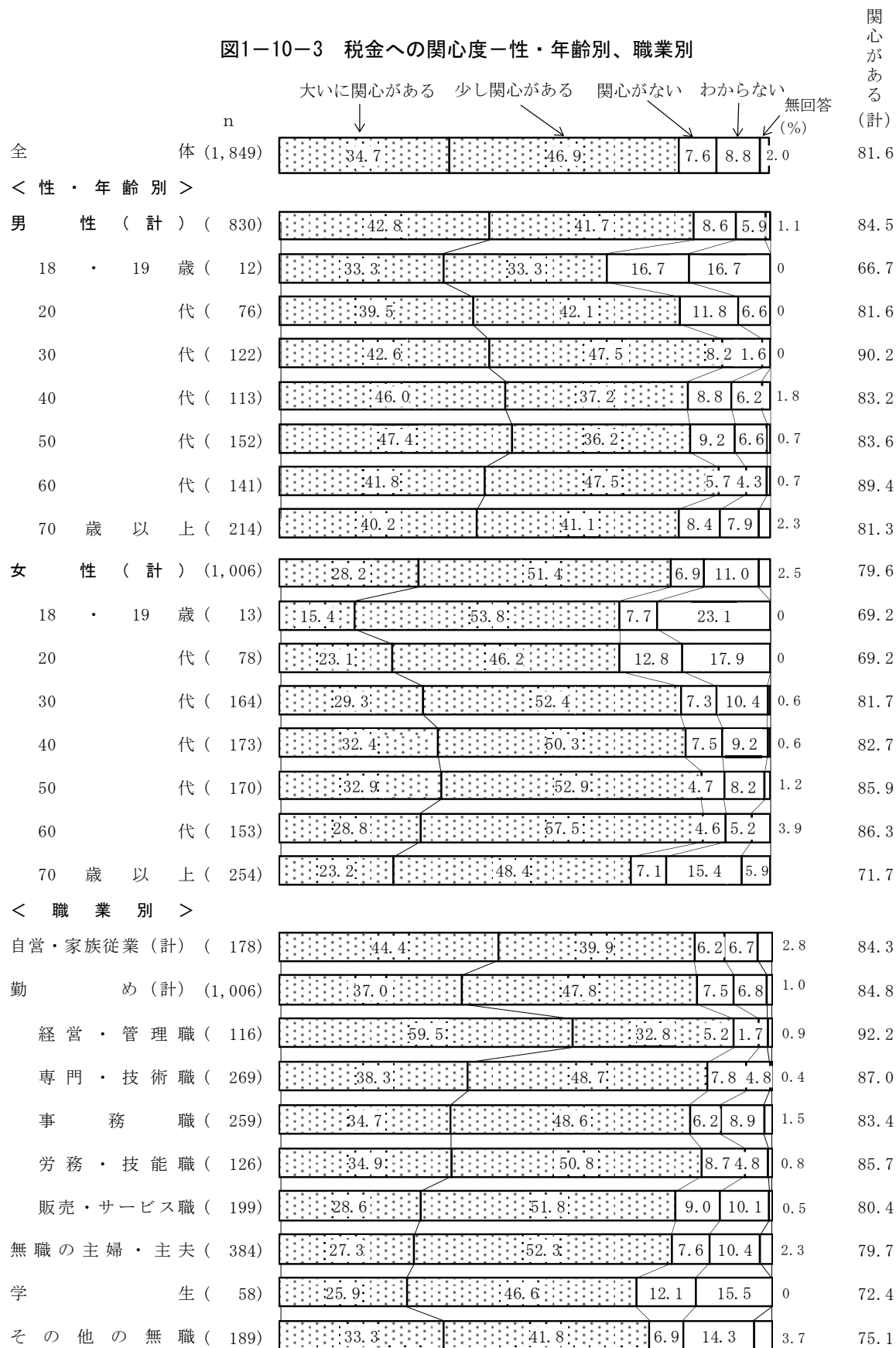
(注1) 『関心がある (計)』は「大いに興味がある」「少し興味がある」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、男性は女性よりも『関心がある（計）』が5ポイント高くなっている。男性30代、60代で9割前後と多くなっている。

職業別にみると、『関心がある（計）』は経営・管理職で9割を超えて多くなっている（図1-10-3）

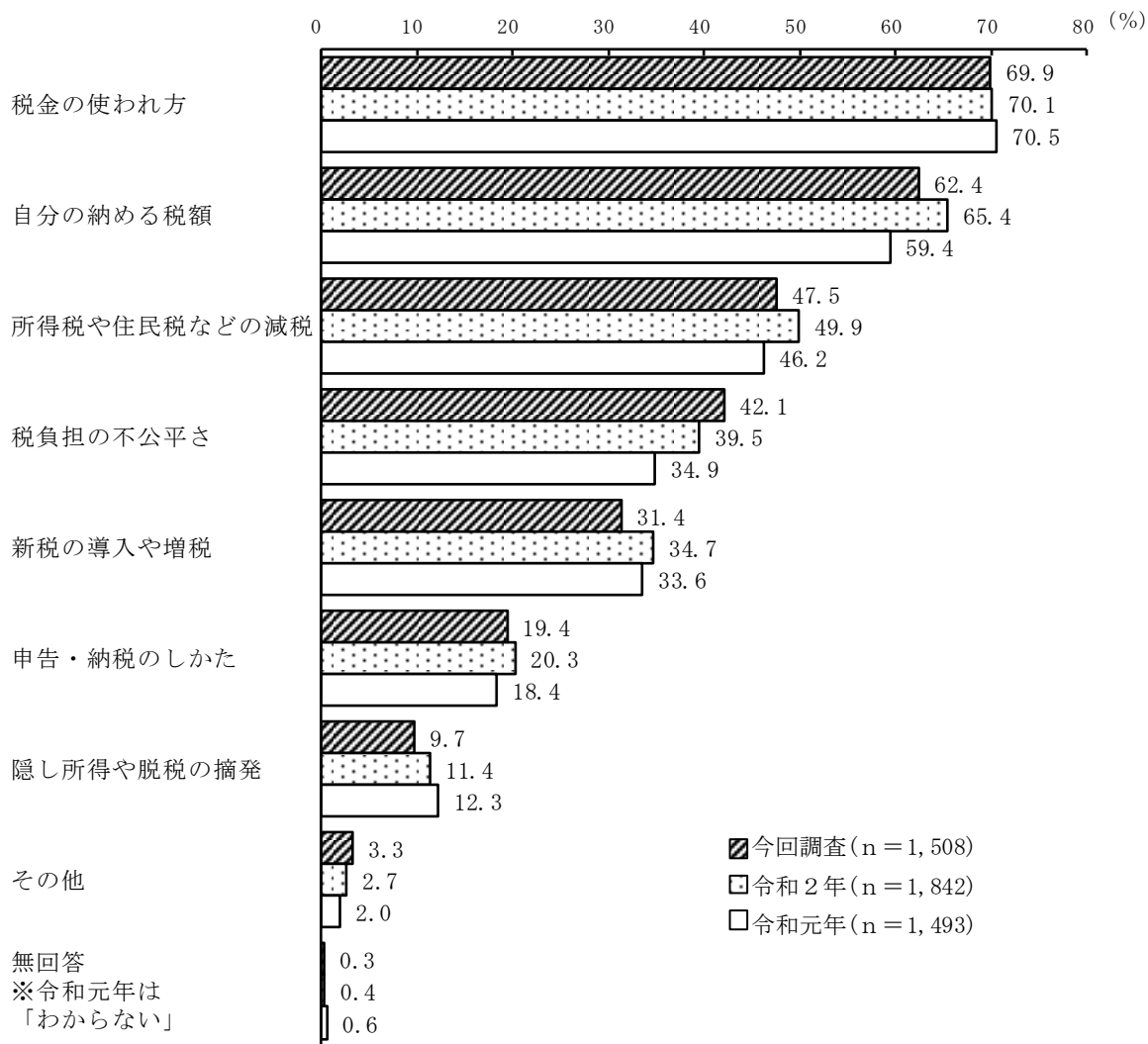
図1-10-3 税金への関心度－性・年齢別、職業別



(注) 『関心がある（計）』は「大いに関心がある」「少し関心がある」の合計

税金について関心がある内容を過去の調査結果と比較すると、「税負担の不公平さ」は昨年よりも3ポイント増加している。一方、「自分の納める税額」と「新税の導入や増税」は3ポイント減少している。
(図1-10-4)

図1-10-4 税金への関心の内容—過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「自分の納める税額」は男性が女性よりも8ポイント高く、男性40代では8割近く、女性20代では8割を超えている。「所得税や住民税などの減税」では、男性30代、女性20代で6割を超えて多くなっている。(表1-10-1)

表1-10-1 税金への関心の内容－性・年齢別

(%)

	n	税金の 使われ方	自分の 納める 税額	所得 税 減税 や 住民 税 など の	税 負 担 の 不 公 平 さ	新 税 の 導 入 や 増 税	申 告 ・ 納 税 の し か た	隠 し 所 得 や 脱 税 の 摘 発	そ の 他	無 回 答
全 体	1,508	69.9	62.4	47.5	42.1	31.4	19.4	9.7	3.3	0.3
< 性・年齢別 >										
男 性 (計)	701	67.5	66.9	49.9	42.7	31.2	20.7	11.3	3.0	0.3
18・19 歳	8	37.5	62.5	12.5	50.0	25.0	12.5	-	-	-
20 代	62	64.5	71.0	43.5	32.3	29.0	40.3	9.7	4.8	-
30 代	110	66.4	71.8	61.8	41.8	30.9	20.9	6.4	0.9	-
40 代	94	74.5	76.6	58.5	50.0	33.0	16.0	11.7	1.1	-
50 代	127	69.3	71.7	53.5	51.2	32.3	13.4	11.0	-	-
60 代	126	65.1	65.9	46.0	39.7	27.8	28.6	10.3	6.3	-
70 歳 以 上	174	67.2	54.6	42.0	38.5	33.3	16.1	16.1	4.6	1.1
女 性 (計)	801	72.2	58.6	45.7	41.9	31.7	18.4	8.5	3.6	0.4
18・19 歳	9	55.6	77.8	22.2	22.2	22.2	33.3	11.1	-	-
20 代	54	64.8	83.3	63.0	38.9	31.5	35.2	13.0	1.9	-
30 代	134	76.1	68.7	59.0	44.0	28.4	20.1	9.0	3.0	0.7
40 代	143	69.9	53.8	48.3	49.7	29.4	17.5	4.9	5.6	-
50 代	146	75.3	58.9	48.6	46.6	32.2	15.8	8.2	3.4	-
60 代	132	76.5	55.3	44.7	43.2	42.4	17.4	10.6	2.3	0.8
70 歳 以 上	182	68.1	48.9	28.6	31.3	28.6	14.8	8.2	4.4	0.5

職業別にみると、「自分の納める税額」は専門・技術職で7割半ばと多くなっている。

世帯年収別にみると、「税負担の不公平さ」は年収1,300～1,500万円未満の世帯で約7割と多くなっている。一方、年収200万円未満の世帯で3割近くと少なくなっている。(表1-10-2)

表1-10-2 税金への関心の内容-職業別、世帯年収別

(%)

	n	税金の 使われ方	自分の 納める 税額	減所得 税や 住民 税など の	税負担 の不公平 さ	新税の 導入や 増税	申告・ 納税の しかた	隠し所得 や脱税の 摘発	その他	無回答
全 体	1,508	69.9	62.4	47.5	42.1	31.4	19.4	9.7	3.3	0.3
< 職 業 別 >										
自営・家族従業(計)	150	73.3	64.0	51.3	47.3	32.7	20.0	7.3	5.3	-
勤 め(計)	853	69.1	67.8	53.2	44.1	30.7	19.8	9.1	2.0	0.1
経営・管理職	107	75.7	66.4	51.4	53.3	26.2	12.1	7.5	0.9	-
専門・技術職	234	71.4	75.2	51.3	45.3	34.6	23.9	6.0	2.6	0.4
事務職	216	65.7	64.4	50.9	43.1	30.6	23.6	9.3	1.4	-
労務・技能職	108	65.7	70.4	56.5	34.3	29.6	15.7	13.0	3.7	-
販売・サービス職	160	66.3	63.1	58.1	42.5	28.8	18.1	11.9	1.9	-
無職の主婦・主夫	306	70.6	48.0	39.2	40.8	33.0	18.0	9.8	5.6	0.7
学 生	42	57.1	78.6	35.7	35.7	26.2	45.2	14.3	2.4	-
その他の無職	142	74.6	53.5	34.5	31.0	33.1	12.0	15.5	4.9	0.7
< 世 帯 年 収 別 >										
200万円未満	130	71.5	50.8	37.7	28.5	32.3	16.9	16.2	7.7	0.8
200～300万円未満	185	72.4	58.4	45.4	35.7	31.4	20.0	11.9	1.6	-
300～400万円未満	178	68.0	61.2	53.9	37.6	34.3	23.0	15.2	4.5	0.6
400～500万円未満	149	73.2	64.4	49.7	38.3	29.5	19.5	12.1	2.0	-
500～700万円未満	208	70.7	66.8	48.1	42.3	30.8	19.7	7.2	3.8	-
700～900万円未満	164	70.1	67.7	54.3	48.2	33.5	20.7	7.3	3.7	-
900～1,100万円未満	139	67.6	60.4	46.8	42.4	30.9	15.8	5.0	3.6	-
1,100～1,300万円未満	72	65.3	62.5	33.3	45.8	27.8	13.9	2.8	1.4	1.4
1,300～1,500万円未満	46	65.2	60.9	56.5	69.6	26.1	13.0	6.5	2.2	-
1,500～2,000万円未満	65	72.3	64.6	56.9	60.0	35.4	13.8	9.2	1.5	-
2,000万円以上	40	77.5	72.5	47.5	50.0	22.5	20.0	-	-	-

2 住んでいる地域

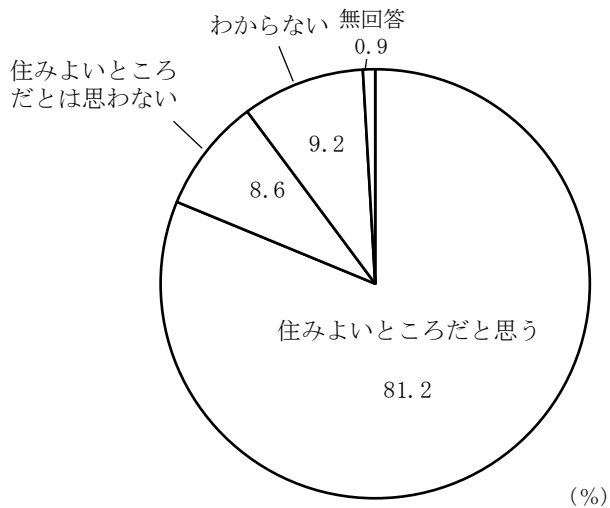
※2-1 地域の住みよさ

図2-1-1

(全員の方に)

問8 ところで、あなたが、今住んでいらっしゃるところは、住みよいところだと思いますか。それとも、思いませんか。(○は1つ)

(n = 1,849)

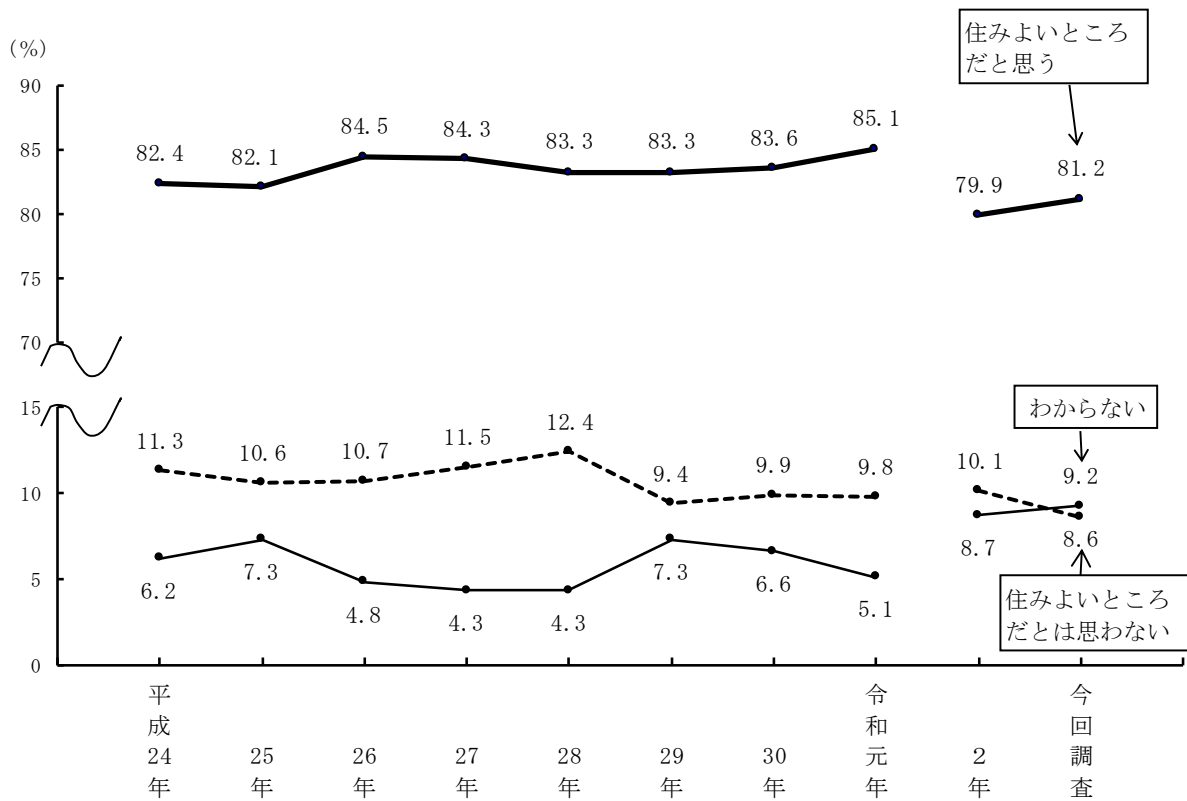


今住んでいるところが住みよいところだと思うか聞いたところ、「住みよいところだと思う」は81%、「住みよいところだとは思わない」、「わからない」は9%となっている。(図2-1-1)

地域の住みよさを過去の調査結果と比較すると、今回調査では「住みよいところだとは思わない」が昨年よりも2ポイント減少している。(図2-1-2)

なお、地域の住みよさの平成元年年からの調査結果を巻末の付属資料(P138 図5)に掲載している。

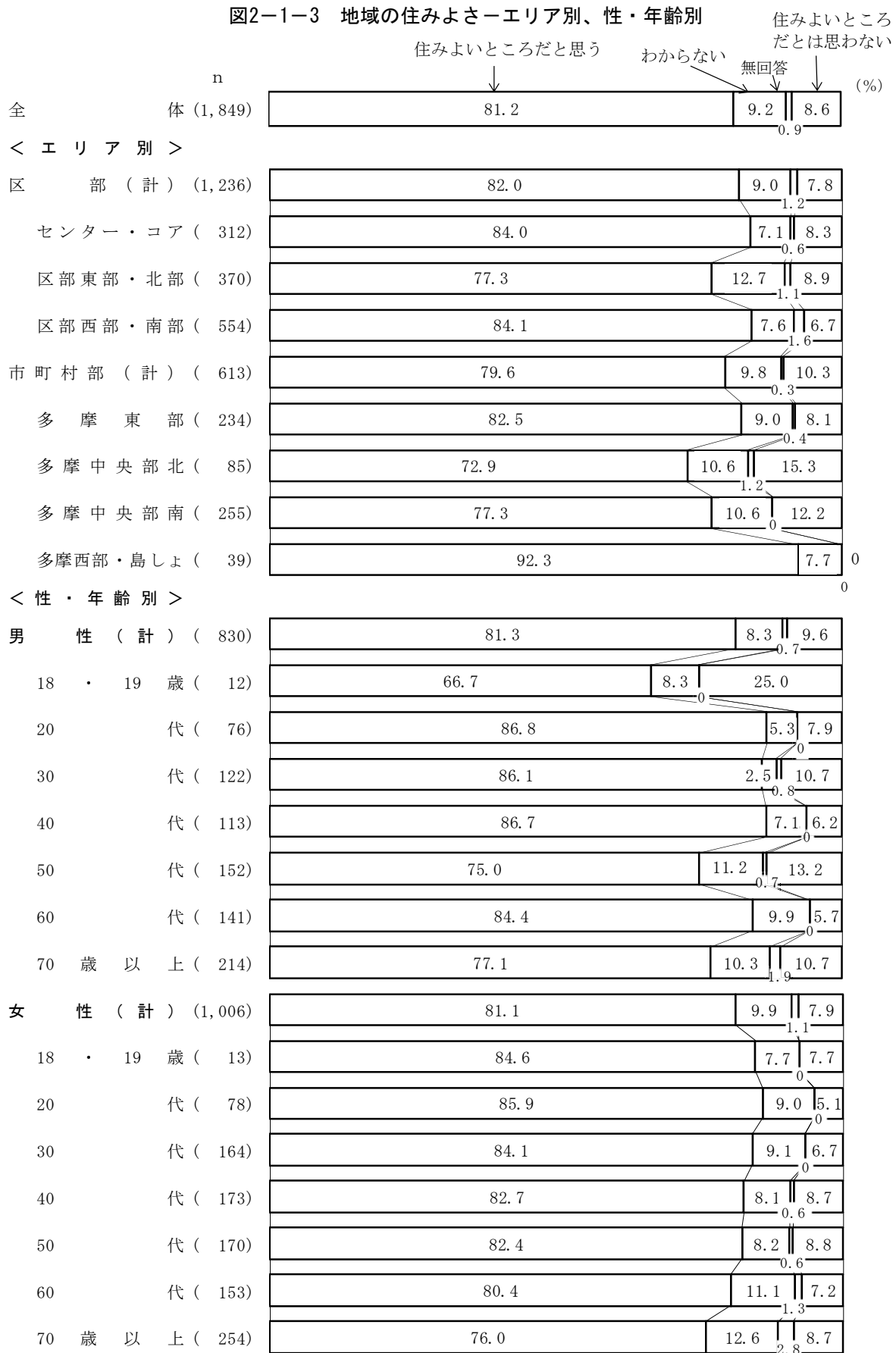
図2-1-2 地域の住みよさー過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「住みよいところだと思う」は区部西部・南部、センター・コアで8割半ばと多く
なっている。

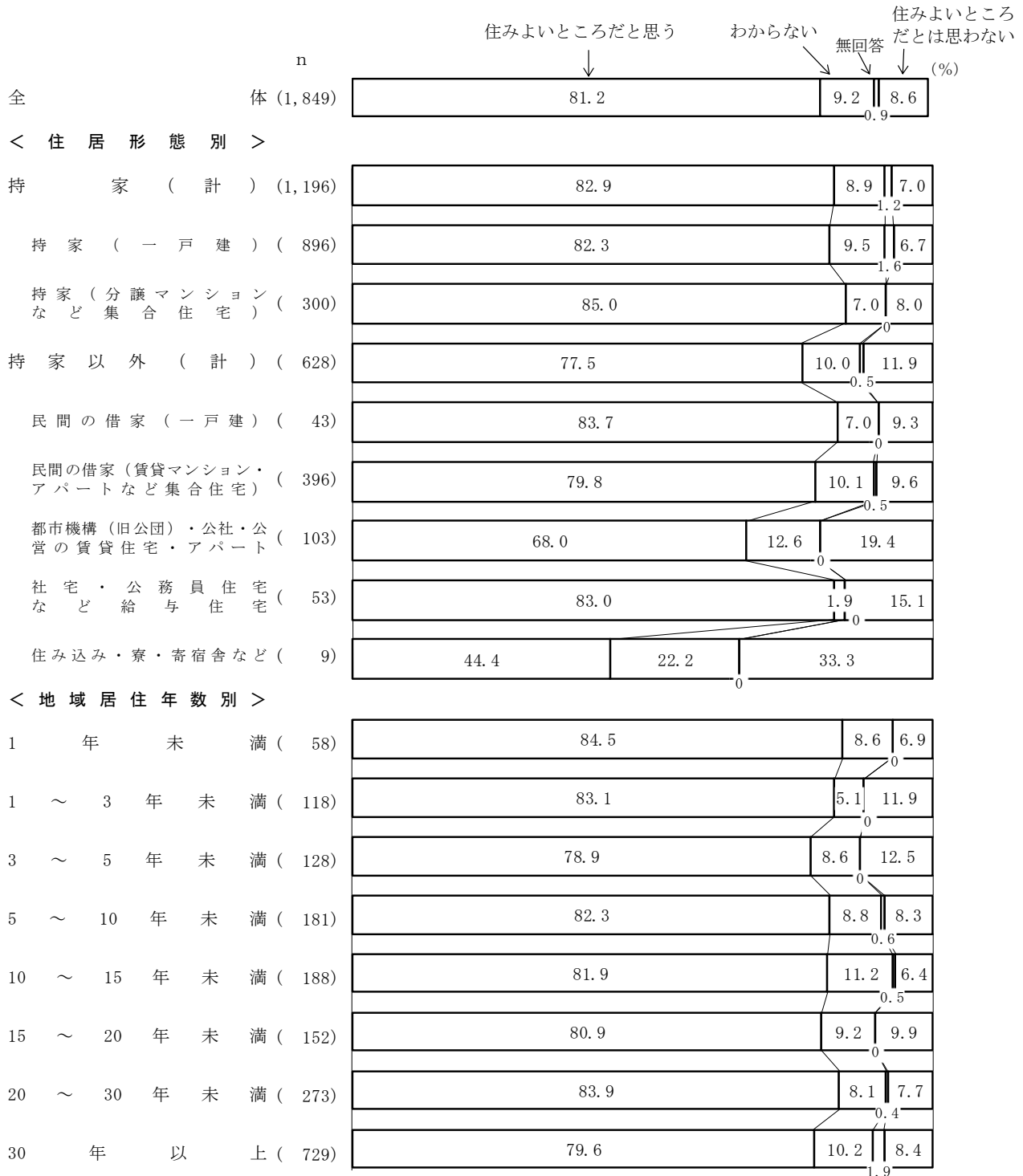
性・年齢別にみると、特に大きな差はみられない。(図2-1-3)



住居形態別にみると、「住みよいところだと思う」は持家（計）が持家以外（計）よりも5ポイント高くなっている。

地域居住年数別にみると、特に大きな差はみられない。（図2-1-4）

図2-1-4 地域の住みよさ－住居形態別、地域居住年数別

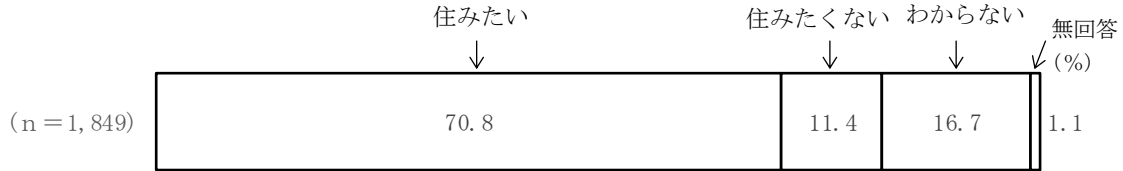


※2-2 地域定住意向

図2-2-1

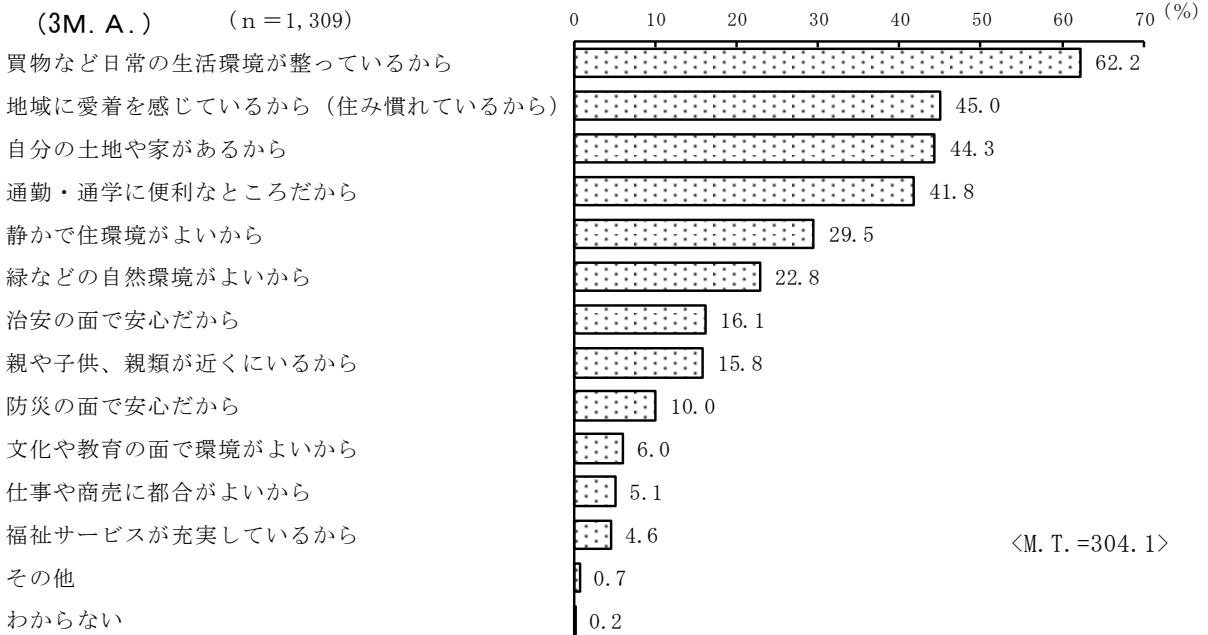
(全員の方に)

問9 あなたは、今お住まいのこの地域に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。(○は1つ)



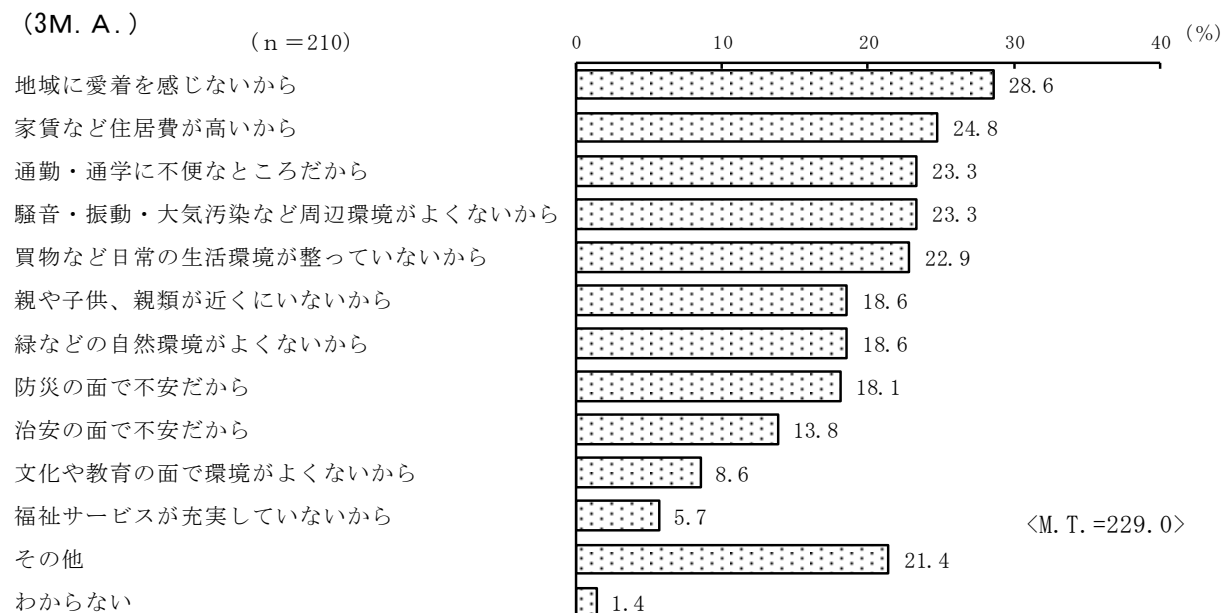
(問9で「1 住みたい」と答えた方に)

問9-1 住みたいと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)



(問9で「2 住みたくない」と答えた方に)

問9-2 住みたくないと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)



今住んでいる地域に今後も住みたいと思うかどうか聞いたところ、「住みたい」は71%、「住みたくない」は11%となっている。

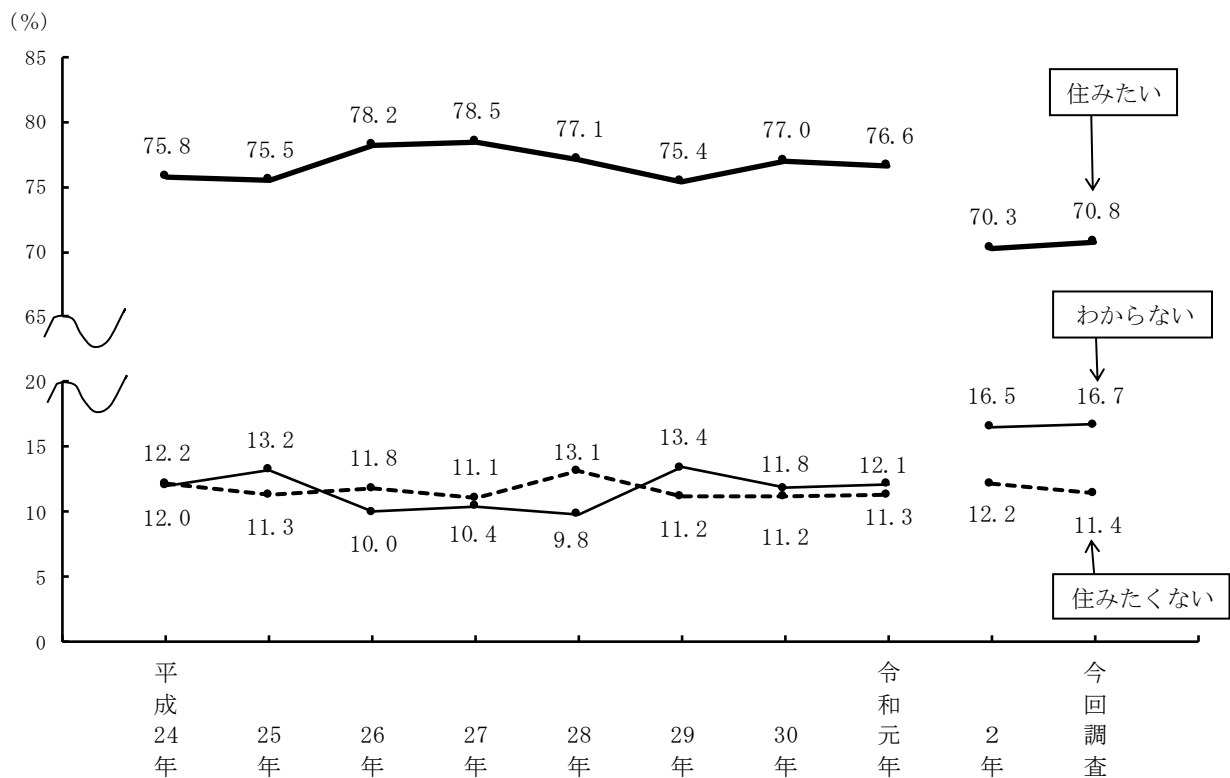
「住みたい」と答えた人(1,309人)に、その理由を聞いたところ、「買物など日常の生活環境が整っているから」が62%で最も多く、次いで「地域に愛着を感じているから(住み慣れているから)」45%、「自分の土地や家があるから」44%、「通勤・通学に便利なところだから」42%、「静かで住環境がよいから」30%などの順となっている。

「住みたくない」と答えた人(210人)に、その理由を聞いたところ、「地域に愛着を感じないから」が29%で最も多く、次いで「家賃など住居費が高いから」25%、「通勤・通学に不便なところだから」「騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから」「買物など日常の生活環境が整っていないから」23%などの順となっている。(図2-2-1)

地域定住意向を過去の調査結果と比較すると、昨年との大きな差はみられない。(図2-2-2)

なお、地域定住意向の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料(P139 図6)に掲載している。

図2-2-2 地域定住意向—過去の調査結果

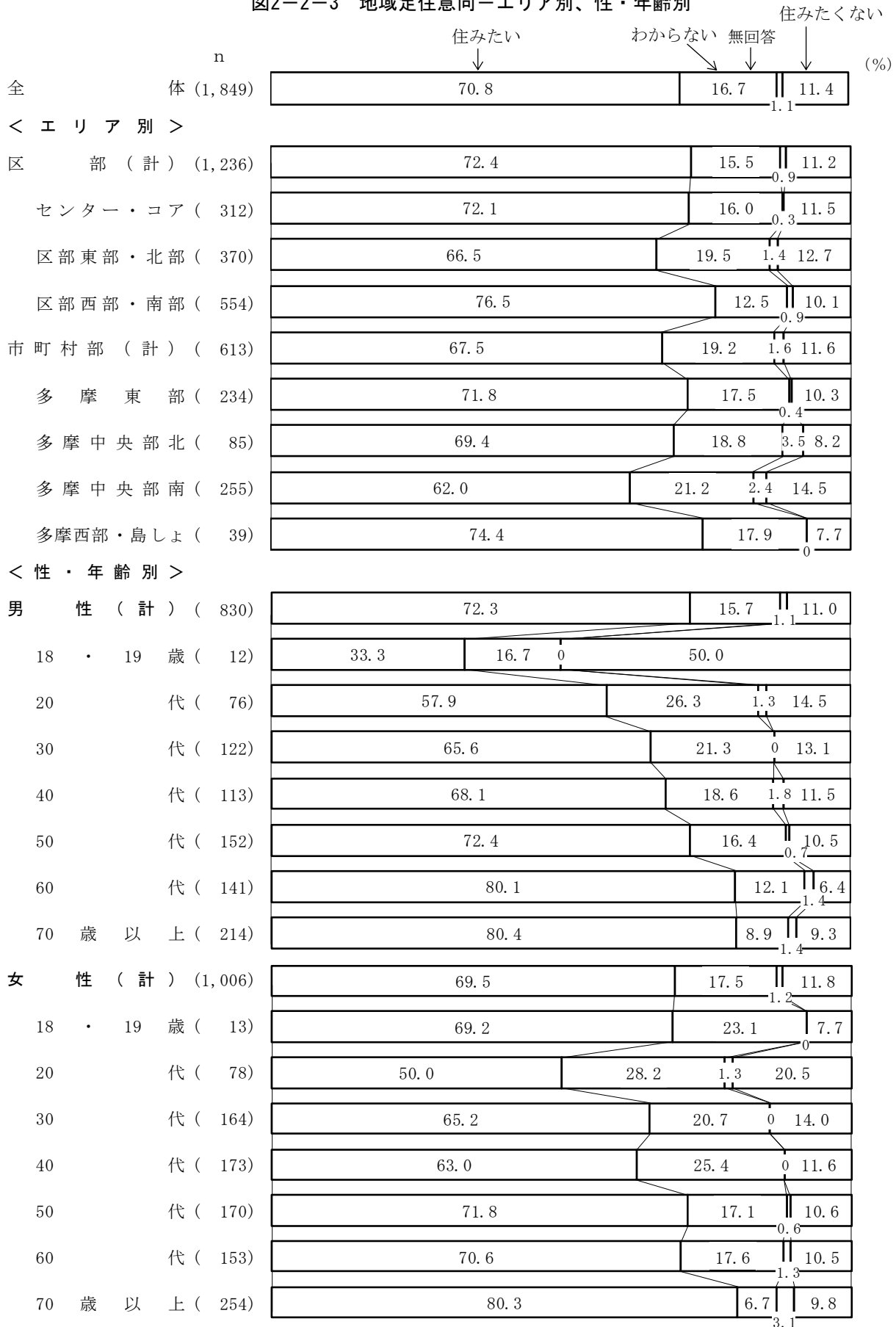


(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

エリア別にみると、区部西部・南部エリアで「住みたい」が8割近くとなっている。
 性・年齢別にみると、「住みたい」は男性60代以上、女性70歳以上で約8割と多くなっている。

(図2-2-3)

図2-2-3 地域定住意向－エリア別、性・年齢別



住居形態別にみると、「住みたい」は持家（計）で7割半ばと多く、持家以外（計）よりも13ポイント高くなっている。

地域居住年数別にみると、「住みたい」はおおむね居住年数が増えるほど割合が高く、30年以上で約8割と多くなっている。一方、「住みたくない」は1～3年未満で3割近くと多くなっている。

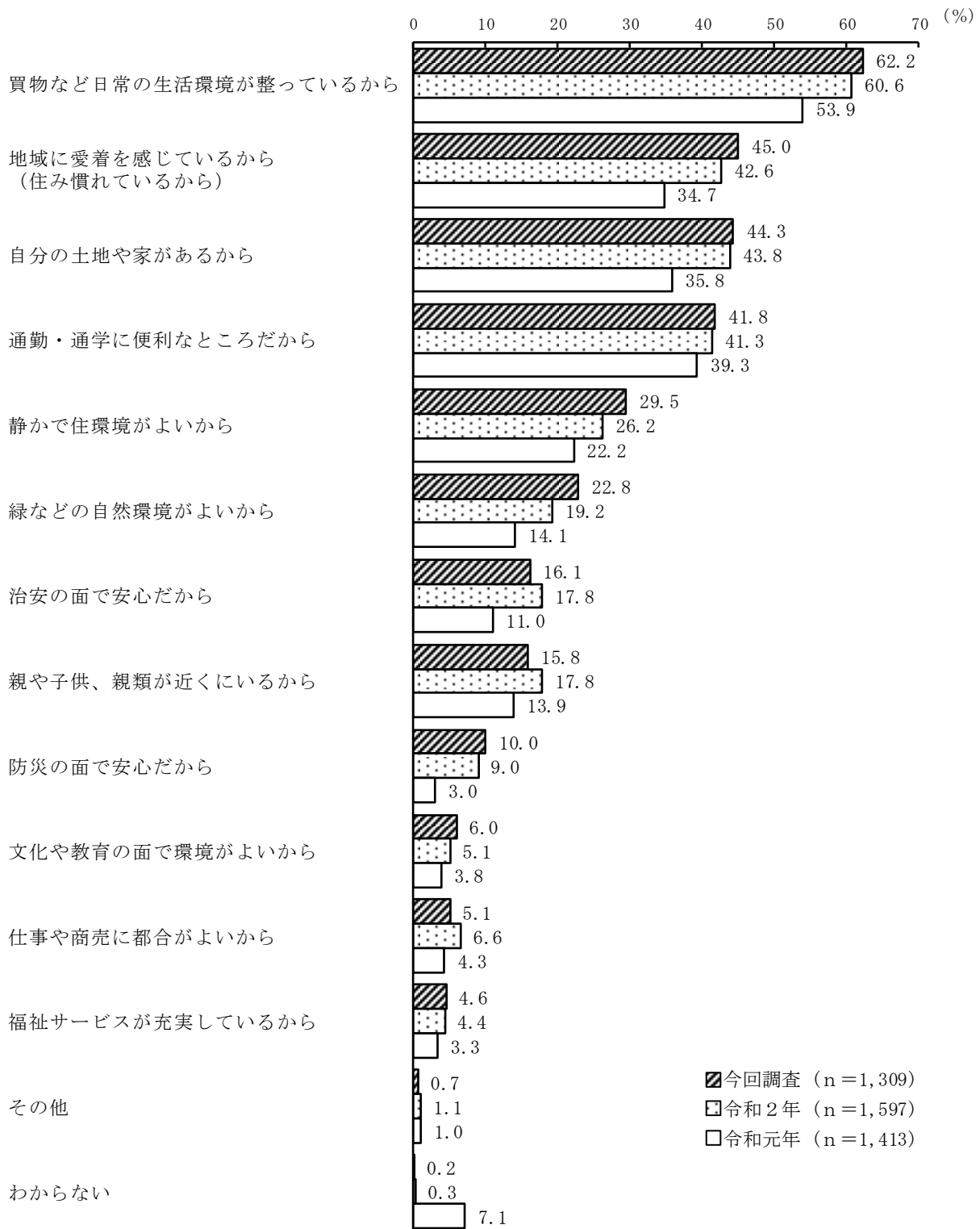
地域の住みよさ（問8 P46）との関係でみると、「住みたい」は住んでいる地域が“住みよいところだと思う”と答えた人で8割を超えている。一方、「住みたくない」は“住みよいところだとは思わない”と答えた人で6割近くと多くなっている。（図2-2-4）

図2-2-4 地域定住意向－住居形態別、地域居住年数別、地域の住みよさ別

n		住みたい	わからない	無回答	住みたくない
全体	(1,849)	70.8	16.7	1.1	11.4
< 住居形態別 >					
持家（計）	(1,196)	75.2	15.2	1.2	8.4
持家（一戸建）	(896)	76.2	14.8	1.3	7.6
持家（分譲マンションなど集合住宅）	(300)	72.0	16.3	0.7	11.0
持家以外（計）	(628)	62.1	20.1	1.0	16.9
民間の借家（一戸建）	(43)	67.4	18.6	0	14.0
民間の借家（賃貸マンション・アパートなど集合住宅）	(396)	61.6	22.0	0.5	15.9
都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅・アパート	(103)	62.1	19.4	3.9	14.6
社宅・公務員住宅など給与住宅	(53)	64.2	7.5	0	28.3
住み込み・寮・寄宿舎など	(9)	22.2	33.3	0	44.4
< 地域居住年数別 >					
1年未満	(58)	58.6	24.1	0	17.2
1～3年未満	(118)	50.8	21.2	0	28.0
3～5年未満	(128)	57.0	25.0	0.8	17.2
5～10年未満	(181)	64.1	21.0	0.6	14.4
10～15年未満	(188)	63.3	21.8	1.1	13.8
15～20年未満	(152)	73.7	15.8	0.7	9.9
20～30年未満	(273)	71.8	19.0	1.1	8.1
30年以上	(729)	80.0	11.1	1.8	7.1
< 地域の住みよさ別 >					
住みよいところだと思う	(1,502)	82.1	12.2	0.1	5.7
住みよいところだと思わない	(159)	17.6	21.4	1.9	59.1

居住地域に住みたい理由を過去の調査結果と比較すると、昨年と大きな差はみられない。(図2-2-5)

図2-2-5 居住地域に住みたい理由－過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

居住地域に住みたい理由をエリア別にみると、区部（計）では市町村部（計）よりも「通勤・通学に便利なところだから」が16ポイント、「買物など日常生活環境が整っているから」が9ポイント高くなっている。一方、市町村部（計）では区部（計）よりも「緑などの自然環境がよいから」が25ポイント、「自分の土地や家があるから」が8ポイント高くなっている。

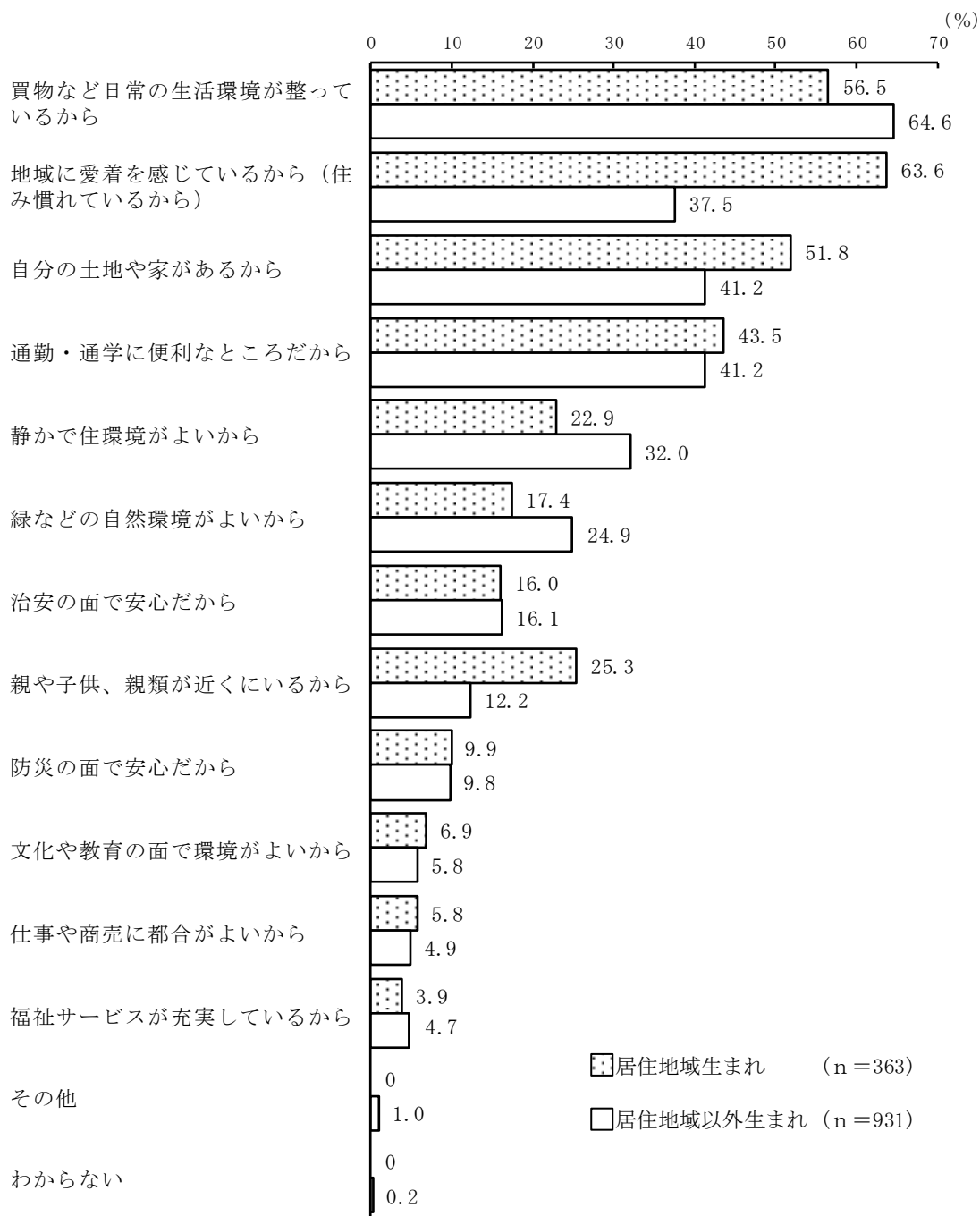
性・年齢別にみると、「通勤・通学に便利なところだから」は男女とも20代で6割半ば以上と多くなっている。「自分の土地や家があるから」は男女とも70歳以上で6割を超えて多くなっている。（表2-2-1）

表2-2-1 居住地域に住みたい理由－エリア別、性・年齢別

		(%)														
	n	買物など日常生活環境が整っているから	地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）	自分の土地や家があるから	通勤・通学に便利なところ	静かで住環境がよいから	緑などの自然環境がよいから	治安の面で安心だから	親や子供、親類が近くに	防災の面で安心だから	文化や教育の面で環境がよいから	仕事や商売に都合がよいから	福祉サービスが充実しているから	その他	わからない	
全体	1,309	62.2	45.0	44.3	41.8	29.5	22.8	16.1	15.8	10.0	6.0	5.1	4.6	0.7	0.2	
< エリア別 >																
区部（計）	895	65.1	45.3	41.7	46.9	28.3	15.0	17.3	14.4	9.3	6.8	6.3	5.3	0.7	0.2	
センター・コア	225	62.2	41.3	40.4	60.9	22.7	11.6	19.6	12.4	12.0	10.2	11.1	5.3	0.9	-	
区部東部・北部	246	69.1	45.5	42.7	40.7	21.5	11.4	12.2	16.3	6.5	5.3	5.3	5.7	-	0.4	
区部西部・南部	424	64.4	47.2	41.7	43.2	35.1	18.9	19.1	14.4	9.4	5.9	4.2	5.0	0.9	0.2	
市町村部（計）	414	55.8	44.4	50.0	30.7	32.1	39.9	13.5	18.8	11.6	4.3	2.7	3.1	0.7	-	
多摩東部	168	58.9	46.4	44.0	33.3	33.3	35.7	15.5	17.9	14.9	6.5	1.8	1.8	0.6	-	
多摩中央部北	59	74.6	37.3	47.5	32.2	23.7	30.5	11.9	25.4	8.5	5.1	3.4	6.8	-	-	
多摩中央部南	158	49.4	43.7	55.1	25.9	34.8	46.8	12.0	19.6	11.4	1.9	3.2	2.5	1.3	-	
多摩西部・島しょ	29	34.5	51.7	62.1	37.9	27.6	44.8	13.8	6.9	-	3.4	3.4	6.9	-	-	
< 性・年齢別 >																
男性（計）	600	59.8	46.5	44.7	42.3	30.5	21.3	15.8	13.8	10.0	5.2	6.2	4.5	0.2	-	
18・19歳	4	75.0	25.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
20代	44	56.8	45.5	18.2	65.9	22.7	15.9	25.0	18.2	9.1	4.5	11.4	4.5	-	-	
30代	80	67.5	37.5	21.3	60.0	25.0	12.5	20.0	12.5	2.5	10.0	7.5	5.0	-	-	
40代	77	58.4	44.2	46.8	51.9	31.2	24.7	10.4	15.6	5.2	2.6	6.5	3.9	1.3	-	
50代	110	54.5	47.3	41.8	53.6	25.5	17.3	17.3	8.2	9.1	6.4	5.5	3.6	-	-	
60代	113	60.2	47.8	49.6	38.9	30.1	26.5	13.3	17.7	18.6	6.2	7.1	0.9	-	-	
70歳以上	172	60.5	51.2	61.0	18.6	37.8	23.8	15.1	14.0	11.0	2.9	4.1	7.6	-	-	
女性（計）	699	63.9	43.8	44.2	41.3	28.9	24.2	16.6	17.5	9.9	6.9	4.3	4.7	1.1	0.3	
18・19歳	9	66.7	44.4	11.1	55.6	33.3	-	11.1	33.3	11.1	-	-	-	-	-	
20代	39	71.8	48.7	15.4	69.2	15.4	17.9	25.6	20.5	5.1	12.8	5.1	5.1	2.6	-	
30代	107	66.4	28.0	27.1	57.0	27.1	29.0	22.4	19.6	9.3	9.3	2.8	5.6	1.9	0.9	
40代	109	72.5	45.0	33.0	62.4	26.6	20.2	18.3	12.8	11.0	13.8	7.3	2.8	-	-	
50代	122	54.9	50.0	37.7	50.8	33.6	23.8	18.0	18.0	12.3	7.4	4.1	1.6	-	0.8	
60代	108	63.0	38.9	57.4	30.6	31.5	24.1	15.7	16.7	13.9	2.8	8.3	10.2	2.8	-	
70歳以上	204	62.3	49.0	62.7	16.2	28.9	26.0	10.8	17.6	6.9	2.9	1.5	4.4	1.0	-	

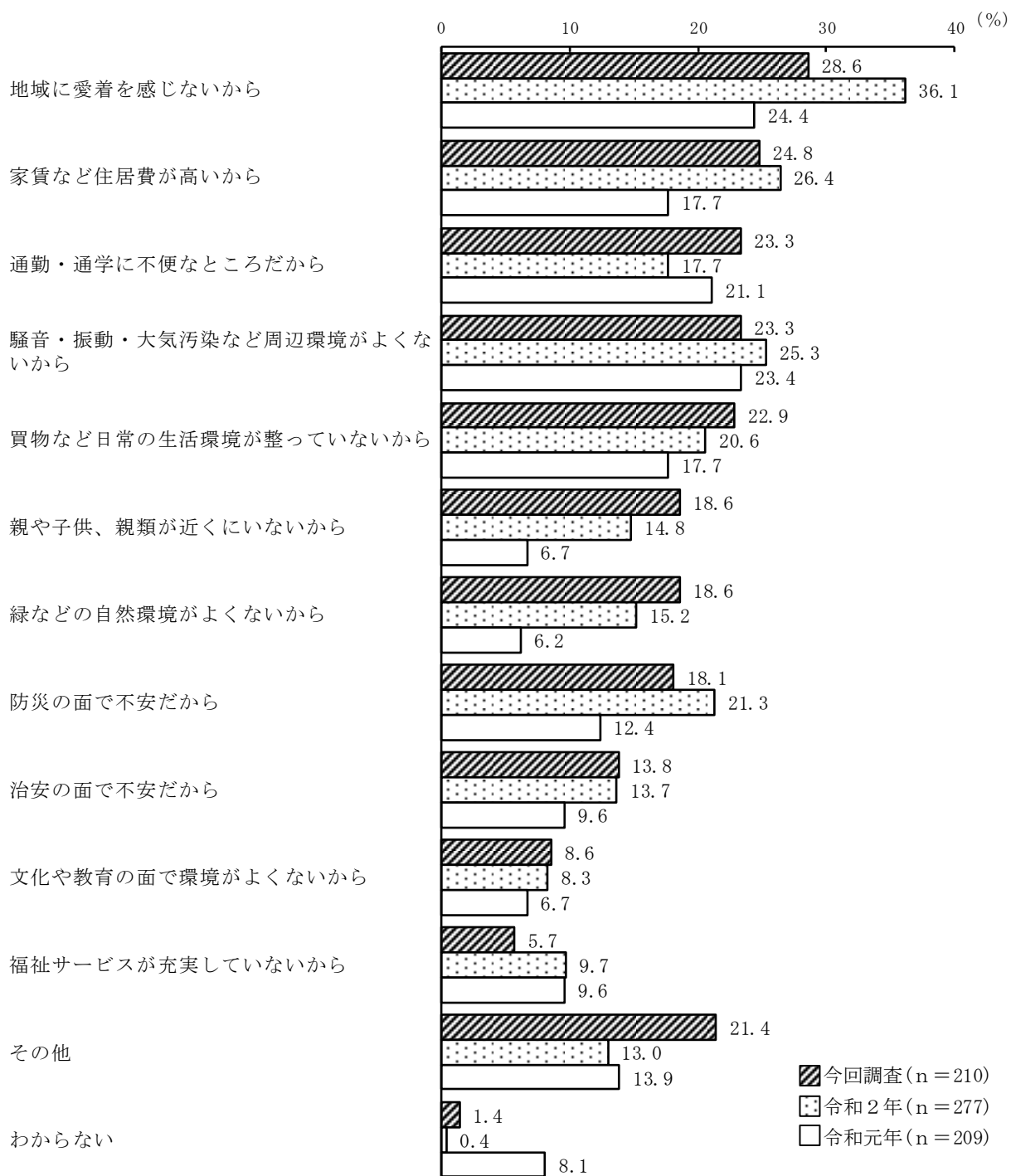
地域生まれか否か別にみると、居住地域生まれの人は居住地域以外生まれの人よりも「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」が26ポイント高くなっている。一方、居住地域以外生まれの人は居住地域生まれの人よりも「静かで住環境がよいから」が9ポイント、「買物など日常の生活環境が整っているから」が8ポイント高くなっている。（図2-2-6）

図2-2-6 居住地域に住みたい理由－地域生まれか否か別



居住地域に住みたくない理由を過去の調査結果と比較すると、「地域に愛着を感じないから」が昨年よりも8ポイント減少している。一方で、「通勤・通学に不便なところだから」が6ポイント増加している。
(図2-2-7)

図2-2-7 居住地域に住みたくない理由—過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、センター・コアは「家賃など住居費が高いから」が5割近くと多くなっている。
性別にみると、特に大きな差はみられない。

年齢別にみると、70歳以上は「買物など日常の生活環境が整っていないから」が4割近くと多くなっている。(表2-2-2)

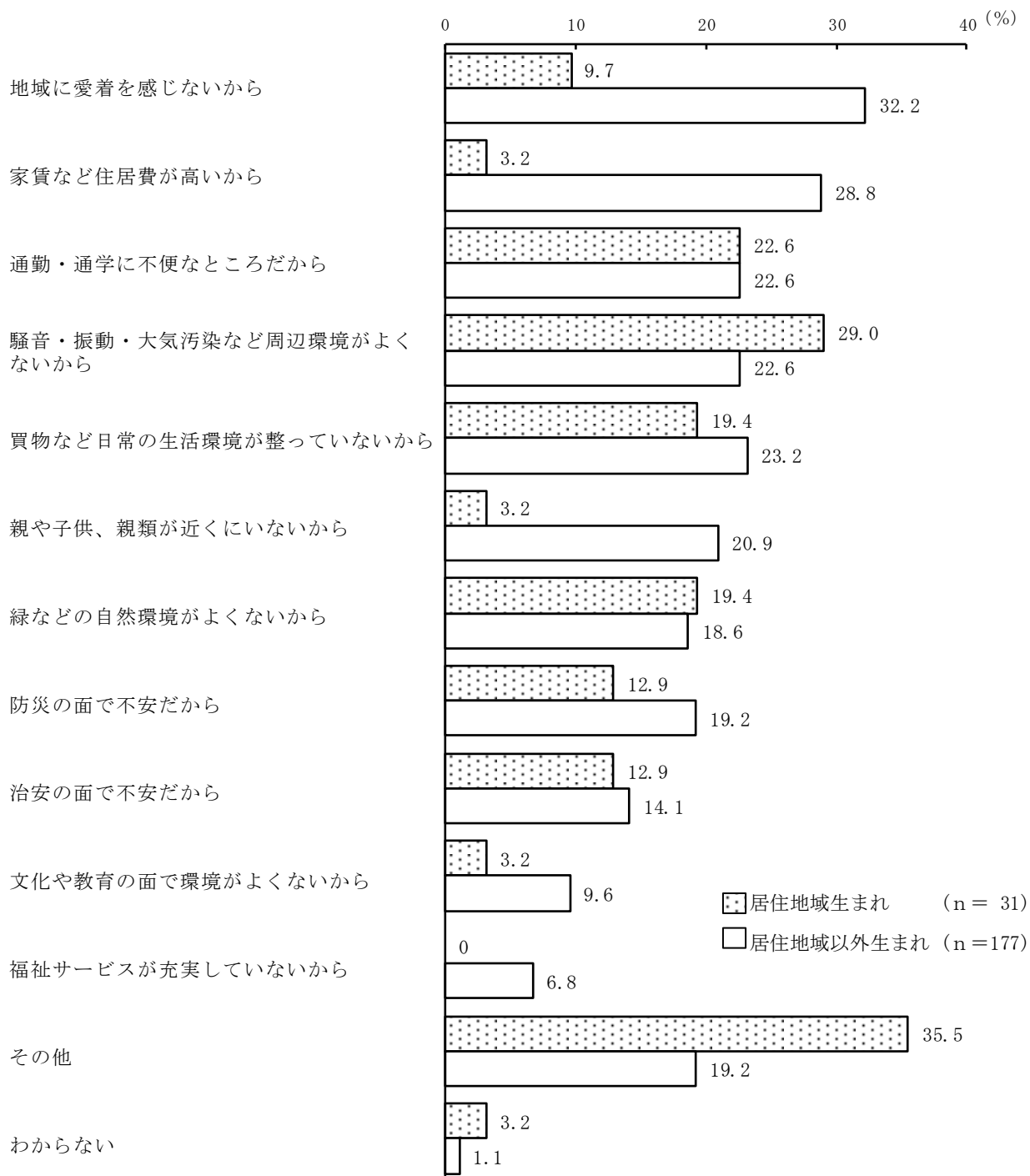
表2-2-2 居住地域に住みたくない理由－エリア別、性別、年齢別

(%)

	n	地域に愛着を感じないから	家賃など住居費が高いから	通勤・通学に不便なところから	騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから	買物など日常の生活環境が整っていないから	親や子供、親類が近くにいないから	緑などの自然環境がよくないから	防災の面で不安だから	治安の面で不安だから	文化や教育の面で環境がよくないから	福祉サービスが充実していないから	その他	わからない
全 体	210	28.6	24.8	23.3	23.3	22.9	18.6	18.6	18.1	13.8	8.6	5.7	21.4	1.4
< エリア 別 >														
区 部 (計)	139	28.1	31.7	16.5	28.1	16.5	15.1	25.9	19.4	15.1	7.9	2.9	22.3	2.2
センター・コア	36	13.9	47.2	8.3	36.1	8.3	16.7	47.2	13.9	19.4	8.3	2.8	16.7	2.8
区部東部・北部	47	38.3	17.0	19.1	19.1	19.1	10.6	25.5	29.8	17.0	10.6	4.3	29.8	2.1
区部西部・南部	56	28.6	33.9	19.6	30.4	19.6	17.9	12.5	14.3	10.7	5.4	1.8	19.6	1.8
市町村部 (計)	71	29.6	11.3	36.6	14.1	35.2	25.4	4.2	15.5	11.3	9.9	11.3	19.7	-
多摩東部	24	33.3	16.7	29.2	8.3	20.8	37.5	8.3	16.7	8.3	8.3	16.7	20.8	-
多摩中央部北	7	14.3	28.6	57.1	14.3	14.3	57.1	14.3	14.3	14.3	28.6	14.3	-	-
多摩中央部南	37	29.7	5.4	40.5	18.9	48.6	13.5	-	16.2	13.5	5.4	8.1	21.6	-
多摩西部・島しょ	3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-
< 性 別 >														
男 性	91	30.8	26.4	25.3	17.6	18.7	14.3	17.6	18.7	9.9	11.0	6.6	17.6	2.2
女 性	119	26.9	23.5	21.8	27.7	26.1	21.8	19.3	17.6	16.8	6.7	5.0	24.4	0.8
< 年 齢 別 >														
18 ・ 19 歳	7	14.3	14.3	71.4	-	14.3	14.3	14.3	-	-	14.3	-	14.3	-
20 代	27	25.9	25.9	37.0	25.9	14.8	22.2	18.5	7.4	18.5	11.1	-	11.1	-
30 代	39	30.8	33.3	20.5	33.3	17.9	20.5	28.2	10.3	15.4	12.8	2.6	17.9	2.6
40 代	33	42.4	30.3	30.3	18.2	21.2	21.2	12.1	15.2	18.2	15.2	6.1	24.2	3.0
50 代	34	32.4	23.5	17.6	23.5	23.5	17.6	20.6	23.5	20.6	-	5.9	20.6	2.9
60 代	25	16.0	24.0	28.0	24.0	16.0	8.0	12.0	32.0	8.0	4.0	8.0	28.0	-
70 歳 以 上	45	24.4	15.6	6.7	20.0	37.8	20.0	17.8	24.4	6.7	6.7	11.1	26.7	-

地域生まれか否か別にみると、「家賃など住居費が高いから」は居住地以外生まれの人で居住地生まれの人よりも26ポイント高く、また、「地域に愛着を感じないから」は23ポイント高くなっている。
 (図2-2-8)

図2-2-8 居住地に住みたくない理由—地域生まれか否か別



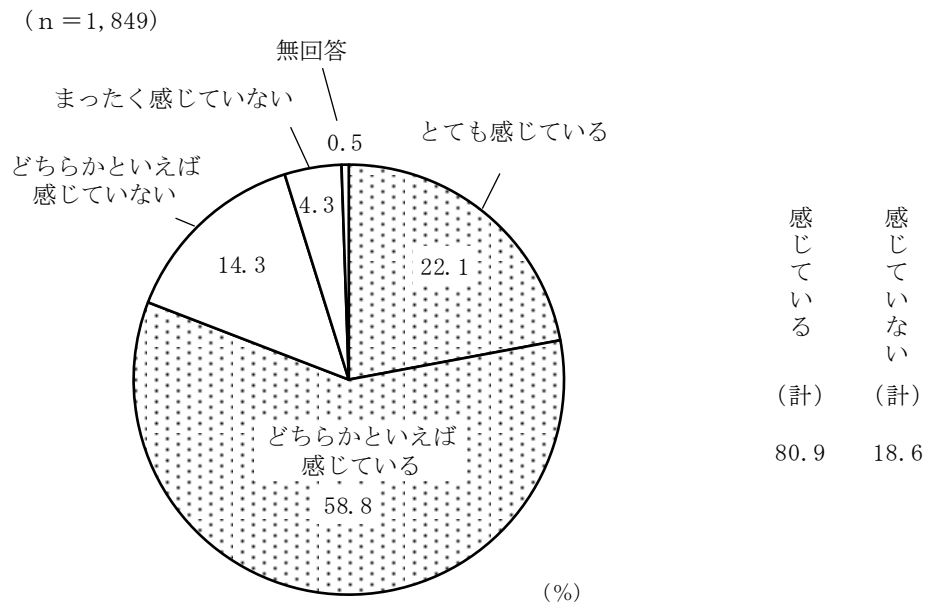
3 東京

3-1 東京への愛着

図3-1-1

(全員の方に)

問10 ところで、あなたは、都民として、東京に愛着を感じていますか。(○は1つ)



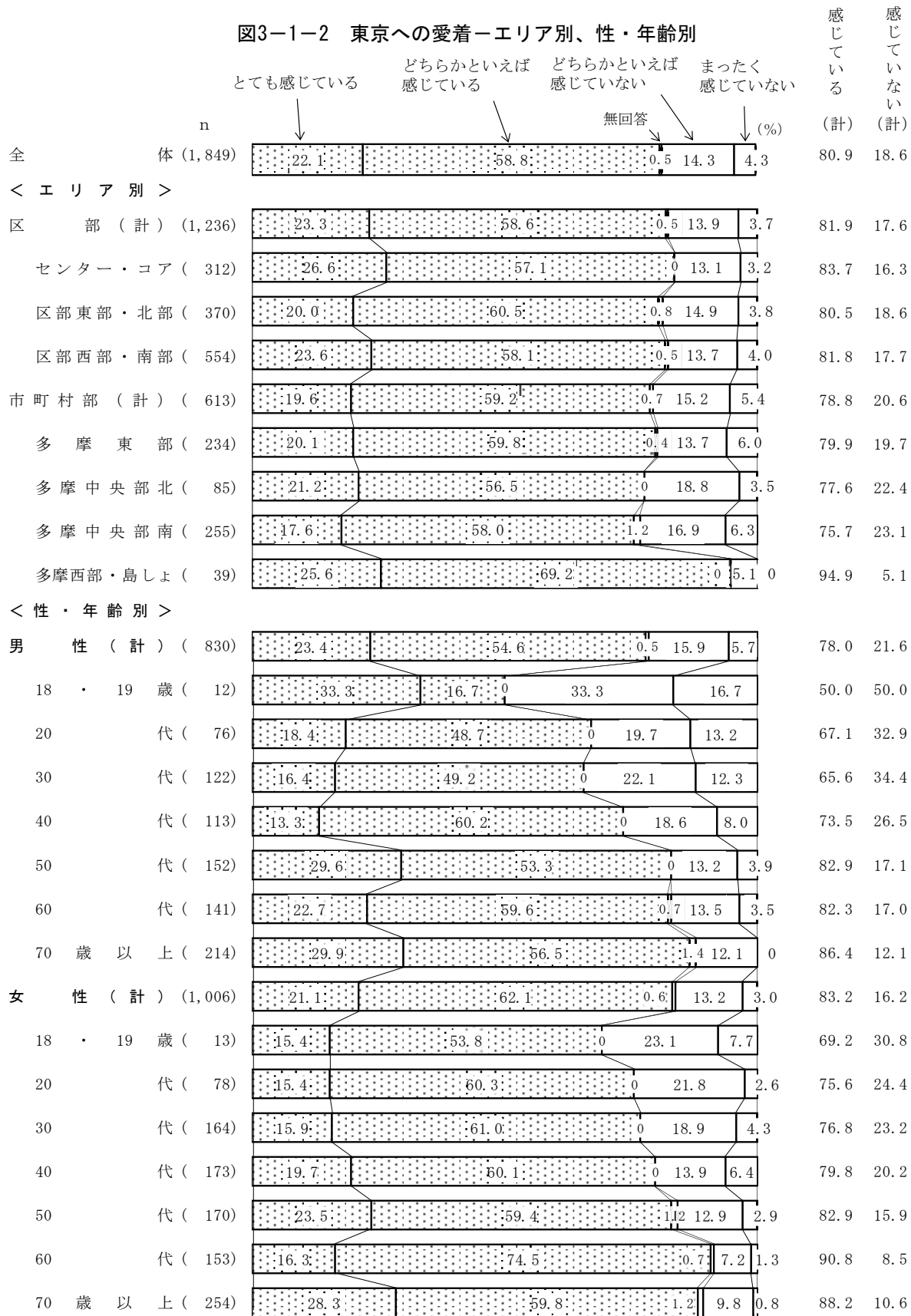
(注) 『感じる (計)』は「とても感じている」「どちらかといえば感じる」の合計

『感じていない (計)』は「まったく感じていない」「どちらかといえば感じていない」の合計

都民として、東京に愛着を感じているか聞いたところ、『感じる (計)』は81%、『感じていない (計)』は19%となっている。(図3-1-1)

エリア別にみると、『感じている（計）』は多摩西部・島しょで9割半ばと多くなっている。
 性・年齢別にみると、『感じている（計）』は女性の60代で9割を超えて多くなっている。（図3-1-2）

図3-1-2 東京への愛着－エリア別、性・年齢別

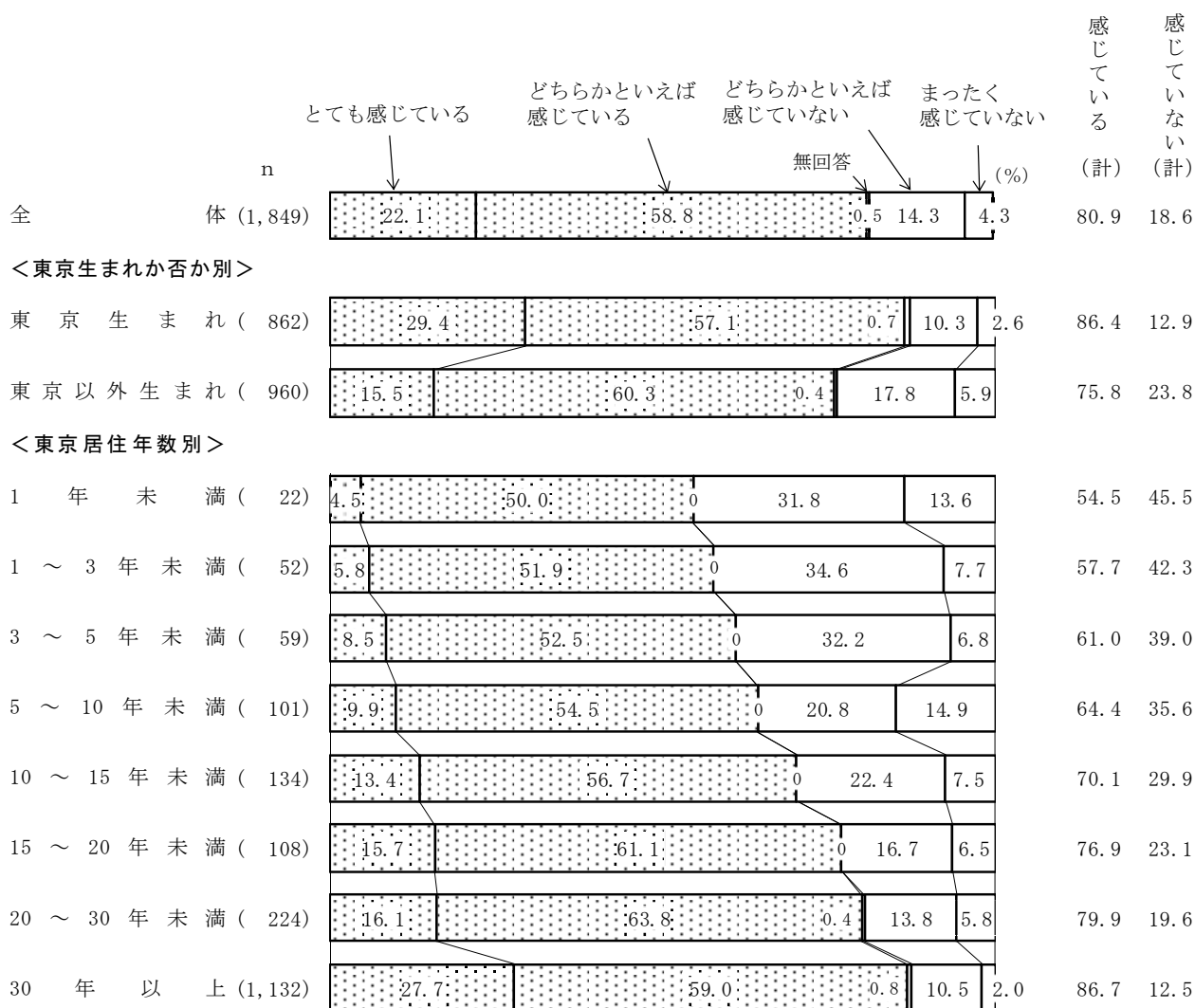


(注) 『感じている (計)』は「とても感じている」「どちらかといえば感じている」の合計
 『感じていない (計)』は「まったく感じていない」「どちらかといえば感じていない」の合計

東京生まれか否か別にみると、『感じている（計）』は東京生まれの人で8割半ばと、東京以外生まれの人よりも11ポイント高くなっている。

東京居住年数別にみると、『感じている（計）』は居住年数が増えるほど割合が高くなっており、年数が30年以上で9割近くとなっている。（図3-1-3）

図3-1-3 東京への愛着—東京生まれか否か別、東京居住年数別



(注) 『感じている（計）』は「とても感じている」「どちらかといえば感じている」の合計

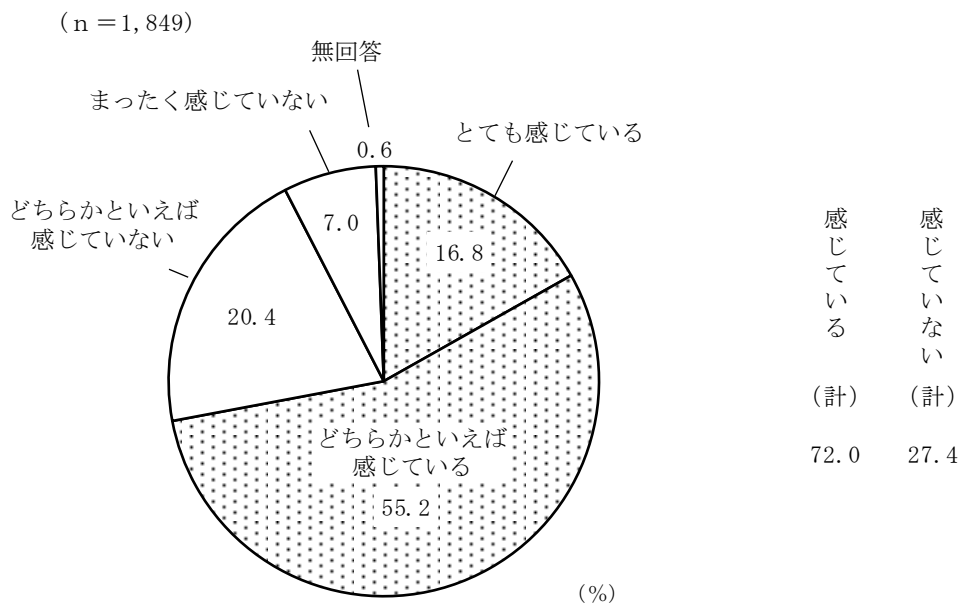
『感じていない（計）』は「まったく感じていない」「どちらかといえば感じていない」の合計

3-2 東京への誇り

図3-2-1

(全員の方に)

問11 あなたは、都民として、東京に誇りを感じていますか。(○は1つ)



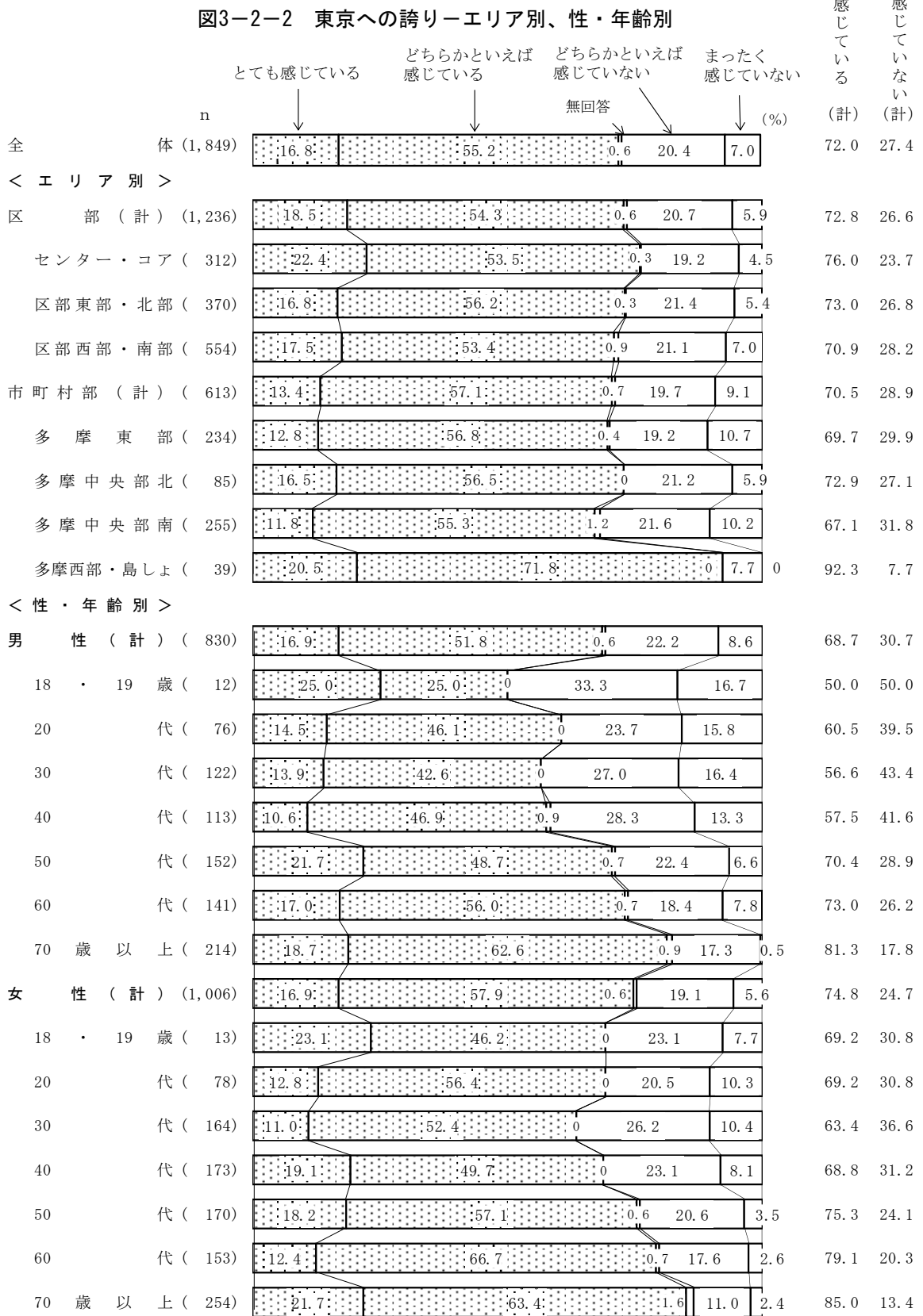
(注) 『感じている (計)』は「とても感じている」「どちらかといえば感じている」の合計

『感じていない (計)』は「まったく感じていない」「どちらかといえば感じていない」の合計

都民として、東京に誇りを感じているか聞いたところ、『感じている (計)』は72%、『感じていない (計)』は27%となっている。(図3-2-1)

エリア別にみると、『感じている（計）』は多摩西部・島しょで9割を超えて多くなっている。
 性・年齢別にみると、『感じている（計）』は女性の70歳以上で8割半ばと多くなっている。

(図3-2-2)



(注) 『感じている (計)』は「とても感じている」「どちらかといえば感じている」の合計
 『感じていない (計)』は「まったく感じていない」「どちらかといえば感じていない」の合計

東京生まれか否か別にみると、『感じている（計）』は東京生まれの人で7割半ばと、東京以外生まれの人よりも8ポイント高くなっている。

東京居住年数別にみると、『感じている（計）』は居住年数が増えるほどおおむね割合が高くなる傾向にあり、年数が30年以上で8割近くとなっている。

東京への愛着（問10 P60）との関係でみると、愛着度が強まるほど誇りを感じる割合が高くなっている。（図3-2-3）

図3-2-3 東京への誇り—東京生まれか否か別、東京居住年数別、東京への愛着別

n	割合 (%)					感じて いる (計)	感じて いない (計)
	とても感じている	どちらかといえば 感じている	無回答	どちらかといえば 感じていない	まったく 感じていない		
全 体 (1,849)	16.8	55.2	0.6	20.4	7.0	72.0	27.4
<東京生まれか否か別>							
東 京 生 ま れ (862)	22.2	54.2	0.8	16.9	5.9	76.3	22.9
東 京 以 外 生 ま れ (960)	12.1	55.8	0.4	23.5	8.1	67.9	31.7
<東京居住年数別>							
1 年 未 満 (22)	4.5	50.0	0	31.8	13.6	54.5	45.5
1 ～ 3 年 未 満 (52)	5.8	57.7	0	26.9	9.6	63.5	36.5
3 ～ 5 年 未 満 (59)	1.7	54.2	0	33.9	10.2	55.9	44.1
5 ～ 10 年 未 満 (101)	9.9	52.5	1.0	19.8	16.8	62.4	36.6
10 ～ 15 年 未 満 (134)	9.7	47.8	0	30.6	11.9	57.5	42.5
15 ～ 20 年 未 満 (108)	20.4	48.1	0	22.2	9.3	68.5	31.5
20 ～ 30 年 未 満 (224)	12.9	57.1	0	20.1	9.8	70.1	29.9
30 年 以 上 (1,132)	20.2	56.4	0.9	18.0	4.4	76.7	22.4
<東京への愛着別>							
とても感じている (408)	66.2	30.9	0.2	0.7	0.2	97.1	2.9
どちらかといえば 感じている (1,087)	3.6	79.9	0	13.8	2.2	83.5	16.0
どちらかといえば 感じていない (265)	0.4	9.1	0	79.2	11.3	9.4	90.6
まったく感じていない (79)	0	6.3	0	93.7	0	0	100.0
感じて いる (計) (1,495)	20.7	66.6	0.3	10.8	1.7	87.2	12.4
感じて いない (計) (344)	0.3	7.0	0	62.5	30.2	7.3	92.7

(注)『感じている（計）』は「とても感じている」「どちらかといえば感じている」の合計

『感じていない（計）』は「まったく感じていない」「どちらかといえば感じていない」の合計

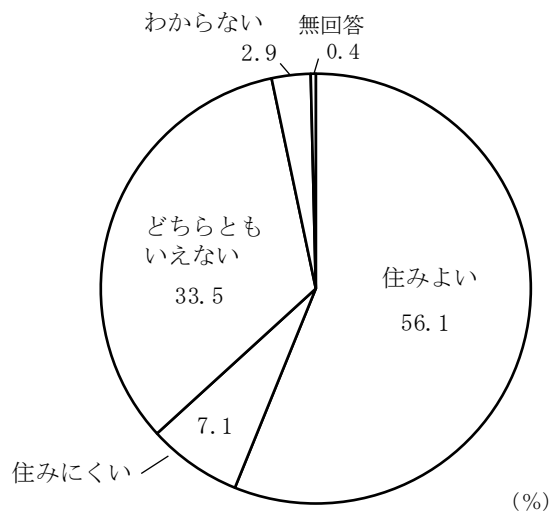
※3-3 東京の住みよさ

図3-3-1

(全員の方に)

問12 ところで、あなたにとって東京は、全般的にみて住みよいところですか、それとも、住みにくいところですか。(○は1つ)

(n = 1,849)

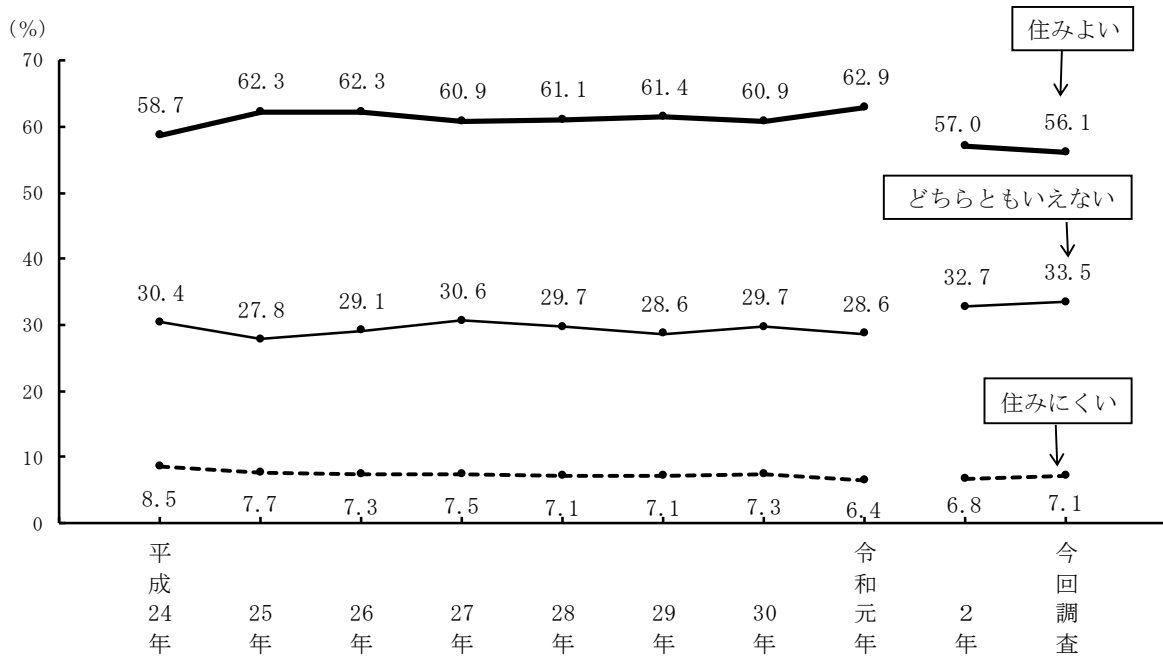


東京は全般的にみて住みよいところだと思うか聞いたところ、「住みよい」は56%、「住みにくい」は7%、「どちらともいえない」は34%となっている。(図3-3-1)

東京の住みよさを過去の調査結果と比較すると、昨年と大きな差はみられない。(図3-3-2)

なお、東京の住みよさの平成元年からの調査結果を巻末の付属資料 (P140 図7) に掲載している。

図3-3-2 東京の住みよさー過去の調査結果

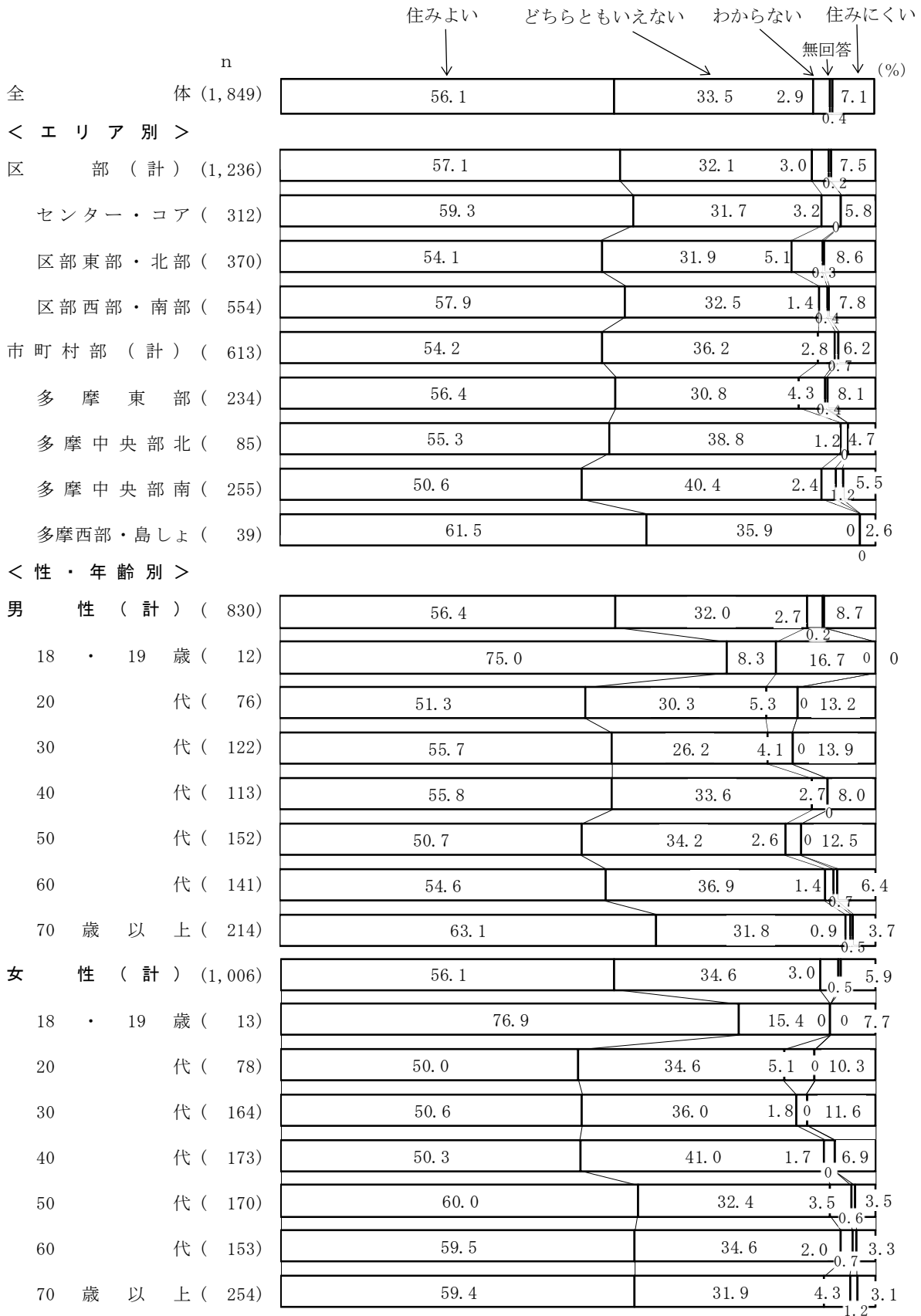


(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法 (インターネット回答併用) で実施したため留意が必要

エリア別にみると、特に大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「住みよい」は男性70歳以上で6割を超えている。(図3-3-3)

図3-3-3 東京の住みよさ—エリア別、性・年齢別



住居形態別にみると、「住みよい」は持家（計）で6割近くと、持家以外（計）よりも7ポイント高くなっている。

東京生まれか否か別にみると、「住みよい」は東京生まれの人で6割を超えて多く、東京以外生まれの人よりも10ポイント高くなっている。

東京居住年数別にみると、「住みよい」は15～20年未満で6割を超え、30年以上で6割近くと多くなっている。（図3-3-4）

図3-3-4 東京の住みよさ－住居形態別、東京生まれか否か別、東京居住年数別

		住みよい	どちらともいえない	わからない	無回答	住みにくい	(%)
全体	(1,849)	56.1	33.5	2.9	7.1	0.4	
< 住居形態別 >							
持家（計）	(1,196)	58.5	33.1	2.6	5.3	0.5	
持家（一戸建）	(896)	59.3	33.0	2.6	4.7	0.4	
持家（分譲マンションなど集合住宅）	(300)	56.3	33.3	2.7	7.0	0.7	
持家以外（計）	(628)	51.6	33.9	3.7	10.7	0.2	
民間の借家（一戸建）	(43)	55.8	32.6	2.3	9.3	0	
民間の借家（賃貸マンション・アパートなど集合住宅）	(396)	51.8	33.6	3.8	10.9	0	
都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅・アパート	(103)	53.4	33.0	4.9	7.8	1.0	
社宅・公務員住宅など給与住宅	(53)	49.1	34.0	0	17.0	0	
住み込み・寮・寄宿舎など	(9)	22.2	44.4	11.1	0	22.2	
その他	(24)	50.0	41.7	4.2	4.2	0	
< 東京生まれか否か別 >							
東京生まれ	(862)	61.3	29.7	3.4	5.1	0.6	
東京以外生まれ	(960)	51.7	36.8	2.5	8.9	0.2	
< 東京居住年数別 >							
1年未満	(22)	50.0	22.7	4.5	0	22.7	
1～3年未満	(52)	48.1	28.8	5.8	0	17.3	
3～5年未満	(59)	27.1	44.1	8.5	0	20.3	
5～10年未満	(101)	49.5	34.7	4.0	0	11.9	
10～15年未満	(134)	53.7	37.3	3.0	0	6.0	
15～20年未満	(108)	63.0	28.7	0.9	0	7.4	
20～30年未満	(224)	52.2	35.3	2.7	0	9.8	
30年以上	(1,132)	59.1	32.8	2.7	0	4.9	0.6

東京の住みよさと地域の住みよさ（問8 P46）を組み合わせると、「東京も地域も住みよい」51%、「地域は住みよいが東京は住みにくい」5%、「東京は住みよいが、地域は住みよいところだとは思わない」3%、「東京も地域も住みよいとは思わない」2%となっている。（表3-3-1）

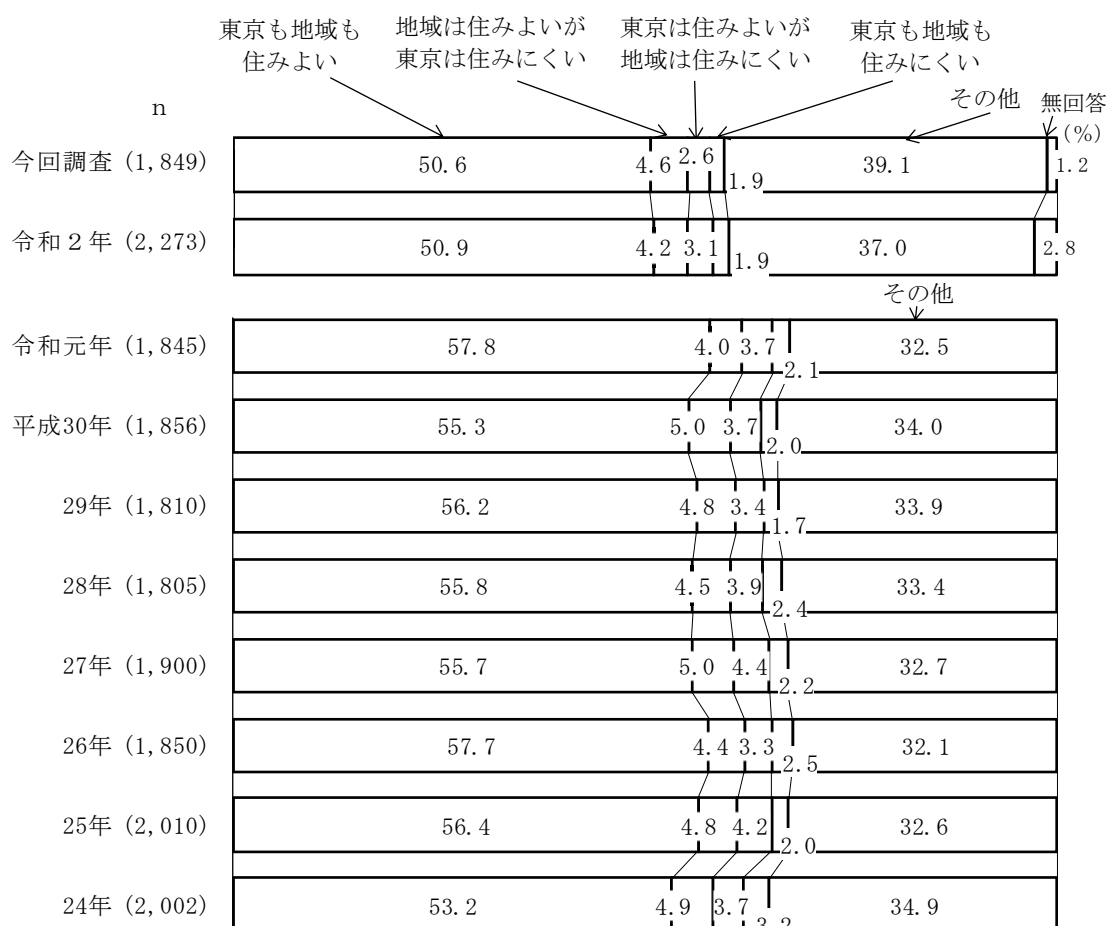
表3-3-1 東京と地域の住みよさ

(n=1,849)		(%)			
東京の住みよさ 地域の住みよさ	住みよい	住みにくい	どちらともいえない わからない	無回答	
住みよいところだと思う	50.6	4.6	25.8	0.3	
住みよいところだとは思わない	2.6	1.9	4.1	-	
わからない	2.5	0.6	6.1	0.1	
無回答	0.5	-	0.4	0.1	

東京の住みよさと地域の住みよさの組み合わせを過去と比較すると、昨年と大きな差はみられない。

(図3-3-5)

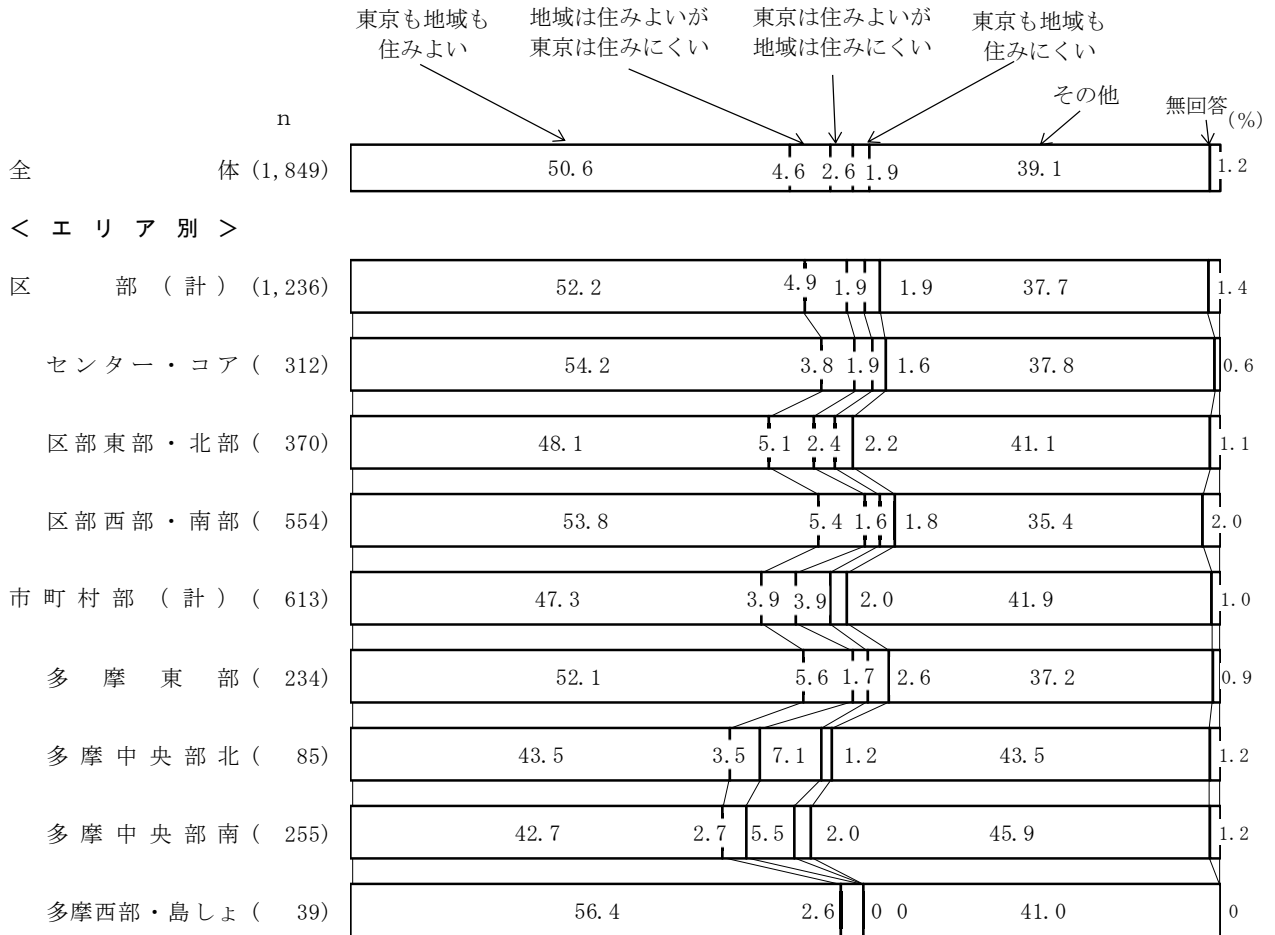
図3-3-5 東京と地域の住みよさー過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「東京も地域も住みよい」は区部（計）で5割を超えて、市町村部（計）より5ポイント高くなっている。（図3-3-6）

図3-3-6 東京と地域の住みよさ－エリア別

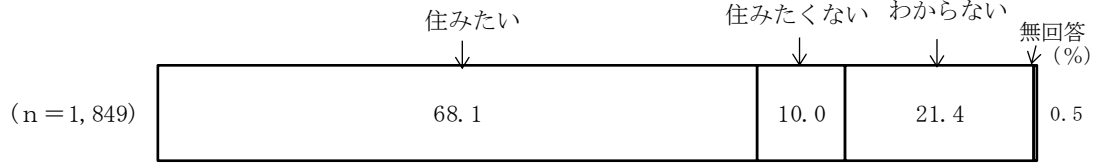


※3-4 東京定住意向

図3-4-1

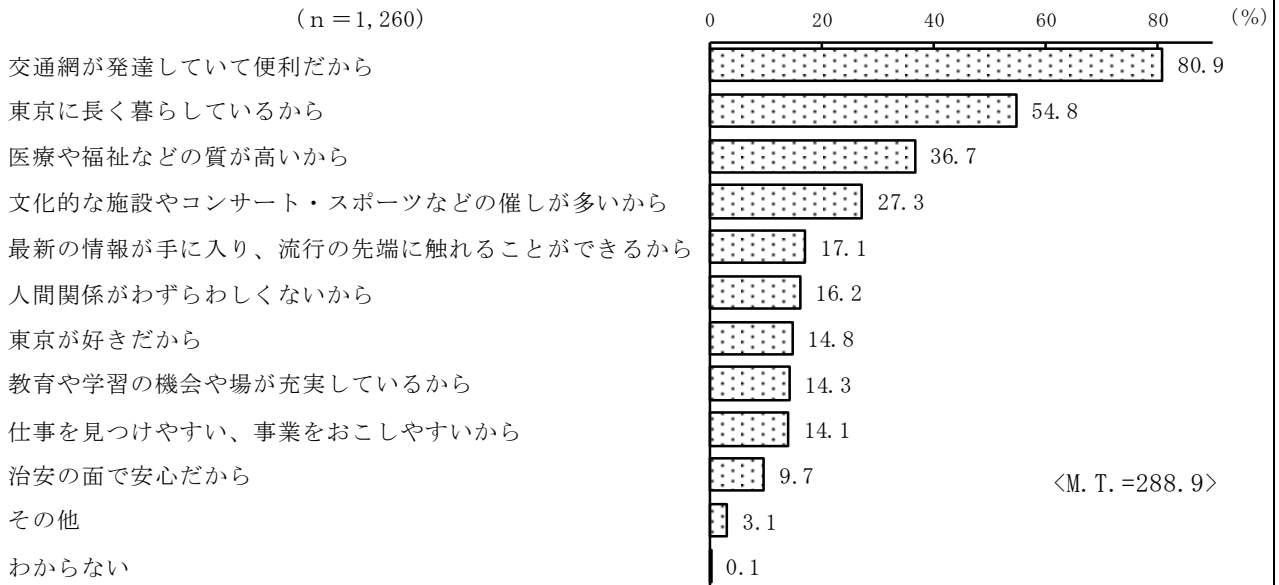
(全員の方に)

問13 あなたは、東京に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。
あなたの今のお気持ちをお答えください。(○は1つ)



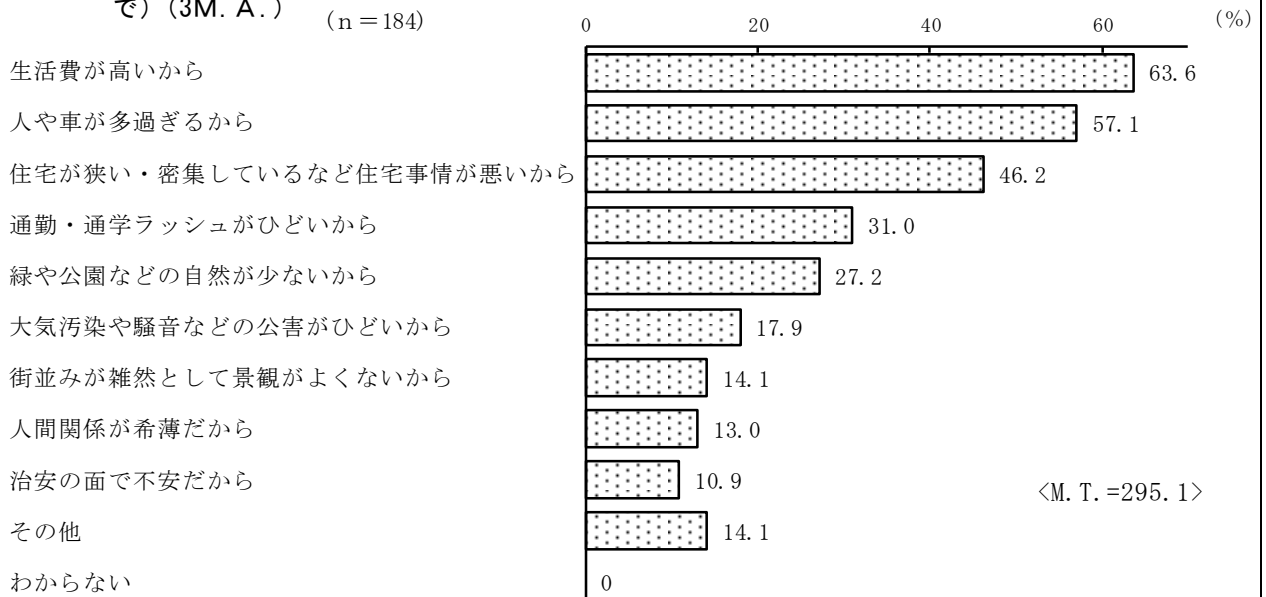
(問13で「1 住みたい」と答えた方に)

問13-1 住みたいと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)
(3M. A.)



(問13で「2 住みたくない」と答えた方に)

問13-2 住みたくないと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)
(3M. A.)



東京に今後もずっと住みたいと思うか聞いたところ、「住みたい」は68%、「住みたくない」は10%となっている。

「住みたい」と答えた人(1,260人)にその理由を聞いたところ、「交通網が発達していて便利だから」が81%で最も多く、次いで「東京に長く暮らしているから」55%、「医療や福祉などの質が高いから」37%、「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」27%などの順となっている。

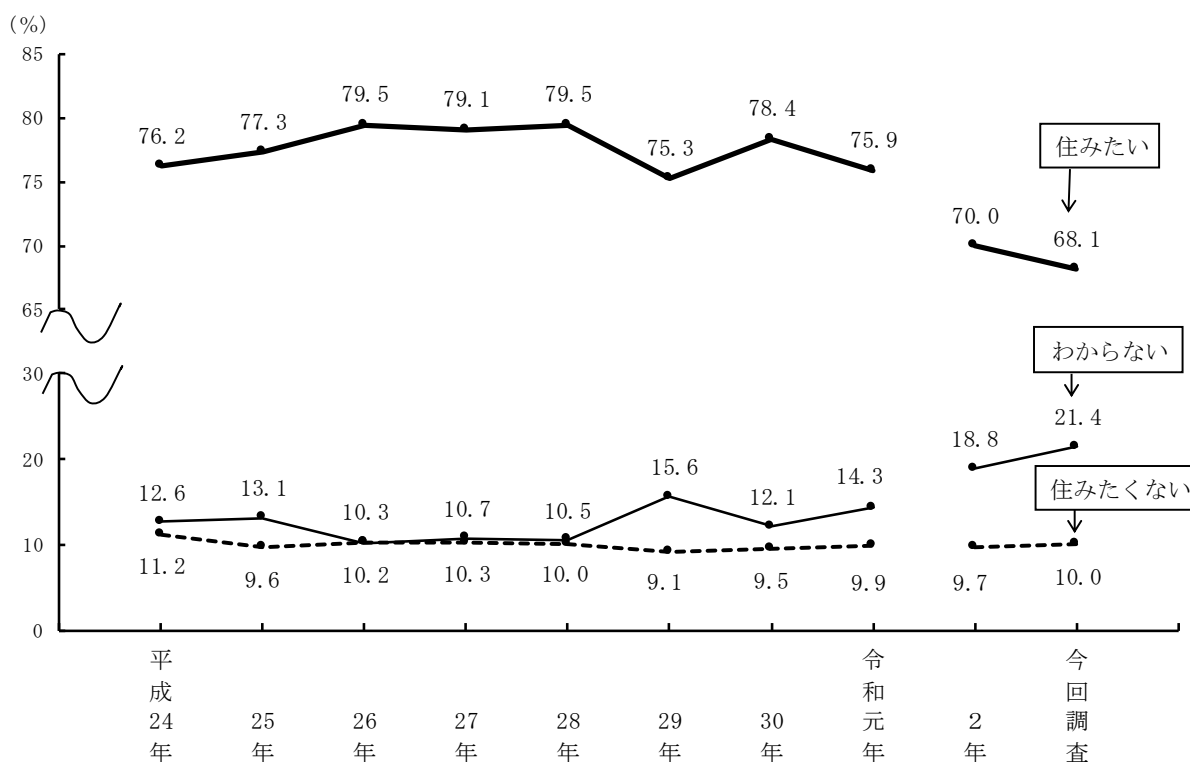
「住みたくない」と答えた人(184人)にその理由を聞いたところ、「生活費が高いから」が64%で最も多く、次いで「人や車が多過ぎるから」57%、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」46%、「通勤・通学ラッシュがひどいから」31%などの順となっている。(図3-4-1)

東京定住意向を過去の調査結果と比較すると、「住みたい」は昨年より2ポイント減少している。

(図3-4-2)

なお、東京定住意向の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料(P141 図8)に掲載している。

図3-4-2 東京定住意向—過去の調査結果

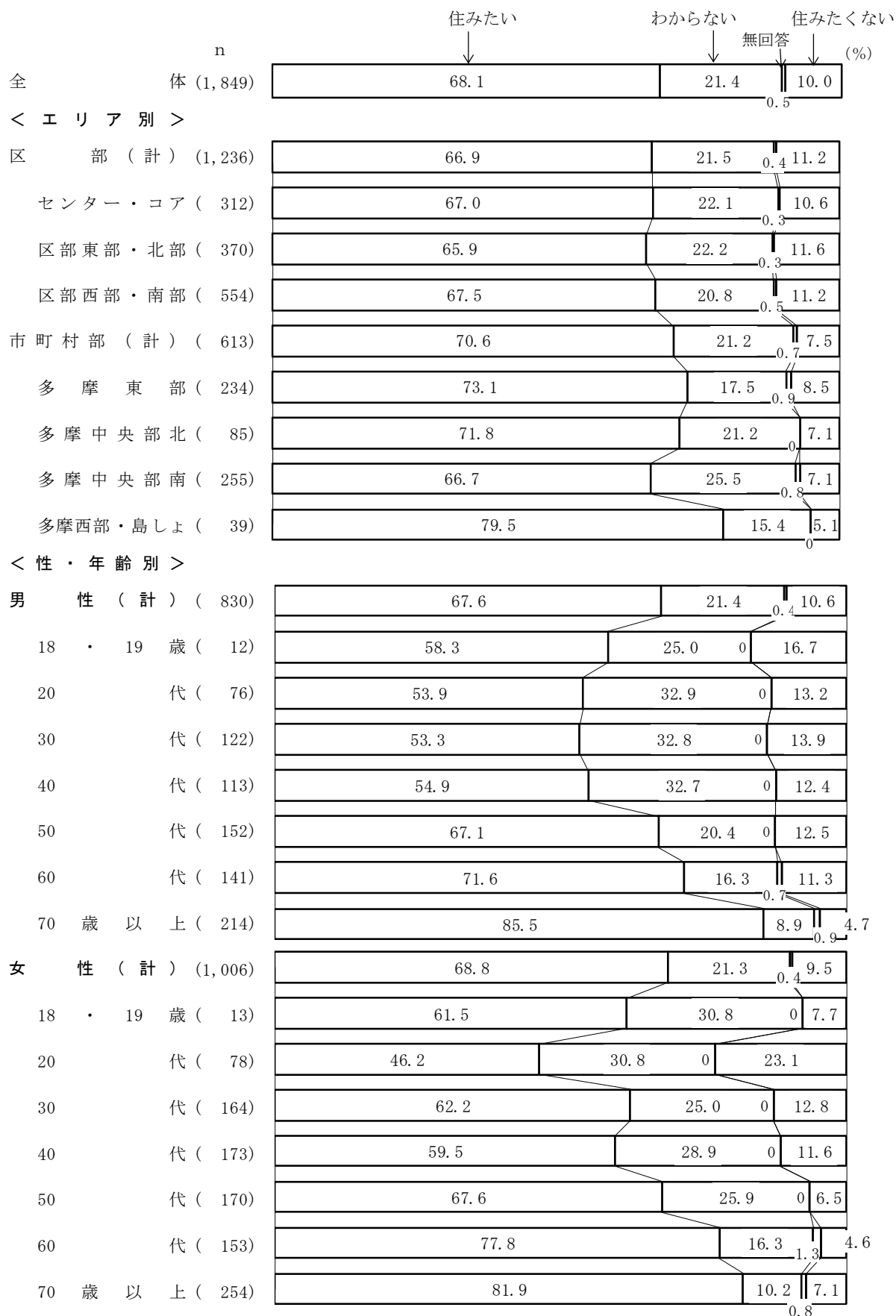


(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

エリア別にみると、特に大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「住みたい」は男女とも70歳以上で8割台と多くなっている。(図3-4-3)

図3-4-3 東京定住意向－エリア別、性・年齢別



住居形態別にみると、「住みたい」は持家（計）で7割を超えて多く、持家以外（計）よりも15ポイント高くなっている。一方、「住みたくない」は持家以外（計）で1割半ばとなっている。（図3-4-4）

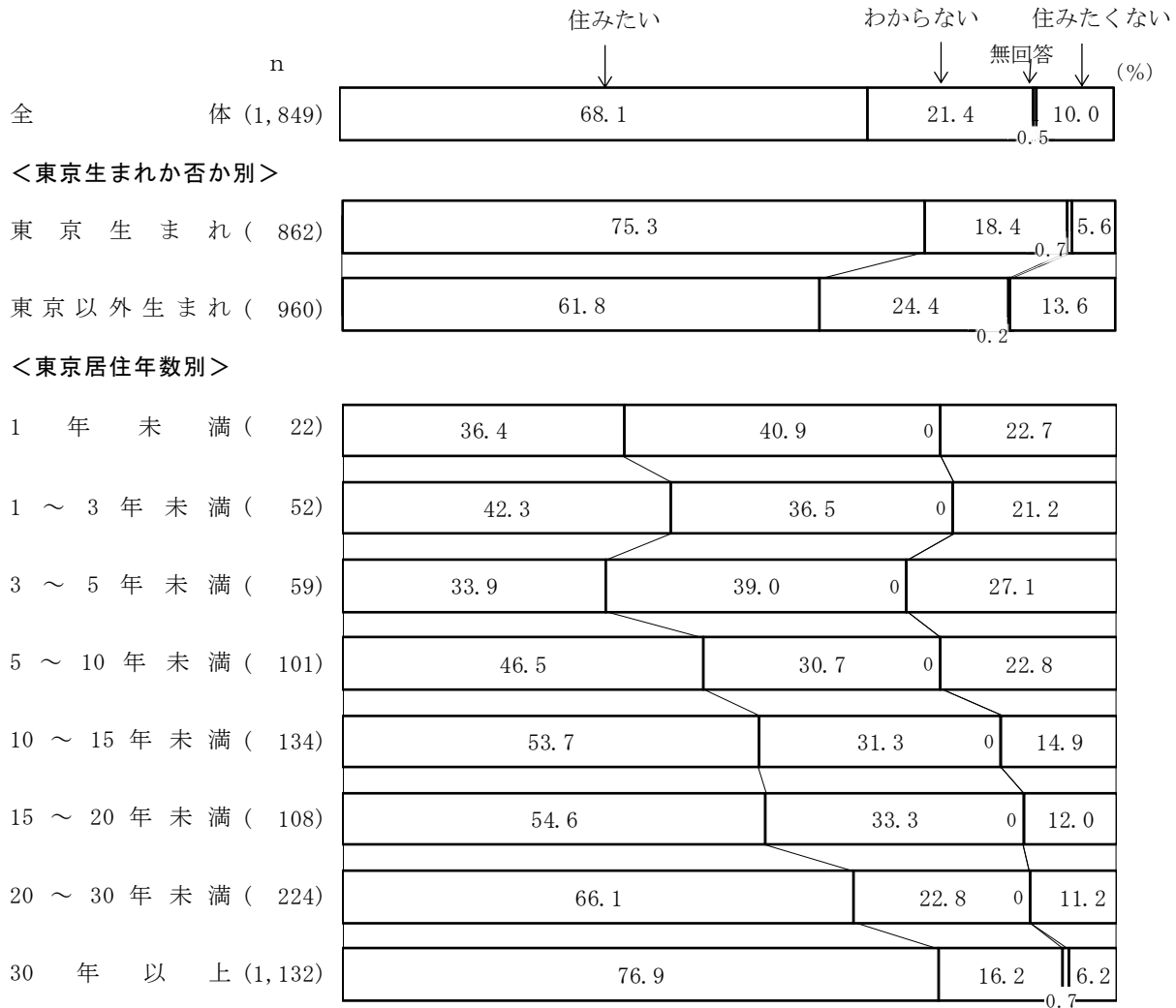
図3-4-4 東京定住意向－住居形態別

		住みたい	わからない	無回答	住みたくない
n					(%)
全	体 (1,849)	68.1	21.4	0.5	10.0
< 住 居 形 態 別 >					
持	家 (計) (1,196)	73.2	19.0	0.7	7.2
	持家 (一戸建) (896)	73.9	18.6	0.7	6.8
	持家 (分譲マンション など集合住宅) (300)	71.0	20.0	0.7	8.3
持	家以外 (計) (628)	58.0	26.6	0	15.4
	民間の借家 (一戸建) (43)	65.1	25.6	0	9.3
	民間の借家 (賃貸マンション ・アパートなど集合住宅) (396)	56.6	27.5	0	15.9
	都市機構 (旧公団) ・公社・ 公営の賃貸住宅・アパート (103)	70.9	18.4	0	10.7
	社宅・公務員住宅 など給与住宅 (53)	43.4	34.0	0	22.6
	住み込み・寮・寄宿舍など (9)	0	55.6	0	44.4

東京生まれか否か別にみると、「住みたい」は東京生まれの人で7割半ばと多く、東京以外生まれの人よりも14ポイント高くなっている。

東京居住年数別にみると、おおむね年数が長いほど「住みたい」が増加する傾向があり、30年以上で8割近くと多くなっている。(図3-4-5)

図3-4-5 東京定住意向－東京生まれか否か別、東京居住年数別



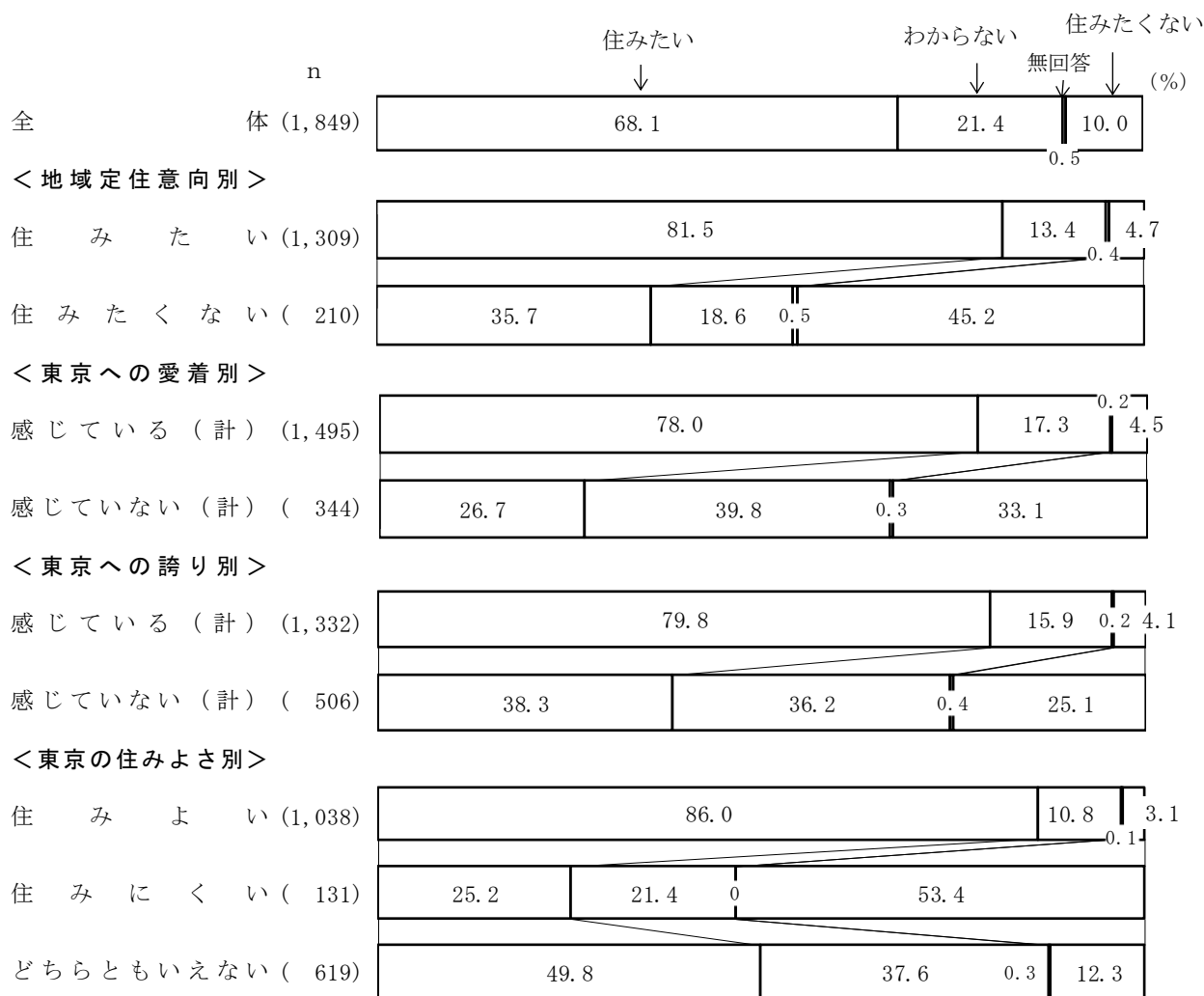
地域定住意向（問9 P50）別との関係でみると、住んでいる地域に「住みたい」と答えた人で、東京に「住みたい」と思っている人は8割を超えて多くなっている。一方、地域に「住みたくない」と答えた人で、東京にも「住みたくない」と思っている人は4割半ばとなっている。

東京への愛着（問10 P60）別との関係でみると、東京に愛着を“感じている（計）”と答えた人で、東京に「住みたい」と思っている人は8割近くと多くなっている。一方、東京に愛着を“感じていない（計）”と答えた人で東京に「住みたくない」と思っている人は、3割を超えている。

東京への誇り（問11 P63）別との関係でみると、東京に誇りを“感じている（計）”と答えた人で、東京に「住みたい」と思っている人は約8割と多くなっている。一方、東京に誇りを“感じていない（計）”と答えた人で東京に「住みたくない」と思っている人は、2割半ばとなっている。

東京の住みよさ（問12 P66）別との関係でみると、東京は“住みよい”と答えた人で、東京に「住みたい」と思っている人は8割半ばと多くなっている。一方、東京は“住みにくい”と答えた人で東京に「住みたくない」と思っている人は、5割を超えて多くなっている。（図3-4-6）

図3-4-6 東京定住意向－地域定住意向別、東京への愛着別、東京への誇り別、東京の住みよさ別

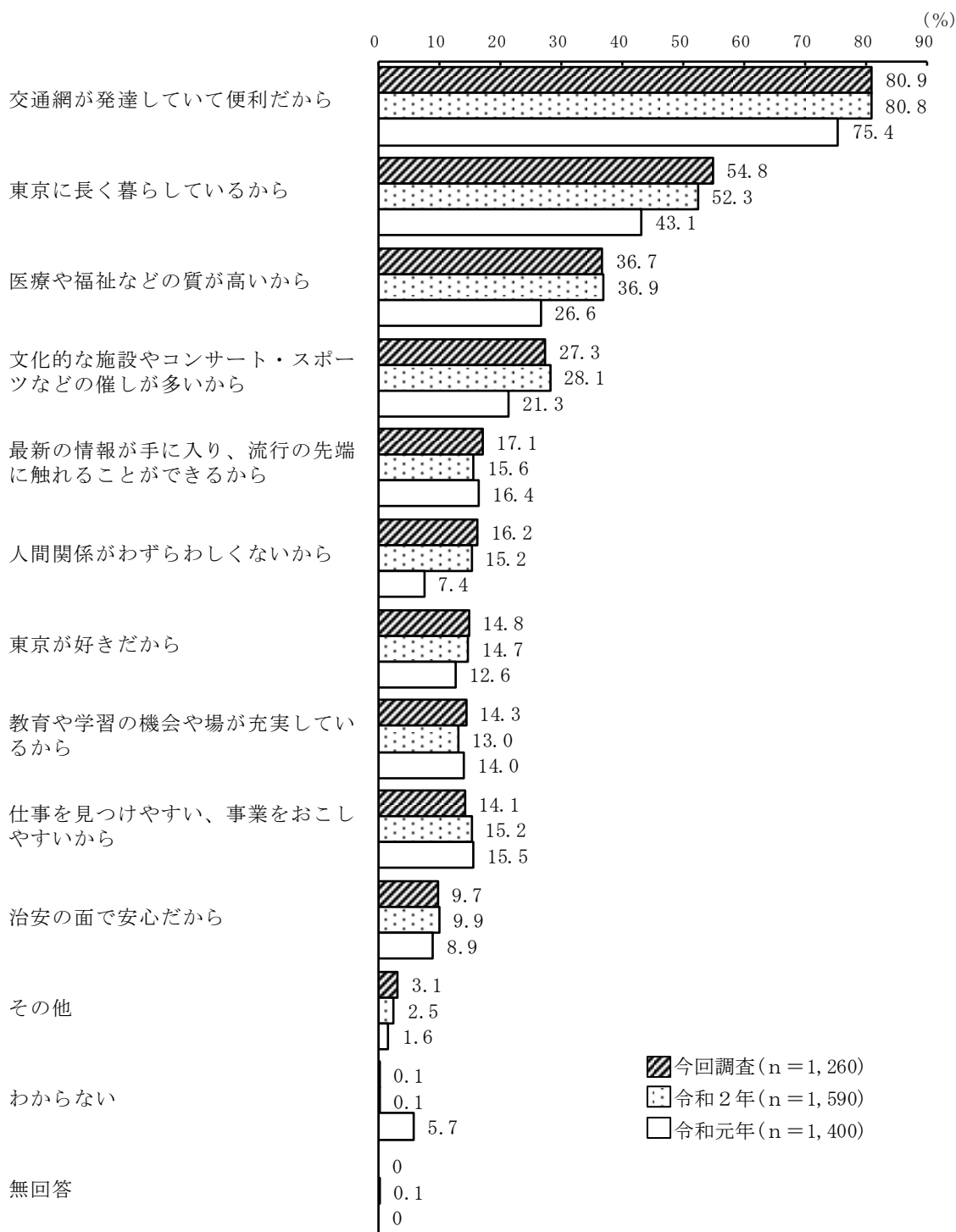


（注）『感じている（計）』は「とても感じている」「どちらかといえば感じている」の合計

『感じていない（計）』は「まったく感じていない」「どちらかといえば感じていない」の合計

東京に住みたい理由を過去の調査結果と比較すると、昨年と大きな差はみられない。(図3-4-7)

図3-4-7 東京に住みたい理由－過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

東京に住みたい理由をエリア別にみると、区部（計）は「交通網が発達していて便利だから」が8割を超えて多く、市町村（計）より7ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「東京に長く暮らしているから」は女性70歳以上で約7割と多くなっている。「医療や福祉などの質が高いから」は男女とも70歳以上で5割前後と多くなっている。また、「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」は男性20代、女性30代で4割半ばと多くなっている。

(表3-4-1)

表3-4-1 東京に住みたい理由－エリア別、性・年齢別

(%)

	n	交通網が発達して いて便利だから	東京に長く暮らして いるから	医療や福祉などの質 が高いから	文化的な施設やコンサ ート・スポーツなどの催 しが多いから	最新の情報が手に入り、 流行の先端に触れること ができるから	人間関係がわずらわし くないから	東京が好きだから	教育や学習の機会や場 が充実しているから	仕事を見つけやすい、 事業をおこしやすいから	治安の面で安心だから	その他	わからない
全体	1,260	80.9	54.8	36.7	27.3	17.1	16.2	14.8	14.3	14.1	9.7	3.1	0.1
< エリア別 >													
区部（計）	827	83.3	53.4	38.9	29.0	17.5	15.1	16.0	15.7	14.8	10.6	3.1	0.1
センター・コア	209	87.1	42.6	39.2	29.7	19.1	13.9	22.0	19.1	16.3	10.5	1.9	-
区部東部・北部	244	83.2	60.7	38.1	24.2	17.2	18.0	14.3	12.3	11.9	9.4	4.9	0.4
区部西部・南部	374	81.3	54.8	39.3	31.8	16.8	13.9	13.6	16.0	15.8	11.5	2.7	-
市町村部（計）	433	76.2	57.3	32.3	24.0	16.2	18.2	12.5	11.5	12.9	7.9	3.0	-
多摩東部	171	78.4	55.0	28.1	25.7	16.4	19.3	11.7	11.7	14.0	8.8	2.3	-
多摩中央部北	61	78.7	67.2	32.8	16.4	11.5	18.0	13.1	11.5	16.4	4.9	-	-
多摩中央部南	170	75.3	55.9	37.1	25.3	17.1	18.2	13.5	12.4	10.6	6.5	4.7	-
多摩西部・島しょ	31	64.5	58.1	29.0	22.6	19.4	12.9	9.7	6.5	12.9	16.1	3.2	-
< 性・年齢別 >													
男性（計）	561	79.9	53.8	37.1	24.6	18.7	14.6	17.3	11.6	15.7	11.9	2.5	-
18・19歳	7	71.4	28.6	14.3	57.1	42.9	-	28.6	-	14.3	-	-	-
20代	41	80.5	36.6	9.8	43.9	31.7	4.9	14.6	14.6	29.3	7.3	9.8	-
30代	65	84.6	26.2	20.0	29.2	29.2	10.8	20.0	18.5	36.9	7.7	4.6	-
40代	62	75.8	45.2	21.0	16.1	27.4	12.9	11.3	25.8	24.2	6.5	1.6	-
50代	102	80.4	52.9	38.2	25.5	17.6	14.7	23.5	15.7	13.7	10.8	-	-
60代	101	85.1	68.3	46.5	17.8	12.9	11.9	15.8	5.9	13.9	10.9	3.0	-
70歳以上	183	76.5	63.9	49.7	23.5	12.0	20.8	15.8	4.9	4.4	18.0	1.6	-
女性（計）	692	81.8	55.5	36.3	29.6	15.8	17.3	12.6	16.6	13.0	7.7	3.6	0.1
18・19歳	8	100.0	25.0	12.5	50.0	37.5	12.5	-	25.0	37.5	-	-	-
20代	36	97.2	50.0	11.1	36.1	33.3	16.7	2.8	8.3	30.6	5.6	-	-
30代	102	82.4	42.2	20.6	44.1	26.5	10.8	8.8	30.4	25.5	3.9	3.9	-
40代	103	83.5	43.7	35.0	33.0	18.4	11.7	19.4	36.9	20.4	5.8	5.8	1.0
50代	115	85.2	53.9	32.2	37.4	17.4	18.3	13.0	16.5	15.7	5.2	2.6	-
60代	119	83.2	57.1	39.5	30.3	10.9	14.3	13.4	10.9	6.7	8.4	4.2	-
70歳以上	208	74.5	69.7	50.5	14.4	7.2	25.0	12.5	4.3	1.4	11.5	3.4	-

職業別にみると、「交通網が発達していて便利だから」は販売・サービス職で約9割と多くなっている。「医療や福祉などの質が高いから」は自営・家族従業（計）で5割近くと多くなっている。

(表3-4-2)

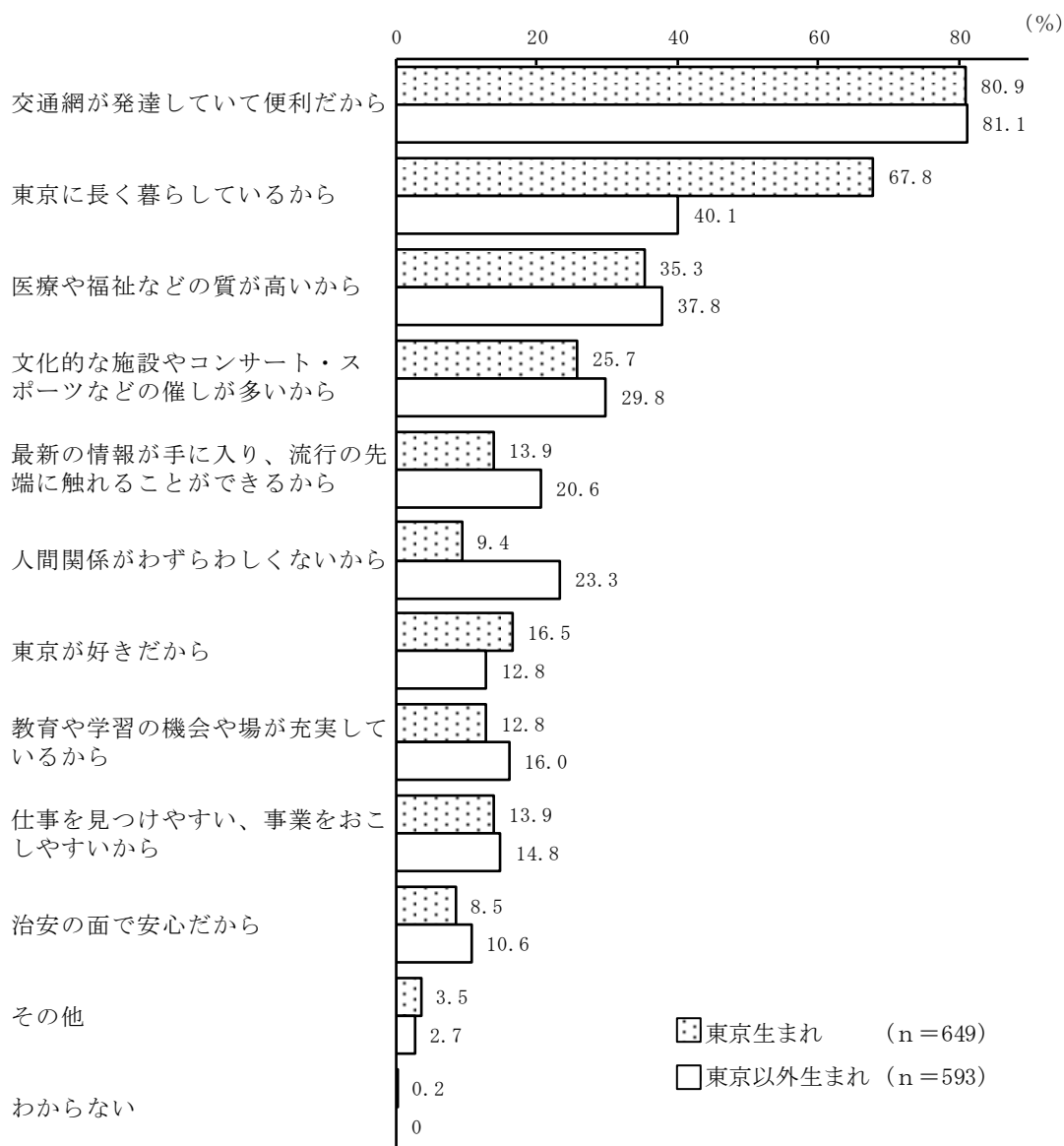
表3-4-2 東京に住みたい理由－職業別

(%)

	n	交通網が発達していて便利だから	東京に長く暮らしているから	医療や福祉などの質が高いから	文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから	最新の情報が手に入り、流行の先端に触れることができるから	人間関係がわずらわしくないから	東京が好きだから	教育や学習の機会や場が充実しているから	仕事を見つけやすい、事業をおこしやすいから	治安の面で安心だから	その他	わからない
全体	1,260	80.9	54.8	36.7	27.3	17.1	16.2	14.8	14.3	14.1	9.7	3.1	0.1
< 職業別 >													
自営・家族従業（計）	131	73.3	57.3	48.1	15.3	14.5	15.3	18.3	14.5	21.4	9.2	4.6	-
勤め（計）	629	85.4	49.1	30.4	31.8	20.3	13.5	14.1	18.0	19.7	7.8	2.5	0.2
経営・管理職	75	88.0	40.0	38.7	34.7	17.3	14.7	12.0	20.0	16.0	8.0	2.7	-
専門・技術職	170	81.8	42.4	31.8	37.6	22.4	12.4	11.8	22.4	21.2	8.8	1.2	0.6
事務職	167	85.6	48.5	25.1	40.1	21.0	15.6	19.2	21.0	18.6	6.6	3.0	-
労務・技能職	76	84.2	67.1	38.2	14.5	9.2	13.2	14.5	7.9	13.2	6.6	2.6	-
販売・サービス職	119	89.9	54.6	27.7	21.0	25.2	11.8	12.6	12.6	26.9	8.4	1.7	-
無職の主婦・主夫	303	78.2	62.7	44.2	22.8	11.2	20.8	12.9	10.6	3.3	9.2	3.6	-
学生	34	91.2	35.3	8.8	52.9	35.3	2.9	5.9	14.7	29.4	5.9	2.9	-
その他の無職	138	73.9	60.9	44.2	24.6	13.0	21.0	17.4	5.8	2.9	17.4	2.9	-

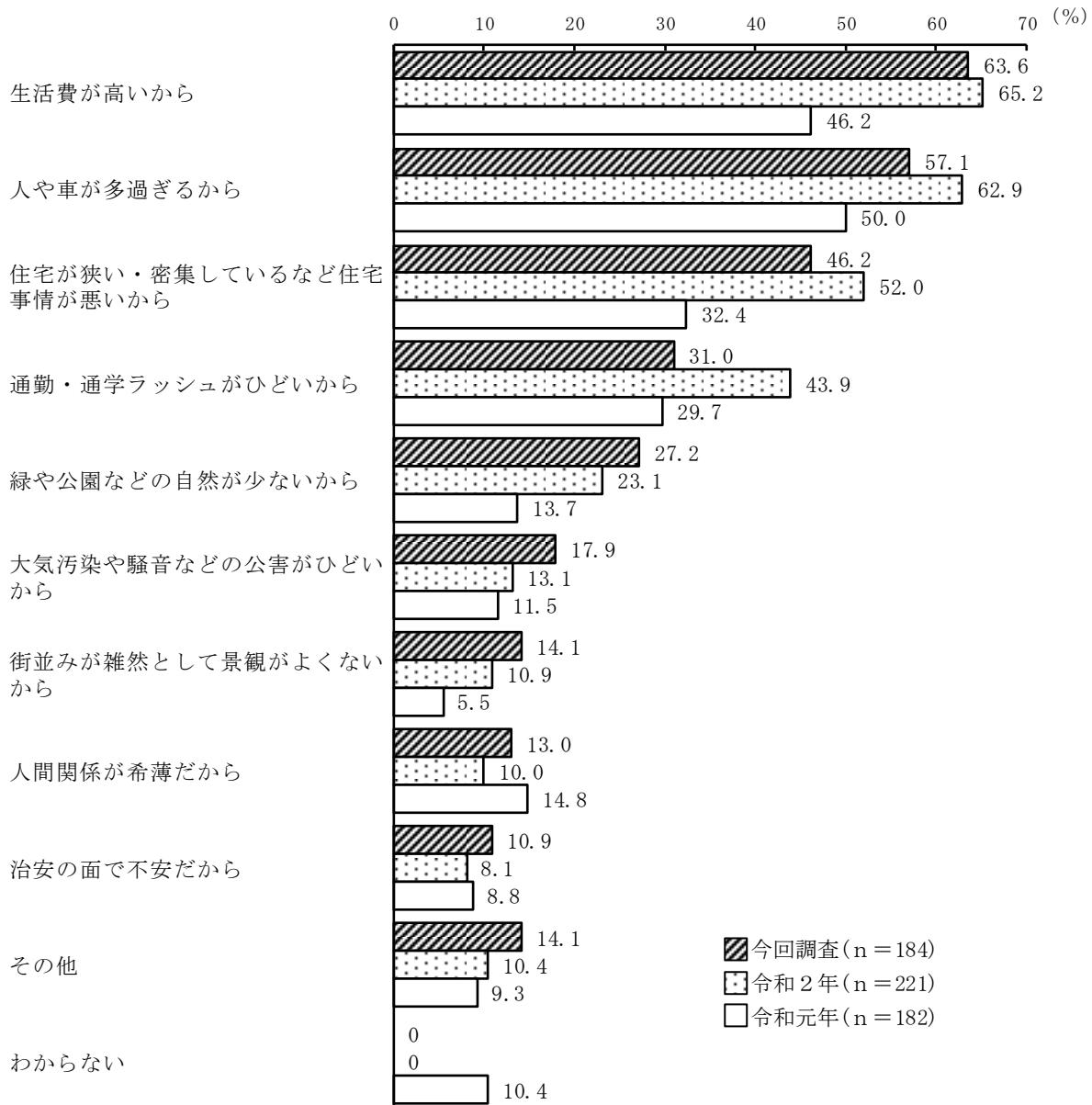
東京生まれか否か別にみると、東京生まれの人は東京以外生まれの人よりも「東京に長く暮らしているから」が28ポイント高くなっている。一方、東京以外生まれの人は東京生まれの人よりも「人間関係がわずらわしくないから」が14ポイント、「最新の情報が手に入り、流行の先端に触れることができるから」が7ポイント高くなっている。(図3-4-8)

図3-4-8 東京に住みたい理由—東京生まれか否か別



東京に住みたくない理由を過去の調査結果と比較すると、「通勤・通学ラッシュがひどいから」は昨年よりも13ポイント減少し、「人や車が多過ぎるから」「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」は6ポイント減少している。(図3-4-9)

図3-4-9 東京に住みたくない理由－過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別とみると、「通勤・通学ラッシュがひどいから」は市町村部（計）で4割を超え、区部（計）より14ポイント高くなっている。

性別にみると、「緑や公園などの自然が少ないから」は女性で3割半ばと、男性より15ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」は40代で6割半ばと多くなっている。（表3-4-3）

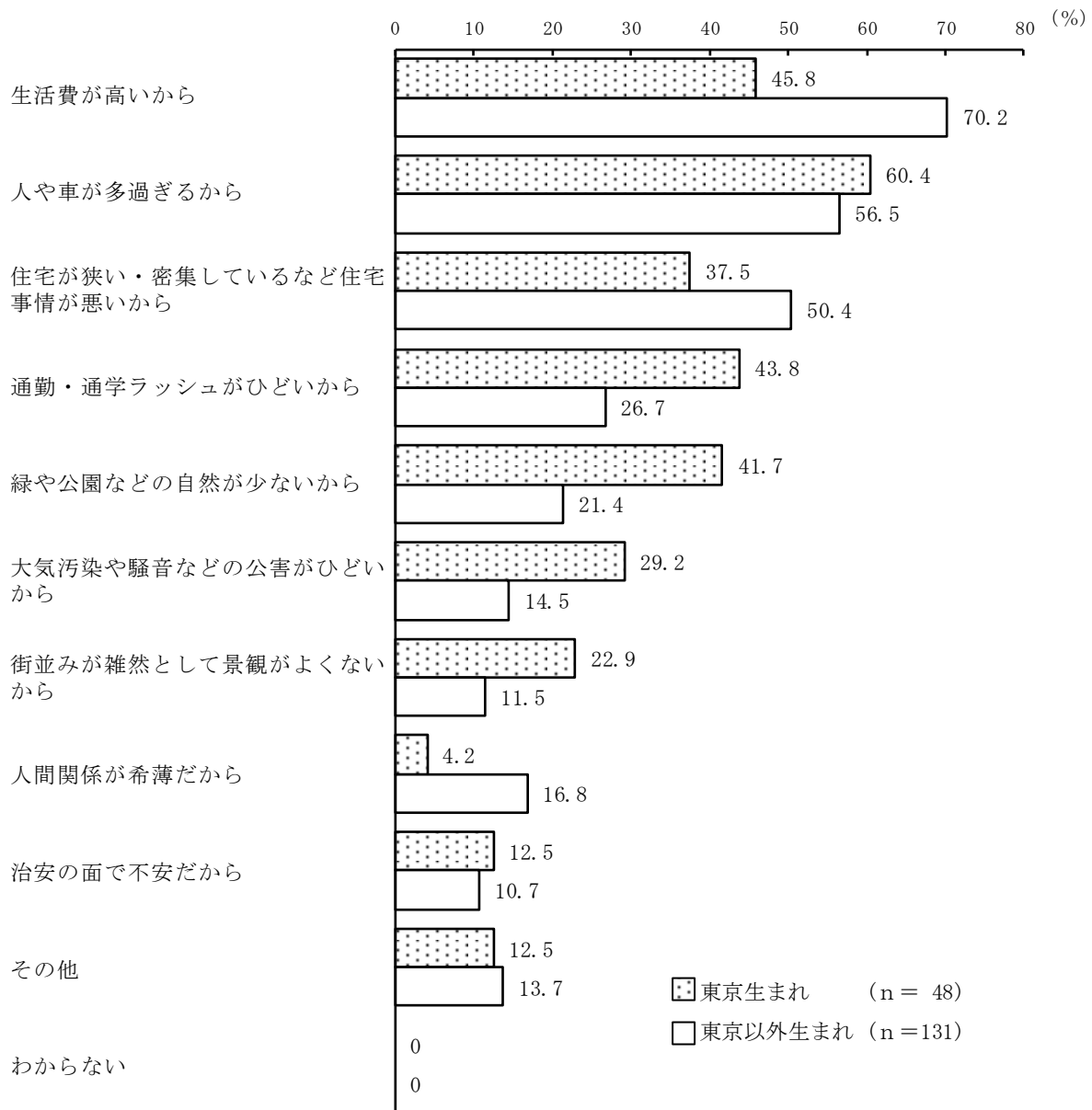
表3-4-3 東京に住みたくない理由－エリア別、性別、年齢別

(%)

	n	生活費が高いから	人や車が多過ぎるから	住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから	通勤・通学ラッシュがひどいから	緑や公園などの自然が少ないから	大気汚染や騒音などの公害がひどいから	街並みが雑然として景観がよくないから	人間関係が希薄だから	治安の面で不安だから	その他	わからない
全体	184	63.6	57.1	46.2	31.0	27.2	17.9	14.1	13.0	10.9	14.1	-
< エリア別 >												
区部（計）	138	63.8	57.2	48.6	27.5	30.4	17.4	14.5	13.8	9.4	14.5	-
センター・コア	33	51.5	57.6	57.6	30.3	33.3	12.1	12.1	6.1	9.1	18.2	-
区部東部・北部	43	65.1	48.8	30.2	18.6	27.9	16.3	16.3	11.6	11.6	25.6	-
区部西部・南部	62	69.4	62.9	56.5	32.3	30.6	21.0	14.5	19.4	8.1	4.8	-
市町村部（計）	46	63.0	56.5	39.1	41.3	17.4	19.6	13.0	10.9	15.2	13.0	-
多摩東部	20	55.0	55.0	50.0	40.0	20.0	20.0	10.0	10.0	25.0	15.0	-
多摩中央部北	6	83.3	83.3	50.0	50.0	16.7	33.3	16.7	-	16.7	16.7	-
多摩中央部南	18	61.1	44.4	22.2	38.9	11.1	11.1	16.7	16.7	5.6	11.1	-
多摩西部・島しょ	2	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-
< 性別 >												
男性	88	64.8	62.5	45.5	34.1	19.3	18.2	13.6	14.8	10.2	13.6	-
女性	96	62.5	52.1	46.9	28.1	34.4	17.7	14.6	11.5	11.5	14.6	-
< 年齢別 >												
18・19歳	3	66.7	100.0	33.3	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-
20代	28	64.3	53.6	32.1	50.0	32.1	25.0	7.1	10.7	17.9	10.7	-
30代	38	60.5	71.1	50.0	42.1	36.8	13.2	21.1	5.3	13.2	15.8	-
40代	34	64.7	58.8	64.7	38.2	20.6	17.6	17.6	8.8	2.9	14.7	-
50代	30	66.7	63.3	50.0	36.7	20.0	16.7	3.3	6.7	13.3	6.7	-
60代	23	60.9	52.2	47.8	4.3	17.4	8.7	8.7	13.0	-	34.8	-
70歳以上	28	64.3	32.1	28.6	7.1	32.1	28.6	25.0	35.7	14.3	7.1	-

東京生まれか否か別にみると、東京以外生まれの人は東京生まれの人より「生活費が高いから」が24ポイント高くなっている。一方、東京生まれの人は東京以外生まれの人より「緑や公園などの自然が少ないから」が20ポイント高くなっている。(図3-4-10)

図3-4-10 東京に住みたくない理由—東京生まれか否か別



3-5 東京をよりよくするために関わっていききたいか

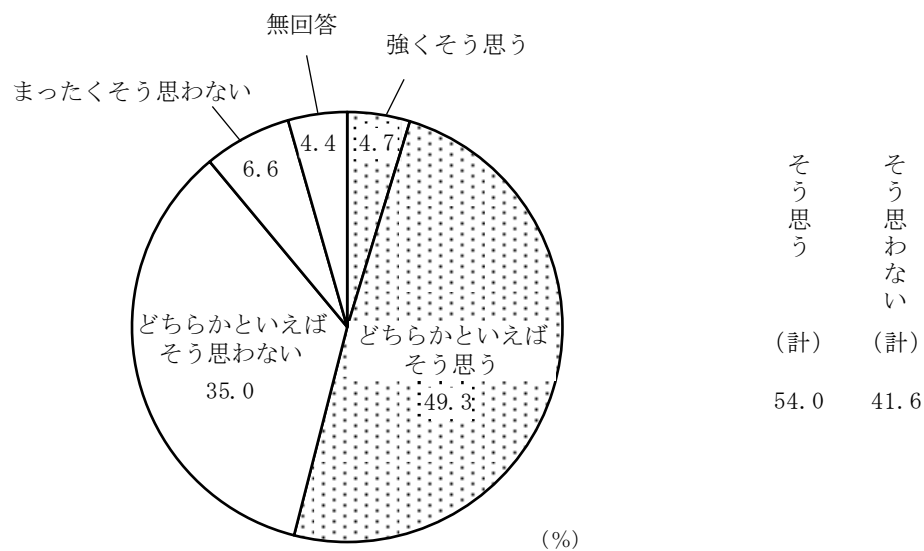
図3-5-1

(全員の方に)

問14 あなたは、都民として、東京をよりよくするために自ら関わっていきたいと思いますか。

(○は1つ)

(n=1,849)



(注) 『そう思う (計)』は「強くそう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計

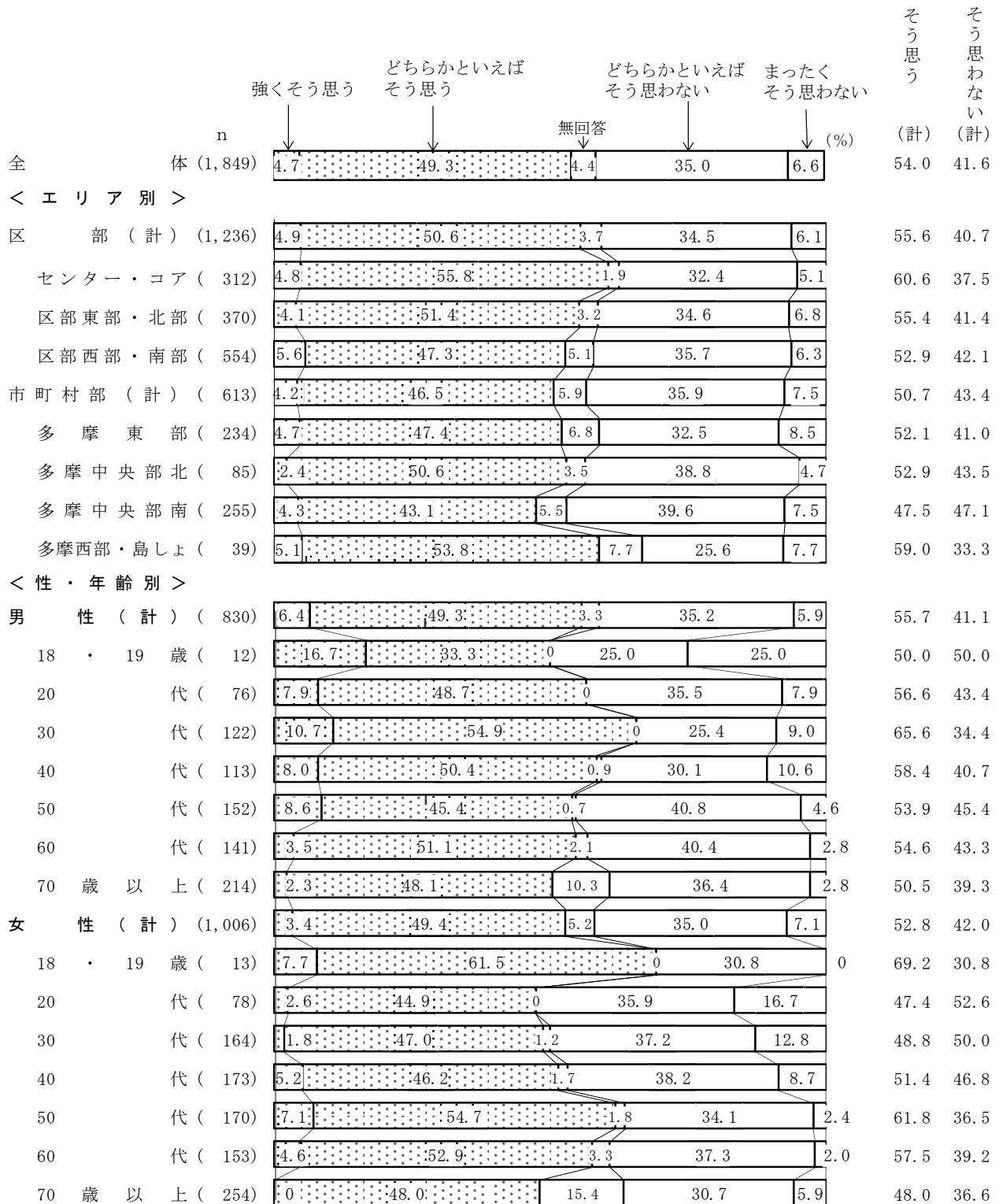
『そう思わない (計)』は「まったくそう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計

東京をよりよくするために関わっていききたいかを聞いたところ、『そう思う (計)』は54%、『そう思わない (計)』は42%となっている。(図3-5-1)

エリア別にみると、センター・コアで『そう思う（計）』が6割を超えて多くなっている。

性・年齢別にみると、『そう思う（計）』は男性30代で6割半ばと多く、『そう思わない（計）』は女性20代、30代で5割台と多くなっている。（図3-5-2）

図3-5-2 東京をよりよくするために関わっていきたいかーエリア別、性・年齢別



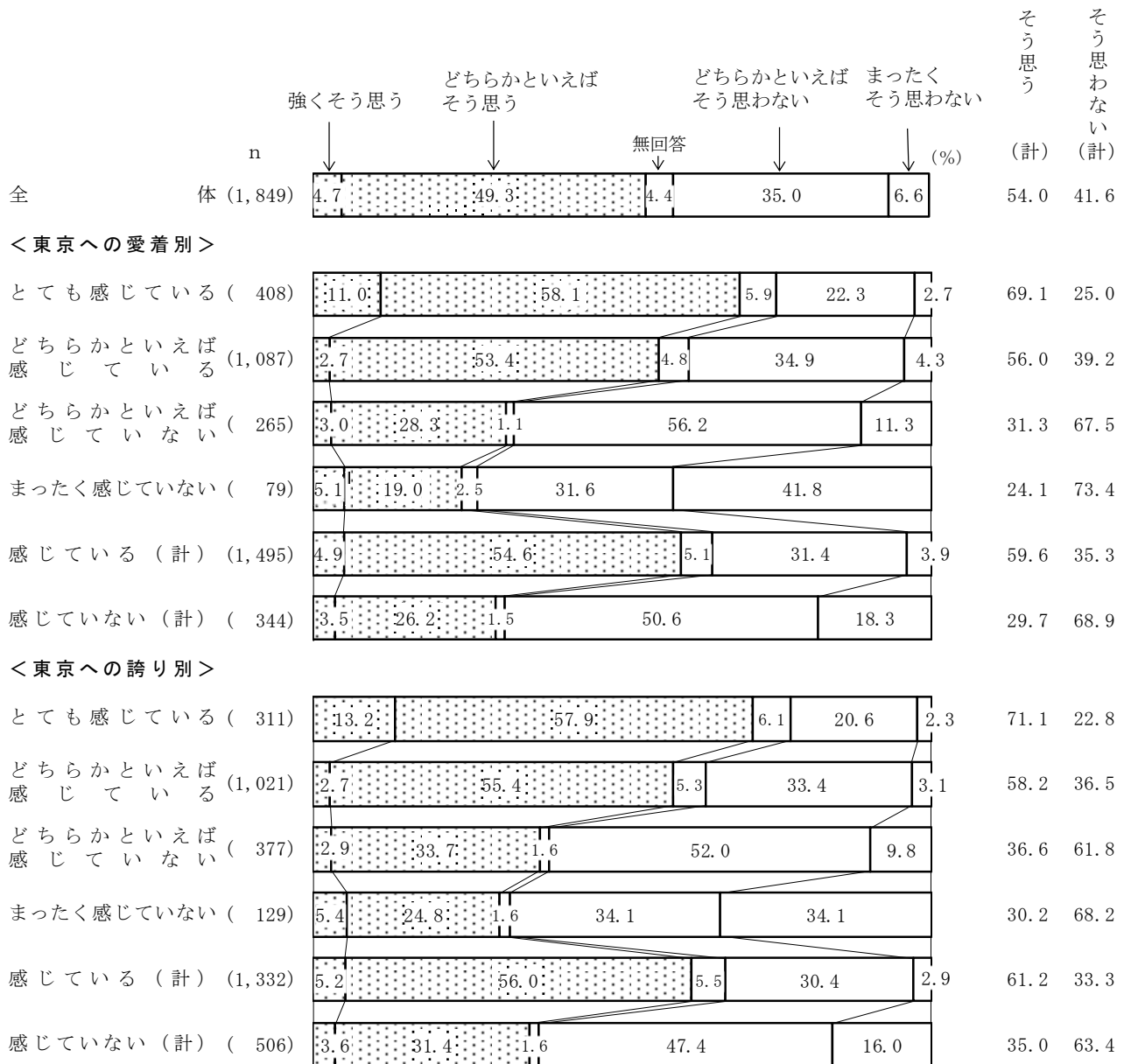
(注) 『そう思う (計)』は「強く思う」「どちらかといえばそう思う」の合計

『そう思わない (計)』は「まったくそう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計

東京への愛着（問10 P60）別にみると、愛着度が強まるほど『そう思う（計）』の割合が高くなっている。

東京への誇り（問11 P63）別にみると、誇りを感じる程度が強まるほど『そう思う（計）』の割合が高くなっている。（図3-5-3）

図3-5-3 東京をよりよくするために関わっていききたいか—東京への愛着別、東京への誇り別



(注1) 『そう思う（計）』は「強くそう思う」「どちらかといえはそう思う」の合計

『そう思わない（計）』は「まったくそう思わない」「どちらかといえはそう思わない」の合計

(注2) 『感じている（計）』は「とても感じている」「どちらかといえは感じている」の合計

『感じていない（計）』は「まったく感じていない」「どちらかといえは感じていない」の合計

3-6 関わっていききたいこと（希望）

図3-6-1

（問14で「1 強くそう思う」「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方に）

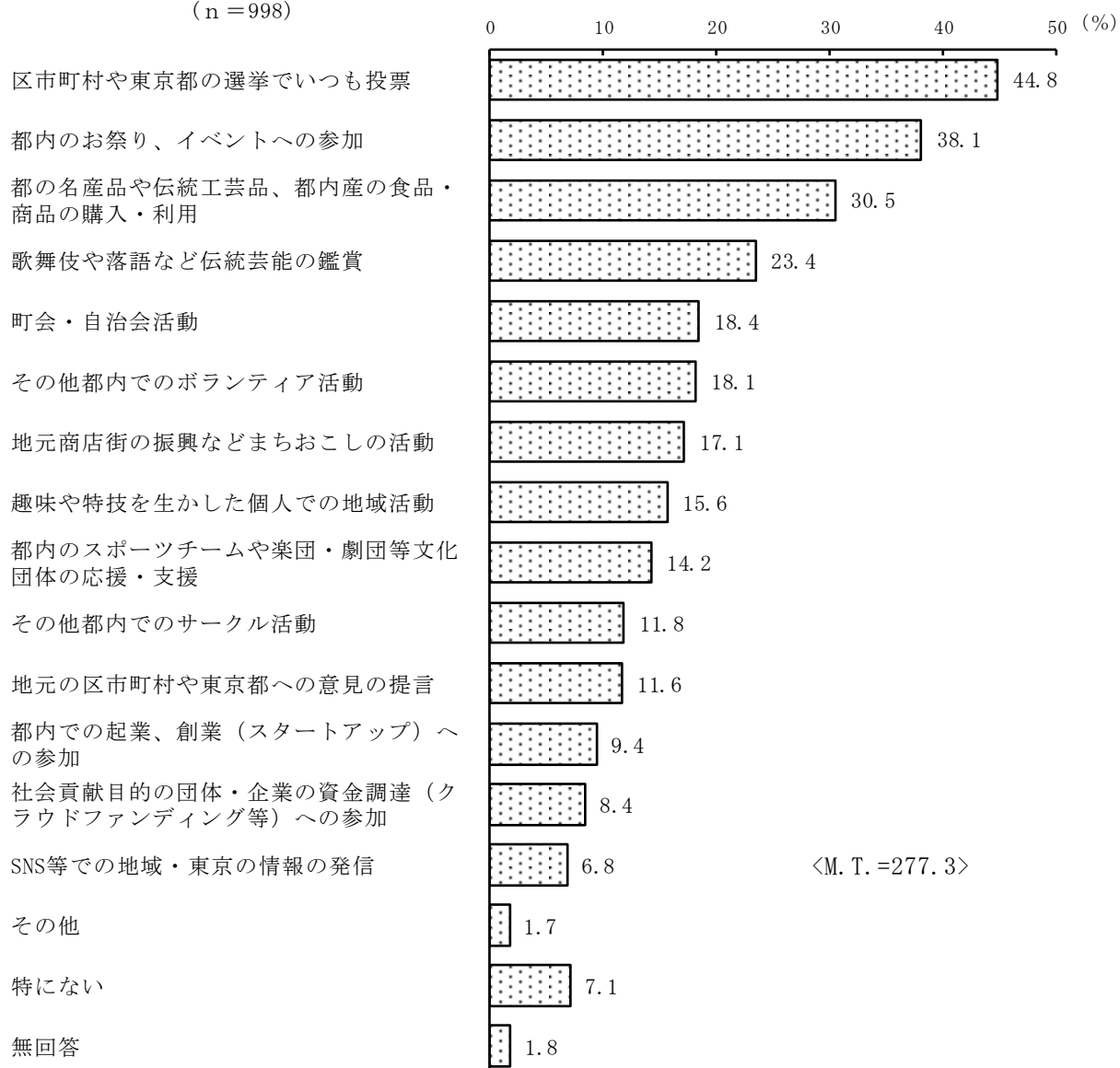
問14-1 それでは、あなたは東京をよりよくするために、具体的にどのようなことに関わっていき
たいと思いますか。また、いま関わっている現状はどうですか。

「関わっていききたい希望」と「いま関わっている現状」それぞれで、次の中から当てはまる
ものをいくつでもお選びください。（○はいくつでも）（M. A.）

（1）関わっていききたい「希望」

※新たに関わっていききたいことも、今まで関わってきたことで続けたいものも含まれます。

（n = 998）



東京をよりよくするために関わっていききたいこと（希望）を聞いたところ、「区市町村や東京都の選挙でいつも投票」が45%で最も多く、次いで「都内のお祭り、イベントへの参加」38%、「都の名産品や伝統工芸品、都内産の食品・商品の購入・利用」31%、「歌舞伎や落語など伝統芸能の鑑賞」23%、「町会・自治会活動」18%などの順となっている。（図3-6-1）

東京をよりよくするために関わっていききたいこと（希望）をエリア別にみると、「歌舞伎や落語など伝統芸能の鑑賞」は区部西部・南部で3割近くと多く、「趣味や特技を生かした個人での地域活動」は市町村部（計）で2割を超えている。

性別にみると、「都内のお祭り、イベントへの参加」は女性が4割を超えて多くなっている。また「歌舞伎や落語など伝統芸能の鑑賞」は女性で約3割と、男性より13ポイント高くなっている。

年齢別にみると、70歳以上で「区市町村や東京都の選挙でいつも投票」が5割半ば、「町会・自治会活動」が3割半ばと多くなっている。（表3-6-1）

表3-6-1 関わっていききたいこと（希望）－エリア別、性別、年齢別

(%)

	n	区市町村や東京都の選挙でいつも投票	都内のお祭り、イベントへの参加	都の名産品や伝統工芸品、都内産の食品・商品の購入・利用	歌舞伎や落語など伝統芸能の鑑賞	町会・自治会活動	その他都内でのボランティア活動	地元商店街の振興などまちおこしの活動	趣味や特技を生かした個人での地域活動	文化団体の応援・支援	都内のスポーツチームや楽団・劇団等	その他都内でのサークル活動	地元の区市町村や東京都への意見の提言	都内での起業、創業（スタートアップ）への参加	社会貢献目的の団体・企業の資金調達（クラウドファンディング等）への参加	SNS等での地域・東京の情報の発信	その他	特にない	無回答
全 体	998	44.8	38.1	30.5	23.4	18.4	18.1	17.1	15.6	14.2	11.8	11.6	9.4	8.4	6.8	1.7	7.1	1.8	
< エリア 別 >																			
区 部（計）	687	44.8	38.9	30.7	26.3	17.5	17.6	18.0	13.2	14.4	12.1	10.6	9.9	8.3	7.6	1.7	7.7	1.9	
センター・コア	189	39.2	43.4	29.6	23.8	22.8	19.6	18.5	13.8	14.8	11.1	9.0	10.1	10.1	11.6	2.1	6.9	2.1	
区部東部・北部	205	47.3	37.1	33.7	23.9	18.5	16.1	17.6	13.7	7.8	11.7	9.3	7.8	7.3	5.4	1.5	8.8	2.9	
区部西部・南部	293	46.8	37.2	29.4	29.7	13.3	17.4	18.1	12.6	18.8	13.0	12.6	11.3	7.8	6.5	1.7	7.5	1.0	
市町村部（計）	311	44.7	36.3	29.9	17.0	20.6	19.3	15.1	20.9	13.8	11.3	13.8	8.4	8.7	5.1	1.6	5.8	1.6	
多摩東部	122	43.4	41.0	27.9	18.9	15.6	22.1	15.6	20.5	14.8	11.5	11.5	9.0	9.8	6.6	-	6.6	2.5	
多摩中央部北	45	44.4	42.2	37.8	13.3	28.9	17.8	17.8	22.2	15.6	13.3	17.8	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	-	
多摩中央部南	121	43.8	30.6	28.1	17.4	22.3	16.5	14.0	23.1	12.4	11.6	14.9	9.1	9.9	5.0	3.3	6.6	0.8	
多摩西部・島しょ	23	56.5	30.4	34.8	13.0	21.7	21.7	13.0	8.7	13.0	4.3	13.0	13.0	8.7	4.3	-	4.3	4.3	
< 性 別 >																			
男 性	462	40.9	33.8	24.5	16.7	17.7	13.4	18.2	17.7	14.1	10.0	13.2	14.3	9.3	6.5	1.7	8.4	1.3	
女 性	531	48.2	42.0	35.8	29.6	18.8	22.4	16.2	13.9	14.5	13.6	10.4	5.3	7.7	7.2	1.7	6.0	1.9	
< 年 齢 別 >																			
18 ・ 19 歳	15	20.0	66.7	6.7	13.3	6.7	26.7	6.7	6.7	20.0	6.7	-	20.0	-	20.0	-	-	-	
20 代	80	37.5	45.0	25.0	12.5	6.3	12.5	13.8	22.5	18.8	15.0	12.5	16.3	10.0	13.8	1.3	8.8	-	
30 代	160	33.8	47.5	29.4	18.8	7.5	8.8	21.9	14.4	10.0	8.1	11.3	10.6	8.1	15.0	2.5	9.4	-	
40 代	155	39.4	51.0	36.1	23.2	14.8	16.8	22.6	11.0	12.9	12.3	12.9	11.0	7.1	9.0	1.3	8.4	-	
50 代	187	48.1	35.8	34.8	24.6	16.6	23.5	15.5	16.0	20.9	8.6	15.5	16.0	11.2	5.3	2.1	7.5	0.5	
60 代	165	50.3	33.3	32.7	29.7	19.4	30.9	18.2	20.6	15.8	15.2	11.5	4.8	9.7	2.4	3.0	4.8	0.6	
70 歳 以 上	230	53.5	24.3	25.7	26.5	33.9	13.9	12.6	14.3	10.0	13.9	8.7	2.6	6.5	0.9	0.4	6.1	6.1	

3-7 いま関わっていること（現状）

図3-7-1

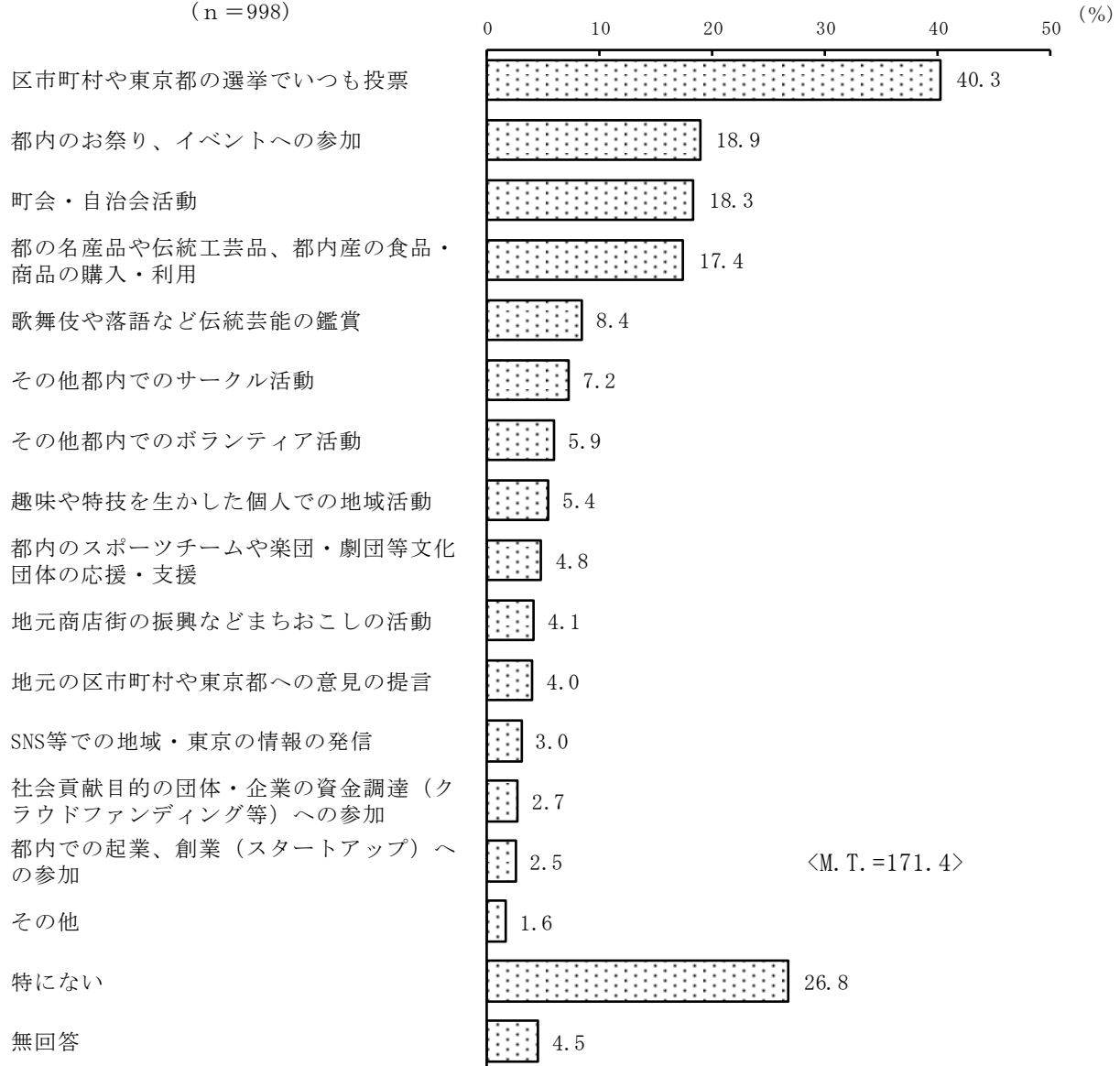
（問14で「1 強くそう思う」「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方に）

問14-1 それでは、あなたは東京をよりよくするために、具体的にどのようなことに関わっていき
たいと思いますか。また、いま関わっている現状はどうですか。

「関わっていききたい希望」と「いま関わっている現状」それぞれで、次の中から当てはまる
ものをいくつでもお選びください。（○はいくつでも）（M. A.）

（2）いま関わっている「現状」

（n = 998）



東京をよりよくするために関わっていること（現状）を聞いたところ、「区市町村や東京都の選挙でいつも投票」が40%で最も多く、次いで「都内のお祭り、イベントへの参加」19%、「町会・自治会活動」18%、「都の名産品や伝統工芸品、都内産の食品・商品の購入・利用」17%、「歌舞伎や落語など伝統芸能の鑑賞」8%などの順となっている。一方、「特にない」は27%となっている。（図3-7-1）

東京をよりよくするためにいま関わっていること（現状）をエリア別にみると、市町村部（計）では「町会・自治会活動」が2割半ばと区部（計）より8ポイント高くなっている。

性別にみると、「都の名産品や伝統工芸品、都内産の食品・商品の購入・利用」は女性で2割を超え、男性より11ポイント高くなっている。

年齢別にみると、70歳以上で「町会・自治会活動」が3割半ば、40代で「都内のお祭り、イベントへの参加」が3割近くと多くなっている。（表3-7-1）

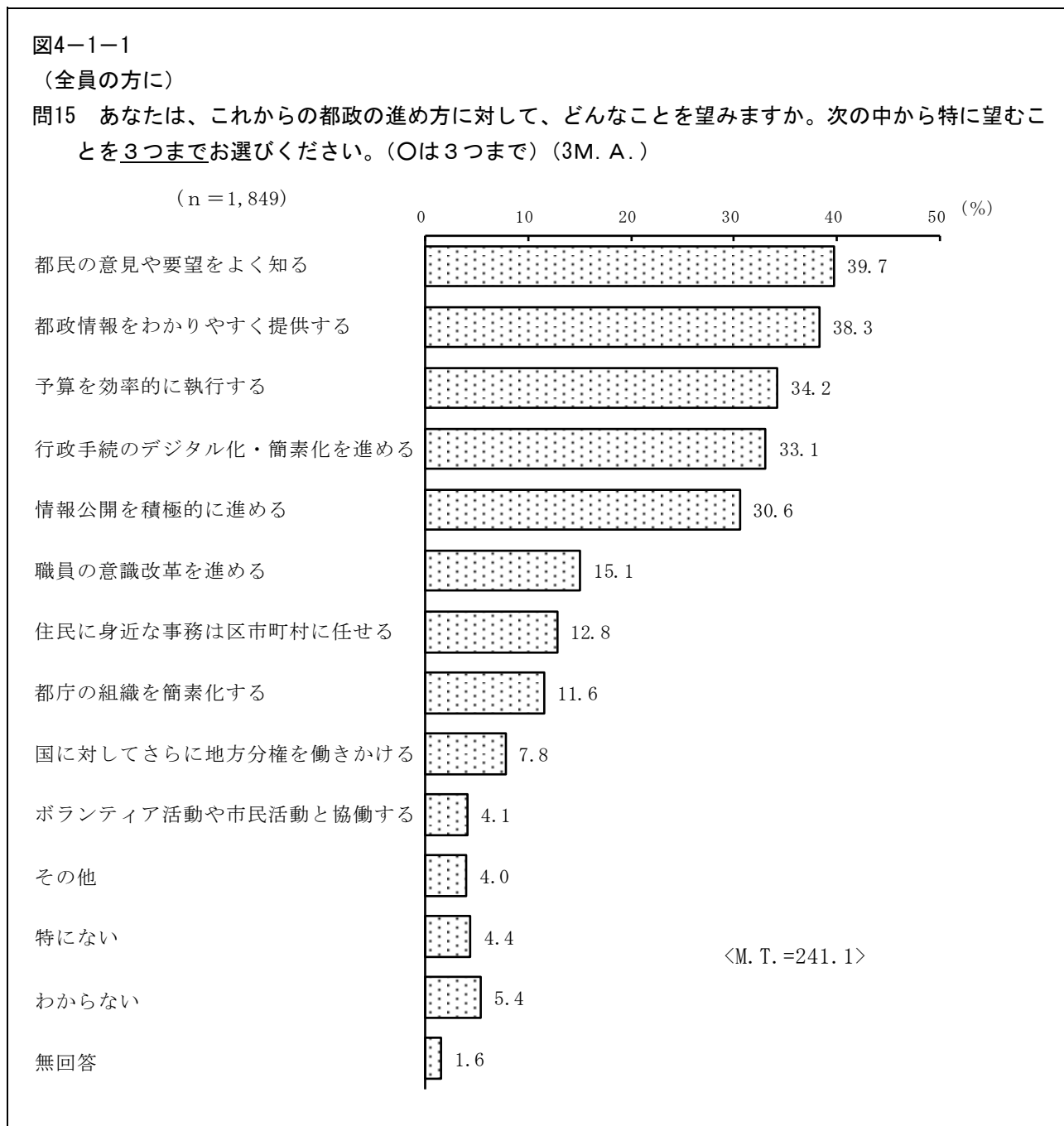
表3-7-1 いま関わっていること（現状）－エリア別、性別、年齢別

(%)

	n	区市町村や東京都の選挙でいつも投票	都内のお祭り、イベントへの参加	町会・自治会活動	都の名産品や伝統工芸品、都内産の食品・商品の購入・利用	歌舞伎や落語など伝統芸能の鑑賞	その他都内でのサークル活動	その他都内でのボランティア活動	趣味や特技を生かした個人での地域活動	文化団体の応援・支援	都内のスポーツチームや楽団・劇団等	地元商店街の振興などまちおこしの活動	地元の区市町村や東京都への意見の提言	SNS等での地域・東京の情報の発信	社会貢献目的の団体・企業の資金調達（クラウドファンディング等）への参加	都内での起業、創業（スタートアップ）への参加	その他	特にない	無回答
全 体	998	40.3	18.9	18.3	17.4	8.4	7.2	5.9	5.4	4.8	4.1	4.0	3.0	2.7	2.5	1.6	26.8	4.5	
< エリア別 >																			
区 部（計）	687	41.0	19.9	16.0	16.4	9.6	7.1	5.5	4.5	4.8	4.9	3.5	3.6	2.5	3.3	1.7	27.9	4.9	
センター・コア	189	38.1	21.7	18.5	15.9	7.9	5.3	5.8	6.3	4.8	5.3	2.6	4.8	3.2	3.7	2.6	29.6	4.2	
区部東部・北部	205	39.5	17.6	23.4	17.1	8.3	7.8	5.9	4.9	3.4	6.3	2.9	2.4	2.0	2.9	2.0	27.3	5.9	
区部西部・南部	293	44.0	20.5	9.2	16.4	11.6	7.8	5.1	3.1	5.8	3.8	4.4	3.8	2.4	3.4	1.0	27.3	4.8	
市町村部（計）	311	38.6	16.7	23.5	19.6	5.8	7.4	6.8	7.4	4.8	2.3	5.1	1.6	3.2	0.6	1.3	24.1	3.5	
多摩東部	122	37.7	18.9	17.2	19.7	5.7	6.6	5.7	9.8	6.6	1.6	4.9	3.3	3.3	-	-	27.0	3.3	
多摩中央部北	45	37.8	22.2	24.4	13.3	4.4	8.9	4.4	8.9	4.4	4.4	6.7	-	-	-	2.2	24.4	4.4	
多摩中央部南	121	35.5	9.9	26.4	21.5	6.6	9.1	8.3	5.0	2.5	1.7	5.8	0.8	5.0	1.7	2.5	22.3	4.1	
多摩西部・島しょ	23	60.9	30.4	39.1	21.7	4.3	-	8.7	4.3	8.7	4.3	-	-	-	-	-	17.4	-	
< 性別 >																			
男 性	462	36.6	17.1	17.3	11.9	5.0	6.7	5.0	6.1	4.8	4.3	4.8	3.2	3.0	3.7	1.3	30.1	5.4	
女 性	531	43.7	20.7	19.4	22.4	11.5	7.7	6.8	4.7	4.9	4.0	3.4	2.8	2.4	1.5	1.9	23.7	3.4	
< 年齢別 >																			
18・19歳	15	20.0	20.0	-	-	-	-	6.7	6.7	-	-	-	-	-	-	-	53.3	-	
20代	80	40.0	17.5	-	10.0	3.8	5.0	2.5	2.5	6.3	-	5.0	3.8	1.3	-	-	33.8	3.8	
30代	160	29.4	23.8	6.9	9.4	1.3	2.5	1.9	3.8	1.9	3.1	2.5	6.3	1.3	1.9	1.9	38.8	3.1	
40代	155	40.0	26.5	17.4	20.6	5.2	5.8	4.5	0.6	3.2	2.6	3.2	6.5	1.3	3.2	1.3	31.6	1.3	
50代	187	40.1	17.1	18.2	21.9	10.7	4.8	6.4	5.3	5.9	5.3	5.3	1.6	3.7	6.4	2.7	25.7	3.7	
60代	165	45.5	16.4	19.4	23.0	17.0	9.7	10.9	8.5	6.1	6.1	5.5	1.8	4.2	2.4	1.8	21.2	4.2	
70歳以上	230	46.1	14.8	34.3	17.4	10.0	13.0	7.0	8.3	6.1	5.2	3.5	0.4	3.5	0.4	1.3	15.7	8.3	

4 都政への要望

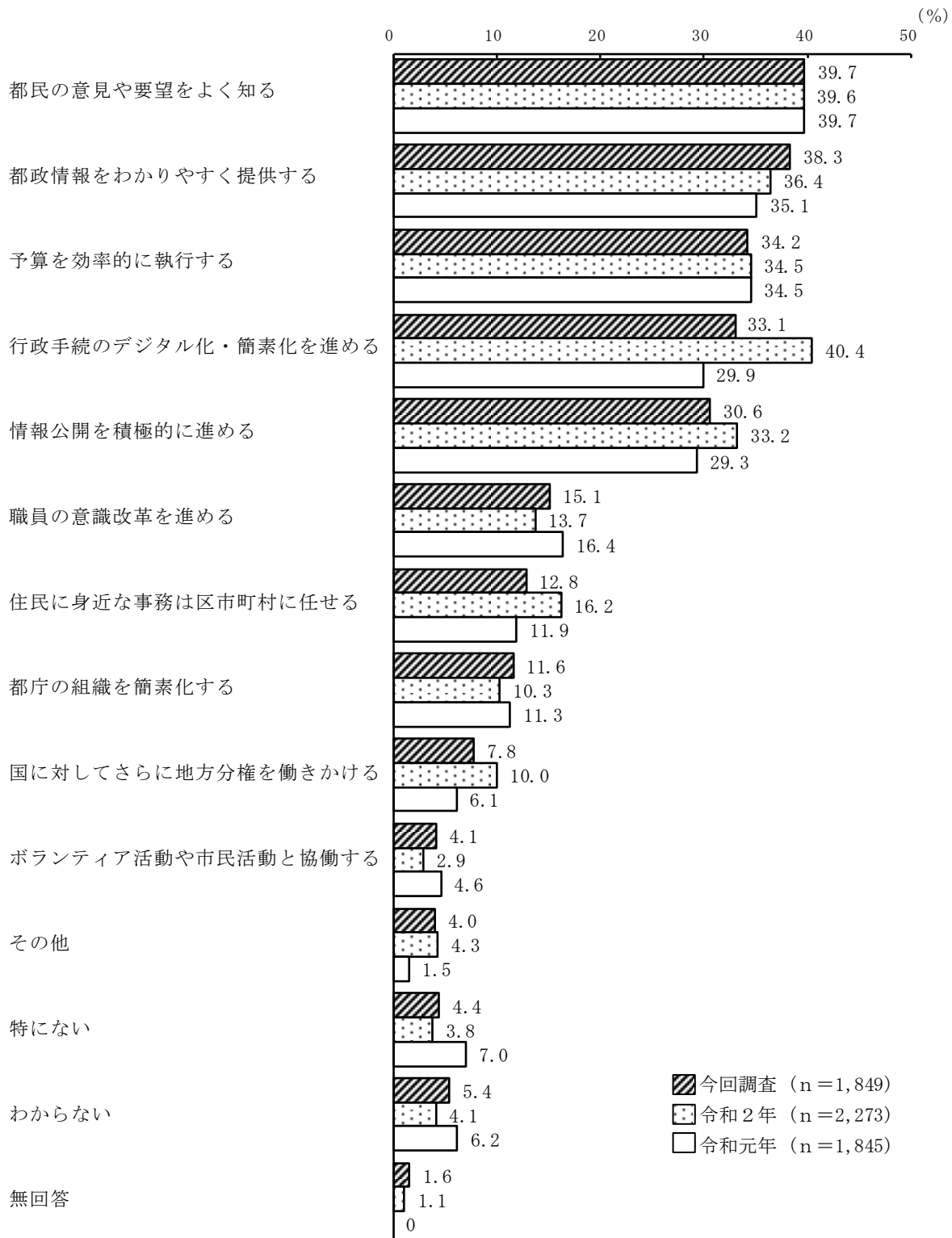
※4-1 これからの都政の進め方



これからの都政の進め方に対して、特に望むことを3つまで選んでもらったところ、「都民の意見や要望をよく知る」が40%で最も多く、次いで「都政情報をわかりやすく提供する」38%、「予算を効率的に執行する」34%、「行政手続のデジタル化・簡素化を進める」33%、「情報公開を積極的に進める」31%などの順となっている。(図4-1-1)

これからの都政の進め方を過去の調査結果と比較すると、選択肢項目名を一部変更しているが、「行政手続のデジタル化・簡素化を進める」は昨年（「事務手続きを簡素化する」）よりも7ポイント減少している。（図4-1-2）

図4-1-2 これからの都政の進め方—過去の調査結果



(注1) 「行政手続のデジタル化・簡素化を進める」は令和2年までは「事務手続きを簡素化する」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「行政手続のデジタル化・簡素化を進める」はセンター・コアで4割を超えて多くなっている。

性・年齢別にみると、「都民の意見や要望をよく知る」は女性で4割を超え、男性よりも8ポイント高く、「行政手続のデジタル化・簡素化を進める」は男性で4割近くと女性より8ポイント高くなっている。

(表4-1-1)

表4-1-1 これからの都政の進め方—エリア別、性・年齢別

(%)

	n	都民の意見や要望をよく知る	都政情報をわかりやすく提供する	予算を効率的に執行する	行政手続のデジタル化・簡素化を進める	情報公開を積極的に進める	職員の意識改革を進める	住民に身近な事務は区市町村に任せる	都庁の組織を簡素化する	国に対してさらに地方分権を働きかける	ボランティア活動や市民活動と協働する	その他	特にない	わからない	無回答	
全体	1,849	39.7	38.3	34.2	33.1	30.6	15.1	12.8	11.6	7.8	4.1	4.0	4.4	5.4	1.6	
< エリア別 >																
区部(計)	1,236	40.1	37.4	34.4	35.4	32.1	15.4	11.1	12.0	8.1	3.6	3.9	4.4	5.1	1.5	
センター・コア	312	41.7	41.3	34.9	41.0	32.7	13.1	12.2	11.9	7.4	4.5	4.8	4.5	2.9	1.0	
区部東部・北部	370	43.0	37.6	29.7	27.3	28.6	15.7	11.4	12.2	7.3	2.2	3.5	4.3	6.8	3.0	
区部西部・南部	554	37.4	35.0	37.2	37.5	34.1	16.4	10.3	11.9	9.0	4.0	3.6	4.3	5.2	0.9	
市町村部(計)	613	38.8	40.1	33.9	28.5	27.4	14.5	16.3	10.8	7.2	5.2	4.2	4.6	6.0	1.6	
多摩東部	234	39.3	39.3	31.6	29.5	29.5	14.1	14.5	7.3	9.4	6.0	5.1	6.0	4.7	1.3	
多摩中央部北	85	41.2	40.0	21.2	24.7	28.2	17.6	16.5	18.8	5.9	5.9	3.5	2.4	8.2	2.4	
多摩中央部南	255	36.9	42.0	38.4	31.8	24.3	12.5	18.0	10.6	5.5	3.9	3.9	3.5	6.7	2.0	
多摩西部・島しょ	39	43.6	33.3	46.2	10.3	33.3	23.1	15.4	15.4	7.7	7.7	2.6	7.7	5.1	-	
< 性・年齢別 >																
男性(計)	830	35.5	36.4	36.7	37.8	33.0	16.3	14.3	13.0	10.0	4.3	5.2	3.3	3.7	0.8	
18・19歳	12	25.0	41.7	41.7	50.0	41.7	33.3	8.3	8.3	8.3	8.3	-	-	-	-	
20代	76	46.1	38.2	39.5	40.8	32.9	3.9	6.6	9.2	7.9	2.6	7.9	1.3	6.6	-	
30代	122	35.2	41.8	36.1	54.1	36.1	12.3	7.4	9.8	7.4	1.6	9.8	0.8	1.6	-	
40代	113	37.2	34.5	46.0	47.8	32.7	20.4	11.5	12.4	8.8	4.4	6.2	2.7	1.8	-	
50代	152	37.5	38.2	33.6	41.4	34.2	22.4	13.2	18.4	9.9	3.9	3.3	3.3	2.6	0.7	
60代	141	36.2	33.3	41.8	33.3	34.8	13.5	19.9	14.9	13.5	5.7	4.3	4.3	2.1	0.7	
70歳以上	214	29.9	34.1	29.9	22.0	29.0	17.3	20.1	11.7	10.7	5.6	3.3	5.1	7.0	2.3	
女性(計)	1,006	43.3	40.1	32.5	29.5	28.7	14.1	11.6	10.4	6.1	4.0	3.1	5.4	6.6	1.9	
18・19歳	13	30.8	46.2	38.5	30.8	46.2	7.7	7.7	7.7	-	-	-	7.7	15.4	-	
20代	78	50.0	35.9	50.0	43.6	26.9	7.7	1.3	6.4	2.6	2.6	3.8	2.6	6.4	-	
30代	164	47.0	46.3	43.9	42.7	29.9	7.3	4.3	7.9	4.3	2.4	4.3	6.1	5.5	0.6	
40代	173	45.7	38.7	32.9	38.2	31.8	13.9	13.9	10.4	7.5	3.5	2.9	5.8	4.6	-	
50代	170	42.9	38.2	39.4	35.9	32.9	12.9	10.0	11.8	8.2	4.1	2.9	2.9	5.9	0.6	
60代	153	43.8	43.1	25.5	22.2	29.4	20.3	15.0	10.5	7.8	5.9	4.6	3.9	7.2	1.3	
70歳以上	254	37.8	37.0	18.9	11.0	22.0	18.1	17.3	12.6	5.1	4.7	1.6	7.9	8.3	5.9	

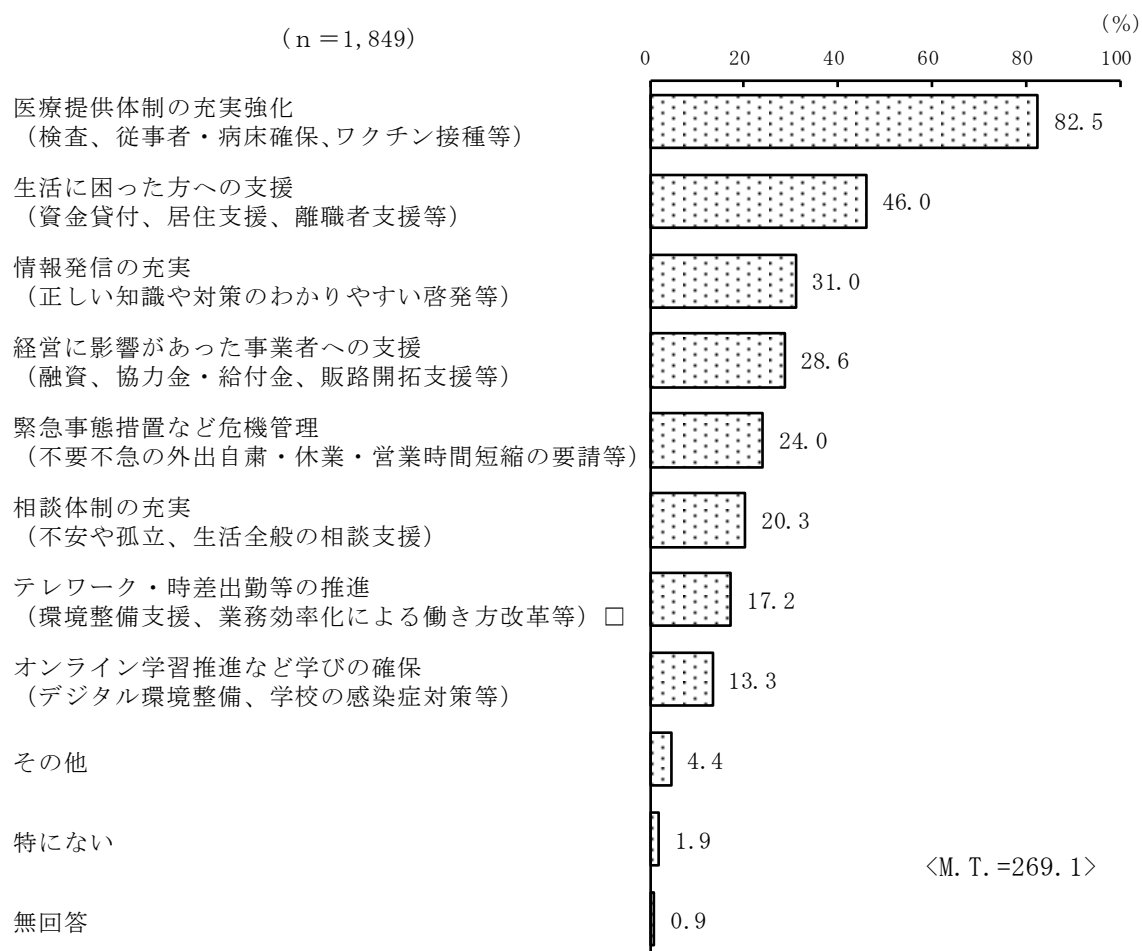
※4-2 新型コロナウイルス感染症対策

図4-2-1

(全員の方に)

問16 新型コロナウイルス感染症の流行が続いています。

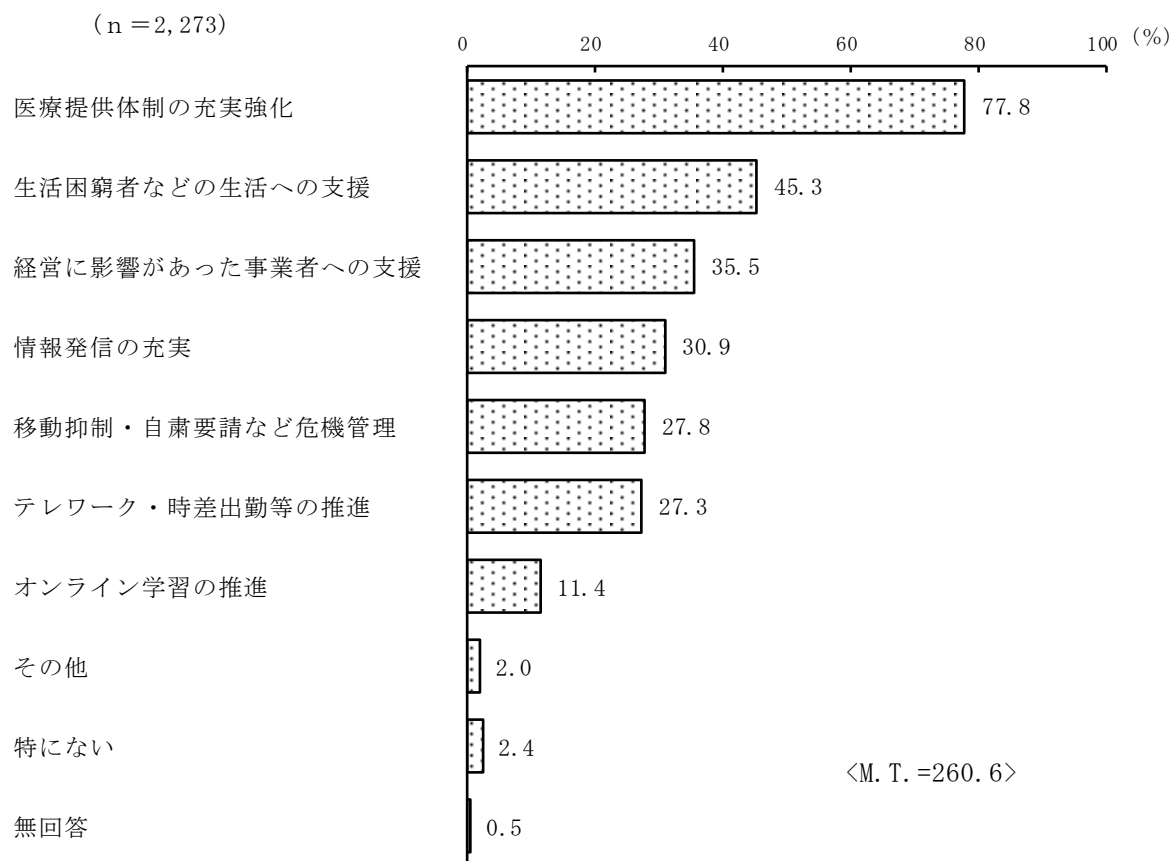
あなたは、「新型コロナウイルス感染症に関する対策」について、都にどのようなことを望みますか。次の中から特に望むことを3つまでお選びください。(〇は3つまで) (3M. A.)



新型コロナウイルス感染症対策について、都に特に望むことを3つまで選んでもらったところ、「医療提供体制の充実強化」が83%で最も多く、次いで「生活に困った方への支援」46%、「情報発信の充実」31%、「経営に影響があった事業者への支援」29%などの順となっている。(図4-2-1)

新型コロナウイルス感染症対策について都に望むことは、今回調査では昨年の選択肢項目名をかなり変更しているため、昨年調査結果を参考として示す。(図4-2-2)

図4-2-2 新型コロナウイルス感染症対策—令和2年調査結果(参考)



(注1) 今回調査では、令和2年の「生活困窮者などの生活への支援」は「生活に困った方への支援」に、「移動抑制・自粛要請など危機管理」は「緊急事態措置など危機管理」に、「オンライン学習の推進」は「オンライン学習推進など学びの確保」に変更し、「相談体制の充実」を追加

(注2) 今回調査では、各項目の主な具体例を括弧内に追記

エリア別にみると、「テレワーク・時差出勤等の推進」はセンター・コアで2割半ばと多くなっている。

性・年齢別にみると、「医療提供体制の充実強化」は女性50代、60代で9割前後、「情報発信の充実」は女性70歳以上で4割を超えて多くなっている。「テレワーク・時差出勤等の推進」は男女とも20代、30代で3割から3割半ばと多くなっている。(表4-2-1)

表4-2-1 新型コロナウイルス感染症対策—エリア別、性・年齢別

(%)

	n	医療提供体制の充実強化 (検査、従事者・病床確保、ワクチン接種等)	生活に困った方への支援 (資金貸付、居住支援、離職者支援等)	情報発信の充実 (正しい知識や対策のわかりやすい啓発等)	経営に影響があつた事業者への支援(融資、協力金・給付金、販路開拓支援等)	緊急事態措置など危機管理 (不要不急の外出自粛・休業・営業時間短縮の要請等)	相談体制の充実 (不安や孤立、生活全般の相談支援)	テレワーク・時差出勤等の推進 (環境整備支援、業務効率化による働き方改革等)	オンライン学習推進など学びの確保 (デジタル環境整備、学校の感染症対策等)	その他	特にない	無回答
全体	1,849	82.5	46.0	31.0	28.6	24.0	20.3	17.2	13.3	4.4	1.9	0.9
< エリア別 >												
区部(計)	1,236	82.1	45.3	31.0	28.9	23.6	20.1	18.5	15.1	4.0	2.2	0.6
センター・コア	312	80.4	46.2	26.9	31.1	23.7	17.0	25.3	17.6	4.8	1.6	0.3
区部東部・北部	370	79.2	46.2	33.5	28.6	27.3	22.2	11.6	12.7	3.5	2.4	1.1
区部西部・南部	554	85.0	44.2	31.6	27.8	21.1	20.6	19.3	15.3	4.0	2.3	0.4
市町村部(計)	613	83.2	47.3	31.0	28.1	24.8	20.6	14.5	9.5	5.2	1.3	1.6
多摩東部	234	86.3	45.3	36.3	24.8	27.4	20.5	17.9	8.5	3.8	0.4	0.9
多摩中央部北	85	78.8	56.5	30.6	32.9	18.8	17.6	11.8	10.6	5.9	-	1.2
多摩中央部南	255	83.5	46.3	27.5	27.5	25.1	21.2	11.8	10.2	7.1	1.6	2.4
多摩西部・島しょ	39	71.8	46.2	23.1	41.0	20.5	23.1	17.9	7.7	-	7.7	2.6
< 性・年齢別 >												
男性(計)	830	81.8	49.6	28.3	30.1	24.6	20.0	15.7	11.7	4.6	1.8	0.7
18・19歳	12	41.7	58.3	25.0	50.0	8.3	-	16.7	8.3	-	16.7	-
20代	76	64.5	55.3	26.3	42.1	26.3	7.9	34.2	7.9	2.6	1.3	-
30代	122	80.3	39.3	27.9	28.7	15.6	9.8	31.1	20.5	9.0	-	-
40代	113	83.2	45.1	24.8	31.0	22.1	19.5	23.0	25.7	2.7	2.7	-
50代	152	87.5	48.0	27.0	32.9	30.3	19.7	14.5	7.9	5.3	0.7	-
60代	141	87.9	56.7	29.1	29.8	21.3	30.5	6.4	7.8	5.7	0.7	1.4
70歳以上	214	82.2	51.9	31.8	23.4	29.4	24.8	3.3	6.1	2.8	3.3	1.9
女性(計)	1,006	83.4	43.1	33.3	27.4	23.7	20.6	18.6	14.7	4.4	1.9	0.8
18・19歳	13	69.2	61.5	30.8	30.8	23.1	-	23.1	38.5	-	-	-
20代	78	70.5	51.3	28.2	34.6	24.4	16.7	30.8	15.4	5.1	1.3	-
30代	164	82.3	43.9	22.0	31.1	22.6	13.4	35.4	20.1	6.1	1.8	-
40代	173	83.2	39.9	27.7	28.3	24.3	15.0	26.0	23.7	5.2	1.2	-
50代	170	90.6	38.8	34.1	26.5	23.5	22.9	15.3	15.9	5.9	0.6	0.6
60代	153	88.9	49.0	39.2	32.7	24.8	22.2	10.5	7.8	4.6	1.3	0.7
70歳以上	254	80.7	40.9	41.7	19.7	23.2	28.7	5.9	6.7	1.6	3.9	2.4

職業別にみると、「経営に影響があった事業者への支援」は自営・家族従業（計）で5割を超えて多くなっている。「情報発信の充実」は無職の主婦・主夫で4割近く、「テレワーク・時差出勤等の推進」は事務職、専門・技術職で3割前後と多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、「生活に困った方への支援」は生活程度が低いほど割合が高くなっている。（表4-2-2）

表4-2-2 新型コロナウイルス感染症対策—職業別、生活程度別

(%)

	n	医療提供体制の充実強化 (検査、従事者・病床確保、ワクチン接種等)	生活に困った方への支援 (資金貸付、居住支援、離職者支援等)	正しい知識や対策のわかりやすい啓発等	情報発信の充実 (正しい知識や対策のわかりやすい啓発等)	経営に影響があった事業者への支援 (融資、協力金・給付金、販路開拓支援等)	緊急事態措置など危機管理 (不要不急の外出自粛・休業・営業時間短縮の要請等)	相談体制の充実 (不安や孤立、生活全般の相談支援)	相談体制の充実 (不安や孤立、生活全般の相談支援)	テレワーク・時差出勤等の推進 (環境整備支援、業務効率化による働き方改革等)	オンライン学習推進など学びの確保 (デジタル環境整備、学校の感染症対策等)	その他	特にない	無回答
全体	1,849	82.5	46.0	31.0	28.6	24.0	20.3	17.2	13.3	4.4	1.9	0.9		
< 職業別 >														
自営・家族従業（計）	178	84.3	48.9	29.2	51.7	23.0	18.0	11.8	12.4	2.2	0.6	0.6		
勤め（計）	1,006	83.2	45.7	28.7	28.9	24.1	19.6	23.2	14.8	5.3	1.3	0.5		
経営・管理職	116	87.9	37.9	29.3	31.9	33.6	19.8	22.4	19.0	5.2	-	1.7		
専門・技術職	269	83.6	43.9	27.5	30.5	20.4	14.9	29.0	15.2	7.1	1.9	-		
事務職	259	80.7	43.6	28.6	24.7	22.8	20.8	31.7	14.3	5.4	0.8	0.4		
労務・技能職	126	87.3	54.8	27.8	28.6	21.4	29.4	5.6	10.3	4.0	1.6	0.8		
販売・サービス職	199	80.4	49.7	31.2	32.2	27.6	16.1	16.6	16.1	4.0	2.0	0.5		
無職の主婦・主夫	384	85.9	42.7	38.0	21.6	25.0	22.9	9.4	12.0	3.4	2.6	1.3		
学生	58	70.7	55.2	25.9	36.2	19.0	5.2	25.9	22.4	1.7	3.4	-		
その他の無職	189	78.8	49.2	32.3	18.5	25.9	27.5	5.8	5.8	5.8	2.6	1.1		
< 生活程度別 >														
上	27	92.6	33.3	37.0	22.2	11.1	14.8	18.5	25.9	11.1	-	-		
中の上	314	82.2	38.2	30.9	31.2	26.4	15.0	24.5	17.8	4.5	1.0	1.0		
中の中	707	86.1	42.7	31.3	26.9	25.5	18.0	18.2	13.6	3.5	1.3	0.6		
中の下	507	82.6	51.1	32.9	28.8	25.6	23.3	16.4	11.2	4.1	1.8	1.0		
下	175	75.4	62.9	26.9	29.1	14.9	30.3	8.6	11.4	8.0	2.3	0.6		

※4-3 都政への要望

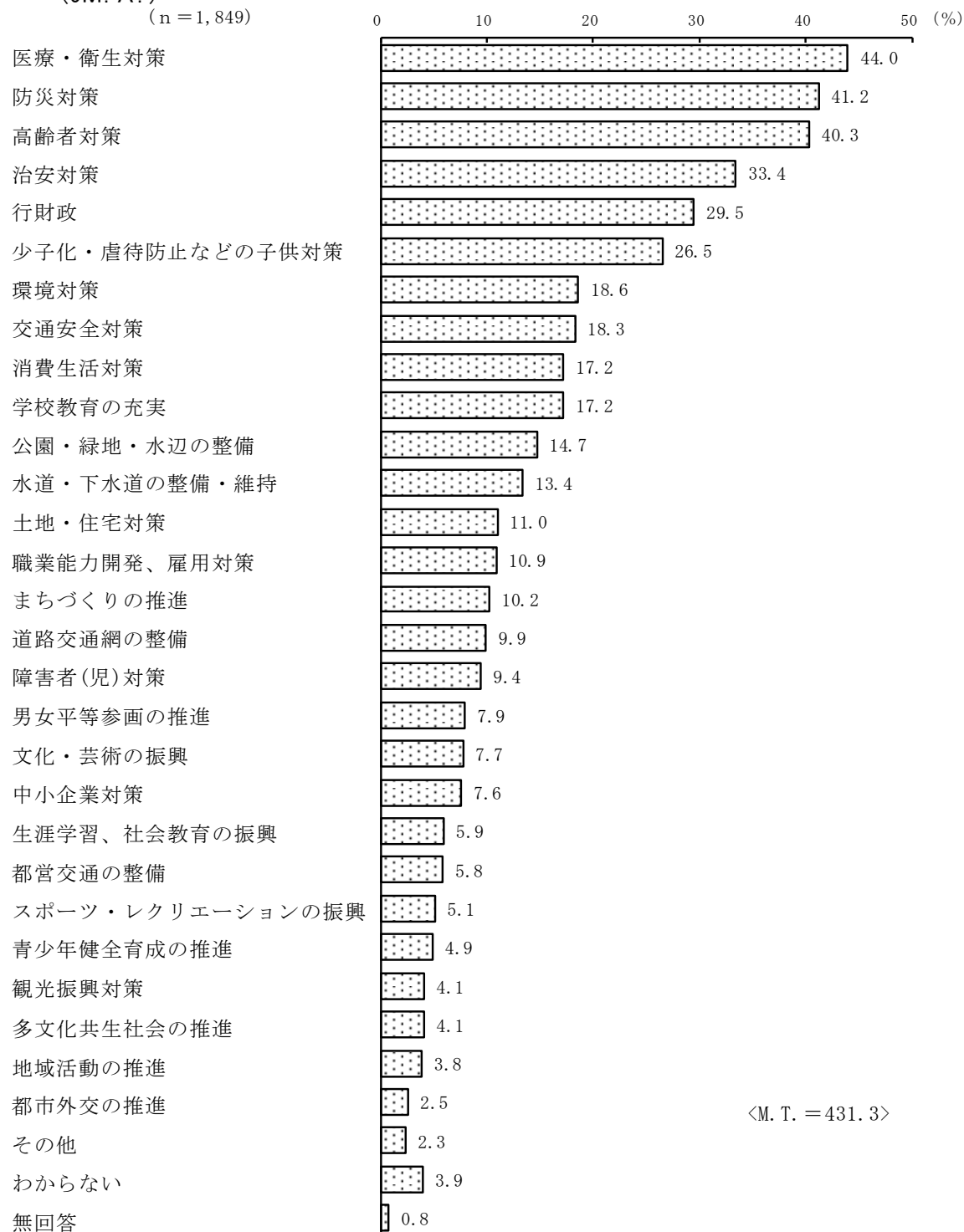
図4-3-1

(全員の方に)

問17 これからの都政全体について考えた場合、次にあげたことのどれに力を入れてほしいと思いますか。特に都に力を入れて取り組んでもらいたいものを5つまでお選びください。(〇は5つまで)

(5M. A.)

(n = 1,849)

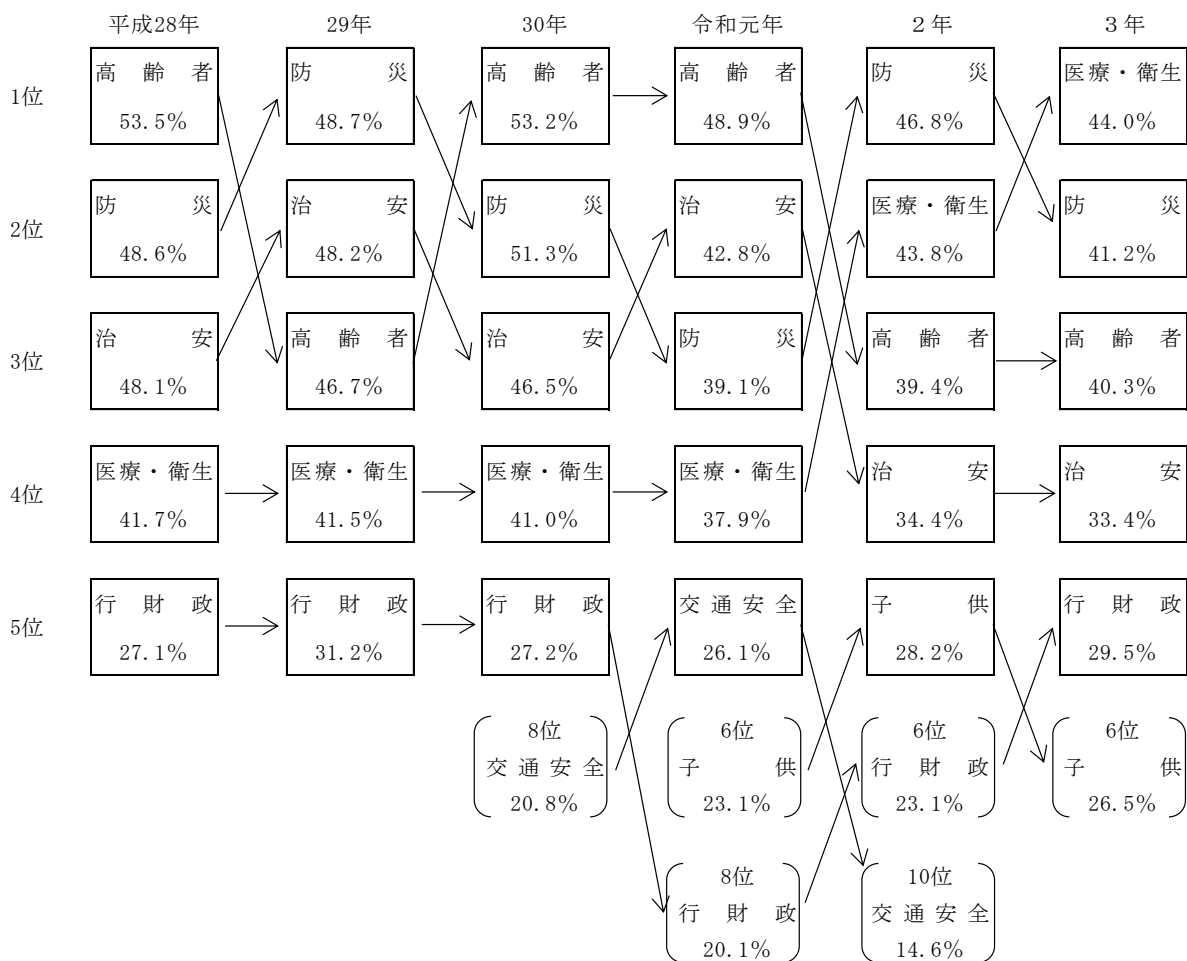


東京都が実施している諸施策をあげ、特に力を入れてほしい施策を5つまで選んでもらった。要望の上位5位は、第1位「医療・衛生対策」44%、第2位「防災対策」41%、第3位「高齢者対策」40%、第4位「治安対策」33%、第5位「行財政」30%の順となっている。(図4-3-1)

都政への要望の過去の調査結果と比較すると、昨年第2位だった「医療・衛生対策」が第1位となっている。また、昨年第1位だった「防災対策」は6ポイント減少し第2位に、昨年第6位だった「行財政対策」は6ポイント増加し第5位となっている。(図4-3-2)

なお、都政への要望の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料（P 142～143 表4）に掲載している。

図4-3-2 都政への要望－過去の調査の上位5位推移



(注1) 「子供」：「少子化・虐待防止などの子供対策」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

都政への要望をエリア別にみると、区部の全てのエリアで「医療・衛生対策」「防災対策」「高齢者対策」の順であったが、市町村部では多摩東部で第2位となった以外は「高齢者対策」が第1位となっている。(表4-3-1)

表4-3-1 都政への要望上位5位－エリア別

(%)

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,849	医療・衛生 44.0	防 災 41.2	高 齢 者 40.3	治 安 33.4	行 財 政 29.5
区 部 (計)	1,236	医療・衛生 43.7	防 災 41.5	高 齢 者 38.1	治 安 33.2	行 財 政 29.4
センター・コア	312	医療・衛生 42.9	防 災 42.0	高 齢 者 38.5	治 安 33.7	行 財 政 27.6
区部東部・北部	370	医療・衛生 47.3	防 災 44.6	高 齢 者 40.3	治 安 33.8	子 供 27.8
区部西部・南部	554	医療・衛生 41.7	防 災 39.2	高 齢 者 36.5	行 財 政 / 治 安	32.5
市町村部 (計)	613	高 齢 者 44.7	医療・衛生 44.5	防 災 40.6	治 安 33.9	行 財 政 29.7
多 摩 東 部	234	医療・衛生 45.3	高 齢 者 42.3	防 災 39.3	治 安 37.2	行 子 財 政 / 供 27.4
多摩中央部北	85	高 齢 者 48.2	医療・衛生 43.5	防 災 40.0	行 財 政 31.8	治 安 29.4
多摩中央部南	255	高 齢 者 / 医療・衛生 43.5		防 災 40.4	治 安 34.1	行 財 政 32.9
多 摩 西 部 ・ 島 し よ	39	高 齢 者 59.0	防 災 51.3	医療・衛生 48.7	子 供 25.6	治 安 23.1

性・年齢別にみると、「医療・衛生対策」は男性30代、50代と女性40代、60代で第1位、「高齢者対策」は、男性60代以上、女性70歳以上で第1位となっている。「子供対策」は、女性30代以下で第1位となっている。(表4-3-2)

表4-3-2 都政への要望上位5位－性・年齢別

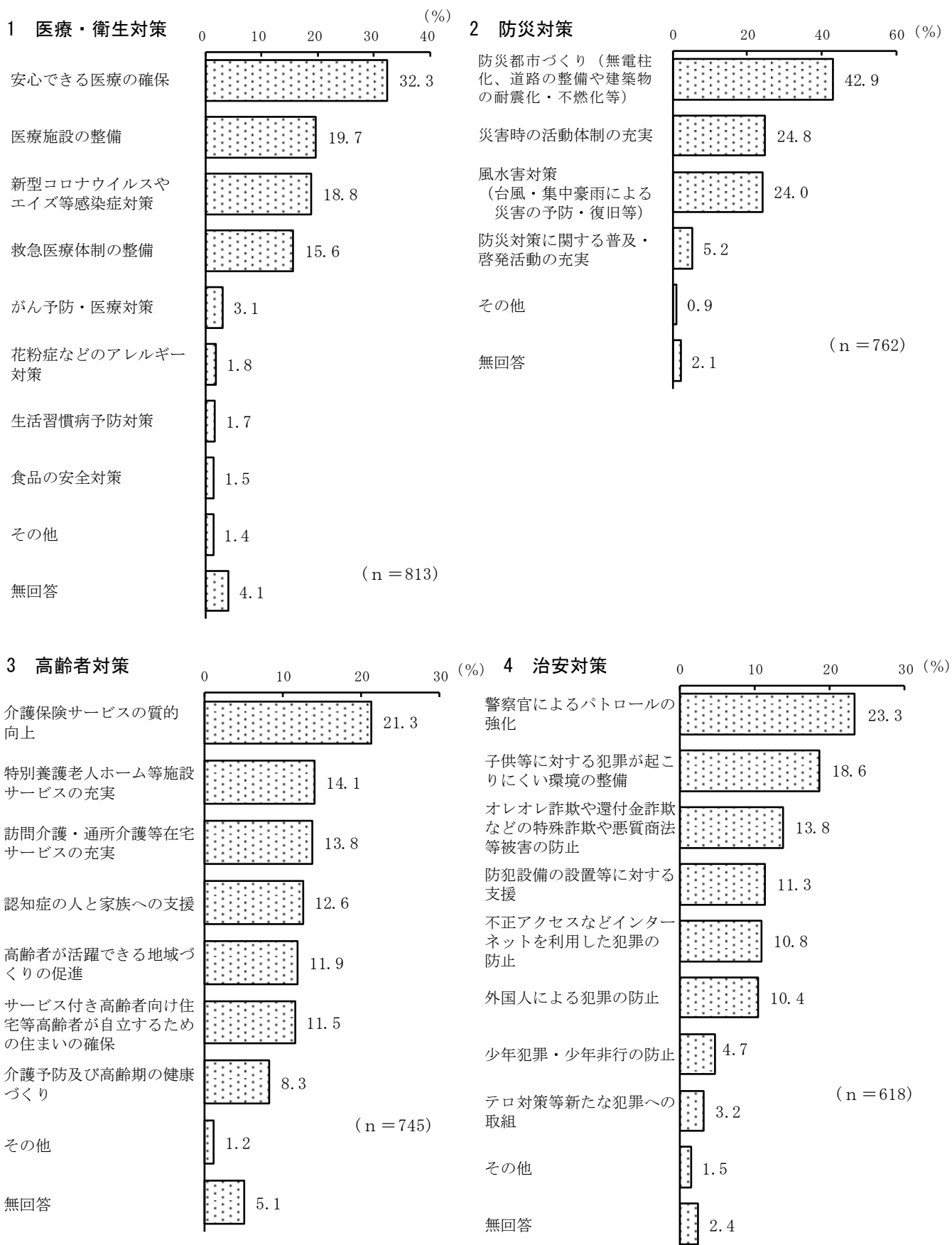
(%)

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,849	医 療 ・ 衛 生 44.0	防 災 41.2	高 齢 者 40.3	治 安 33.4	行 財 政 29.5
男 性 (計)	830	医 療 ・ 衛 生 41.0	防 災 40.6	高 齢 者 38.6	治 安 35.1	行 財 政 33.0
18 ・ 19 歳	12	行 財 政 41.7	ま ち づ く り の 進 推 33.3	交 通 安 全 / 中 小 企 業 / 公 園 ・ 緑 地 ・ 水 辺 の 整 備		25.0
20 代	76	行 財 政 36.8	子 供 / 医 療 ・ 衛 生 27.6		消 費 生 活 25.0	治 安 22.4
30 代	122	医 療 ・ 衛 生 37.7	行 財 政 36.9	治 安 34.4	防 災 / 子 供 32.0	
40 代	113	防 災 44.2	行 財 政 40.7	医 療 ・ 衛 生 33.6	治 安 31.9	子 供 27.4
50 代	152	防 災 / 医 療 ・ 衛 生 42.1		高 齢 者 38.8	治 安 34.2	行 財 政 30.9
60 代	141	高 齢 者 51.1	防 災 50.4	医 療 ・ 衛 生 47.5	治 安 35.5	行 財 政 31.9
70 歳 以 上	214	高 齢 者 60.7	医 療 ・ 衛 生 48.1	防 災 44.9	治 安 43.5	行 財 政 / 交 通 安 全 27.1
女 性 (計)	1,006	医 療 ・ 衛 生 46.7	防 災 41.7	高 齢 者 41.6	治 安 32.3	子 供 29.4
18 ・ 19 歳	13	子 供 69.2	環 境 53.8	交 通 安 全 / 防 災 38.5		学 校 教 育 30.8
20 代	78	子 供 46.2	治 安 29.5	防 災 / 医 療 ・ 衛 生 28.2		消 費 生 活 / 男 女 平 等 参 画 23.1
30 代	164	子 供 47.0	医 療 ・ 衛 生 43.9	学 校 教 育 38.4	防 災 36.6	治 安 28.7
40 代	173	医 療 ・ 衛 生 50.3	防 災 42.8	治 安 31.2	高 齢 者 30.1	行 財 政 / 学 校 教 育 29.5
50 代	170	防 災 44.7	医 療 ・ 衛 生 41.2	高 齢 者 37.6	治 安 37.1	行 財 政 34.1
60 代	153	医 療 ・ 衛 生 59.5	高 齢 者 56.2	防 災 50.3	子 供 28.1	行 財 政 24.8
70 歳 以 上	254	高 齢 者 69.3	医 療 ・ 衛 生 48.8	防 災 41.7	治 安 39.0	行 財 政 22.0

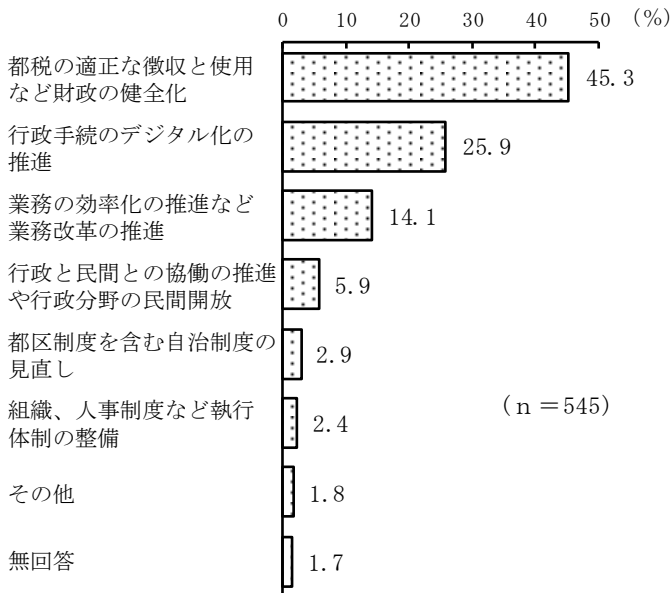
4-4 具体的な要望施策

5つまで選んでもらった要望の各分野について、具体的な内容を示して1つだけ答えてもらった結果が図4-4である。(図4-4)

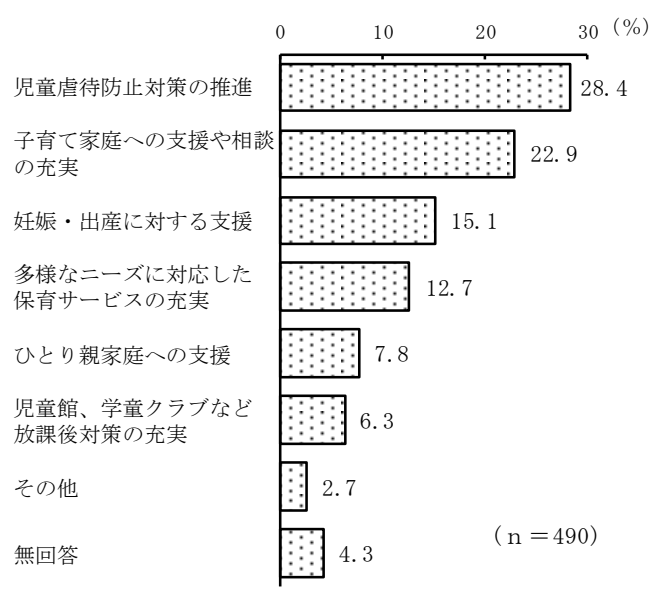
図4-4 具体的な要望施策



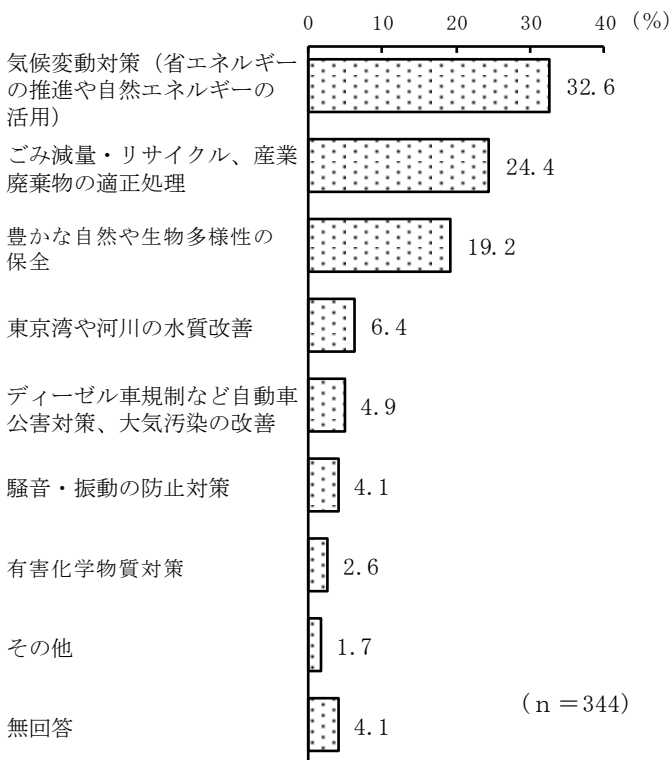
5 行財政



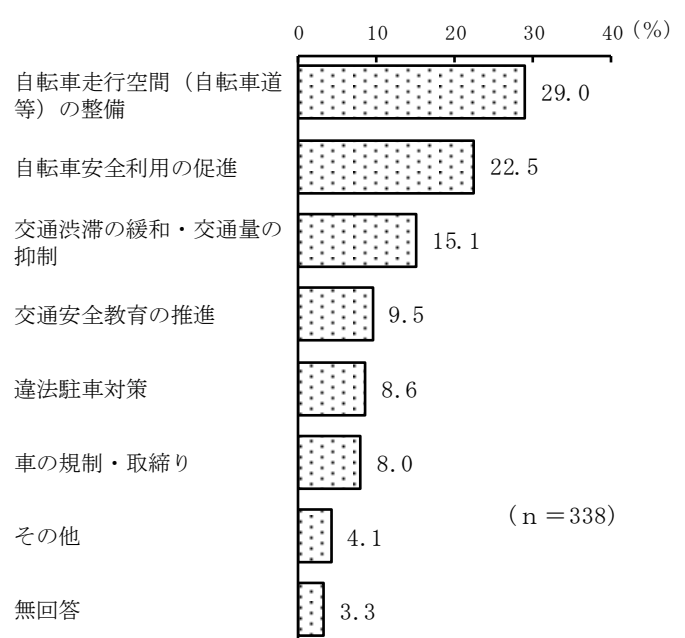
6 少子化・虐待防止などの子供対策



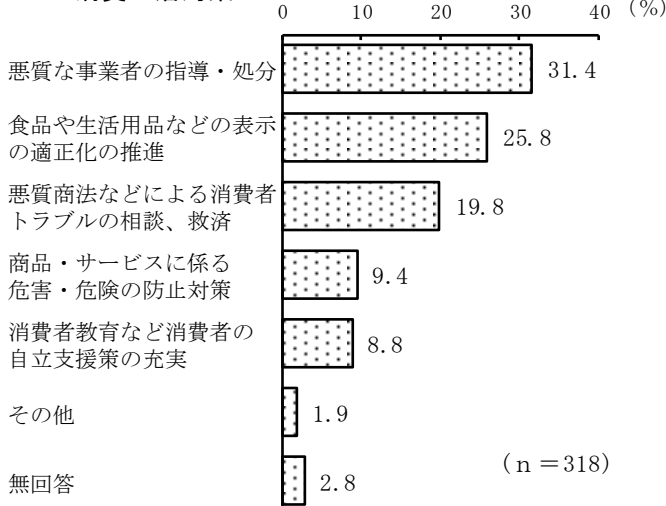
7 環境対策



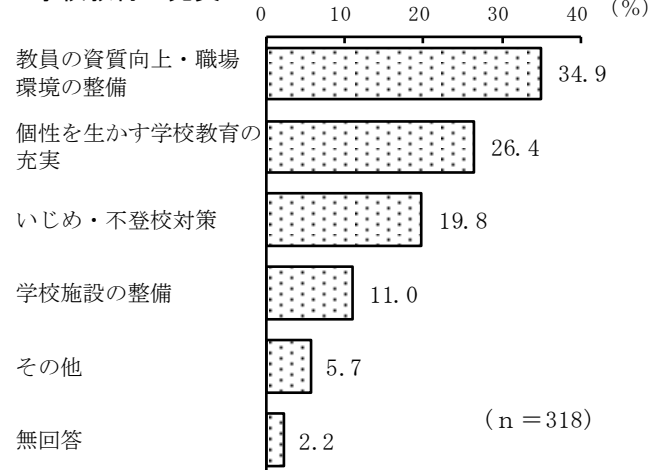
8 交通安全対策



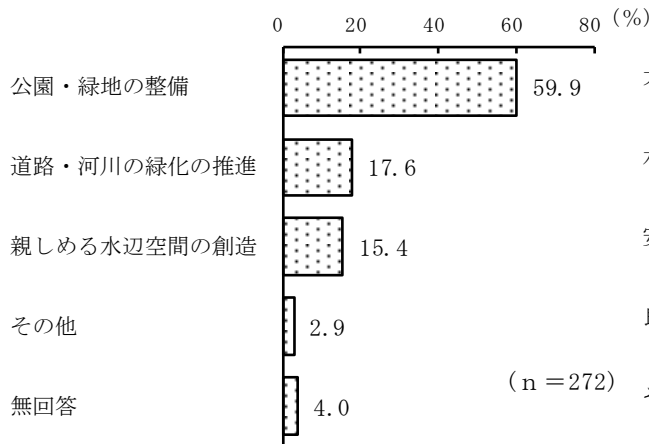
9 消費生活対策



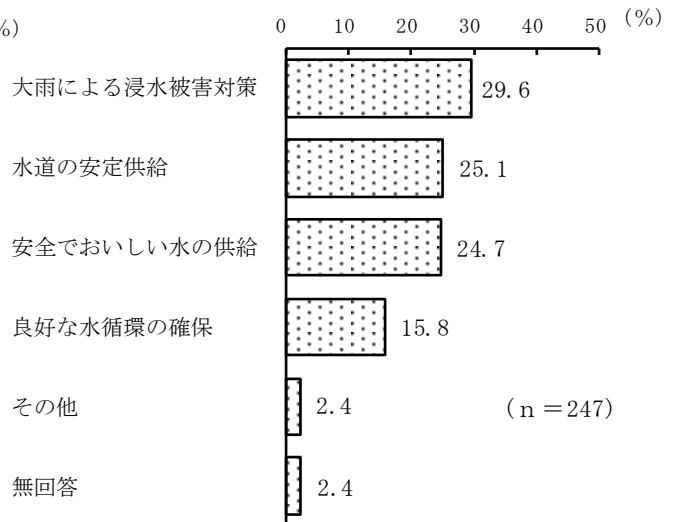
10 学校教育の充実



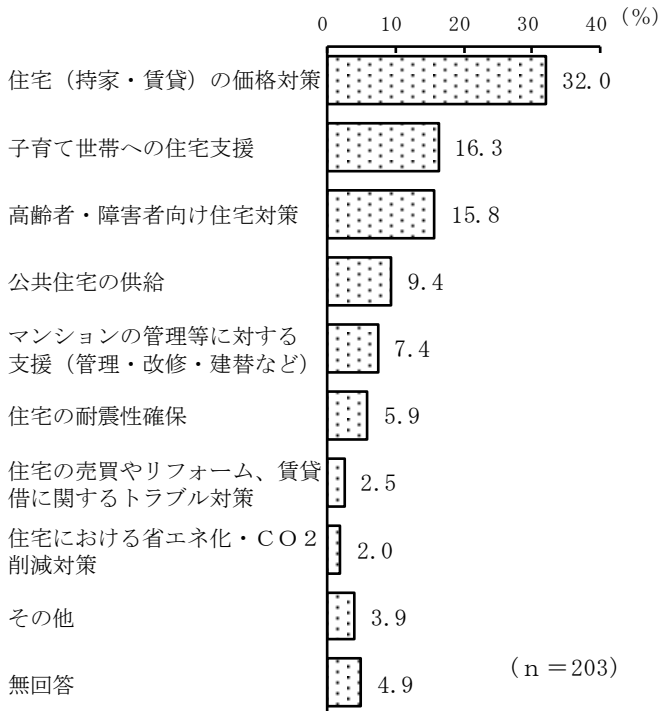
11 公園・緑地・水辺の整備



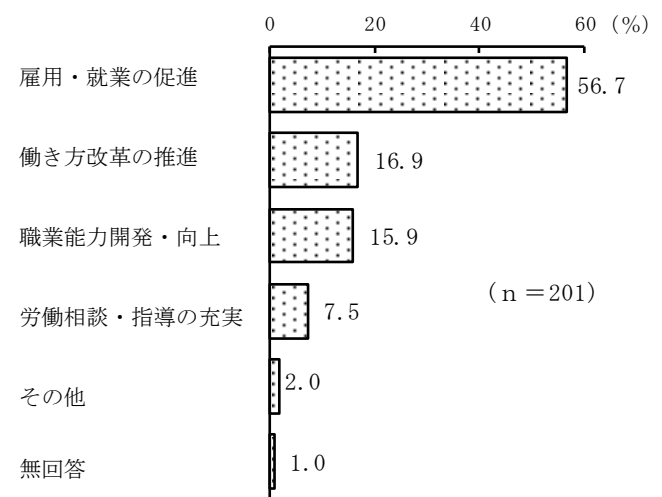
12 水道・下水道の整備・維持



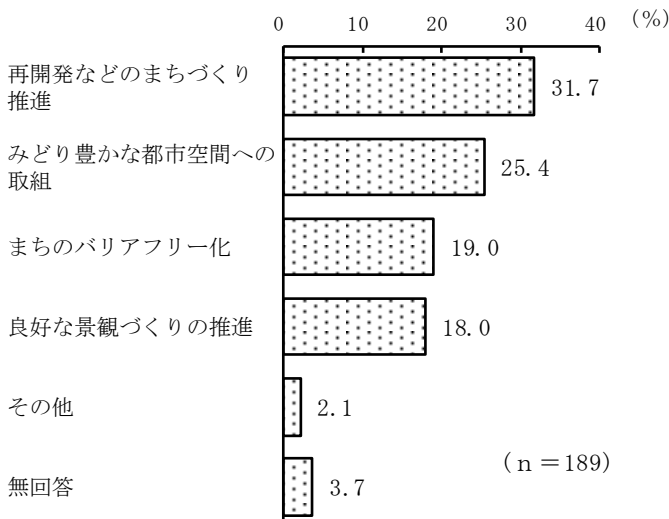
13 土地・住宅対策



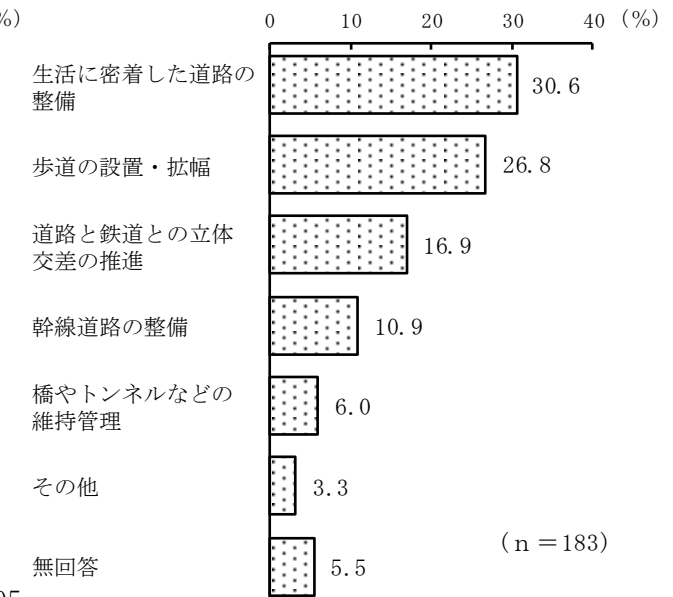
14 職業能力開発、雇用対策



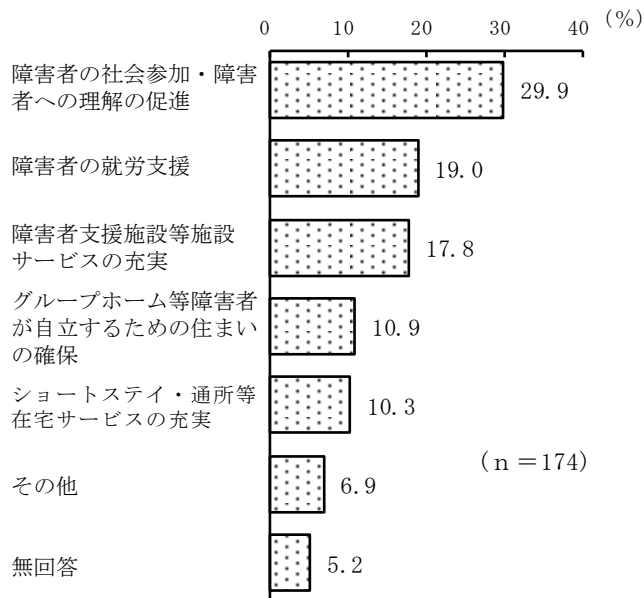
15 まちづくりの推進



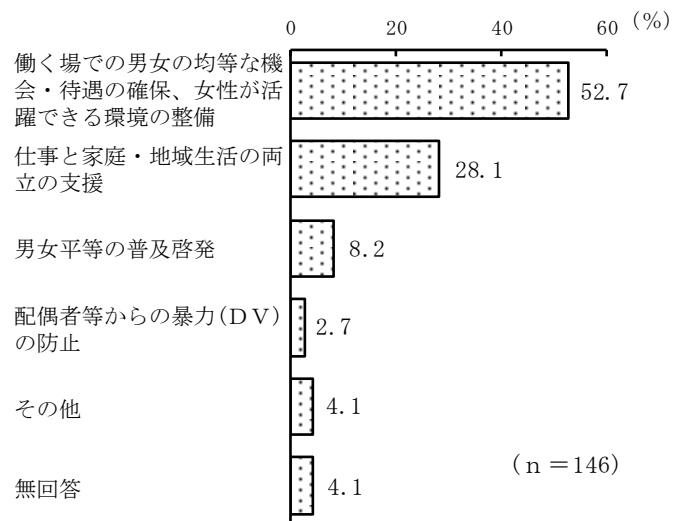
16 道路交通網の整備



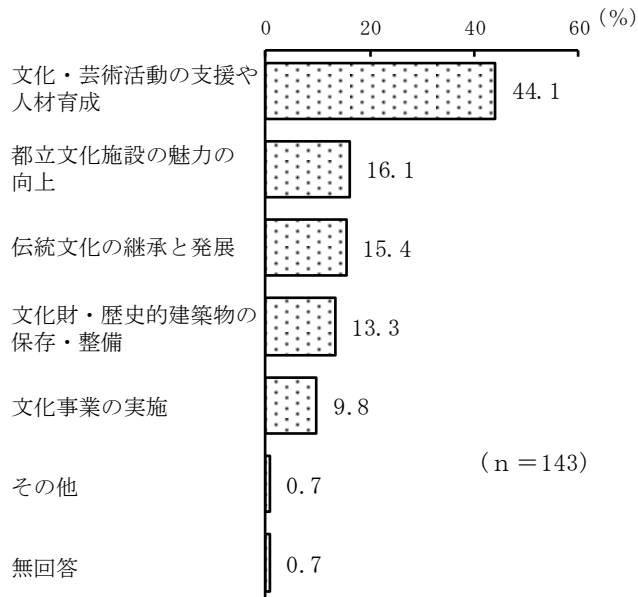
17 障害者（児）対策



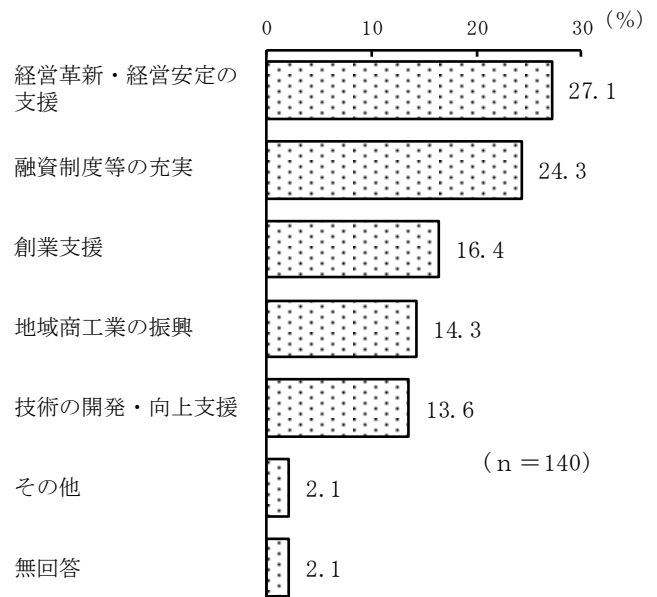
18 男女平等参画の推進



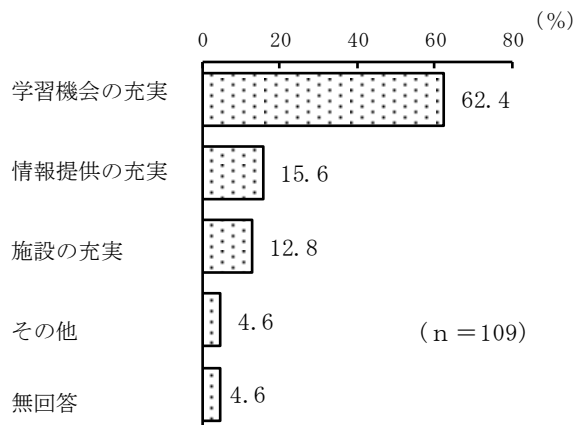
19 文化・芸術の振興



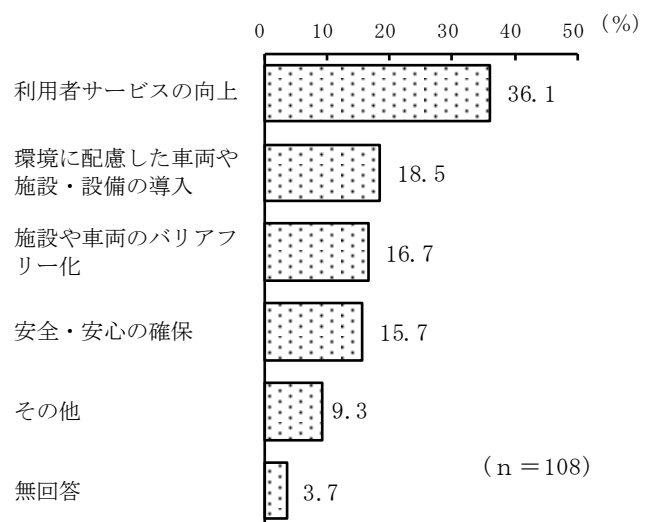
20 中小企業対策



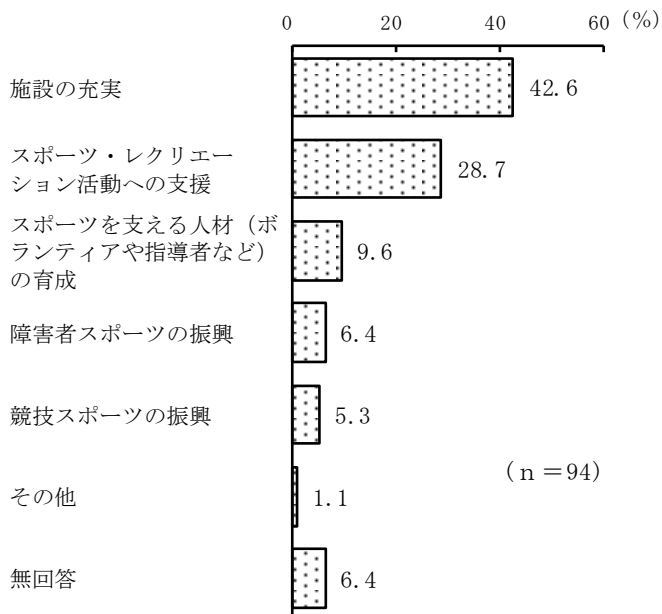
21 生涯学習、社会教育の振興



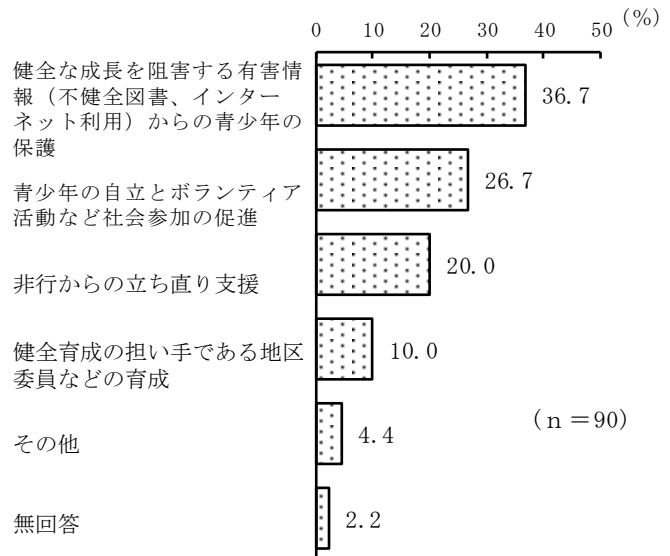
22 都営交通の整備



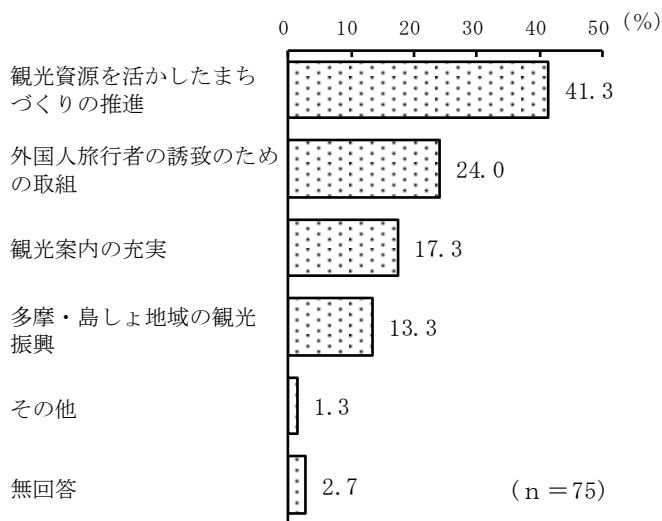
23 スポーツ・レクリエーションの振興



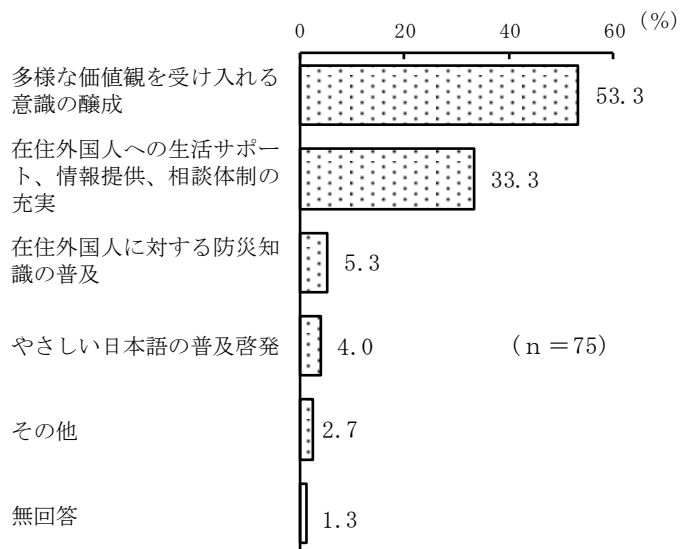
24 青少年健全育成の推進



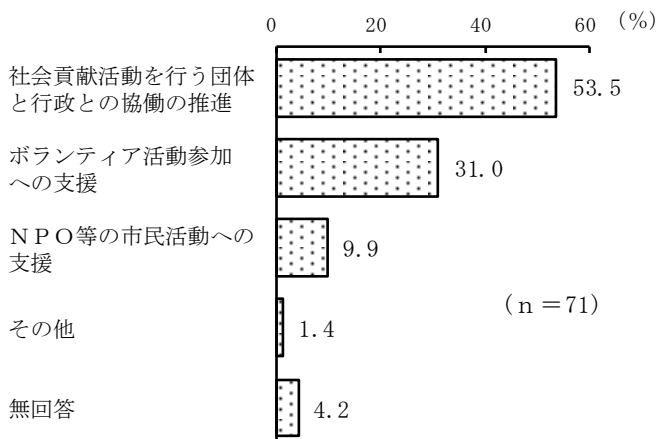
25 観光振興対策



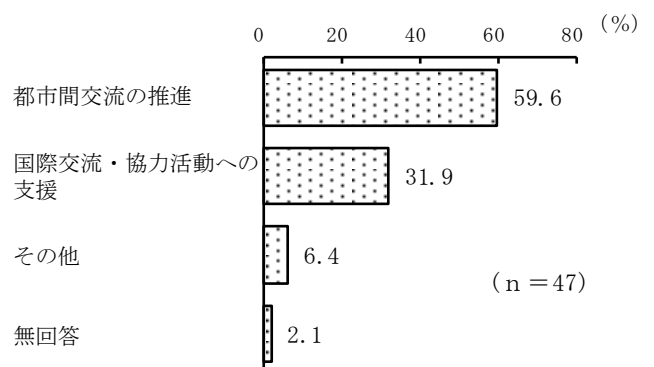
26 多文化共生社会の推進



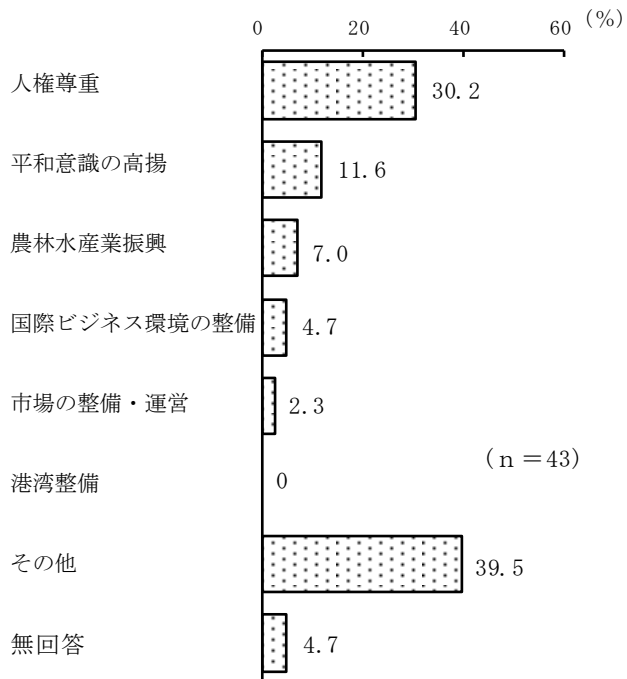
27 地域活動の推進



28 都市外交の推進



29 その他



調査票及び単純集計結果

東京都『都民生活に関する世論調査』調査票

【暮らし】

(全員の方に)

問1 さっそくですが、お宅さまの暮らしは、昨年の今ごろとくらべて楽になりましたか、苦しくなりましたか、それとも、変わりませんか。(○は1つ) <n=1,849>

3.2	1	楽になった	→	問2へ	63.6	3	変わらない	} → 問2へ
29.5	2	苦しくなった	→	問1-1へ	2.7	4	わからない	
					1.0		無回答	

(問1で「2苦しくなった」と答えた方に)

問1-1 暮らしが苦しくなったのはなぜでしょうか。次の中からいくつでもお選びください。(○はいくつでも) <n=545>

49.5	1	営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った
22.2	2	失業、退職、病気などで働き手が減った
11.4	3	利率の低下などにより預貯金が目減りした
30.1	4	家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた
17.1	5	結婚、出産、病気など特別の出費があった
14.3	6	教育費が増えた
16.3	7	家や自動車、家電などの支出が増えた
29.7	8	税金や保険料の支払いが増えた
3.3	9	営業経費が増えた
4.4	10	その他 (具体的に)
1.7	11	特に理由はない、わからない

M. T. =200.0

(全員の方に)

問2 お宅さまの暮らしは、次のうちどれに当たりますか。あなたの感じ方に一番近いものを1つだけお選びください。(○は1つ) <n=1,849>

7.5	1	今の暮らしで十分余裕がある	35.6	3	今の暮らしではまだまだ余裕がない
48.5	2	今の暮らしであればまあまあだ	7.1	4	今の暮らしではとてもやりきれない
			1.2		無回答

(全員の方に)

問3 お宅さまの生活程度は、世間一般からみて、次のうちどれに入るとお考えですか。(○は1つ)
<n=1,849>

1.5 1 上	38.2 3 中の中	9.5 5 下
17.0 2 中の上	27.4 4 中の下	6.2 6 わからない
		0.3 無回答

(全員の方に)

問4 あなたの暮らしむきは、これから1年間楽になるとお考えですか、苦しくなるとお考えですか、それとも変わらないとお考えですか。(○は1つ) <n=1,849>

0.5 1 かなり楽になる	} → 問5へ	28.3 4 やや苦しくなる	} → 問4-1へ
3.4 2 やや楽になる		8.7 5 かなり苦しくなる	
49.6 3 変わらない		8.7 6 わからない	→ 問5へ
		0.8 無回答	

(問4で「4 やや苦しくなる」「5 かなり苦しくなる」と答えた方に)

問4-1 では、今後、切りつめていこうと思うものがありますか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(○はいくつでも) <n=685>

54.2 1 食費	19.7 10 保健、医療費
28.3 2 嗜好品費(酒、タバコなど)	30.1 11 理・美容、化粧品費
30.5 3 住居費(光熱水費を含む)	38.1 12 趣味、教養・娯楽費
49.5 4 被服費(身の回り品を含む)	36.2 13 旅行
28.3 5 装飾品費(宝石、貴金属類など)	50.4 14 外食費
27.3 6 家具、家電製品、車などの購入費	12.6 15 家族のこづかい
15.0 7 交通費(車の燃料・経費を含む)	15.5 16 冠婚葬祭、交際費
22.0 8 通信費(電話、インターネット接続など)	3.1 17 その他(具体的に)
7.2 9 教育費(塾を含む)	3.4 18 特にない

M. T. =471.2

(全員の方に)

問5 あなたは、現在のご自分の生活に満足していますか。(○は1つ) <n=1,849>

3.7 1 大変満足している	34.2 3 やや不満である	4.9 5 わからない
47.4 2 まあ満足している	8.7 4 大変不満である	1.0 無回答
問5-1へ	問5-2へ	問6へ

(問5で「1 大変満足している」「2 まあ満足している」と答えた方に)

問5-1 どのような理由で満足されていますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも) <n=945>

73.4 1 健康であるから	11.2 8 スポーツやレジャー活動が充実しているから
24.8 2 衣生活が豊かだから	17.7 9 仕事や勉強がうまくいっているから
42.8 3 食生活が豊かだから	25.9 10 趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから
35.7 4 住生活が豊かだから	17.5 11 家具、車など耐久消費財がそろっているから
59.4 5 家族との生活が充実しているから	11.7 12 十分な貯蓄があるから
32.9 6 友人、知人との人間関係が充実しているから	8.9 13 悩みや心配ごとがないから
5.0 7 地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	2.4 14 その他(具体的に)
	0.3 無回答 M. T. =369.2

(問5で「3 やや不満である」「4 大変不満である」と答えた方に)

問5-2 どのような理由で不満であると感じていますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも) <n=794>

24.9 1 健康でないから	31.2 8 スポーツやレジャー活動が思うようにできないから
8.3 2 衣生活が不十分だから	20.7 9 仕事や勉強がうまくいっていないから
13.9 3 食生活が不十分だから	30.5 10 趣味、教養の時間が十分とれないから
21.0 4 住生活が不十分だから	25.2 11 家具、車など、欲しいものが買えないから
8.1 5 家族との生活がうまくいっていないから	68.0 12 貯蓄が十分でないから
3.9 6 友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	37.0 13 悩みや心配ごとがあるから
13.4 7 社会に貢献しているという充実感がないから	8.9 14 その他(具体的に)
	M. T. =315.0

(全員の方に)

問6 あなたが、今後の生活を考えたとき、不安に感じることはありませんか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) <n=1,849>

72.9 1	自分の健康・病気	35.9 9	親などの介護
62.3 2	家族の健康・病気	55.9 10	老後の生活
13.7 3	自分の就職、結婚などの問題	9.4 11	家族・親族間の人間関係
11.7 4	家族の就職、結婚などの問題	4.5 12	近隣・地域の人間関係
17.0 5	子育て、子供の教育	22.3 13	仕事や職場のこと
50.3 6	今後の収入	2.7 14	その他 (具体的に)
33.5 7	貯蓄や資産 (借金や負債)	1.6 15	不安に感じることはない
37.3 8	税金や保険料 (などの負担)	0.5	無回答
			M. T. =430.9

(全員の方に)

問7 あなたは、税金について関心がありますか。(〇は1つ) <n=1,849>

34.7 1	大いに関心がある	7.6 3	関心がない	→ 問8へ
46.9 2	少し関心がある	8.8 4	わからない	
		2.0	無回答	

問7-1へ

(問7で「1 大いに関心がある」「2 少し関心がある」と答えた方に)

問7-1 では、今、あなたが関心をもっているのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) <n=1,508>

62.4 1	自分の納める税額	9.7 5	隠し所得や脱税の摘発
19.4 2	申告・納税のしかた	47.5 6	所得税や住民税などの減税
69.9 3	税金の使われ方	31.4 7	新税の導入や増税
42.1 4	税負担の不公平さ	3.3 8	その他 (具体的に)
		0.3	無回答
			M. T. =285.8

【住んでいる地域】

(全員の方に)

問8 ところで、あなたが、今住んでいらっしゃるところは、住みよいところだと思いますか。それとも、思いませんか。(○は1つ) <n=1,849>

81.2 1 住みよいところだと思う	9.2 3 わからない
8.6 2 住みよいところだとは思わない	0.9 無回答

(全員の方に)

問9 あなたは、今お住まいのこの地域に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。(○は1つ) <n=1,849>

70.8 1 住みたい	11.4 2 住みたくない	16.7 3 わからない	→ 問10へ
		1.1 無回答	

問9-1へ

問9-2へ

(問9で「1 住みたい」と答えた方に)

問9-1 住みたいと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで) <n=1,309>

41.8 1 通勤・通学に便利なところだから
62.2 2 買物など日常の生活環境が整っているから
45.0 3 地域に愛着を感じているから(住み慣れているから)
44.3 4 自分の土地や家があるから
15.8 5 親や子供、親類が近くにいるから
5.1 6 仕事や商売に都合がよいから
29.5 7 静かで住環境がよいから
22.8 8 緑などの自然環境がよいから
6.0 9 文化や教育の面で環境がよいから
4.6 10 福祉サービスが充実しているから
10.0 11 防災の面で安心だから
16.1 12 治安の面で安心だから
0.7 13 その他(具体的に)
0.2 14 わからない
M. T. =304.1

(問9で「2 住みたくない」と答えた方に)

問9-2 住みたくないと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで) <n=210>

23.3 1 通勤・通学に不便なところだから
22.9 2 買物など日常の生活環境が整っていないから
28.6 3 地域に愛着を感じないから
24.8 4 家賃など住居費が高いから
18.6 5 親や子供、親類が近くにいないから
23.3 6 騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから
18.6 7 緑などの自然環境がよくないから
8.6 8 文化や教育の面で環境がよくないから
5.7 9 福祉サービスが充実していないから
18.1 10 防災の面で不安だから
13.8 11 治安の面で不安だから
21.4 12 その他(具体的に)
1.4 13 わからない
M. T. =229.0

【東京】

(全員の方に)

問10 ところで、あなたは、都民として、東京に愛着を感じていますか。(○は1つ) <n=1,849>

22.1	1	とても感じている	14.3	3	どちらかといえば感じていない
58.8	2	どちらかといえば感じている	4.3	4	まったく感じていない
			0.5		無回答

(全員の方に)

問11 あなたは、都民として、東京に誇りを感じていますか。(○は1つ) <n=1,849>

16.8	1	とても感じている	20.4	3	どちらかといえば感じていない
55.2	2	どちらかといえば感じている	7.0	4	まったく感じていない
			0.6		無回答

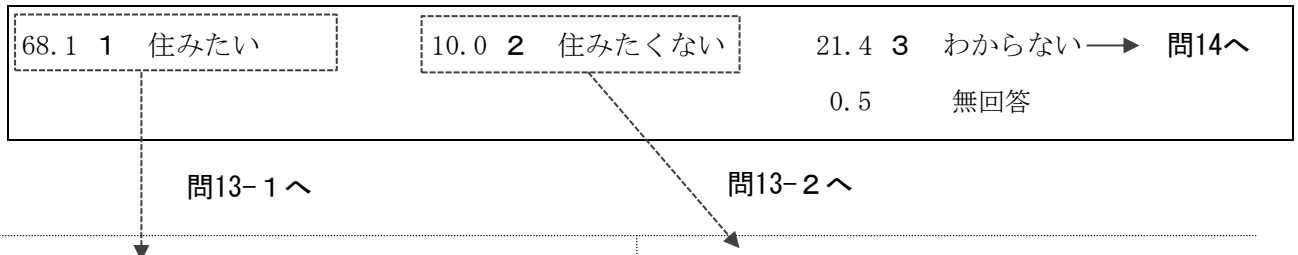
(全員の方に)

問12 あなたにとって東京は、全般的にみて住みよいところですか、それとも住みにくいところですか。(○は1つ) <n=1,849>

56.1	1	住みよい	33.5	3	どちらともいえない
7.1	2	住みにくい	2.9	4	わからない
			0.4		無回答

(全員の方に)

問13 あなたは、東京に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたのお気持ちをお答えください。(○は1つ) <n=1,849>



(問13で「1 住みたい」と答えた方に)

問13-1 住みたいと思うのはなぜですか。
次の中から3つまでお答えください。
(○は3つまで) <n=1,260>

- 80.9 1 交通網が発達していて便利だから
- 27.3 2 文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから
- 17.1 3 最新の情報が手に入り、流行の先端に触れることができるから
- 14.1 4 仕事を見つけやすい、事業をおこしやすいから
- 14.3 5 教育や学習の機会や場が充実しているから
- 36.7 6 医療や福祉などの質が高いから
- 9.7 7 治安の面で安心だから
- 14.8 8 東京が好きだから
- 54.8 9 東京に長く暮らしているから
- 16.2 10 人間関係がわずらわしくないから
- 3.1 11 その他 (具体的に)
- 0.1 12 わからない

M. T. =288.9

(問13で「2 住みたくない」と答えた方に)

問13-2 住みたくないと思うのはなぜですか。
次の中から3つまでお答えください。
(○は3つまで) <n=184>

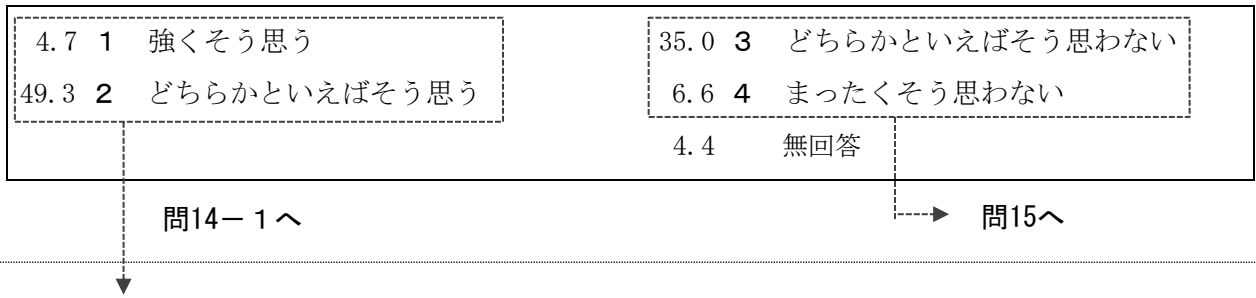
- 57.1 1 人や車が多過ぎるから
- 31.0 2 通勤・通学ラッシュがひどいから
- 63.6 3 生活費が高いから
- 46.2 4 住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから
- 27.2 5 緑や公園などの自然が少ないから
- 17.9 6 大気汚染や騒音などの公害がひどいから
- 10.9 7 治安の面で不安だから
- 13.0 8 人間関係が希薄だから
- 14.1 9 街並みが雑然として景観がよくないから
- 14.1 10 その他 (具体的に)
- 11 わからない

M. T. =295.1

(全員の方に)

問14 あなたは、都民として、東京をよりよくするために自ら関わっていきたくて思いますか。

(○は1つ) < n = 1,849 >



(問14で「1 強くそう思う」「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方に)

問14-1 それでは、あなたは東京をよりよくするために、具体的にどのようなことに関わっていきたくて思いますか。また、いま関わっている現状はどうですか。

「関わっていきたくて希望」と「いま関わっている現状」それぞれで、次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも) < n = 998 >

(1) 関わっていきたくて希望

※新たに関わっていきたくて希望すること、今まで関わってきたことで続けたいものも含まれます。

38.1 1 都内のお祭り、イベントへの参加	17.1 8 地元商店街の振興などまちおこしの活動
23.4 2 歌舞伎や落語など伝統芸能の鑑賞	18.4 9 町会・自治会活動
30.5 3 都の名産品や伝統工芸品、都内産の食品・商品の購入・利用	15.6 10 趣味や特技を生かした個人での地域活動
9.4 4 都内での起業、創業（スタートアップ）への参加	11.8 11 その他都内でのサークル活動
8.4 5 社会貢献目的の団体・企業の資金調達（クラウドファンディング等）への参加	18.1 12 その他都内でのボランティア活動
14.2 6 都内のスポーツチームや楽団・劇団等文化団体の応援・支援	11.6 13 地元の区市町村や東京都への意見の提言
6.8 7 SNS等での地域・東京の情報の発信	44.8 14 区市町村や東京都の選挙でいつも投票
	1.7 15 その他（具体的に）
	7.1 16 特にない
	1.8 無回答 M. T. = 277.3

(2) いま関わっている「現状」

18.9 1 都内のお祭り、イベントへの参加	4.1 8 地元商店街の振興などまちおこしの活動
8.4 2 歌舞伎や落語など伝統芸能の鑑賞	18.3 9 町会・自治会活動
17.4 3 都の名産品や伝統工芸品、都内産の食品・商品の購入・利用	5.4 10 趣味や特技を生かした個人での地域活動
2.5 4 都内での起業、創業（スタートアップ）への参加	7.2 11 その他都内でのサークル活動
2.7 5 社会貢献目的の団体・企業の資金調達（クラウドファンディング等）への参加	5.9 12 その他都内でのボランティア活動
4.8 6 都内のスポーツチームや楽団・劇団等文化団体の応援・支援	4.0 13 地元の区市町村や東京都への意見の提言
3.0 7 SNS等での地域・東京の情報の発信	40.3 14 区市町村や東京都の選挙でいつも投票
	1.6 15 その他（具体的に）
	26.8 16 特にない
	4.5 無回答 M. T. = 171.4

【都政への要望】

(全員の方に)

問15 あなたは、これからの都政の進め方に対して、どんなことを望みますか。次の中から特に望むことを3つまでお選びください。(○は3つまで) <n=1,849>

38.3 1	都政情報をわかりやすく提供する	12.8 8	住民に身近な事務は区市町村に任せる
30.6 2	情報公開を積極的に進める	7.8 9	国に対してさらに地方分権を働きかける
39.7 3	都民の意見や要望をよく知る	4.1 10	ボランティア活動や市民活動と協働する
33.1 4	行政手続のデジタル化・簡素化を進める	4.0 11	その他(具体的に)
11.6 5	都庁の組織を簡素化する	4.4 12	特にない
15.1 6	職員の意識改革を進める	5.4 13	わからない
34.2 7	予算を効率的に執行する	1.6	無回答
M. T. =241.1			

(全員の方に)

問16 新型コロナウイルス感染症の流行が続いています。

あなたは、「新型コロナウイルス感染症に関する対策」について、都にどのようなことを望みますか。次の中から特に望むことを3つまでお選びください。(○は3つまで) <n=1,849>

82.5 1	医療提供体制の充実強化 (検査、従事者・病床確保、ワクチン接種等)	13.3 6	オンライン学習推進など学びの確保 (デジタル環境整備、学校の感染症対策等)
28.6 2	経営に影響があった事業者への支援 (融資、協力金・給付金、販路開拓支援等)	31.0 7	情報発信の充実 (正しい知識や対策のわかりやすい啓発等)
46.0 3	生活に困った方への支援 (資金貸付、居住支援、離職者支援等)	20.3 8	相談体制の充実 (不安や孤立、生活全般の相談支援)
24.0 4	緊急事態措置など危機管理 (不要不急の外出自粛・休業・営業時間短縮の要請等)	4.4 9	その他(具体的に)
17.2 5	テレワーク・時差出勤等の推進 (環境整備支援、業務効率化による働き方改革等)	1.9 10	特にない
		0.9	無回答
M. T. =269.1			

(全員の方に)

問17 これからの都政全体について考えた場合、次にあげたことのどれに力を入れてほしいと思いますか。特に都に力を入れて取り組んでもらいたいことを5つまでお選びください。

(○は5つまで) <n=1,849>

なお、次の問17-1〔分野別要望〕に、具体的な要望内容を記載していますので、参考にしてください。

29.5 1 行財政	問17-1へ	26.5 16 少子化・虐待防止などの子供対策	問17-1へ
2.5 2 都市外交の推進		44.0 17 医療・衛生対策	
33.4 3 治安対策		10.2 18 まちづくりの推進	
18.3 4 交通安全対策		14.7 19 公園・緑地・水辺の整備	
41.2 5 防災対策		13.4 20 水道・下水道の整備・維持	
7.6 6 中小企業対策		9.9 21 道路交通網の整備	
10.9 7 職業能力開発、雇用対策		5.8 22 都営交通の整備	
4.1 8 観光振興対策		11.0 23 土地・住宅対策	
17.2 9 消費生活対策		17.2 24 学校教育の充実	
7.9 10 男女平等参画の推進		5.9 25 生涯学習、社会教育の振興	
3.8 11 地域活動の推進		7.7 26 文化・芸術の振興	
4.9 12 青少年健全育成の推進		5.1 27 スポーツ・レクリエーションの振興	
18.6 13 環境対策		4.1 28 多文化共生社会の推進	
40.3 14 高齢者対策		2.3 29 その他	
9.4 15 障害者(児)対策		3.9 30 わからない → 【フェイスシート】へ	
	0.8 無回答 M. T. =431.3		

(問17で「1 行財政」～「29 その他」を選んだ方に)

問17-1 それでは、問17で(5つまで)選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」について、それぞれ具体的にどのようなことを望まれますか。次の表の左側のあなたが選ばれた項目に対応する右側の〔問17-1 分野別要望〕の中から該当するものについて、それぞれ1つずつお選びください。(○はそれぞれ1つ) ※14ページ〔本報告書でP125〕まであります。

問17で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問17-1 分野別要望〕(○はそれぞれ1つ)
「1 行財政」を選んだ方	25.9 1 行政手続のデジタル化の推進
	14.1 2 業務の効率化の推進など業務改革の推進
	5.9 3 行政と民間との協働の推進や行政分野の民間開放
	2.4 4 組織、人事制度など執行体制の整備
	45.3 5 都税の適正な徴収と使用など財政の健全化
	2.9 6 都区制度を含む自治制度の見直し
	1.8 7 その他(具体的に)
	1.7 無回答 <n=545>

問17で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問17-1 分野別要望〕（〇はそれぞれ1つ）
「2 都市外交の推進」を選んだ方	59.6 1 都市間交流の推進 31.9 2 国際交流・協力活動への支援 6.4 3 その他（具体的に) 2.1 無回答 < n = 47 >
「3 治安対策」を選んだ方	23.3 1 警察官によるパトロールの強化 18.6 2 子供等に対する犯罪が起こりにくい環境の整備 4.7 3 少年犯罪・少年非行の防止 11.3 4 防犯設備の設置等に対する支援 10.4 5 外国人による犯罪の防止 13.8 6 オレオレ詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺や悪質商法等被害の防止 3.2 7 テロ対策等新たな犯罪への取組 10.8 8 不正アクセスなどインターネットを利用した犯罪の防止 1.5 9 その他（具体的に) 2.4 無回答 < n = 618 >
「4 交通安全対策」を選んだ方	15.1 1 交通渋滞の緩和・交通量の抑制 8.6 2 違法駐車対策 8.0 3 車の規制・取締り 9.5 4 交通安全教育の推進 29.0 5 自転車走行空間（自転車道等）の整備 22.5 6 自転車安全利用の促進 4.1 7 その他（具体的に) 3.3 無回答 < n = 338 >
「5 防災対策」を選んだ方	42.9 1 防災都市づくり（無電柱化、道路の整備や建築物の耐震化・不燃化等） 24.8 2 災害時の活動体制の充実 5.2 3 防災対策に関する普及・啓発活動の充実 24.0 4 風水害対策（台風・集中豪雨による災害の予防・復旧等） 0.9 5 その他（具体的に) 2.1 無回答 < n = 762 >
「6 中小企業対策」を選んだ方	14.3 1 地域商工業の振興 24.3 2 融資制度等の充実 16.4 3 創業支援 13.6 4 技術の開発・向上支援 27.1 5 経営革新・経営安定の支援 2.1 6 その他（具体的に) 2.1 無回答 < n = 140 >
「7 職業能力開発、雇用対策」を選んだ方	56.7 1 雇用・就業の促進 15.9 2 職業能力開発・向上 7.5 3 労働相談・指導の充実 16.9 4 働き方改革の推進 2.0 5 その他（具体的に) 1.0 無回答 < n = 201 >

問17で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問17-1 分野別要望〕(○はそれぞれ1つ)
「8 観光振興対策」を選んだ方	24.0 1 外国人旅行者の誘致のための取組 17.3 2 観光案内の充実 13.3 3 多摩・島しょ地域の観光振興 41.3 4 観光資源を活かしたまちづくりの推進 1.3 5 その他(具体的に) 2.7 無回答 < n = 75 >
「9 消費生活対策」を選んだ方	19.8 1 悪質商法などによる消費者トラブルの相談、救済 31.4 2 悪質な事業者の指導・処分 25.8 3 食品や生活用品などの表示の適正化の推進 9.4 4 商品・サービスに係る危害・危険の防止対策 8.8 5 消費者教育など消費者の自立支援策の充実 1.9 6 その他(具体的に) 2.8 無回答 < n = 318 >
「10 男女平等参画の推進」を選んだ方	52.7 1 働く場での男女の均等な機会・待遇の確保、女性が活躍できる環境の整備 28.1 2 仕事と家庭・地域生活の両立の支援 2.7 3 配偶者等からの暴力(DV)の防止 8.2 4 男女平等の普及啓発 4.1 5 その他(具体的に) 4.1 無回答 < n = 146 >
「11 地域活動の推進」を選んだ方	9.9 1 NPO等の市民活動への支援 53.5 2 社会貢献活動を行う団体と行政との協働の推進 31.0 3 ボランティア活動参加への支援 1.4 4 その他(具体的に) 4.2 無回答 < n = 71 >
「12 青少年健全育成の推進」を選んだ方	26.7 1 青少年の自立とボランティア活動など社会参加の促進 36.7 2 健全な成長を阻害する有害情報(不健全図書、インターネット利用)からの青少年の保護 10.0 3 健全育成の担い手である地区委員などの育成 20.0 4 非行からの立ち直り支援 4.4 5 その他(具体的に) 2.2 無回答 < n = 90 >
「13 環境対策」を選んだ方	32.6 1 気候変動対策(省エネルギーの推進や自然エネルギーの活用) 4.9 2 ディーゼル車規制など自動車公害対策、大気汚染の改善 4.1 3 騒音・振動の防止対策 2.6 4 有害化学物質対策 19.2 5 豊かな自然や生物多様性の保全 6.4 6 東京湾や河川の水質改善 24.4 7 ごみ減量・リサイクル、産業廃棄物の適正処理 1.7 8 その他(具体的に) 4.1 無回答 < n = 344 >

問17で選ばれた「都に力を 入れて取り組んでほしいこと」	〔問17-1 分野別要望〕（〇はそれぞれ1つ）
「14 高齢者対策」を選んだ方	21.3 1 介護保険サービスの質的向上 13.8 2 訪問介護・通所介護等在宅サービスの充実 14.1 3 特別養護老人ホーム等施設サービスの充実 12.6 4 認知症の人と家族への支援 11.5 5 サービス付き高齢者向け住宅等高齢者が自立するための住まいの確保 8.3 6 介護予防及び高齢期の健康づくり 11.9 7 高齢者が活躍できる地域づくりの促進 1.2 8 その他（具体的に) 5.1 無回答 < n = 745 >
「15 障害者(児)対策」を選んだ方	10.3 1 ショートステイ・通所等在宅サービスの充実 17.8 2 障害者支援施設等施設サービスの充実 10.9 3 グループホーム等障害者が自立するための住まいの確保 29.9 4 障害者の社会参加・障害者への理解の促進 19.0 5 障害者の就労支援 6.9 6 その他（具体的に) 5.2 無回答 < n = 174 >
「16 少子化・虐待防止など の子供対策」を選んだ方	28.4 1 児童虐待防止対策の推進 12.7 2 多様なニーズに対応した保育サービスの充実 7.8 3 ひとり親家庭への支援 6.3 4 児童館、学童クラブなど放課後対策の充実 22.9 5 子育て家庭への支援や相談の充実 15.1 6 妊娠・出産に対する支援 2.7 7 その他（具体的に) 4.3 無回答 < n = 490 >
「17 医療・衛生対策」を選んだ方	19.7 1 医療施設の整備 15.6 2 救急医療体制の整備 3.1 3 がん予防・医療対策 32.3 4 安心できる医療の確保 1.7 5 生活習慣病予防対策 18.8 6 新型コロナウイルスやエイズ等感染症対策 1.8 7 花粉症などのアレルギー対策 1.5 8 食品の安全対策 1.4 9 その他（具体的に) 4.1 無回答 < n = 813 >
「18 まちづくりの推進」を選んだ方	19.0 1 まちのバリアフリー化 31.7 2 再開発などのまちづくり推進 18.0 3 良好な景観づくりの推進 25.4 4 みどり豊かな都市空間への取組 2.1 5 その他（具体的に) 3.7 無回答 < n = 189 >

問17で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問17-1 分野別要望〕（〇はそれぞれ1つ）
「19 公園・緑地・水辺の整備」を選んだ方	17.6 1 道路・河川の緑化の推進 59.9 2 公園・緑地の整備 15.4 3 親しめる水辺空間の創造 2.9 4 その他（具体的に） 4.0 無回答 < n =272 >
「20 水道・下水道の整備・維持」を選んだ方	25.1 1 水道の安定供給 24.7 2 安全でおいしい水の供給 29.6 3 大雨による浸水被害対策 15.8 4 良好な水循環の確保 2.4 5 その他（具体的に） 2.4 無回答 < n =247 >
「21 道路交通網の整備」を選んだ方	10.9 1 幹線道路の整備 30.6 2 生活に密着した道路の整備 16.9 3 道路と鉄道との立体交差の推進 26.8 4 歩道の設置・拡幅 6.0 5 橋やトンネルなどの維持管理 3.3 6 その他（具体的に） 5.5 無回答 < n =183 >
「22 都営交通の整備」を選んだ方	36.1 1 利用者サービスの向上 18.5 2 環境に配慮した車両や施設・設備の導入 15.7 3 安全・安心の確保 16.7 4 施設や車両のバリアフリー化 9.3 5 その他（具体的に） 3.7 無回答 < n =108 >
「23 土地・住宅対策」を選んだ方	9.4 1 公共住宅の供給 16.3 2 子育て世帯への住宅支援 15.8 3 高齢者・障害者向け住宅対策 5.9 4 住宅の耐震性確保 32.0 5 住宅（持家・賃貸）の価格対策 2.0 6 住宅における省エネ化・CO ₂ 削減対策 2.5 7 住宅の売買やリフォーム、賃貸借に関するトラブル対策 7.4 8 マンションの管理等に対する支援（管理・改修・建替など） 3.9 9 その他（具体的に） 4.9 無回答 < n =203 >
「24 学校教育の充実」を選んだ方	26.4 1 個性を生かす学校教育の充実 34.9 2 教員の資質向上・職場環境の整備 11.0 3 学校施設の整備 19.8 4 いじめ・不登校対策 5.7 5 その他（具体的に） 2.2 無回答 < n =318 >

問17で選ばれた「都に力を 入れて取り組んでほしいこと」	〔問17-1 分野別要望〕(○はそれぞれ1つ)
「25 生涯学習、社会教育の 振興」を選んだ方	62.4 1 学習機会の充実 12.8 2 施設の充実 15.6 3 情報提供の充実 4.6 4 その他(具体的に) 4.6 無回答 <n=109>
「26 文化・芸術の振興」を 選んだ方	16.1 1 都立文化施設の魅力の向上 44.1 2 文化・芸術活動の支援や人材育成 15.4 3 伝統文化の継承と発展 13.3 4 文化財・歴史的建築物の保存・整備 9.8 5 文化事業の実施 0.7 6 その他(具体的に) 0.7 無回答 <n=143>
「27 スポーツ・レクリエー ションの振興」を選んだ方	42.6 1 施設の充実 28.7 2 スポーツ・レクリエーション活動への支援 5.3 3 競技スポーツの振興 9.6 4 スポーツを支える人材(ボランティアや指導者など)の育成 6.4 5 障害者スポーツの振興 1.1 6 その他(具体的に) 6.4 無回答 <n=94>
「28 多文化共生社会の推進」 を選んだ方	33.3 1 在住外国人への生活サポート、情報提供、相談体制の充実 4.0 2 やさしい日本語の普及啓発 53.3 3 多様な価値観を受け入れる意識の醸成 5.3 4 在住外国人に対する防災知識の普及 2.7 5 その他(具体的に) 1.3 無回答 <n=75>
「29 その他」を選んだ方	30.2 1 人権尊重 11.6 2 平和意識の高揚 7.0 3 農林水産業振興 - 4 港湾整備 2.3 5 市場の整備・運営 4.7 6 国際ビジネス環境の整備 39.5 7 その他(具体的に) 4.7 無回答 <n=43>

【フェイスシート】

ここでは、調査結果を統計的に分析するために必要なこととお伺いします。ご協力ください。

(全員の方に)

F 1 <性 別> あなたの性別は、どちらですか。(○は1つ) <n=1,849>

44.9	1	男 性	54.4	2	女 性
			0.7		無回答

(全員の方に)

F 2 <年 齢> あなたの年齢は、おいくつですか。(○は1つ) <n=1,849>

1.4	1	18・19 歳	7.0	6	40～44 歳	7.3	11	65～69 歳
3.8	2	20～24 歳	8.5	7	45～49 歳	9.3	12	70～74 歳
4.5	3	25～29 歳	9.0	8	50～54 歳	16.1	13	75 歳以上
8.0	4	30～34 歳	8.4	9	55～59 歳	0.6		無回答
7.5	5	35～39 歳	8.6	10	60～64 歳			

(全員の方に)

F 3 <職 業> あなたのお仕事は次のうちどれですか。(○は1つ) <n=1,849>

7.9	1	自営業主 ※	42.0	3	勤め (全日)	20.8	5	無職の主婦・主夫
1.7	2	家族従業 (家業手伝い) ※※	12.4	4	勤め (短時間)	3.1	6	学生
						10.2	7	その他の無職
						1.8		無回答

→ (F 4へ)

(F 3-1、F 3-2へ)

→ (F 4へ)

※自営業主……個人で営む農林漁業、商業、工業、サービス業、自由業（開業医、芸術家等）の方
 ※※家族従業……家族の方が営んでいる事業を継続的に手伝っている方

→ (F 3で「3 勤め (全日)」「4 勤め (短時間)」と答えた方に)

F 3-1 お勤めの方にお聞きします。あなたの働き方は次のどれですか。(○は1つ) <n=1,006>

60.5	1	正社員、正規職員	31.7	2	派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど
			7.8		無回答

→ (F 3で「3 勤め (全日)」「4 勤め (短時間)」と答えた方に)

F 3-2 お勤めの方にお聞きします。あなたの仕事の内容を次の中から1つお選びください。
 (○は1つ) <n=1,006>

11.5	1	経営・管理職	25.7	3	事務職	19.8	5	販売・サービス職
26.7	2	専門・技術職	12.5	4	労務・技能職	0.3	6	その他 (具体的に)
						3.4		無回答

- 1 経営・管理職……会社、団体、官公庁の役員・課長以上の管理職など
- 2 専門・技術職……病院勤務医、弁護士、税理士、研究所研究員、教員、食品・機械・建築・情報処理・医療等の技術者、看護師、栄養士、保育士、新聞記者、デザイナーなど
- 3 事務職……事務系・営業系事務員、事務機械オペレーターなど
- 4 労務・技能職……工員・職人・大工、警察官、消防士、守衛、清掃員、運転手・車掌など
- 5 販売・サービス職……店員、販売外交員、保険外交員、給仕、調理師、介護職員、理・美容師など

(全員のの方に)

F 4 <住 居> 現在のお住まいは、次のうちのどれになりますか。当てはまるものを1つお選びください。(○は1つ) <n=1,849>

48.5	1	持家 (一戸建)		
16.2	2	持家 (分譲マンションなどの集合住宅)		
2.3	3	民間の借家 (一戸建)		
21.4	4	民間の借家 (賃貸マンション・アパートなどの集合住宅)		
5.6	5	都市機構 (旧公団)・公社・公営の賃貸住宅・アパート		
2.9	6	社宅・公務員住宅などの給与住宅		
0.5	7	住み込み・寮・寄宿舍など		
1.3	8	その他 (具体的に)		
1.4		無回答		

(全員のの方に)

F 5 <未既婚> あなたは、結婚していらっしゃいますか。(○は1つ) <n=1,849>

25.2	1	未 婚	→ F 6へ	15.4	3	既婚 (離別・死別)	→ F 6へ
58.2	2	既婚 (配偶者あり)	→ F 5-1へ	1.2		無回答	

(F 5で「2 既婚 (配偶者あり)」と答えた方に)

F 5-1 ご夫婦ともに働いていらっしゃいますか。(○は1つ) <n=1,076>

52.7	1	はい	46.7	2	いいえ
			0.6		無回答

(全員のの方に)

F 6 <世帯構成 (同居家族)> あなたと同居されているご家族はいらっしゃいますか。(○は1つ) <n=1,849>

19.5	1	単 身 (本人のみ)	5.7	4	親と子と孫 (3世代世帯)
24.7	2	夫婦のみ (1世代世帯)	4.7	5	その他の世帯
43.9	3	親と子 (2世代世帯)	1.6		無回答

(全員のの方に)

F 7 <居住地域生まれ> あなたは、生まれてからずっとこの地域にお住まいですか。それとも他の地域からいらしたのですか。(○は1つ) <n=1,849>

26.0	1	生まれてからずっとこの地域に住んでいる (一時的にこの地域を離れた人も含む)	73.1	2	他の地域からきた
			1.0		無回答

(全員の方に)

F 8 <地域居住年数> あなたは、この地域にお住まいになってから何年になりますか。(○は1つ)
<n=1,849>

3.1	1	1年未満	10.2	5	10～15年未満
6.4	2	1～3年未満	8.2	6	15～20年未満
6.9	3	3～5年未満	14.8	7	20～30年未満
9.8	4	5～10年未満	39.4	8	30年以上
			1.2		無回答

(全員の方に)

F 9 <東京生まれ> あなたは、生まれてからずっと東京にお住まいですか。それとも、東京以外からいらしたのですか。(○は1つ) <n=1,849>

46.6	1	生まれてからずっと東京に住んでいる (一時的に東京を離れた人も含む)	51.9	2	東京以外からきた
			1.5		無回答

(全員の方に)

F 10 <東京居住年数> 東京都にお住まいになってから何年になりますか。(○は1つ) <n=1,849>

1.2	1	1年未満	7.2	5	10～15年未満
2.8	2	1～3年未満	5.8	6	15～20年未満
3.2	3	3～5年未満	12.1	7	20～30年未満
5.5	4	5～10年未満	61.2	8	30年以上
			0.9		無回答

(全員の方に)

F 11 <世帯年収> お宅さま全体の昨年1年間の収入(世帯年収)はおよそどのくらいでしたか。
(○は1つ) <n=1,849>

10.8	1	200万円未満	9.0	7	900～1,100万円未満
11.8	2	200～300万円未満	4.4	8	1,100～1,300万円未満
11.5	3	300～400万円未満	2.9	9	1,300～1,500万円未満
9.2	4	400～500万円未満	3.8	10	1,500～2,000万円未満
13.1	5	500～700万円未満	2.3	11	2,000万円以上
10.4	6	700～900万円未満	9.5	12	わからない
			1.4		無回答

(全員の方に)

F12<インターネット利用> あなたはインターネットを利用していますか。(○は1つ) <n=1,849>

61.9	1	よく利用している	5.0	3	あまり利用していない
14.4	2	ときどき利用している	17.1	4	利用していない
			1.6		無回答

(全員の方に)

F13<SNS利用> あなたは、ツイッター、フェイスブック、ユーチューブ、ライン、インスタグラムなどのSNSを利用していますか。(○は1つ) <n=1,849>

46.3	1	よく利用している	7.7	3	あまり利用していない
18.9	2	ときどき利用している	25.4	4	利用していない
			1.7		無回答

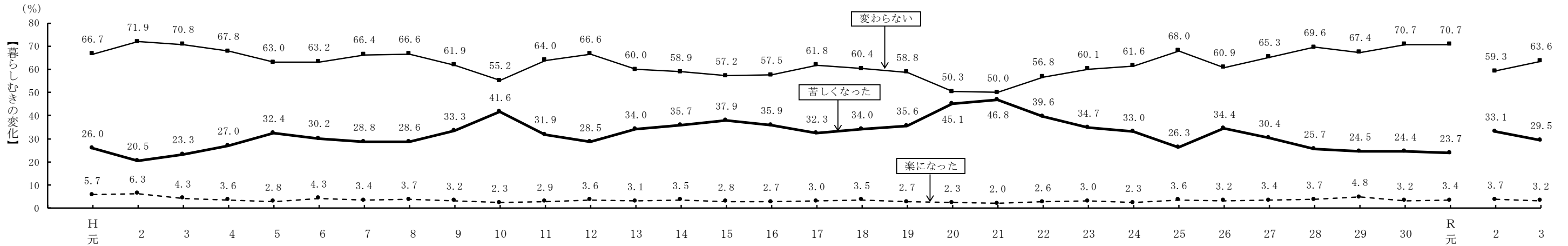
付 属 資 料

東京都では、世論調査を開始して以来、毎年様々な項目について世論調査を実施しているが、その一部については経年変化をみるため、同一項目を毎年継続調査している。

そこで、比較的長期にわたって調査している項目について、毎年変化を追えるように付属資料としてまとめた。

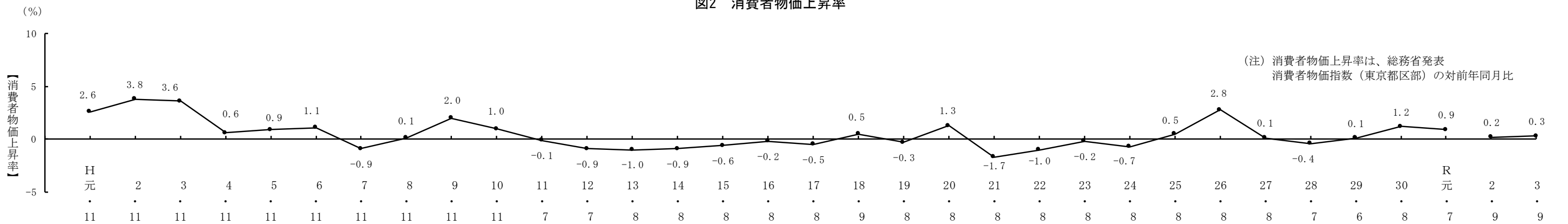
※「暮らしむきの変化」については、消費者物価上昇率、景気の動向など主な経済・社会の変化を合わせて掲載した。

図1 暮らしむきの変化



(注) 令和2年より個別訪問面接聴取法から郵送法に変更

図2 消費者物価上昇率



(注) 消費者物価上昇率は、総務省発表
消費者物価指数（東京都区部）の対前年同月比

図3 社会経済の年表

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3
※「」は経済財政白書の副題	「平成経済の門出と日本経済の新しい潮流」 昭和天皇崩御「平成」に改元（元年1月）	「持続的拡大への道」	「長期拡大の条件と国際社会における役割」 湾岸戦争（3年1月）	「調整をこえて新たな展開をめざす日本経済」 PKO協力法案可決（4年6月）	「バブルの教訓と新たな発展への課題」 コメ不作で緊急輸入を決定（5年9月）	「厳しい調整を越えて新たなフロンティアへ」	「阪神・淡路大震災（7年1月）」	「改革が展望を切り開く」	「改革へ本格起動する日本経済」 山一証券自主廃業（9年11月） 消費税率5%に引き上げ（9年4月）	「創造的発展への基礎固め」 緊急経済対策決定、総事業規模は過去最大の10兆円 完全失業率が初の4%台（10年4月）	「経済再生への挑戦」 改正男女雇用機会均等法施行（11年4月）	「新しい世の中が始まる」 介護保険一括法施行（12年4月） 地方分権一括法施行（12年4月）	「改革なくして成長なし」 米同時多発テロ（13年9月） 確定拠出年金法施行（13年10月）	「改革なくして成長なし」 サッカーワールドカップ日韓共催（14年6月）	「改革なくして成長なし」 完全失業率が5.5%に（15年1月） イラク戦争（15年3月）	「改革なくして成長なし」 年金改革関連法施行（16年10月）	「改革なくして成長なし」 道路関係四公団民営化（17年10月） 原油価格高騰	「成長条件が復元し、新たな成長を目指す日本経済」 介護保険法改正施行（18年4月）	「生産性向上に向けた挑戦」 郵政民営化（19年10月）	「リスクに立ち向かう日本経済」 サブプライムローンに端を発した世界金融危機 後期高齢者医療制度施行（20年4月）	「危機の克服と持続的回復への展望」 エコカー減税・エコカー補助金実施（21年10月）	「需要の創造による成長力の強化」	「日本経済の本質的な力を高める」 東日本大震災（23年3月）	「日本経済の復興から発展的創造へ」	「経済の好循環の確立に向けて」	「よみがえる日本経済、広がる可能性」 消費税率8%に引き上げ（26年4月）	「四半世紀ぶりの成果と再生する日本経済」	「リスクを越えて好循環の確立へ」	「技術革新と働き方改革がもたらす新たな成長」	「今、Society 5.0の経済へ」	「令和」新時代の日本経済」 消費税率10%に引き上げ（元年10月）	「コロナ危機・日本経済変革のラストチャンス」 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出ほか	「レジリエントな日本経済へ…強さと柔軟性を持つ」 東京オリンピック・パラリンピック開催（3年7月9日）
景気の動き	バブル景気	平成不況（失われた10年）										景気回復					景気悪化					緩やかな回復					景気悪化						
実質経済成長率 (%)	4.9	4.9	3.4	0.8	-0.5	1.0	2.6	3.1	1.0	-1.3	-0.3	2.8	0.4	0.0	1.5	2.2	1.8	1.4	1.5	-1.2	-5.7	4.1	0.0	1.4	2.0	0.3	1.6	0.8	1.7	0.6	0.0	-4.6	

(注) 実質経済成長率（暦年）は、令和3年度経済財政白書（内閣府）「国内総生産（GDP）実質前年比」

表1 暮らしの余裕

表2 これからの暮らしむき

		(%)								
	n	余裕がある (計)	今の暮らしで		余裕がない (計)	今の暮らしで			わからない	無回答
			十分余裕がある	あだばあまで		余裕がない	はとでもやりきれない			
平成元年	(2,219)	57.1	5.5	51.6	41.9	37.6	4.3	0.9	-	-
2	(2,230)	59.1	5.4	53.7	40.4	35.7	4.7	0.5	-	-
3	(2,106)	59.0	5.2	53.8	40.5	36.1	4.4	0.6	-	-
4	(2,107)	62.6	5.3	57.3	37.0	33.2	3.8	0.4	-	-
5	(2,111)	57.9	5.0	52.9	41.7	36.0	5.7	0.4	-	-
6	(2,136)	58.2	4.6	53.7	41.4	36.4	5.1	0.3	-	-
7	(2,190)	60.7	5.9	54.8	39.0	33.8	5.2	0.2	-	-
8	(2,115)	58.9	5.3	53.6	40.8	35.3	5.5	0.4	-	-
9	(2,165)	57.6	4.6	53.1	41.7	36.3	5.4	0.6	-	-
10	(2,132)	53.9	4.3	49.7	44.9	36.8	8.1	1.2	-	-
11	(2,074)	56.8	5.1	51.7	42.6	35.4	7.2	0.6	-	-
12	(2,115)	57.3	5.8	51.5	42.1	34.7	7.4	0.6	-	-
13	(2,124)	52.1	4.1	48.0	46.0	37.1	8.9	1.9	-	-
14	(2,132)	52.1	3.8	48.2	45.5	37.6	7.9	2.4	-	-
15	(1,873)	50.3	4.2	46.2	47.5	38.1	9.5	2.1	-	-
16	(1,857)	44.3	2.9	41.4	53.2	42.1	11.1	2.5	-	-
17	(2,031)	49.7	4.3	45.4	48.6	38.3	10.3	1.7	-	-
18	(2,081)	48.6	3.7	44.8	50.3	41.1	9.2	1.2	-	-
19	(2,084)	46.7	3.1	43.6	51.3	41.8	9.5	2.0	-	-
20	(2,030)	46.9	3.0	43.9	51.2	41.1	10.0	1.9	-	-
21	(2,025)	42.5	2.8	39.7	56.6	46.4	10.2	0.9	-	-
22	(2,013)	45.9	4.0	41.9	53.4	45.4	8.0	0.7	-	-
23	(2,009)	49.2	4.0	45.2	48.3	40.5	7.8	2.5	-	-
24	(2,002)	48.3	3.6	44.7	49.3	41.0	8.3	2.4	-	-
25	(2,010)	48.8	4.8	43.9	48.7	41.2	7.4	2.6	-	-
26	(1,850)	50.4	4.5	45.9	48.9	40.4	8.4	0.7	-	-
27	(1,900)	49.8	3.6	46.2	49.3	41.7	7.6	0.9	-	-
28	(1,805)	51.9	4.7	47.1	47.2	40.1	7.1	0.9	-	-
29	(1,810)	54.9	5.4	49.6	43.0	36.7	6.3	2.1	-	-
30	(1,856)	54.3	5.2	49.1	44.9	38.1	6.8	0.8	-	-
令和元年	(1,845)	53.7	5.9	47.9	45.6	39.6	6.0	0.7	-	-
2	(2,273)	50.5	5.7	44.8	48.0	40.9	7.2	-	1.5	-
3	(1,849)	56.0	7.5	48.5	42.8	35.6	7.1	-	1.2	-

		(%)										
	n	楽になる (計)	かなり楽になる		やや楽になる	変わらない	苦しくなる (計)	やや苦しくなる		かなり苦しくなる	わからない	無回答
			かなり楽になる	やや楽になる				やや苦しくなる	かなり苦しくなる			
平成元年	(2,106)	7.2	0.7	6.5	67.4	25.4	22.7	2.7	-	-	-	-
2	(2,157)	9.9	1.0	8.9	68.4	21.6	20.3	1.3	-	-	-	-
3	(2,207)	9.8	1.0	8.7	67.6	22.4	19.4	3.0	0.1	-	-	-
4	(2,132)	7.7	1.0	6.7	58.5	33.9	26.3	7.6	-	-	-	-
5	(2,117)	7.9	0.7	7.2	58.9	33.3	24.0	9.3	-	-	-	-
6	(2,123)	7.8	0.6	7.2	62.8	29.3	23.4	5.9	-	-	-	-
7	(2,190)	8.3	0.5	7.9	61.7	28.9	25.2	3.7	1.1	-	-	-
8	(2,115)	8.7	0.4	8.2	56.2	33.7	29.3	4.4	1.5	-	-	-
9	(2,165)	5.6	0.6	5.0	52.3	40.7	36.3	4.5	1.4	-	-	-
10	(2,132)	3.5	0.4	3.0	49.3	44.2	37.6	6.6	3.0	-	-	-
11	(2,074)	5.8	0.4	5.4	56.8	34.8	30.4	4.4	2.6	-	-	-
12	(2,115)	6.5	0.8	5.7	59.5	31.5	26.9	4.6	2.5	-	-	-
13	(2,124)	2.9	0.3	2.6	46.2	44.5	35.4	9.1	6.4	-	-	-
14	(2,132)	4.7	0.5	4.2	50.7	38.4	30.0	8.4	6.2	-	-	-
15	(1,873)	4.1	1.0	3.2	47.6	40.5	30.5	10.0	7.7	-	-	-
16	(1,857)	4.1	0.2	3.9	51.3	35.3	25.6	9.7	9.3	-	-	-
17	(2,031)	4.3	0.3	4.0	50.1	37.9	29.2	8.7	7.8	-	-	-
18	(2,081)	4.8	0.4	4.4	51.4	37.5	28.2	9.3	6.4	-	-	-
19	(2,084)	3.9	0.3	3.6	47.8	40.6	31.1	9.5	7.6	-	-	-
20	(2,030)	2.3	0.1	2.2	38.1	53.1	40.5	12.5	6.6	-	-	-
21	(2,025)	2.8	0.2	2.6	40.0	50.4	35.9	14.5	6.9	-	-	-
22	(2,013)	3.2	0.1	3.1	47.1	43.6	32.1	11.5	6.0	-	-	-
23	(2,009)	3.6	0.3	3.3	47.9	40.6	31.8	8.8	7.8	-	-	-
24	(2,002)	3.1	0.3	2.7	46.9	43.4	33.2	10.2	6.6	-	-	-
25	(2,010)	4.3	0.4	3.8	50.6	38.0	29.0	9.1	7.1	-	-	-
26	(1,850)	4.5	0.4	4.1	48.7	42.3	32.8	9.5	4.5	-	-	-
27	(1,900)	3.9	0.3	3.6	53.2	38.2	29.3	8.8	4.7	-	-	-
28	(1,805)	4.4	0.5	3.9	55.8	35.0	28.3	6.7	4.8	-	-	-
29	(1,810)	6.2	0.6	5.6	54.2	32.3	25.7	6.6	7.3	-	-	-
30	(1,856)	4.4	0.1	4.3	56.3	33.9	27.6	6.3	5.4	-	-	-
令和元年	(1,845)	4.8	0.3	4.5	54.5	35.3	29.0	6.3	5.4	-	-	-
2	(2,273)	3.3	0.4	2.9	41.7	45.4	34.4	11.0	8.6	0.9	-	-
3	(1,849)	3.9	0.5	3.4	49.6	37.0	28.3	8.7	8.7	0.8	-	-

(注1) 『余裕がある(計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計、『余裕がない(計)』は「今の暮らしでもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計
 (注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」
 (注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

(注1) 『楽になる(計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計、『苦しくなる(計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計
 (注2) 平成6年までは「都民要望に関する世論調査」、平成7年から平成9年は「都市生活に関する世論調査」
 (注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

表3 生活満足度

(%)

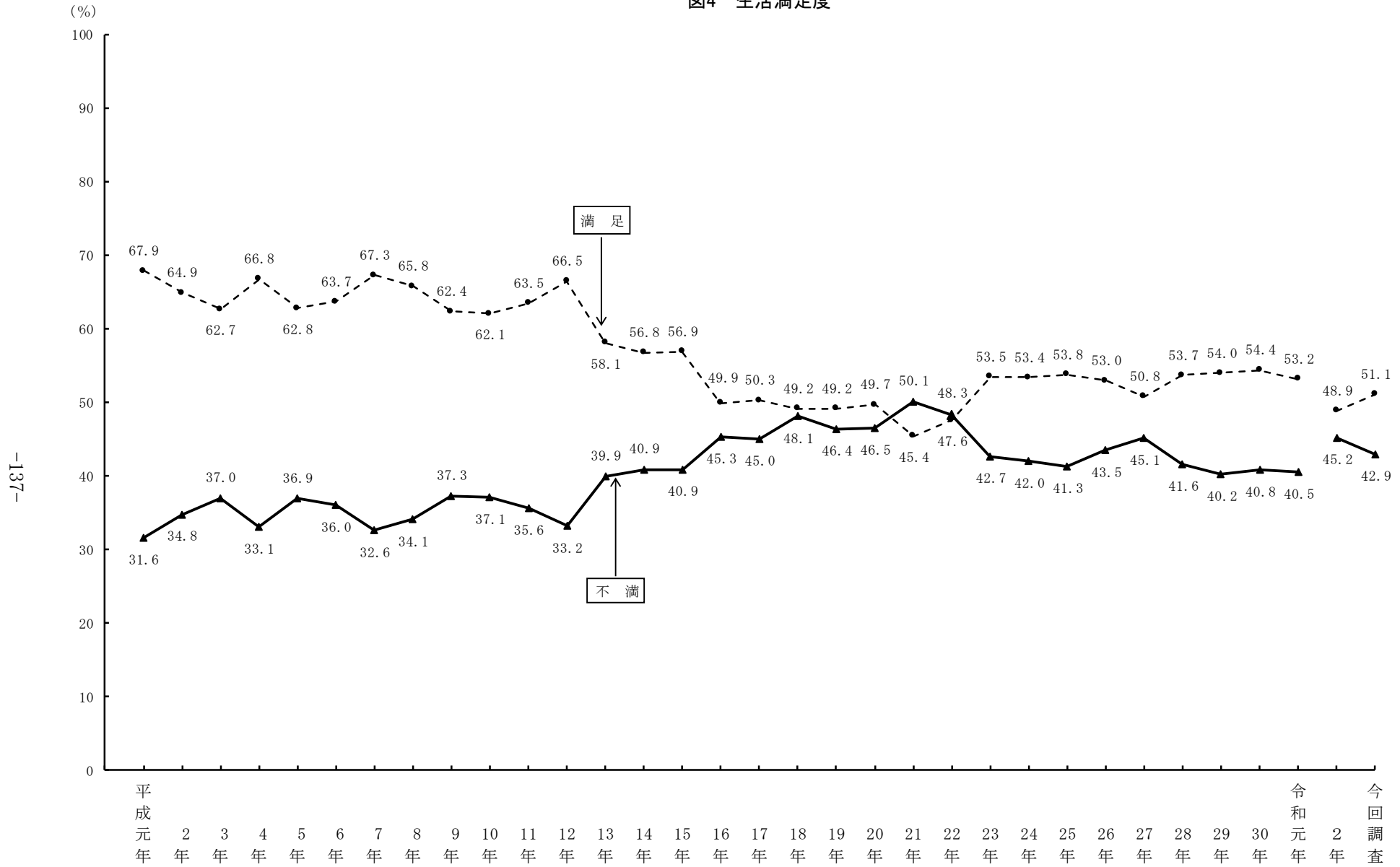
	n	満足 (計)	満足している		不満 (計)	不満である		わからない	無回答
			大変満足して いる	まあ満足して いる		やや不満であ る	大変不満であ る		
平成元年	(2,219)	67.9	6.1	61.8	31.6	27.2	4.4	0.5	-
2	(2,230)	64.9	5.2	59.7	34.8	29.1	5.7	0.3	-
3	(2,106)	62.7	6.0	56.7	37.0	31.7	5.3	0.3	-
4	(2,107)	66.8	6.3	60.5	33.1	28.6	4.5	0.1	-
5	(2,111)	62.8	5.6	57.2	36.9	31.1	5.8	0.3	-
6	(2,136)	63.7	6.0	57.6	36.0	30.9	5.1	0.3	-
7	(2,190)	67.3	6.1	61.1	32.6	27.7	4.9	0.2	-
8	(2,115)	65.8	6.5	59.3	34.1	29.0	5.1	0.1	-
9	(2,165)	62.4	4.7	57.7	37.3	32.1	5.1	0.3	-
10	(2,132)	62.1	3.4	58.6	37.1	29.9	7.2	0.8	-
11	(2,074)	63.5	5.9	57.7	35.6	29.7	5.9	0.9	-
12	(2,115)	66.5	4.5	61.9	33.2	27.0	6.1	0.3	-
13	(2,124)	58.1	3.7	54.4	39.9	32.5	7.3	2.1	-
14	(2,132)	56.8	3.4	53.4	40.9	32.5	8.4	2.3	-
15	(1,873)	56.9	3.9	53.0	40.9	31.7	9.2	2.2	-
16	(1,857)	49.9	2.0	47.9	45.3	34.0	11.3	4.7	-
17	(2,031)	50.3	4.2	46.0	45.0	35.6	9.4	4.7	-
18	(2,081)	49.2	3.7	45.6	48.1	37.4	10.6	2.7	-
19	(2,084)	49.2	2.4	46.8	46.4	35.6	10.8	4.4	-
20	(2,030)	49.7	3.2	46.5	46.5	37.0	9.5	3.8	-
21	(2,025)	45.4	2.8	42.6	50.1	37.5	12.6	4.5	-
22	(2,013)	47.6	2.9	44.8	48.3	36.8	11.5	4.1	-
23	(2,009)	53.5	4.0	49.4	42.7	34.1	8.6	3.8	-
24	(2,002)	53.4	3.6	49.9	42.0	33.9	8.0	4.6	-
25	(2,010)	53.8	4.3	49.5	41.3	32.6	8.7	4.9	-
26	(1,850)	53.0	3.6	49.4	43.5	34.0	9.5	3.6	-
27	(1,900)	50.8	3.0	47.8	45.1	35.9	9.1	4.1	-
28	(1,805)	53.7	4.4	49.3	41.6	33.1	8.4	4.8	-
29	(1,810)	54.0	4.5	49.4	40.2	33.3	7.0	5.8	-
30	(1,856)	54.4	4.5	49.9	40.8	33.6	7.2	4.7	-
令和元年	(1,845)	53.2	4.4	48.8	40.5	33.2	7.3	6.3	-
2	(2,273)	48.9	3.1	45.8	45.2	35.6	9.6	4.4	1.5
3	(1,849)	51.1	3.7	47.4	42.9	34.2	8.7	4.9	1.0

(注1) 『満足(計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
『不満(計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

(注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、
令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

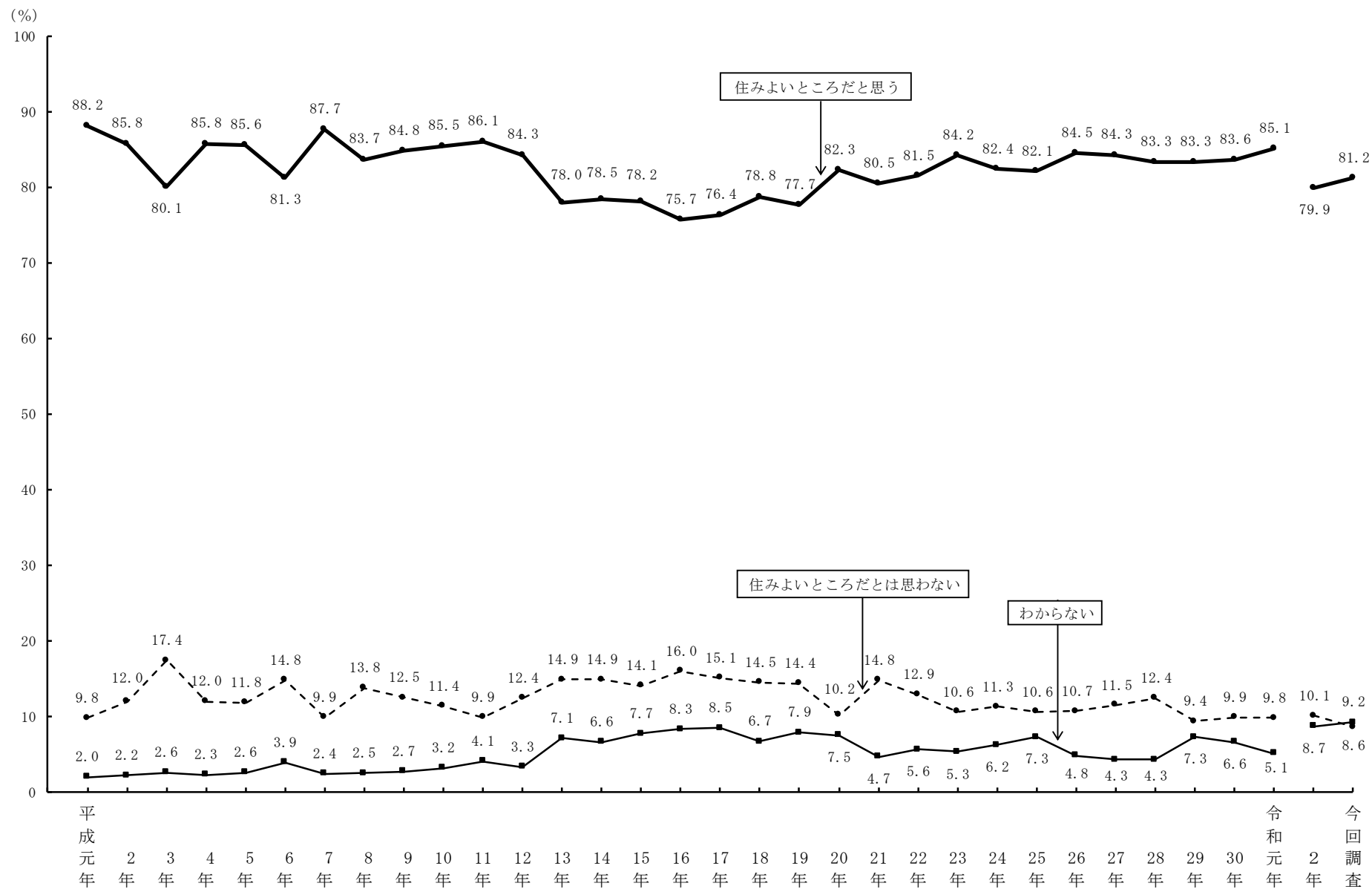
図4 生活満足度



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

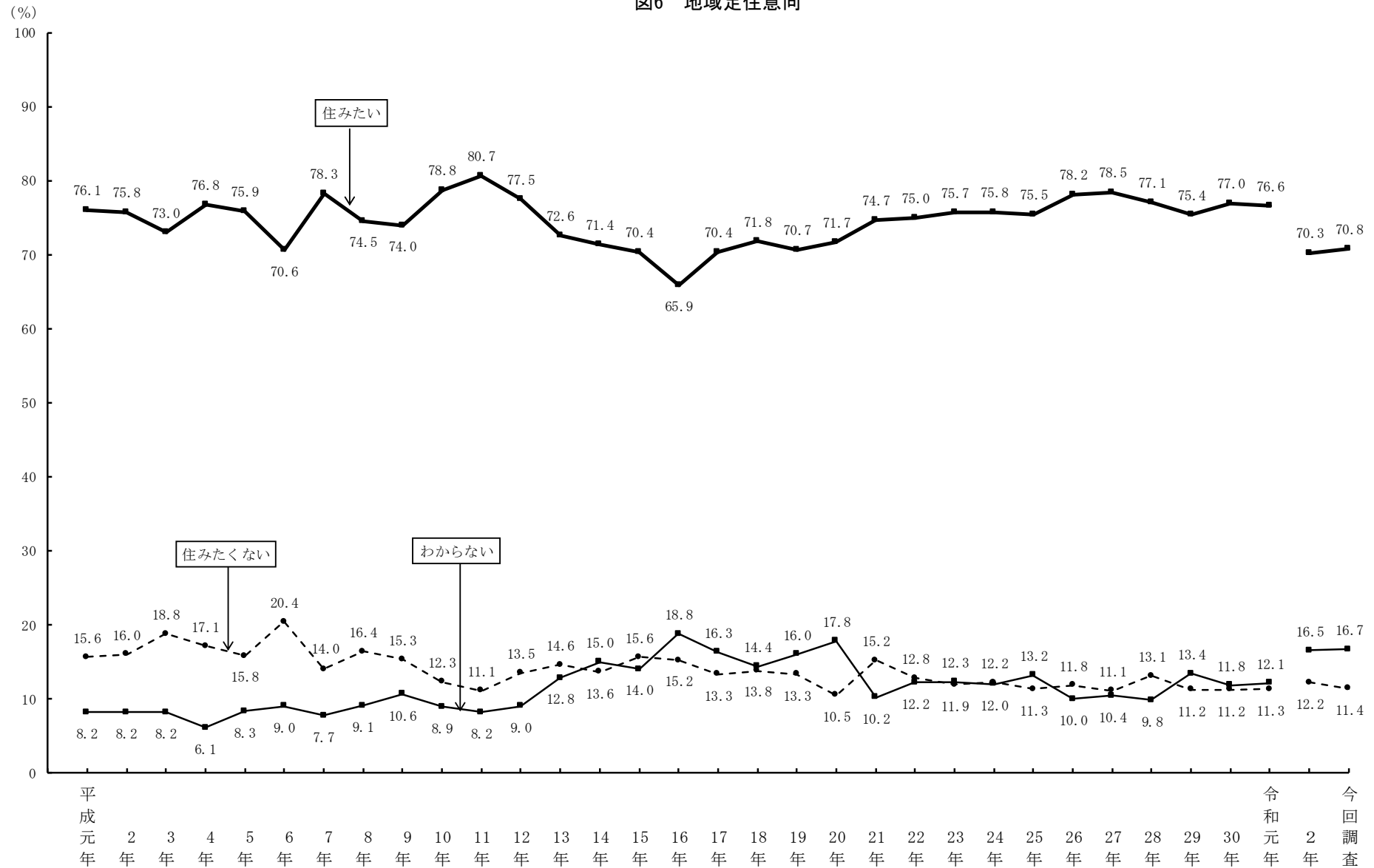
図5 地域の住みよさ



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

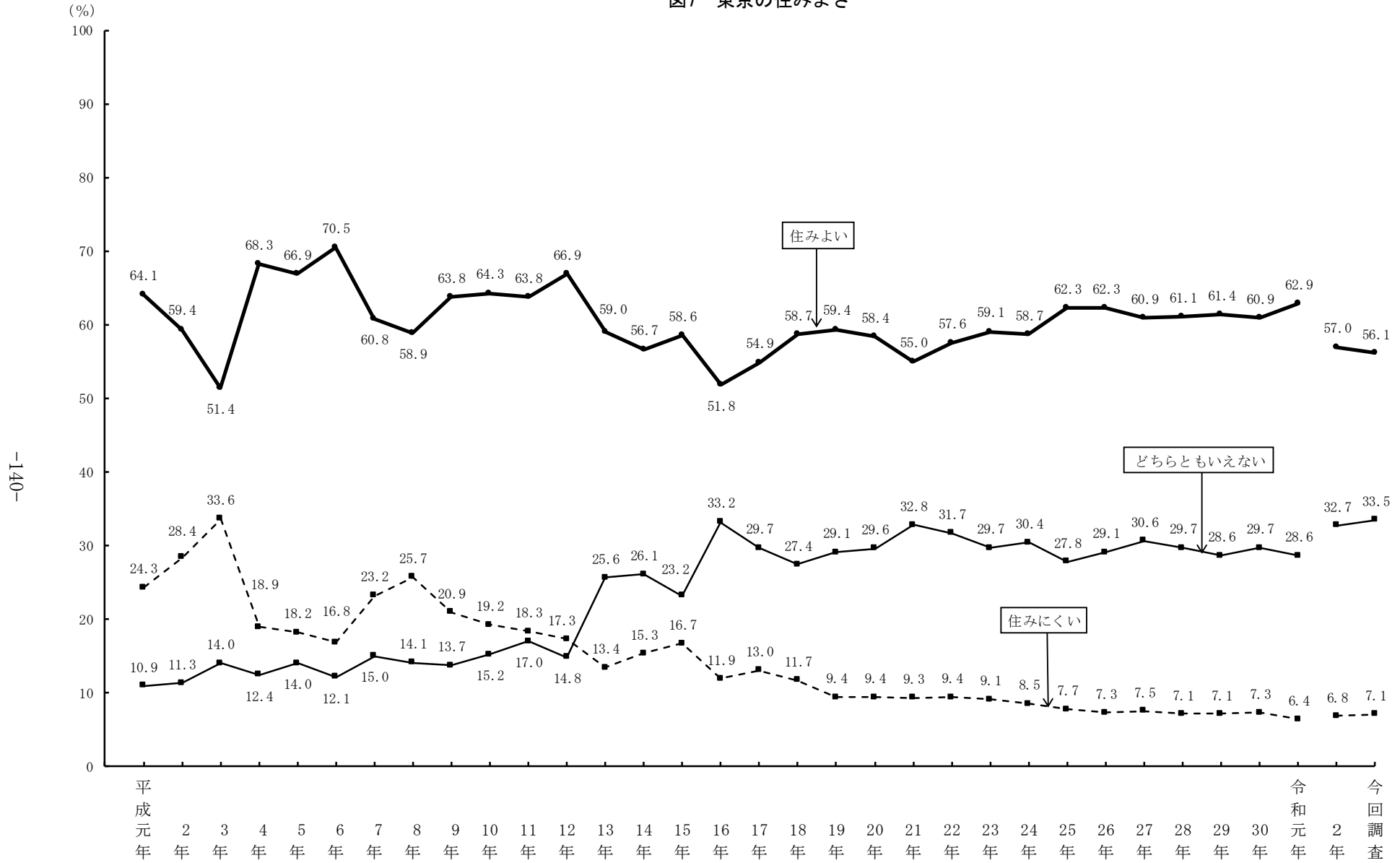
図6 地域定住意向



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

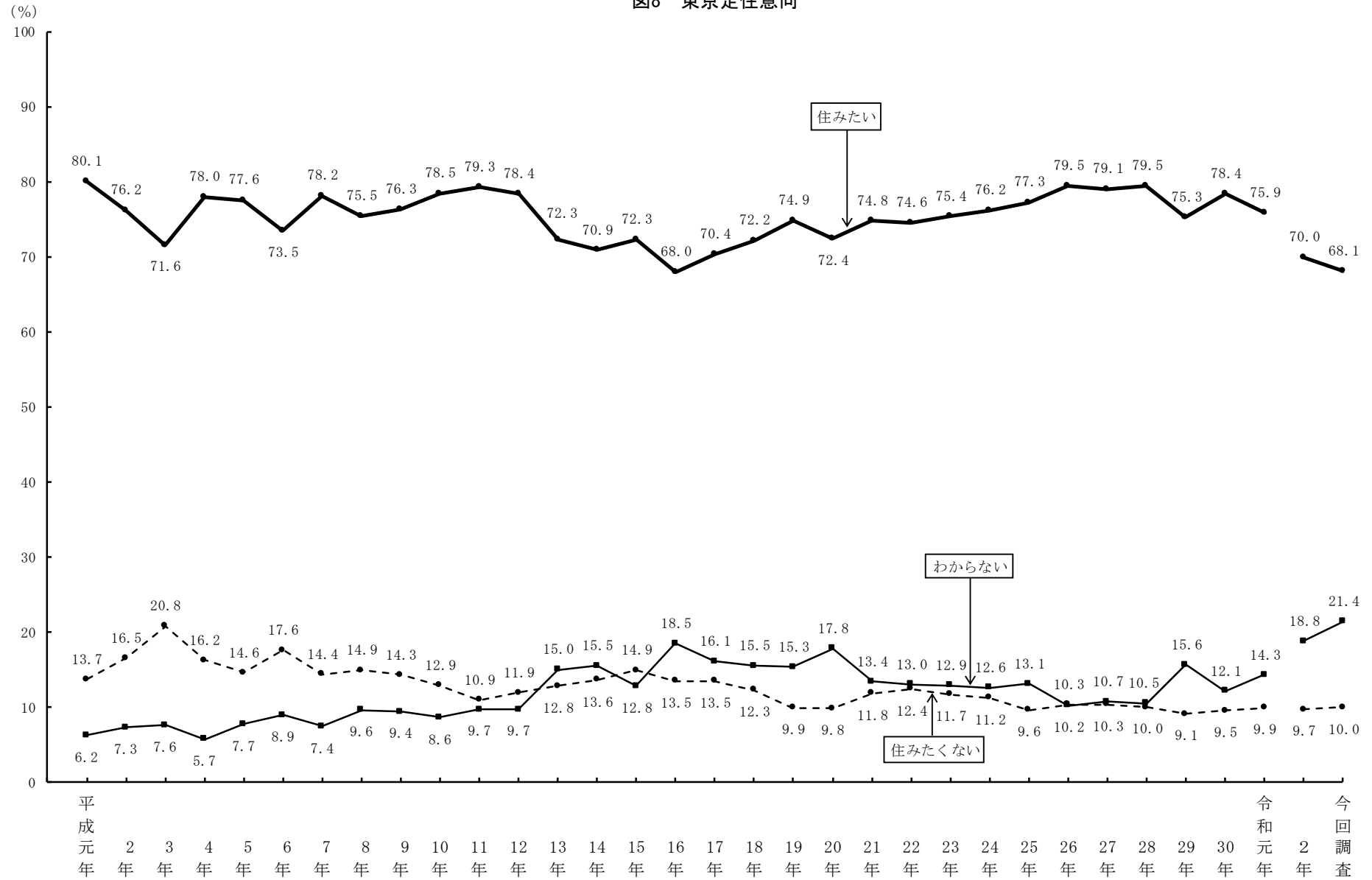
図7 東京の住みよさ



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

図8 東京定住意向



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

表4 都政への要望（平成元年～令和3年）

(%)

順位	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
1	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者
2	物価・消費者	医療・衛生	医療・衛生	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生
3	医療・衛生	物価・消費者	ごみ・衛生	住み	ごみ	ごみ	ごみ	物価・消費者	物価・消費者	環境	環境	環境
4	住宅	住宅	物価・消費者	ごみ	物価・消費者	医療・衛生	住宅	ごみ	ごみ	ごみ・産業廃棄物	環境	環境
5	公害	ごみ	住み	医療・衛生	住み	住み	住み	住み	公害	物価・消費者	物価・消費者	消費生活
6	公園・緑化	道路	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	医療・衛生	防犯	防犯	防犯	学校教育
7	道路	公園・緑化	公害	道路	道路	道路	道路	公園・緑化	公害	学校教育	少子化・子ども	少子化・子ども
8	学校教育	公害	道路	公園・緑化	公園・緑化	公害	防犯	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	防犯	防犯
9	ごみ	学校教育	心身障害者	学校教育	心身障害者	心身障害者	道路	道路	道路	学校教育	少子化・子ども	防犯
10	心身障害者	心身障害者	学校教育	防犯	学校教育	学校教育	交通災害	公害	学校教育	防犯	防犯	自動車交通
11	防犯	交通災害	交通災害	心身障害者	防犯	学校教育	都市再開発	心身障害者	心身障害者	道路	防犯	公園・緑地・水辺
12	防犯	生涯学習	都市再開発	交通災害	生涯学習	生涯学習	学校教育	交通災害	防犯	中小企業	自動車交通	土地・住宅
13	交通災害	都市再開発	上下水道	上下水道	交通災害	都市再開発	青少年	防犯	交通災害	自動車交通	公園・緑地・水辺	道路
14	上下水道	防犯	生涯学習	生涯学習	防犯	防犯	心身障害者	生涯学習	青少年	障害者	職業・雇用	障害者(児)
15	都市再開発	上下水道	防犯	都市再開発	都市再開発	防犯	中小企業	都市再開発	都市再開発	公園・緑地・水辺	道路	青少年
16	青少年	文化・芸術	文化・芸術	青少年	上下水道	中小企業	生涯学習	青少年	生涯学習	職業・雇用	中小企業	中小企業
17	生涯教育	青少年	防犯	防犯	文化・芸術	勤労者	勤労者	文化・芸術	文化・芸術	職業・雇用	青少年	職業・雇用
18	中小企業	女性	青少年	中小企業	青少年	上下水道	文化・芸術	中小企業	中小企業	まちづくり	まちづくり	文化・芸術
19	文化・芸術	中小企業	中小企業	都営交通	中小企業	青少年	都営交通	女性	女性	生涯学習	生涯学習	生涯学習
20	都営交通	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3
21	女性	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
22	勤労者	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(%)

順位	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
1	高齢者	医療・衛生	高齢者	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安	防犯	防犯
2	医療・衛生	高齢者	医療・衛生	高齢者	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安
3	環境	環境	環境	医療・衛生	高齢者	高齢者	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	高齢者	高齢者
4	防犯	消費生活	防犯	環境	医療・衛生	医療・衛生	防犯	消費生活	防犯	防犯	医療・衛生	医療・衛生
5	学校教育	学校教育	少子化・子ども	交通安全	環境	環境	環境	防犯	環境	環境	環境	環境
6	自動車交通	防犯	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	防犯	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活
7	消費生活	少子化・子ども	学校教育	防犯	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	行財政	行財政	行財政
8	少子化・子ども	廃棄物	廃棄物	学校教育	行財政	行財政	行財政	行財政	行財政	交通安全	交通安全	交通安全
9	廃棄物	防犯	防犯	青少年	土地・住宅	土地・住宅	学校教育	学校教育	学校教育	交通安全	交通安全	交通安全
10	防犯	障害者(児)	交通安全	子ども	子ども	子ども	子ども	子ども	子ども	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅
11	土地・住宅	公園・緑地・水辺	土地・住宅	子ども	学校教育	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育
12	公園・緑地・水辺	土地・住宅	障害者(児)	まちづくり	青少年	青少年	青少年	公園・緑地・水辺	まちづくり	まちづくり	まちづくり	まちづくり
13	障害者(児)	道路	公園・緑地・水辺	行財政	まちづくり	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	青少年	青少年	青少年	青少年	青少年
14	職業・雇用	交通安全	道路	道路	公園・緑地・水辺	職業・雇用	職業・雇用	まちづくり	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用
15	道路	職業・雇用	職業・雇用	公園・緑地・水辺	道路	道路	道路	道路	道路	道路	道路	道路
16	中小企業	生涯学習	青少年	中小企業	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	障害者(児)	中小企業	中小企業	中小企業	中小企業
17	青少年	青少年	男女平等	職業・雇用	水道・下水道	水道・下水道	水道・下水道	職業・雇用	職業・雇用	道路	道路	道路
18	生涯学習	まちづくり	男女平等	障害者(児)	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術	職業・雇用	職業・雇用	障害者(児)	障害者(児)	障害者(児)
19	まちづくり	文化・芸術	生涯学習	水道・下水道	中小企業	中小企業	水道・下水道	水道・下水道	水道・下水道	水道・下水道	水道・下水道	水道・下水道
20	文化・芸術	中小企業	まちづくり	男女平等	中小企業	文化・芸術	文化・芸術	道路	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術
21	水道・下水道	水道・下水道	文化・芸術	都営交通	障害者(児)	男女平等	男女平等	男女平等	男女平等	男女平等	男女平等	男女平等
22	男女平等	男女平等	水道・下水道	生涯学習	男女平等	生涯学習	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術
23	国際交流	行政サービス	都営交通	文化・芸術	都営交通	都営交通	生涯学習・社会教育	生涯学習・社会教育	都営交通	都営交通	都営交通	都営交通
24	都営交通	国際交流	国際交流	都市外交	都市外交	都市外交	都市外交	都市外交	都市外交	都市外交	都市外交	都市外交
25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(%)

順位	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
1	防災	防災	高齢者	高齢者	防災	高齢者	高齢者	防災	医療・衛生
2	治安	治安	治安	防災	治安	防災	治安	医療・衛生	防災
3	高齢者	高齢者	医療・衛生	医療・衛生	高齢者	治安	高齢者	高齢者	高齢者
4	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	治安	治安
5	環境	消費生活	交通安全	行財政	行財政	行財政	交通安全	子供	行財政
6	交通安全	交通安全	土地・住宅	交通安全	交通安全	環境	子供	行財政	子供
7	消費生活	環境	子供	環境	環境	子供	環境	消費生活	環境
8	土地・住宅	土地・住宅	環境	子供	子供	交通安全	行財政	交通安全	交通安全
9	行財政	子供	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	学校教育	消費生活
10	子供	行財政	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育	交通安全	学校教育
11	学校教育	学校教育	行財政	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺
12	まちづくり	まちづくり	まちづくり	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	水道・下水道	水道・下水道
13	青少年	公園・緑地・水辺	道路交通	中小企業	中小企業	障害者(児)	水道・下水道	職業・雇用	土地・住宅
14	職業・雇用	道路交通	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	公園・緑地・水辺	中小企業	道路交通	土地・住宅	職業・雇用
15	公園・緑地・水辺	職業・雇用	青少年	道路交通	道路交通	公園・緑地・水辺	都営交通	中小企業	まちづくり
16	中小企業	水道・下水道	男女平等	障害者(児)	障害者(児)	道路交通	まちづくり	まちづくり	道路交通
17	文化・芸術	青少年	水道・下水道	まちづくり	まちづくり	水道・下水道	障害者(児)	文化・芸術	障害者(児)
18	道路交通	男女平等	中小企業	水道・下水道	水道・下水道	男女平等	男女平等	障害者(児)	男女平等
19	水道・下水道	中小企業	文化・芸術	男女平等	文化・芸術	まちづくり	中小企業	道路交通	文化・芸術
20	都市外交	文化・芸術	職業・雇用	青少年	男女平等	青少年	公園・緑地・水辺	男女平等	中小企業
21	男女平等	まちづくり	都営交通	都営交通	文化・芸術	文化・芸術	青少年	都営交通	生涯学習、社会教育
22	障害者(児)	障害者(児)	障害者(児)	障害者(児)	青少年	都営交通	青少年	都営交通	都営交通
23	障害者(児)	生涯学習、社会教育	障害者(児)	生涯学習、社会教育	都市外交	文化・芸術	文化・芸術	生涯学習、社会教育	生涯学習、社会教育
24	都営交通	都市外交	生涯学習、社会教育	文化・芸術	観光振興	生涯学習、社会教育	多文化共生	多文化共生	青少年
25	生涯学習、社会教育	都営交通	都市外交	観光振興	都営交通	観光振興	生涯学習、社会教育	多文化共生	観光振興
26	市民活動	市民活動	観光振興	都市外交	生涯学習、社会教育	地域活動	地域活動	地域活動	多文化共生
27	観光振興	観光振興	市民活動	地域活動	多文化共生	多文化共生	地域活動	観光振興	地域活動
28	—	—	—	—	地域活動	都市外交	都市外交	都市外交	都市外交

(注1) 平成9年までは「都民要望に関する世論調査」

(注2) 平成2年から「生涯教育」を「生涯学習」に表現を変えている。

(注3) 平成3年から新たに「国際交流の推進」を追加した。

(注4) 平成10年から選択肢の表現を下記のとおり一部変更・追加した。

「ごみ対策」を「ごみ・産業廃棄物対策」、「公害対策」を「環境対策」、「住宅対策」を「土地・住宅対策」、「公園・緑化などの環境対策」を「公園・緑地・水辺の整備」、「心身障害者対策」を「障害者対策」、「交通災害対策」を「自動車交通対策」、「都市再開発などの市街地の整備」を「まちづくりの推進」、「女性の地位向上などの推進」を「男女平等の確立」、「上下水道の整備」を「水道・下水道の整備」、「職業訓練・雇用対策など勤労者対策」を「職業能力開発・雇用対策」に変更した。新たに、「少子化・子ども対策」を追加した。

(注5) 平成11年から「都営交通対策」を「都営交通の整備」に表現を変えている。

(注6) 平成12年から「障害者対策」を「障害者(児)対策」、「物価・消費者対策」を「消費生活対策」に表現を変えている。

(注7) 平成13年から「ごみ・産業廃棄物対策」を「廃棄物対策」に表現を変えている。

(注8) 平成14年から新たに、「行政サービスの電子化」を追加した。

(注9) 平成14年から「男女平等の確立」を「男女平等参画の推進」に、「自動車交通対策」を「交通安全対策」に表現を変えている。

(注10) 平成16年から「防犯対策」を「治安対策」に、「少子化・子ども対策」を「少子化・虐待防止などの子ども対策」に、「水道・下水道の整備」を「水道・下水道の整備・維持」に、「国際交流の推進」を「都市外交の推進」に、それぞれ表現を変えている。

(注11) 平成16年から「行政サービスの電子化」は、新たに追加した「行財政改革」に含めることとし、「廃棄物対策」は、「環境対策」に含めることとした。

(注12) 平成16年から選択可能な数を3つから5つに変更した。

(注13) 平成17年から新たに、「観光振興対策」を追加した。

(注14) 平成19年から「生涯学習、スポーツ・レクリエーションの振興」を「スポーツ・レクリエーションの振興」と「生涯学習、社会教育の振興」に分け、新たに「市民活動の促進」を追加した。

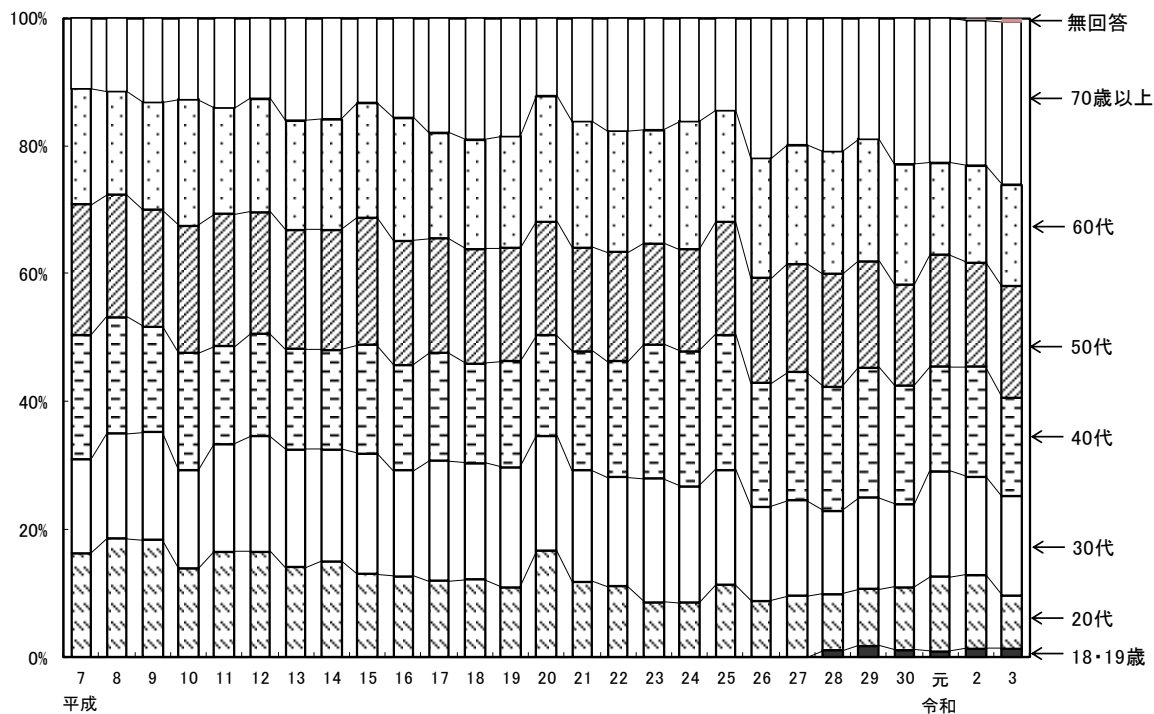
(注15) 平成28年から「行財政改革」を「行財政」、「市民活動の促進」を「地域活動の推進」に表現を変えている。

(注16) 平成29年から新たに、「多文化共生」を追加した。

(注17) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

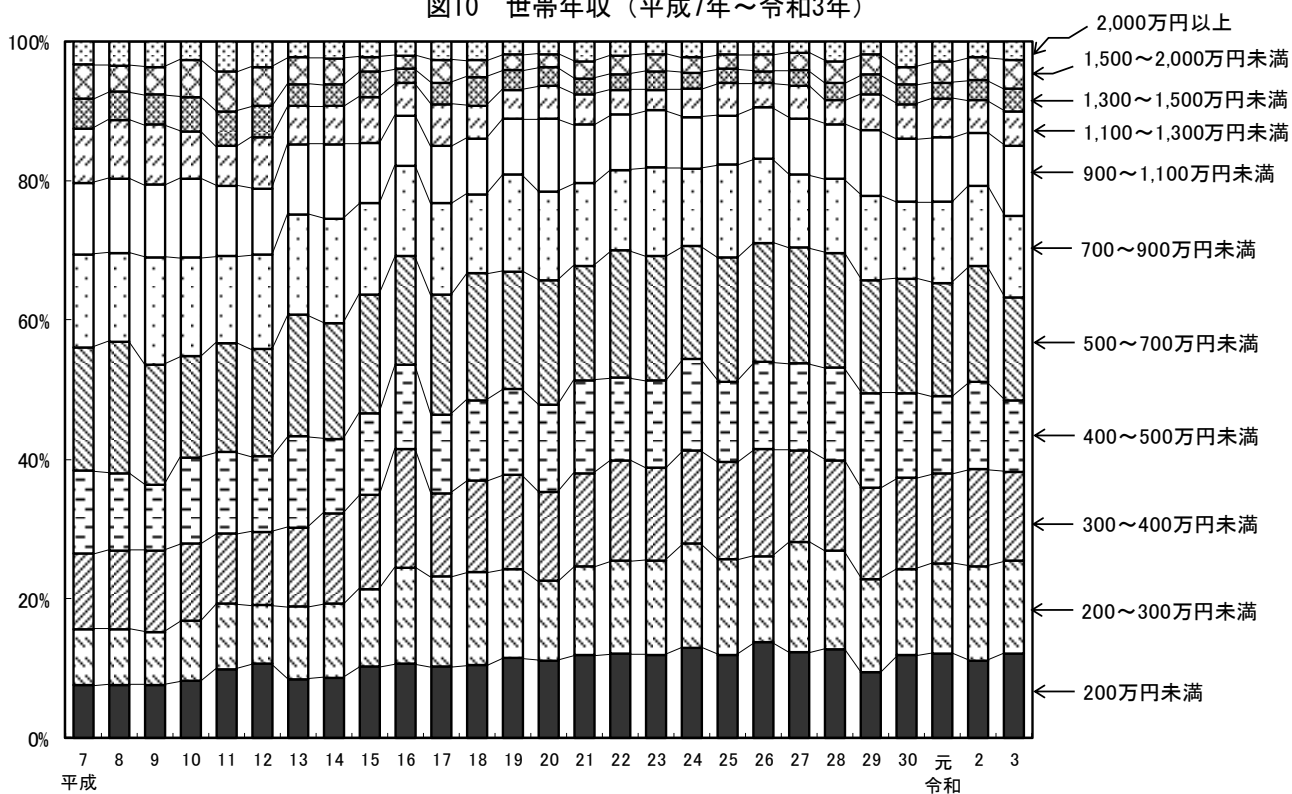
<参考：有効回収標本の年齢構成及び世帯年収の推移>

図9 年齢構成（平成7年～令和3年）



(注) 平成28年から「18・19歳」を追加した

図10 世帯年収（平成7年～令和3年）



(注1) 図9・10とも、各年の有効回収標本（回答者）の構成比を示す。図10は「わからない」「無回答」を除く。

(注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

「都民生活に関する世論調査」

登録番号 (3)37

令和4年1月発行

編集・発行 東京都生活文化局広報広聴部都民の声課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5388)3133

印刷 株式会社 三交社
東京都新宿区市谷砂土原町三丁目4番
電話 03(3267)3641

リサイクル適正[®]マーク



< お 願 い >

この報告書の内容を引用される場合、その旨を下記にご連絡ください。なお、印刷物の場合はその掲載部分の写しをお送りくだされば幸いです。

**東京都生活文化局
広報広聴部都民の声課調査担当**

〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号

電 話 03 (5388) 3133

E-mail : S0000010@section.metro.tokyo.jp